

---

亀岡市 高齢者等実態調査（令和7年度）  
報告書

---

令和8年4月



## 目次

I. 調査概要	2
(1) 調査目的	2
(2) 調査の実施について	2
(3) 有効回答件数及び回答率	2
(4) 留意点	2
II. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	3
1. 回答者の属性	3
2. あなたのご家族や生活状況について	4
3. からだを動かすことについて	12
4. 食べることについて	26
5. 毎日の生活について	36
6. 地域での活動について	62
7. 就労について	72
8. たすけあいについて	74
9. 健康について	84
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	98
11. 介護保険サービスについて	100
12. その他	107
13. 生活機能評価等に関する分析	121
III. 在宅介護実態調査結果	133
1. 対象者の属性	133
2. A票：調査対象者本人について	135
3. B票：主な介護者の方について	159





# I. 調査概要

## (1) 調査目的

本調査は、第10期亀岡市介護保険事業計画を包含する「亀岡市いきいき長寿プラン」を策定するにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいづくりに関する意識などを的確に把握し、「亀岡市いきいき長寿プラン」に反映させる基礎資料として活用するために実施しました。

## (2) 調査の実施について

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	対象者	令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域・要介護1～5を除く）
	実施期間	令和7年12月24日（水）～令和8年1月16日（金）
	実施方法	郵送配布、郵送回収
在宅介護実態調査	対象者	令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者の方のうち、要介護認定（要介護1～5）を受けており、在宅で居住している方
	実施期間	令和7年12月24日（水）～令和8年1月16日（金）
	実施方法	郵送配布、郵送回収、対面

## (3) 有効回答件数及び回答率

調査名	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3500件	2025件	2,018件	57.7%
在宅介護実態調査	608件	314件	314件	51.6%

## (4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
- 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
- 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
- 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
- 前回調査とは、第9期計画策定時（令和4年12月）に実施した同調査を指す。

## Ⅱ. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

### 1. 回答者の属性

		母数	認定該当状況		
			一般高齢者	要支援1	要支援2
全体	今回調査	2,018人 100.0%	1,902人 94.3%	57人 2.8%	59人 2.9%
	前回調査	1,399人 100.0%	1,331人 95.1%	50人 3.6%	18人 1.3%
性別	男性	974人 100.0%	937人 96.2%	18人 1.8%	19人 2.0%
	女性	1,044人 100.0%	965人 92.4%	39人 3.7%	40人 3.8%
年齢	65～69歳	424人 100.0%	422人 99.5%	1人 0.2%	1人 0.2%
	70～74歳	486人 100.0%	480人 98.8%	5人 1.0%	1人 0.2%
	75～79歳	553人 100.0%	531人 96.0%	10人 1.8%	12人 2.2%
	80～84歳	322人 100.0%	288人 89.4%	15人 4.7%	19人 5.9%
	85歳以上	233人 100.0%	181人 77.7%	26人 11.2%	26人 11.2%
性・年齢	男性 前期高齢者	460人 100.0%	458人 99.6%	2人 0.4%	－ －
	後期高齢者	514人 100.0%	479人 93.2%	16人 3.1%	19人 3.7%
	女性 前期高齢者	450人 100.0%	444人 98.7%	4人 0.9%	2人 0.4%
	後期高齢者	594人 100.0%	521人 87.7%	35人 5.9%	38人 6.4%
圏域	市街地	706人 100.0%	660人 93.5%	21人 3.0%	25人 3.5%
	中山間部	658人 100.0%	618人 93.9%	18人 2.7%	22人 3.3%
	山間部	654人 100.0%	624人 95.4%	18人 2.8%	12人 1.8%
家族構成	1人暮らし	332人 100.0%	290人 87.3%	24人 7.2%	18人 5.4%
	夫婦2暮らし（配偶者65歳以上）	884人 100.0%	848人 95.9%	18人 2.0%	18人 2.0%
	夫婦2暮らし（配偶者64歳以下）	97人 100.0%	96人 99.0%	1人 1.0%	－ －
	息子・娘との2世帯	550人 100.0%	524人 95.3%	12人 2.2%	14人 2.5%
	その他	136人 100.0%	128人 94.1%	2人 1.5%	6人 4.4%

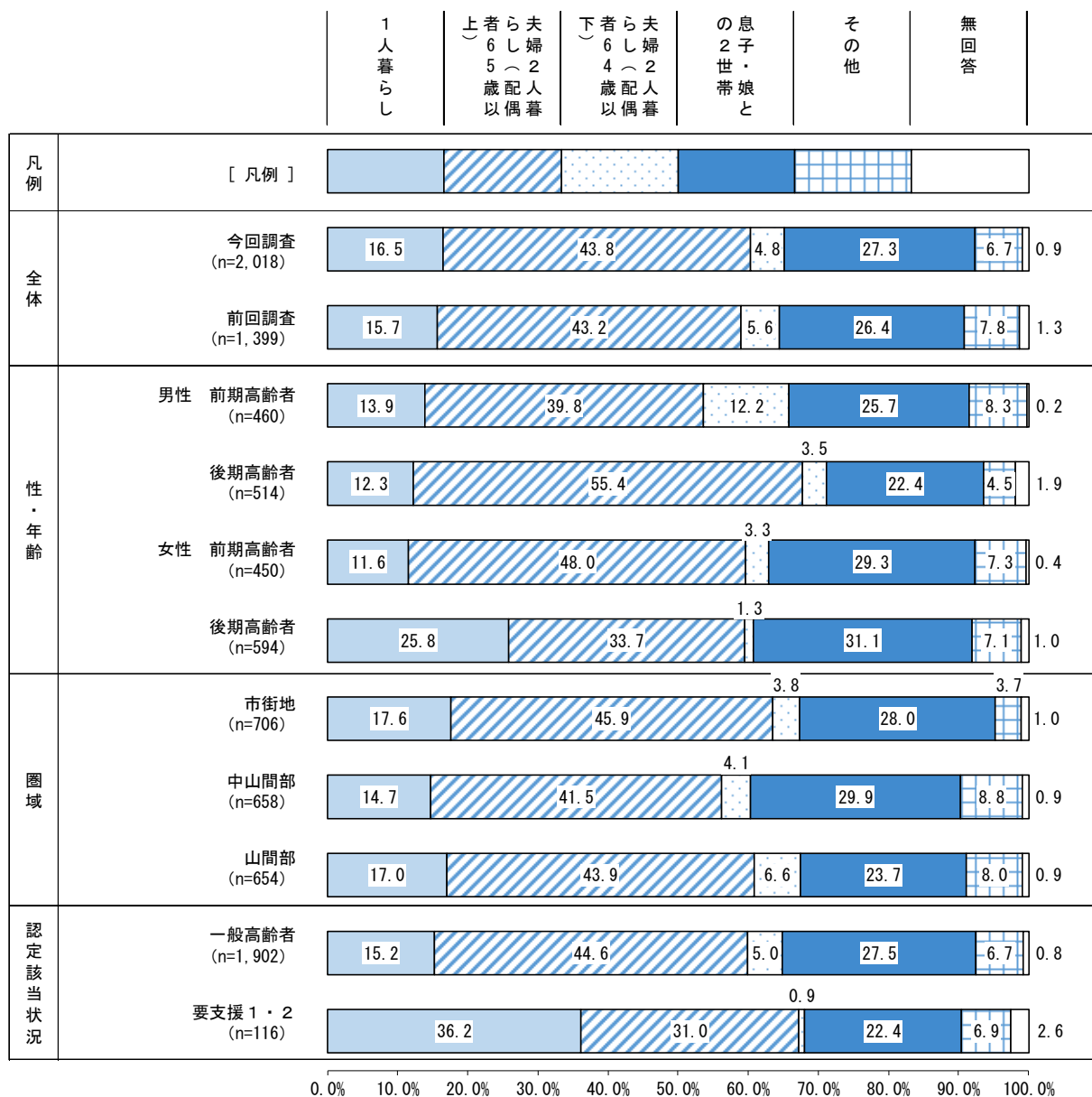
## 2. あなたのご家族や生活状況について

### (1) 家族構成

●問1 (1) 家族構成をお教えてください

<b>【全体】</b>
○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.8%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が 27.3%、「1人暮らし」が 16.5%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 「1人暮らし」は女性 後期高齢者が 25.8%と他の区分に比べて多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「1人暮らし」は要支援1・2が 36.2%と一般高齢者の 15.2%に比べて多くなっています。
○ 「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」は一般高齢者が 44.6%と要支援1・2の 31.0%に比べて多くなっています。

【家族構成】



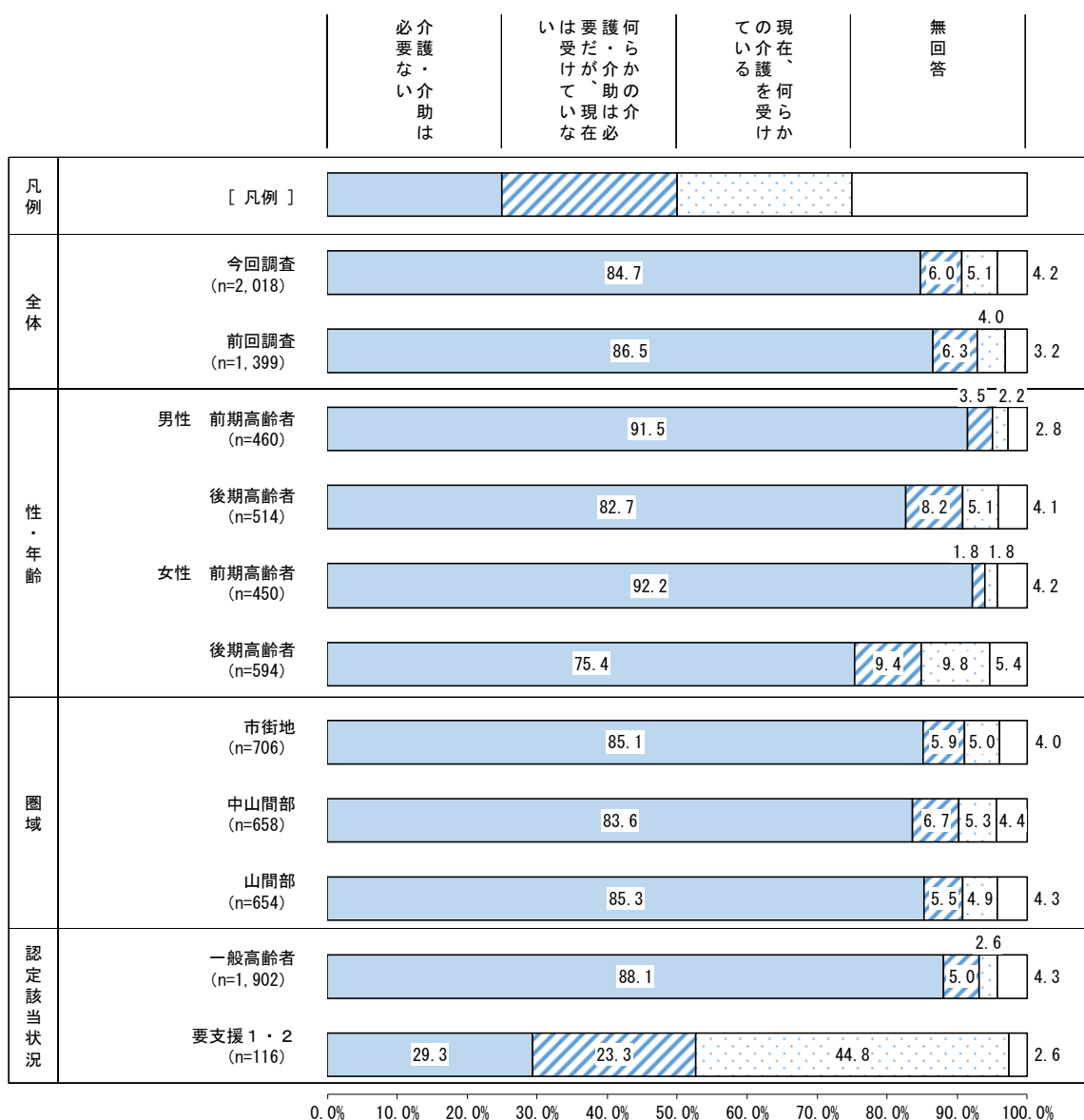
## (2) 暮らし・住まいの状況

### ① 介護・介助の必要性

●問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

<b>【全体】</b>
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が84.7%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.1%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「介護・介助は必要ない」が少なくなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は要支援1・2が23.3%と一般高齢者の5.0%に比べて多くなっています。
○ 「現在、何らかの介護を受けている」は要支援1・2が44.8%と一般高齢者の2.6%に比べて多くなっています。

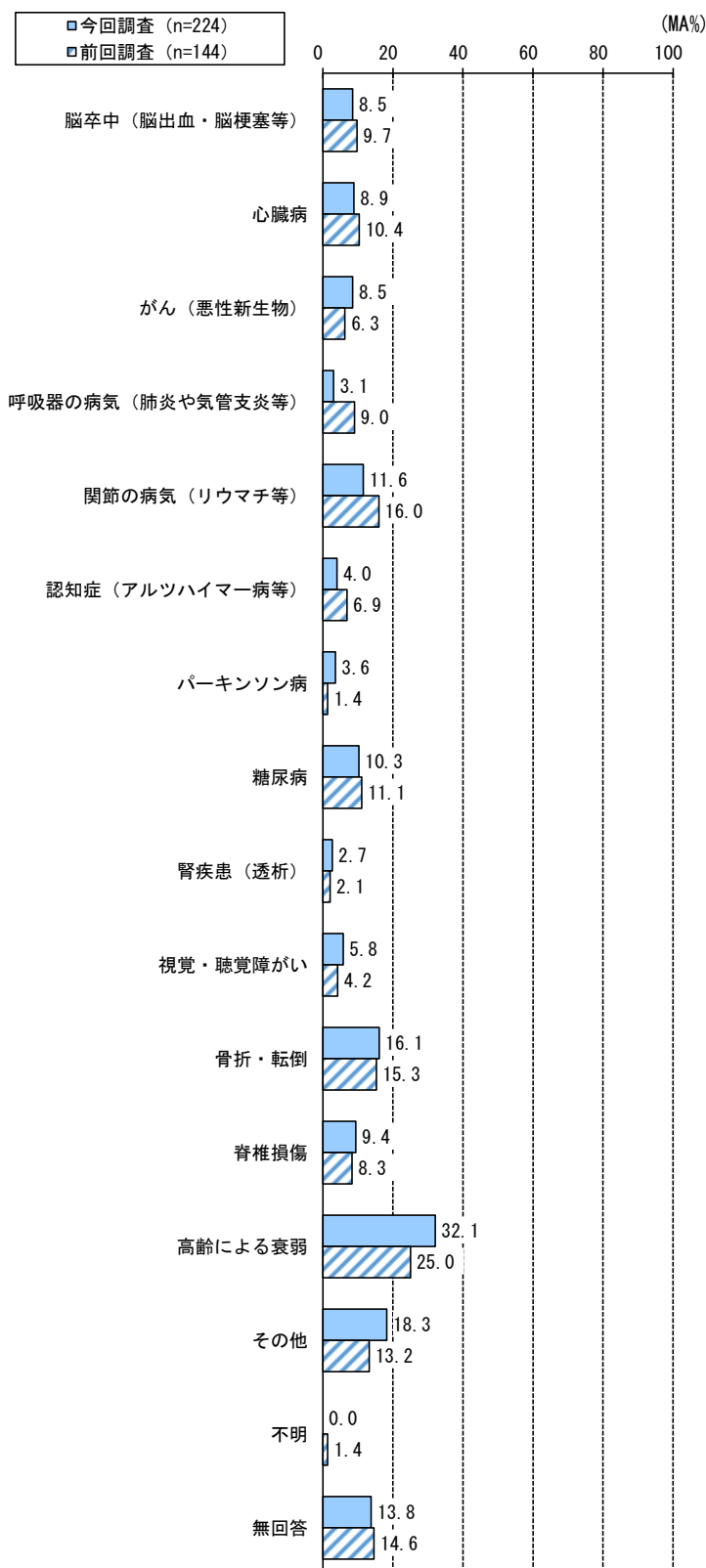
【介護・介助の必要性】



- 問1 (2) -1 【(2) で「2.」または「3.」(何らかの介護・介助が必要) と回答の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が32.1%で最も多く、次いで「その他」が18.3%、「骨折・転倒」が16.1%となっています。  
 ○ 「高齢による衰弱」は今回調査が32.1%と前回調査の25.0%に比べて多くなっています。

**【介護・介助が必要になった主な原因 (MA)】**



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「骨折・転倒」が多くなっています。
- 「高齢による衰弱」は女性 後期高齢者が 47.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「高齢による衰弱」は市街地が 24.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「高齢による衰弱」は要支援 1・2 が 41.8%と一般高齢者の 26.9%に比べて多くなっています。

単位：%

		母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			脳・卒中 (脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生 物)	呼吸器の病 気(肺炎や 気管支等)	関節の病 気(リウ マチ等)	認知症(アル ツハイマー 病等)	パーキン ソン病	糖尿 病
全体	今回調査	224	8.5	8.9	8.5	3.1	11.6	4.0	3.6	10.3
	前回調査	144	9.7	10.4	6.3	9.0	16.0	6.9	1.4	11.1
性・年齢	男性 前期高齢者	26	7.7	11.5	11.5	-	-	-	3.8	7.7
	後期高齢者	68	11.8	10.3	10.3	2.9	7.4	2.9	2.9	19.1
	女性 前期高齢者	16	12.5	-	12.5	-	18.8	-	-	12.5
	後期高齢者	114	6.1	8.8	6.1	4.4	15.8	6.1	4.4	5.3
圏域	市街地	77	7.8	13.0	9.1	2.6	13.0	5.2	5.2	10.4
	中山間部	79	10.1	7.6	6.3	2.5	8.9	3.8	3.8	6.3
	山間部	68	7.4	5.9	10.3	4.4	13.2	2.9	1.5	14.7
状況認定	一般高齢者	145	9.0	9.0	9.0	2.1	13.1	4.1	2.8	11.7
	要支援 1・2	79	7.6	8.9	7.6	5.1	8.9	3.8	5.1	7.6

単位：%

		母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							無回答
			腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障 が	骨折・転 倒	脊椎損 傷	高齢に よる衰 弱	その他	不明	
全体	今回調査	224	2.7	5.8	16.1	9.4	32.1	18.3	-	13.8
	前回調査	144	2.1	4.2	15.3	8.3	25.0	13.2	1.4	14.6
性・年齢	男性 前期高齢者	26	7.7	7.7	7.7	15.4	▼ 15.4	19.2	-	11.5
	後期高齢者	68	4.4	7.4	8.8	10.3	▼ 19.1	▼ 7.4	-	23.5
	女性 前期高齢者	16	-	-	18.8	-	▼ 6.3	△ 31.3	-	18.8
	後期高齢者	114	0.9	5.3	21.9	8.8	△ 47.4	22.8	-	7.9
圏域	市街地	77	5.2	6.5	19.5	11.7	24.7	20.8	-	11.7
	中山間部	79	-	3.8	13.9	6.3	36.7	17.7	-	16.5
	山間部	68	2.9	7.4	14.7	10.3	35.3	16.2	-	13.2
状況認定	一般高齢者	145	3.4	4.1	15.2	7.6	26.9	15.9	-	15.2
	要支援 1・2	79	1.3	8.9	17.7	12.7	41.8	22.8	-	11.4

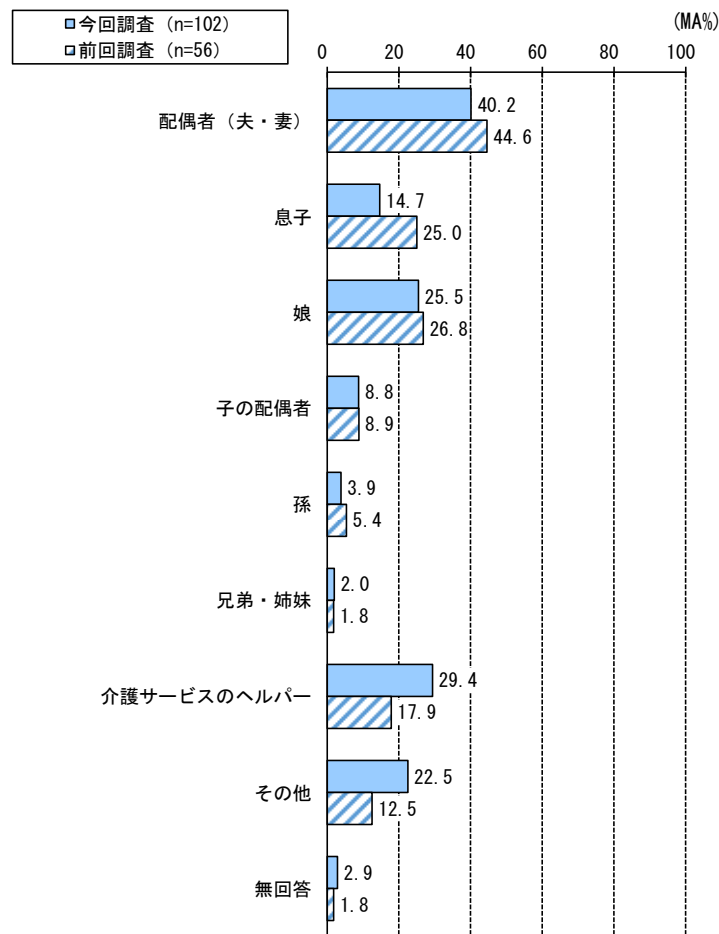
## ② 主な介護者

- 問1 (2) -2 【(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】主にどなたの介護、介助を受けていますか (〇はいくつでも)

### 【全体】

- 主な介護者について、「配偶者 (夫・妻)」が 40.2%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 29.4%、「娘」が 25.5%となっています。
- 「息子」は今回調査が 14.7%と前回調査の 25.0%に比べて少なくなっています。
- 「介護サービスのヘルパー」は今回調査が 29.4%と前回調査の 17.9%に比べて多くなっています。

### 【主な介護者 (MA)】



【性・年齢】

- 「配偶者（夫・妻）」は女性 後期高齢者が 29.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「介護サービスのヘルパー」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「介護サービスのヘルパー」が多くなっています。

【圏域】

- 「配偶者（夫・妻）」は山間部が 46.9%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「配偶者（夫・妻）」は一般高齢者が 54.0%と要支援1・2の 26.9%に比べて多くなっています。
- 「介護サービスのヘルパー」は要支援1・2が 48.1%と一般高齢者の 10.0%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「介護サービスのヘルパー」は1人暮らしが 70.8%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数	主な介護者(MA)				
			(配偶者 ・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫
全体	今回調査	102	40.2	14.7	25.5	8.8	3.9
	前回調査	56	44.6	△ 25.0	26.8	8.9	5.4
性・年齢	男性 前期高齢者	10	50.0	-	30.0	-	-
	後期高齢者	26	△ 53.8	19.2	19.2	3.8	-
	女性 前期高齢者	8	△ 62.5	-	▼ 12.5	-	12.5
	後期高齢者	58	▼ 29.3	17.2	29.3	13.8	5.2
圏域	市街地	35	37.1	5.7	31.4	5.7	5.7
	中山間部	35	37.1	20.0	25.7	△ 20.0	2.9
	山間部	32	46.9	18.8	18.8	-	3.1
状況認定	一般高齢者	50	△ 54.0	16.0	22.0	8.0	4.0
	要支援1・2	52	▼ 26.9	13.5	28.8	9.6	3.8
家族構成	1人暮らし	24	-	20.8	20.8	12.5	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	30	△ 86.7	10.0	▼ 6.7	-	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	△ 100.0	-	△ 50.0	-	-
	息子・娘との2世帯	29	▼ 27.6	17.2	△ 58.6	6.9	13.8
	その他	14	▼ 28.6	14.3	-	△ 21.4	-

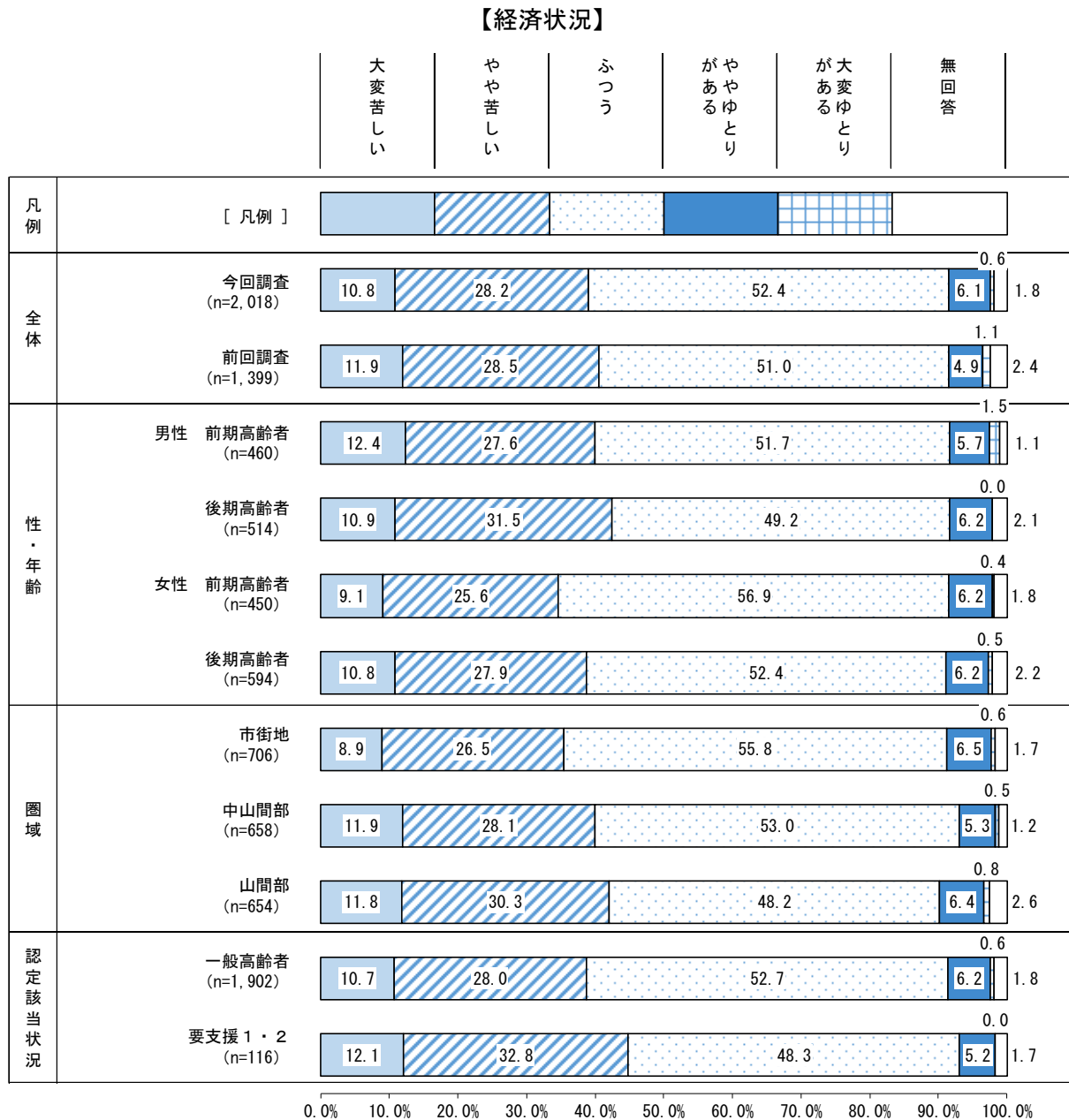
単位：%

		母数	主な介護者(MA)			
			兄弟・ 姉妹	の介 護サ ーバ ー ビ ス	そ の 他	無 回 答
全体	今回調査	102	2.0	29.4	22.5	2.9
	前回調査	56	1.8	▼ 17.9	▼ 12.5	1.8
性・年齢	男性 前期高齢者	10	-	▼ 10.0	△ 40.0	-
	後期高齢者	26	-	23.1	15.4	-
	女性 前期高齢者	8	-	25.0	-	-
	後期高齢者	58	3.4	36.2	25.9	5.2
圏域	市街地	35	2.9	34.3	22.9	-
	中山間部	35	-	25.7	28.6	2.9
	山間部	32	3.1	28.1	15.6	6.3
状況認定	一般高齢者	50	2.0	▼ 10.0	20.0	4.0
	要支援1・2	52	1.9	△ 48.1	25.0	1.9
家族構成	1人暮らし	24	-	△ 70.8	29.2	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	30	-	26.7	▼ 10.0	6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	29	3.4	▼ 6.9	▼ 6.9	3.4
	その他	14	7.1	▼ 14.3	△ 71.4	-

### ③ 経済状況

●問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

**【全体】**  
 ○ 経済状況について、「ふつう」が52.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が28.2%、「大変苦しい」が10.8%となっています。「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”は39.0%となっています。



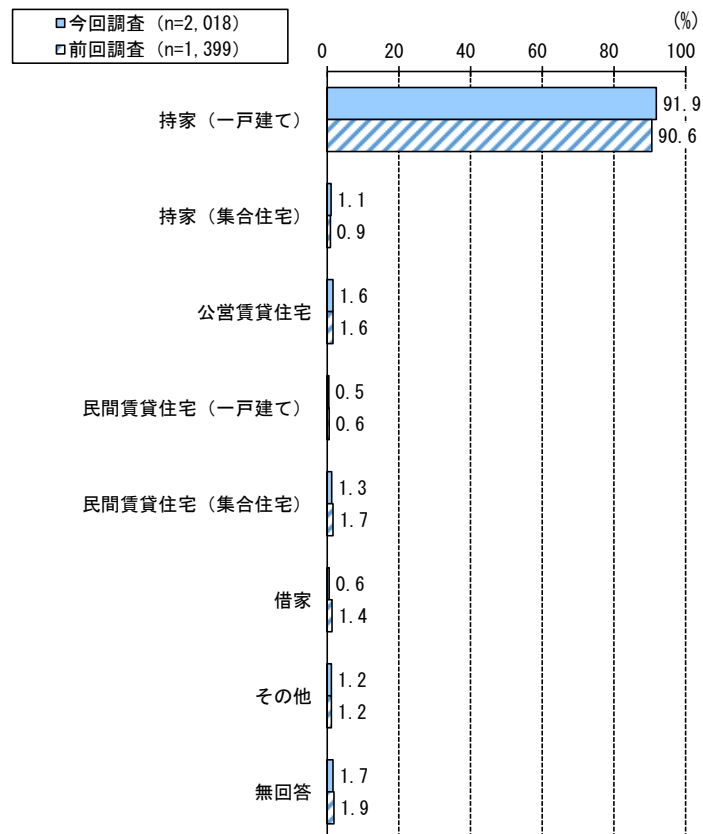
#### ④ 住まいの状況

●問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

**【全体】**  
 ○ 今回調査では、「持家（一戸建て）」が 91.9%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が 1.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.3%となっています。

**【家族構成】**  
 ○ 「持家（一戸建て）」は 1人暮らしが 82.2%、その他が 86.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

#### 【現在の住まい】



単位：%

		母数	現在の住まい							
			（持家 一戸建て）	（持家 集合住宅）	公営 賃貸住宅	（民間 賃貸住宅 一戸建て）	（民間 賃貸住宅 集合住宅）	借家	その他	無回答
全体	今回調査	2,018	91.9	1.1	1.6	0.5	1.3	0.6	1.2	1.7
	前回調査	1,399	90.6	0.9	1.6	0.6	1.7	1.4	1.2	1.9
性・年齢	男性 前期高齢者	460	92.2	1.7	0.9	0.4	2.6	0.4	0.9	0.9
	後期高齢者	514	93.4	0.6	1.6	0.4	1.0	0.8	0.6	1.8
	女性 前期高齢者	450	91.1	1.3	2.0	0.7	0.9	0.9	1.1	2.0
	後期高齢者	594	90.9	0.8	2.0	0.5	0.8	0.5	2.2	2.2
圏域	市街地	706	89.0	2.7	1.8	0.6	2.4	0.7	1.0	1.8
	中山間部	658	91.6	0.3	2.9	0.6	1.4	0.6	1.2	1.4
	山間部	654	95.3	0.2	0.2	0.3	-	0.6	1.5	2.0
状況認定	一般高齢者	1,902	92.4	1.0	1.5	0.5	1.3	0.6	1.0	1.7
	要支援1・2	116	83.6	2.6	3.4	0.9	0.9	1.7	5.2	1.7
家族構成	1人暮らし	332	82.2	1.8	3.3	0.3	5.1	2.1	2.7	2.4
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	884	95.9	0.9	1.2	0.3	0.5	0.2	0.1	0.8
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	97	94.8	1.0	3.1	-	1.0	-	-	-
	息子・娘との2世帯	550	93.1	1.1	1.3	1.1	0.5	0.5	0.9	1.5
	その他	136	86.0	0.7	0.7	-	0.7	0.7	7.4	3.7

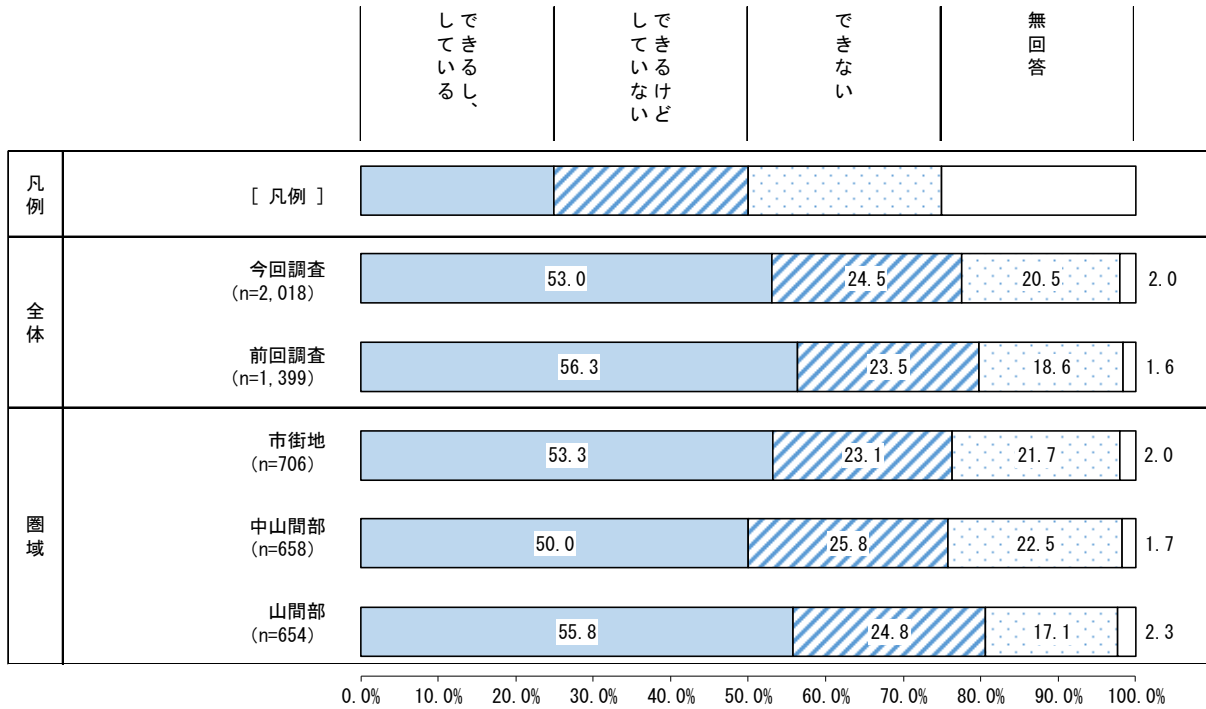
### 3. からだを動かすことについて

#### (1) 運動・転倒の状況

●問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

**【全体】**  
 ○ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が53.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が24.5%、「できない」が20.5%となっています。

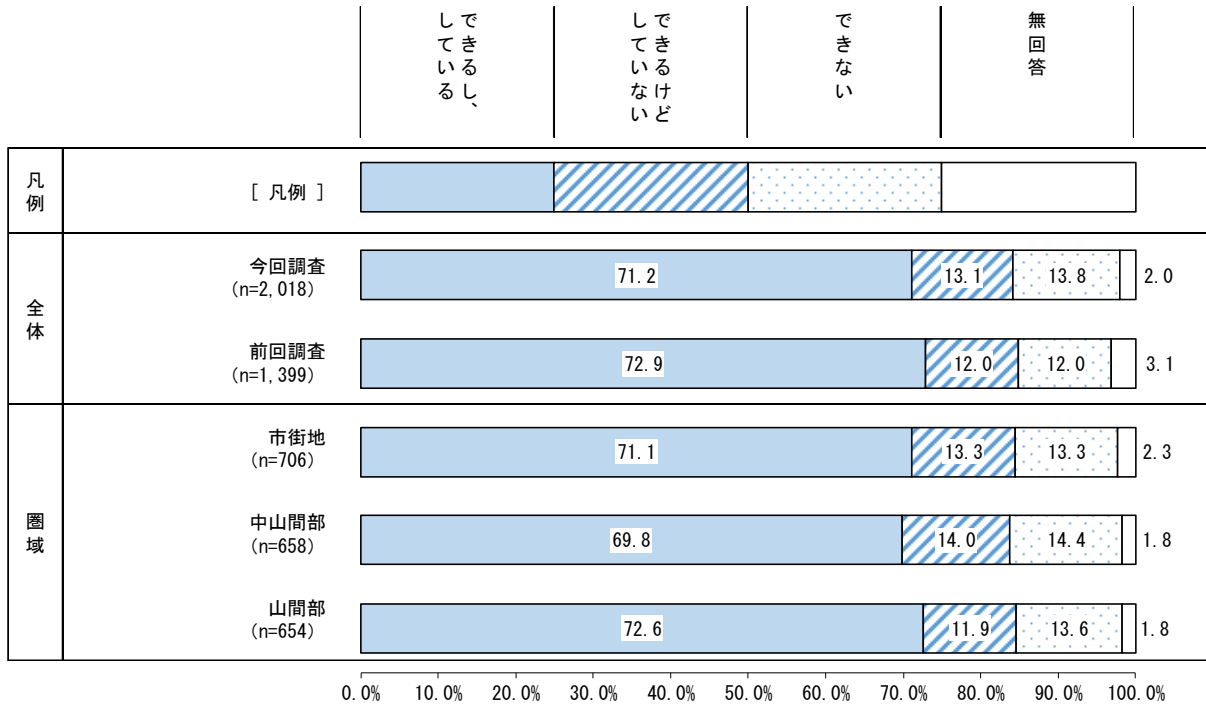
**【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】**



●問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

**【全体】**  
 ○ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについて、「できるし、している」が 71.2%で最も多く、次いで「できない」が 13.8%、「できるけどしていない」が 13.1%となっています。

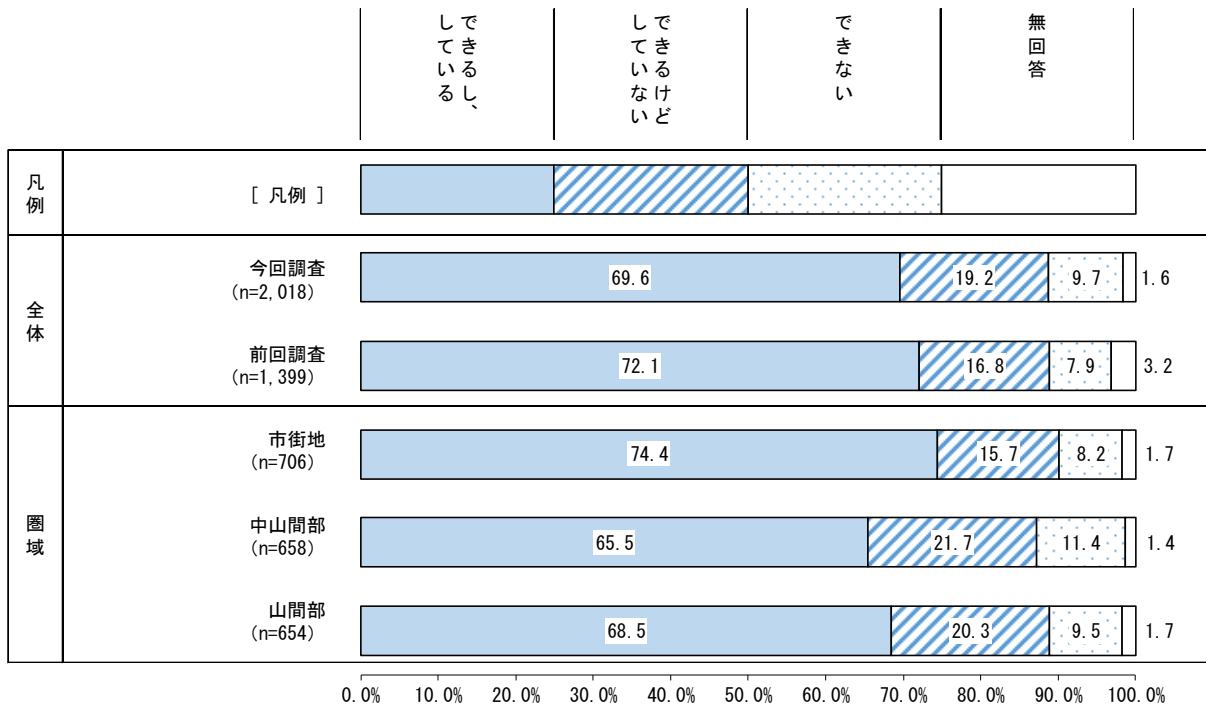
**【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】**



●問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

- 【全体】**  
 ○ 15分位続けて歩いているかについて、「できるし、している」が69.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.2%、「できない」が9.7%となっています。
- 【圏域】**  
 ○ 「できるし、している」は市街地が74.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

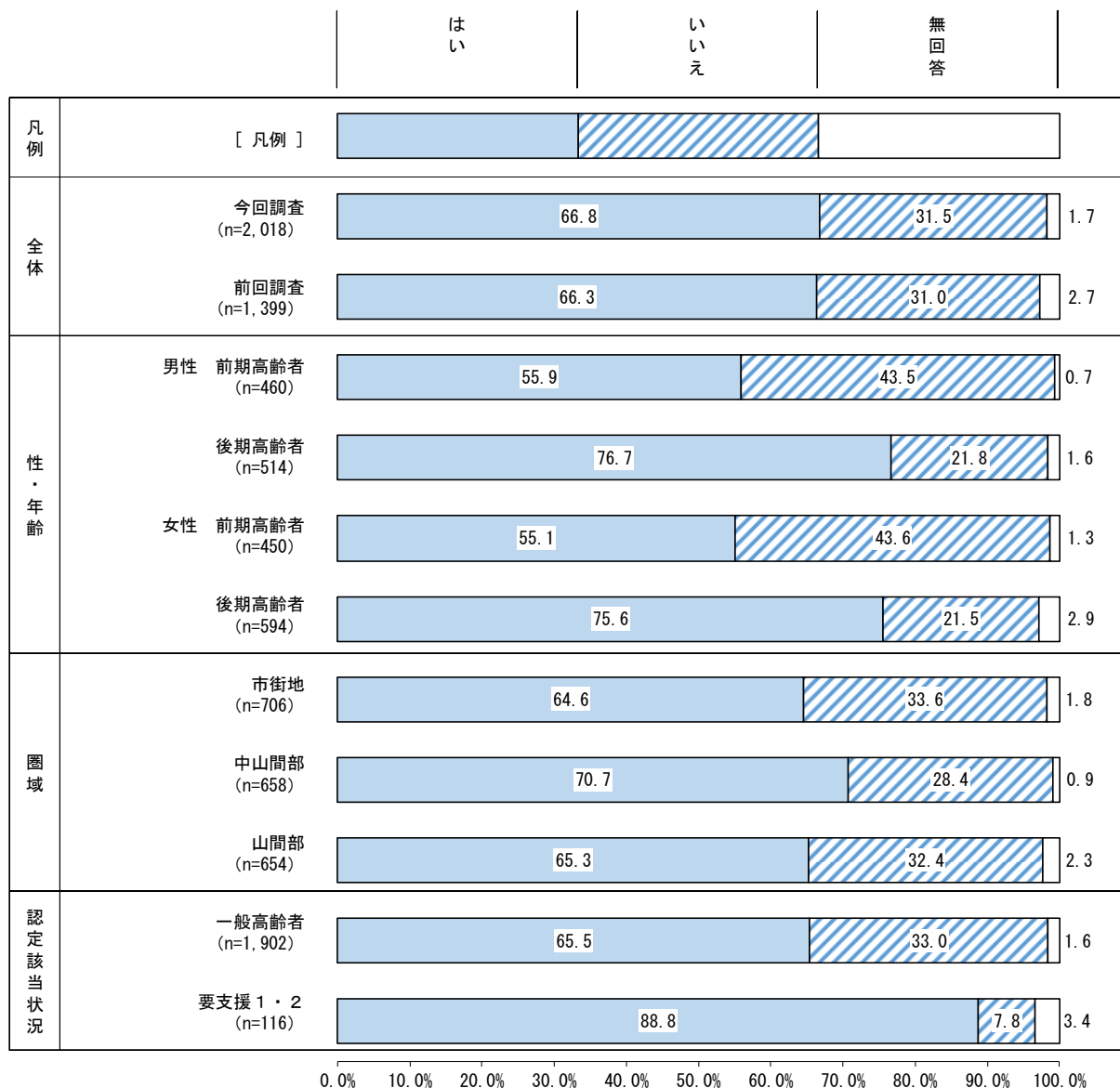
【15分位続けて歩いているか】



●問2 (4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

- 【全体】**  
 ○ 歩く速度が遅くなってきたかについて、「はい」が66.8%、「いいえ」が31.5%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
- 【圏域】**  
 ○ 「はい」は中山間部が70.7%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が88.8%と一般高齢者の65.5%に比べて多くなっています。

【歩く速度が遅くなってきたか】

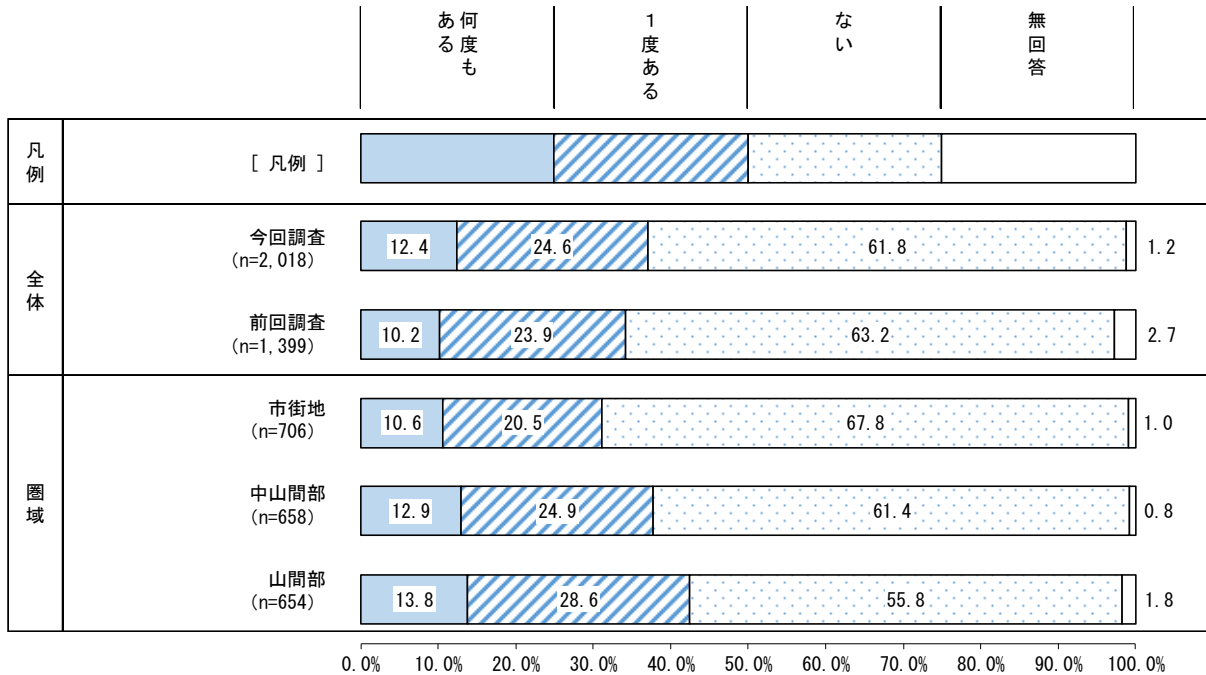


●問2 (5) 過去1年間に転んだ経験がありますか

**【全体】**  
 ○ 過去1年間に転んだ経験について、「ない」が61.8%で最も多く、次いで「1度ある」が24.6%、「何度もある」が12.4%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 「ない」は、市街地が67.8%、中山間部が61.4%、山間部が55.8%と順に少なくなっています。

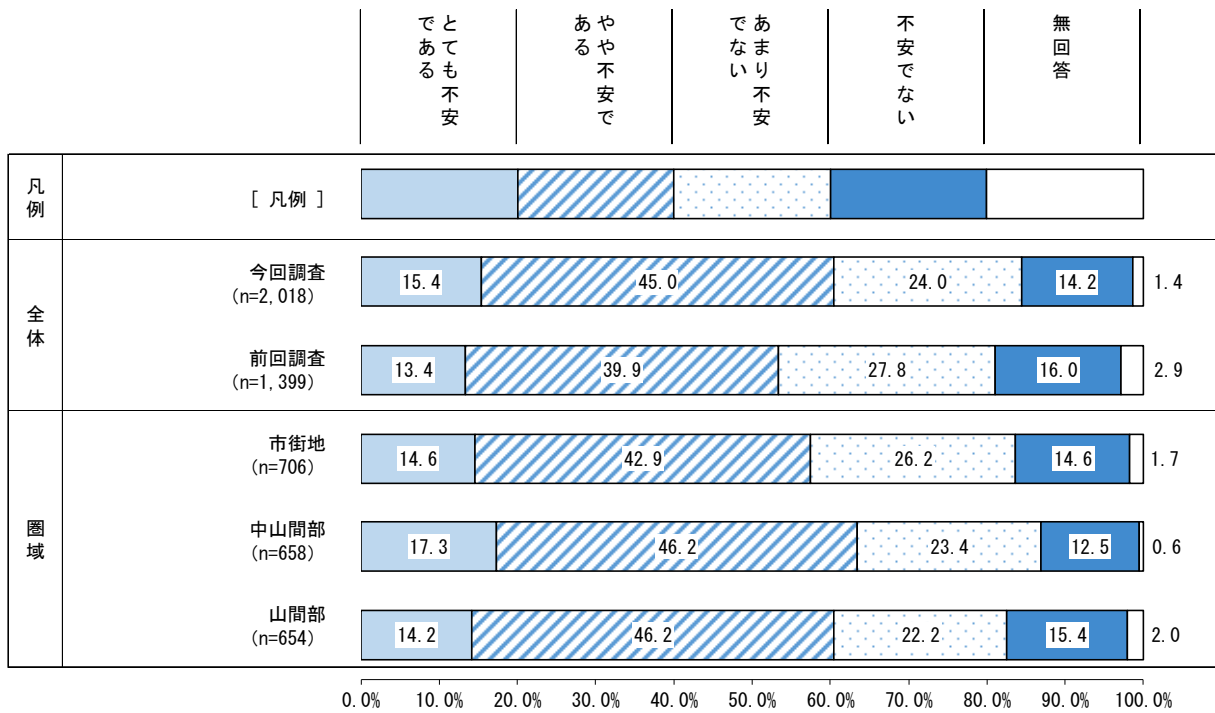
【過去1年間に転んだ経験】



●問2 (6) 転倒に対する不安は大きいですか

**【全体】**  
 ○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が45.0%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が24.0%、「とても不安である」が15.4%となっています。  
 ○ 「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は60.4%と前回調査の53.3%に比べて多くなっています。

**【転倒に対する不安】**



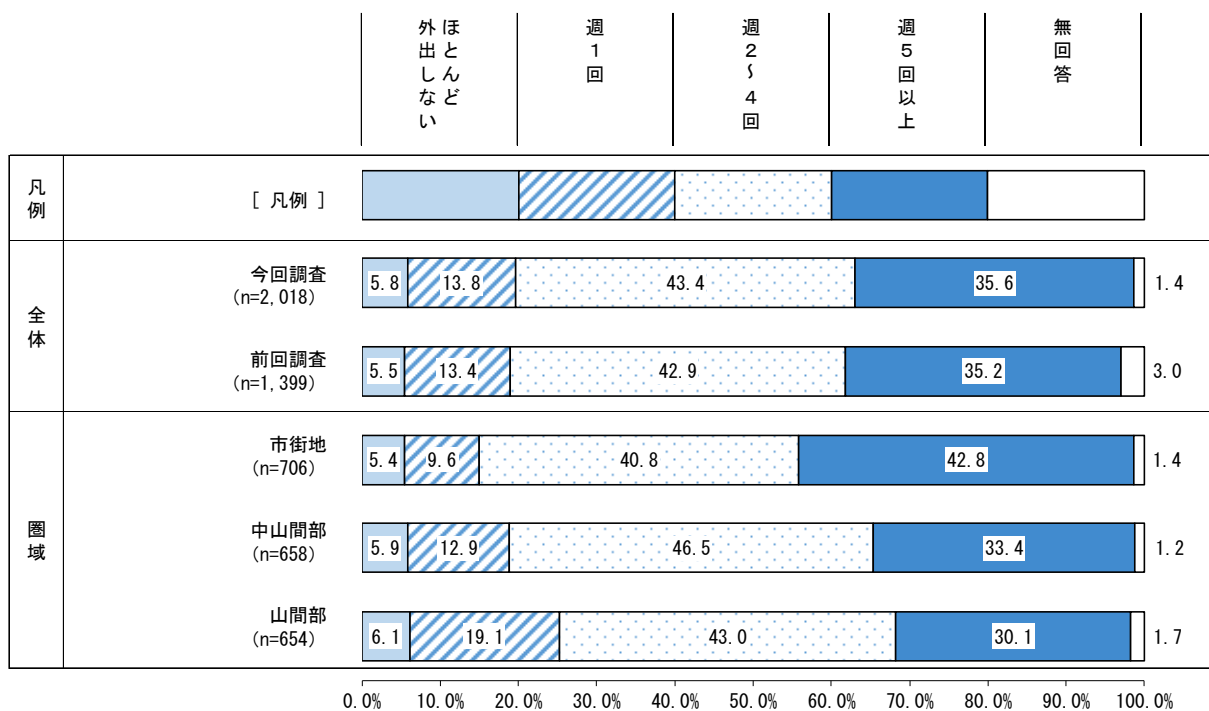
## (2) 外出の状況

### ① 外出の頻度

●問2 (7) 週に1回以上は外出していますか

<b>【全体】</b>
○ 外出頻度について、「週2～4回」が43.4%で最も多く、次いで「週5回以上」が35.6%、「週1回」が13.8%となっています。
<b>【圏域】</b>
○ 「週5回以上」は市街地が42.8%と他の圏域に比べて多くなっています。

【外出頻度】



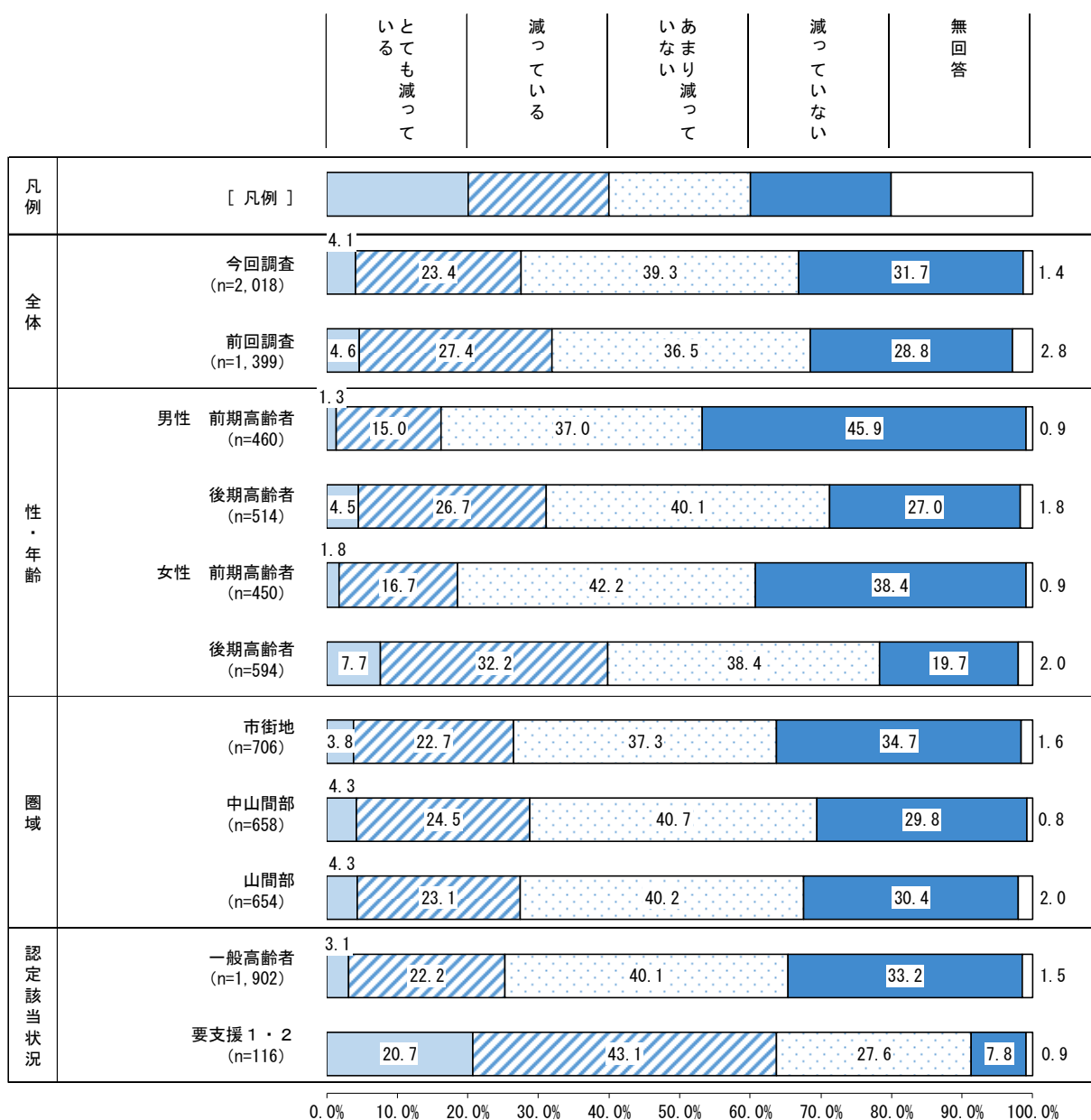
●問2 (8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

**【全体】**  
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が 39.3%で最も多く、次いで「減っていない」が 31.7%、「減っている」が 23.4%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は 27.5%となっています。  
 ○ “減っている”は 4.5 ポイント少なくなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「減っている」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ “減っている”は、要支援 1・2 が 63.8%と一般高齢者の 25.3%に比べて多くなっています。

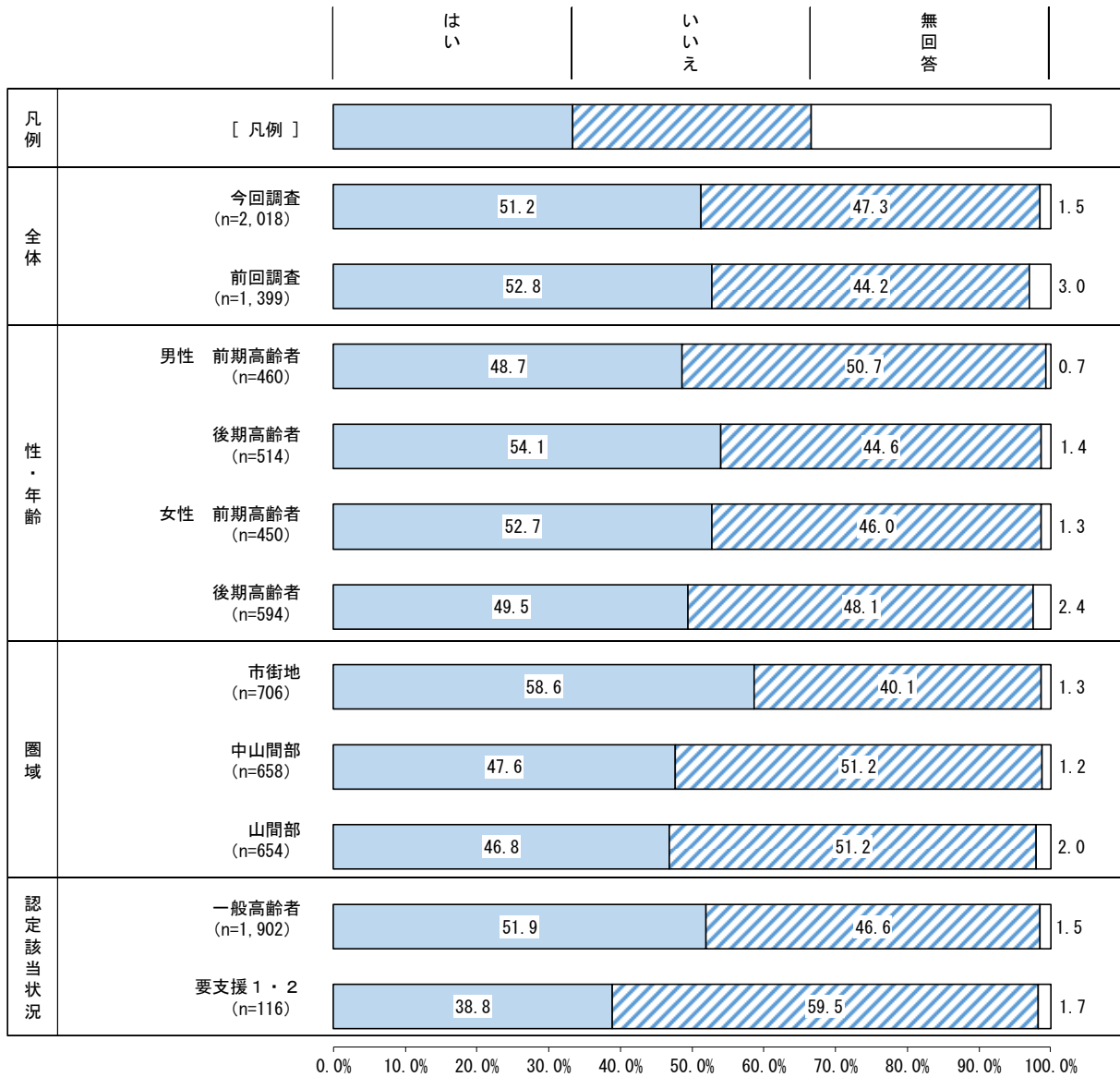
【昨年と比べて外出の回数】



●問2 (9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

**【全体】**  
 ○ 週に1回以上の運動について、「はい」が51.2%、「いいえ」が47.3%となっています。  
**【圏域】**  
 ○ 「はい」は市街地が58.6%と他の圏域に比べて多くなっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「いいえ」は要支援1・2が59.5%と一般高齢者の46.6%に比べて多くなっています。

**【週に1回以上の運動】**

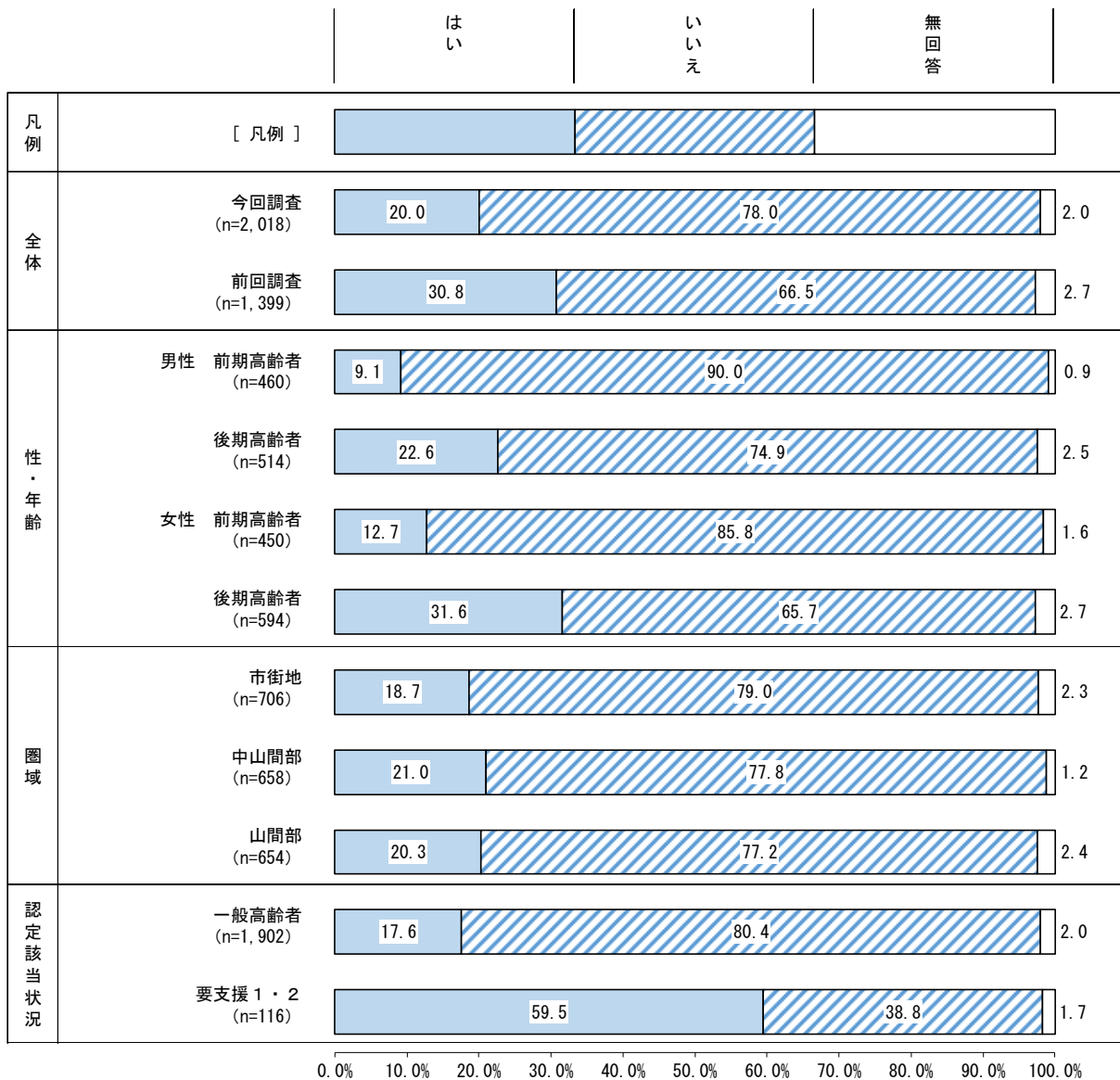


## ② 外出を控えているか

●問2 (10) 外出を控えていますか

<b>【全体】</b>
○ 外出を控えているかについて、「はい」が20.0%、「いいえ」が78.0%となっています。
○ 「はい」は前回調査の30.8%に比べて少なくなっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「はい」は要支援1・2が59.5%と一般高齢者の17.6%に比べて多くなっています。

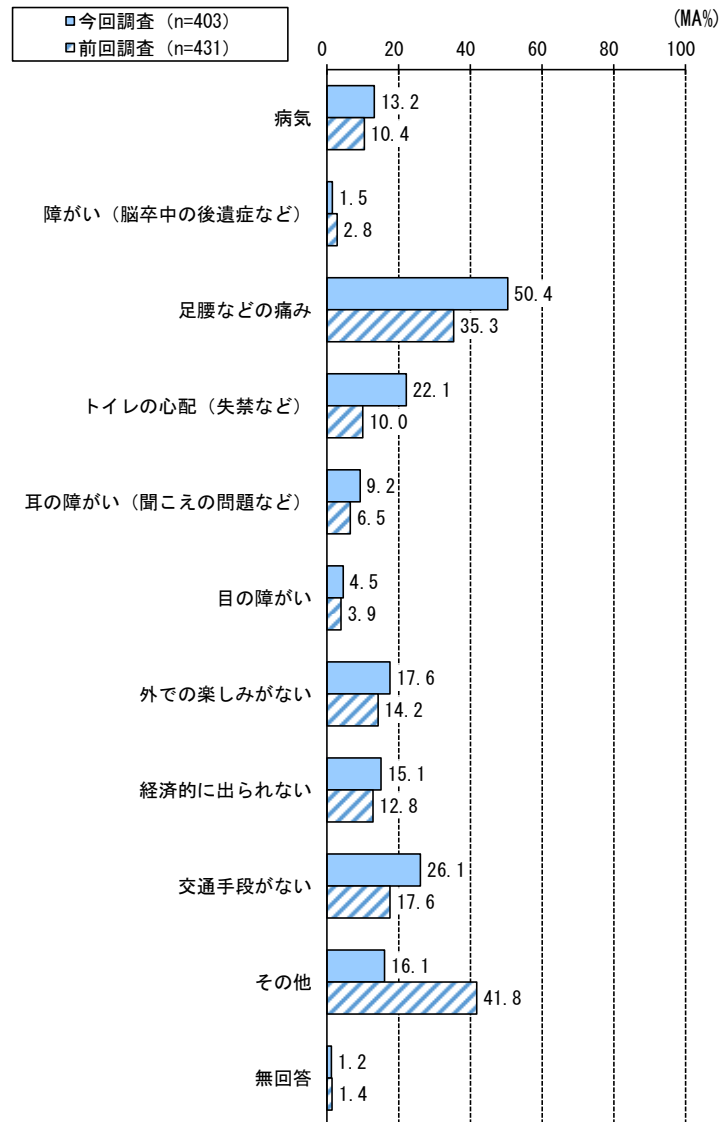
【外出を控えているか】



- 問2 (10) -1 【(10) で「1. はい」(外出を控えている) と回答の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

- 【全体】**
- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が50.4%で最も多く、次いで「交通手段がない」が26.1%、「トイレの心配 (失禁など)」が22.1%となっています。
  - 「足腰などの痛み」は今回調査が50.4%と前回調査の35.3%に比べて多くなっています。
  - 「トイレの心配 (失禁など)」は今回調査が22.1%と前回調査の10.0%に比べて多くなっています。
  - 「交通手段がない」は今回調査が26.1%と前回調査の17.6%に比べて多くなっています。

**【外出を控えている理由(MA)】**



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「病気」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」「耳の障がい（聞こえの問題など）」「交通手段がない」が多くなっています。
- 「外での楽しみがない」は女性 後期高齢者が 13.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「経済的に出られない」は男性 前期高齢者が 26.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「足腰などの痛み」は山間部が 44.4%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「外での楽しみがない」は中山間部が 12.3%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「足腰などの痛み」「耳の障がい（聞こえの問題など）」「交通手段がない」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：%

		母数	外出を控えている理由(MA)					
			病気	の障がい(脳卒中など)	足腰などの痛み	(トイシ禁の心配)	など(耳の障がい問題)	目の障がい
全体		403	13.2	1.5	50.4	22.1	9.2	4.5
全体	今回調査	403	13.2	1.5	50.4	22.1	9.2	4.5
	前回調査	431	10.4	2.8	▼ 35.3	▼ 10.0	6.5	3.9
性・年齢	男性 前期高齢者	42	19.0	2.4	40.5	19.0	2.4	-
	後期高齢者	116	11.2	1.7	50.0	26.7	10.3	6.9
	女性 前期高齢者	57	17.5	3.5	47.4	22.8	1.8	1.8
	後期高齢者	188	11.7	0.5	53.7	19.7	12.2	4.8
圏域	市街地	132	12.1	3.0	53.8	23.5	9.1	4.5
	中山間部	138	15.2	0.7	52.9	19.6	8.7	3.6
	山間部	133	12.0	0.8	44.4	23.3	9.8	5.3
状況認定	一般高齢者	334	13.8	1.8	47.9	21.9	7.2	3.9
	要支援1・2	69	10.1	-	△ 62.3	23.2	18.8	7.2

単位：%

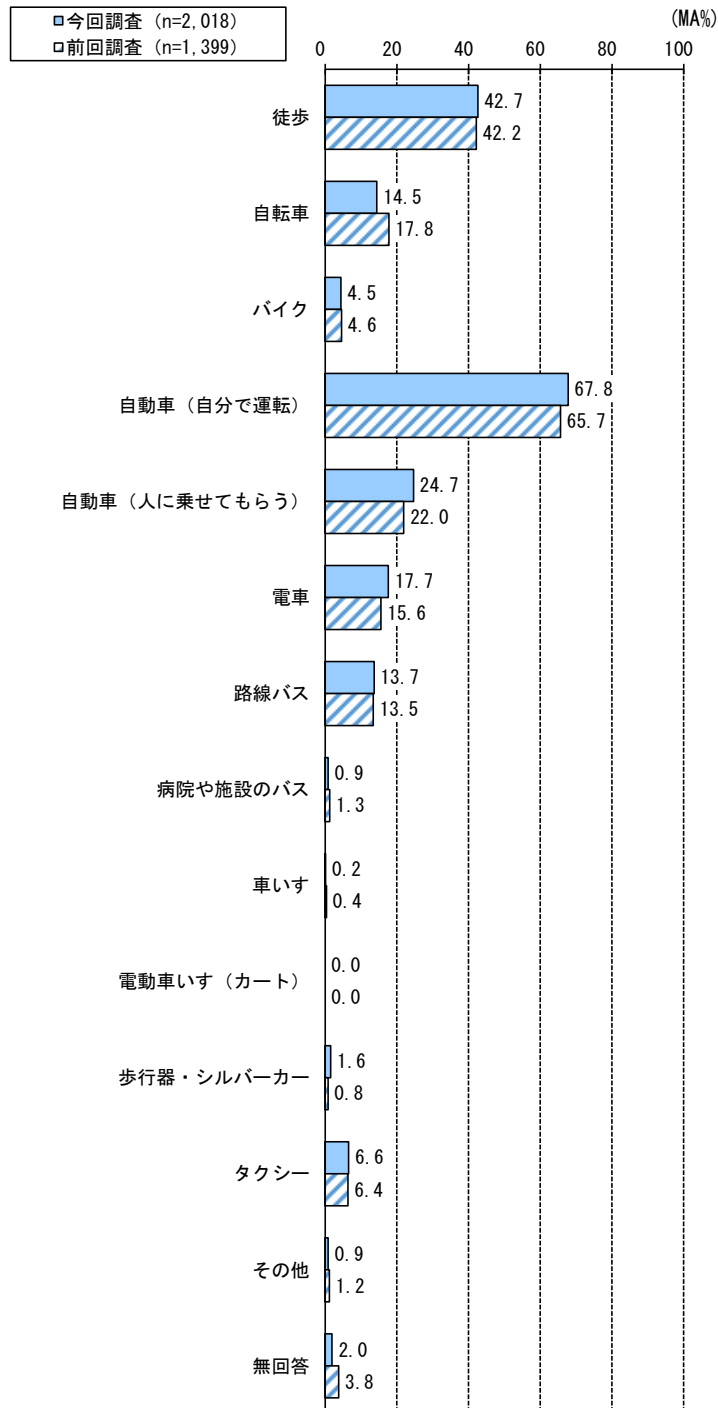
		母数	外出を控えている理由(MA)				
			外での楽しみがない	な経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		403	17.6	15.1	26.1	16.1	1.2
全体	今回調査	403	17.6	15.1	26.1	16.1	1.2
	前回調査	431	14.2	12.8	17.6	△ 41.8	1.4
性・年齢	男性 前期高齢者	42	21.4	△ 26.2	▼ 11.9	16.7	2.4
	後期高齢者	116	20.7	16.4	23.3	12.1	2.6
	女性 前期高齢者	57	22.8	14.0	▼ 12.3	17.5	-
	後期高齢者	188	13.3	12.2	35.1	18.1	0.5
圏域	市街地	132	19.7	9.8	22.7	15.2	2.3
	中山間部	138	12.3	16.7	29.0	18.1	1.4
	山間部	133	21.1	18.8	26.3	15.0	-
状況認定	一般高齢者	334	17.7	16.5	23.4	15.3	1.2
	要支援1・2	69	17.4	8.7	△ 39.1	20.3	1.4

### ③ 外出の際の移動手段

●問2 (11) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 67.8%で最も多く、次いで「徒歩」が 42.7%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 24.7%となっています。

**【外出する際の移動手段(MA)】**



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自動車（自分で運転）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「電車」が多くなっています。
- 「タクシー」は女性 後期高齢者が 13.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「徒歩」は市街地が 61.8%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自動車（自分で運転）」は一般高齢者が 70.9%と要支援 1・2 の 17.2%に比べて多くなっています。
- 「自動車（人に乗せてもらう）」は要支援 1・2 が 55.2%と一般高齢者の 22.8%に比べて多くなっています。
- 「電車」は一般高齢者が 18.3%と要支援 1・2 の 7.8%に比べて多くなっています。
- 「タクシー」は要支援 1・2 が 27.6%と一般高齢者の 5.3%に比べて多くなっています。

単位：%

		母数	外出する際の移動手段(MA)						路線バス
			徒歩	自転車	バイク	(自動車 自分で 運転)	(自動車 人に乗 せて)	電車	
全体	今回調査	2,018	42.7	14.5	4.5	67.8	24.7	17.7	13.7
	前回調査	1,399	42.2	17.8	4.6	65.7	22.0	15.6	13.5
性・年齢	男性 前期高齢者	460	42.4	18.7	8.0	△ 88.9	▼ 7.2	20.9	11.7
	後期高齢者	514	46.1	13.6	3.9	76.8	15.2	13.2	11.3
	女性 前期高齢者	450	44.4	14.9	3.6	73.8	28.2	24.2	13.8
	後期高齢者	594	38.7	11.6	3.0	▼ 39.1	△ 43.8	14.3	17.2
圏域	市街地	706	△ 61.8	22.4	5.1	59.5	24.6	26.3	17.0
	中山間部	658	36.3	14.6	5.3	68.8	26.7	16.4	12.9
	山間部	654	▼ 28.6	5.8	3.1	75.7	22.6	9.8	10.9
状況認定	一般高齢者	1,902	43.4	15.0	4.8	70.9	22.8	18.3	13.7
	要支援 1・2	116	▼ 31.9	6.0	-	▼ 17.2	△ 55.2	7.8	12.9

単位：%

		母数	外出する際の移動手段(MA)						無回答
			バス 院や 施設 の	車 い す	(電 動 車 い す ト)	シ 歩 ル 行 器 ・ カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	
全体	今回調査	2,018	0.9	0.2	0.0	1.6	6.6	0.9	2.0
	前回調査	1,399	1.3	0.4	-	0.8	6.4	1.2	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	460	-	-	-	0.2	2.2	0.2	1.7
	後期高齢者	514	1.0	0.4	0.2	0.6	5.1	0.6	1.8
	女性 前期高齢者	450	-	0.2	-	0.2	3.8	0.7	1.1
	後期高齢者	594	2.2	0.3	-	4.7	13.5	1.9	3.0
圏域	市街地	706	0.6	0.1	0.1	2.4	9.6	1.0	2.3
	中山間部	658	0.9	0.3	-	1.7	7.6	0.6	1.2
	山間部	654	1.2	0.3	-	0.8	2.3	1.1	2.4
状況認定	一般高齢者	1,902	0.4	0.2	-	0.7	5.3	0.8	1.7
	要支援 1・2	116	8.6	1.7	0.9	△ 17.2	△ 27.6	1.7	6.0

#### 4. 食べることについて

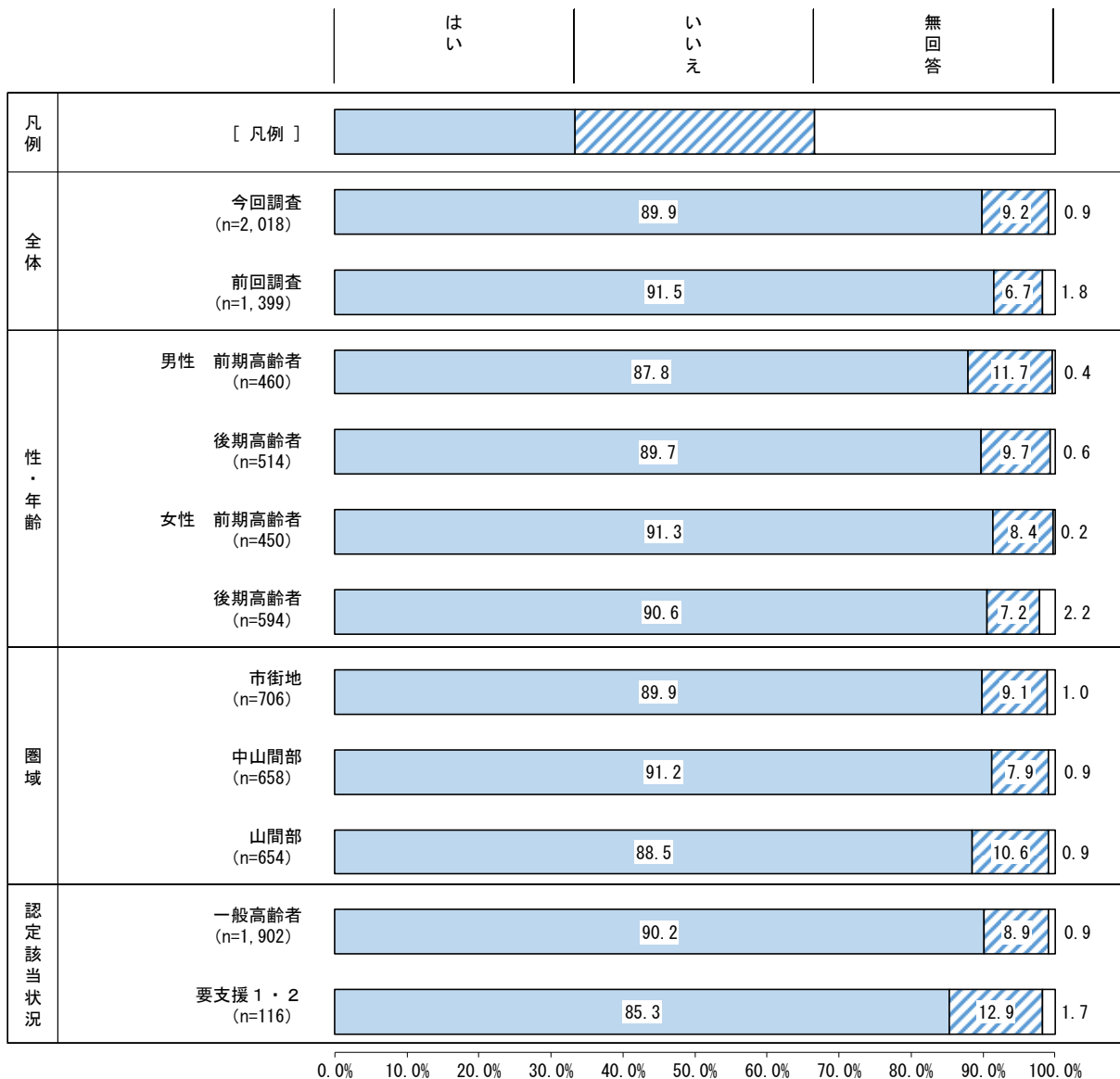
##### (1) 口腔

##### ① 口内の健康状態

●問3 (2) 1日3食きちんと食べていますか

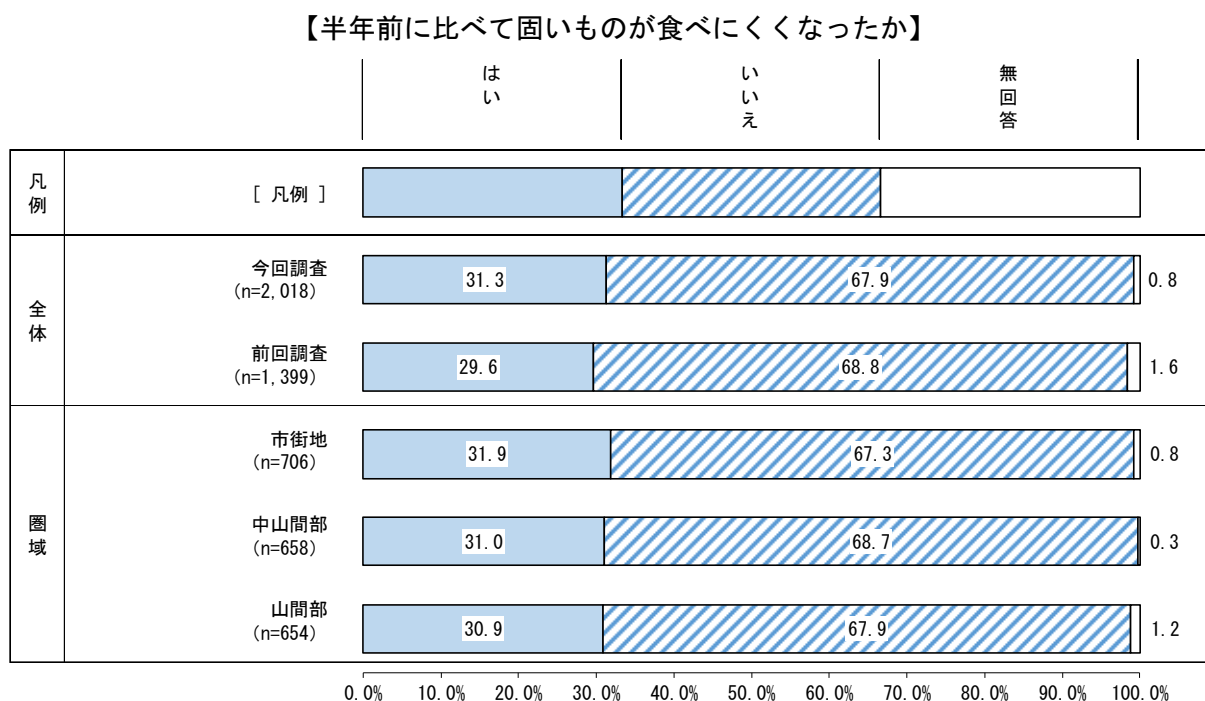
**【全体】**  
 ○ 1日3食食べているかについて、「はい」が89.9%、「いいえ」が9.2%となっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は、一般高齢者が90.2%、要支援1・2が85.3%となっています。

【1日3食食べているか】



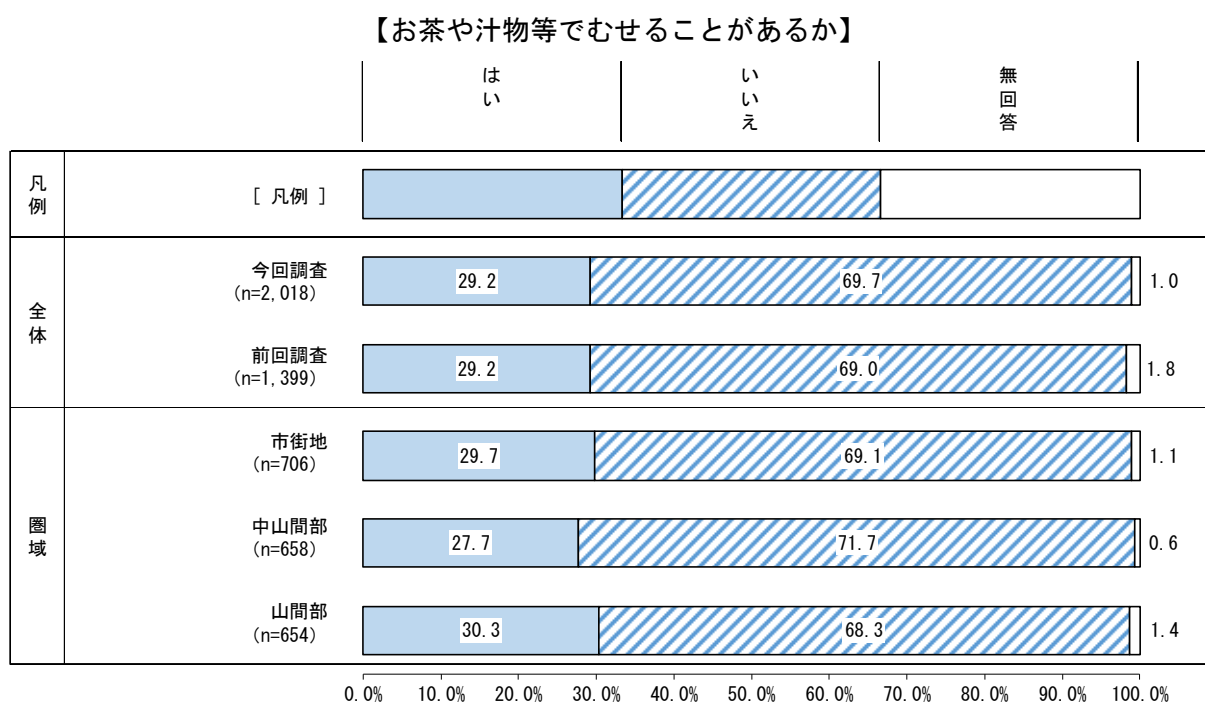
●問3 (3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

**【全体】**  
○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 31.3%、「いいえ」が 67.9%となっています。



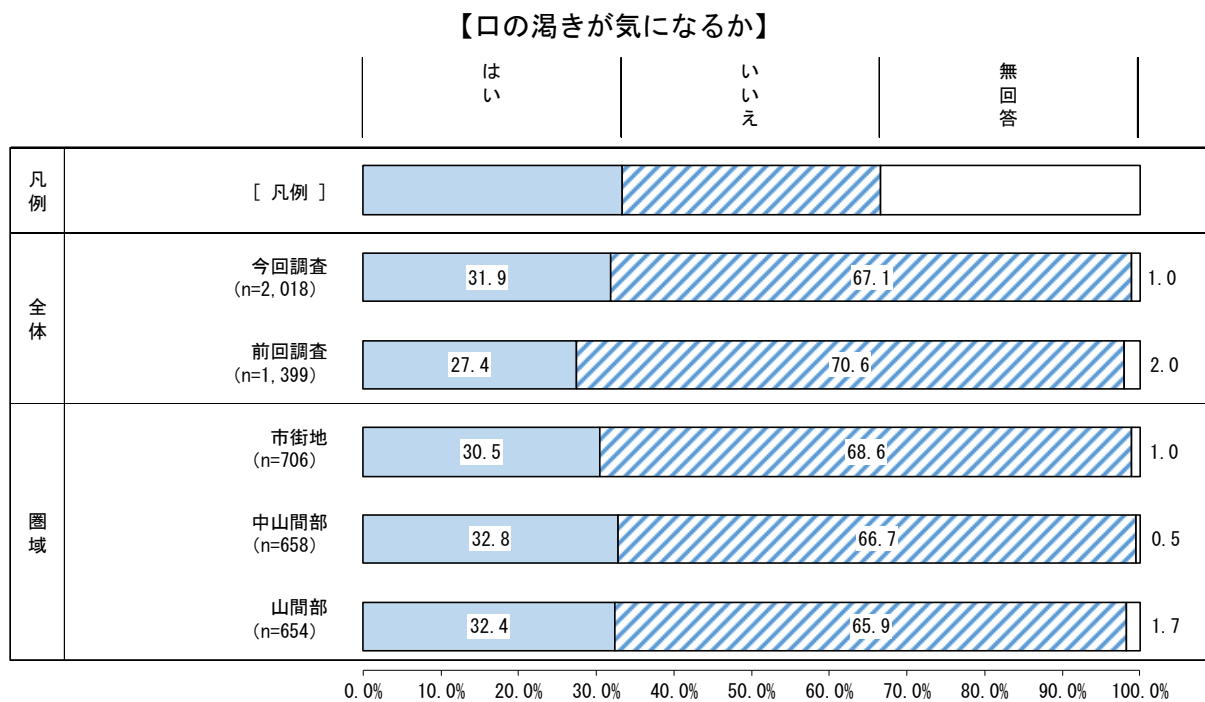
●問3 (4) お茶や汁物等でむせることがありますか

**【全体】**  
○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 29.2%、「いいえ」が 69.7%となっています。



●問3 (5) 口の渇きが気になりますか

**【全体】**  
 ○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が31.9%、「いいえ」が67.1%となっています。

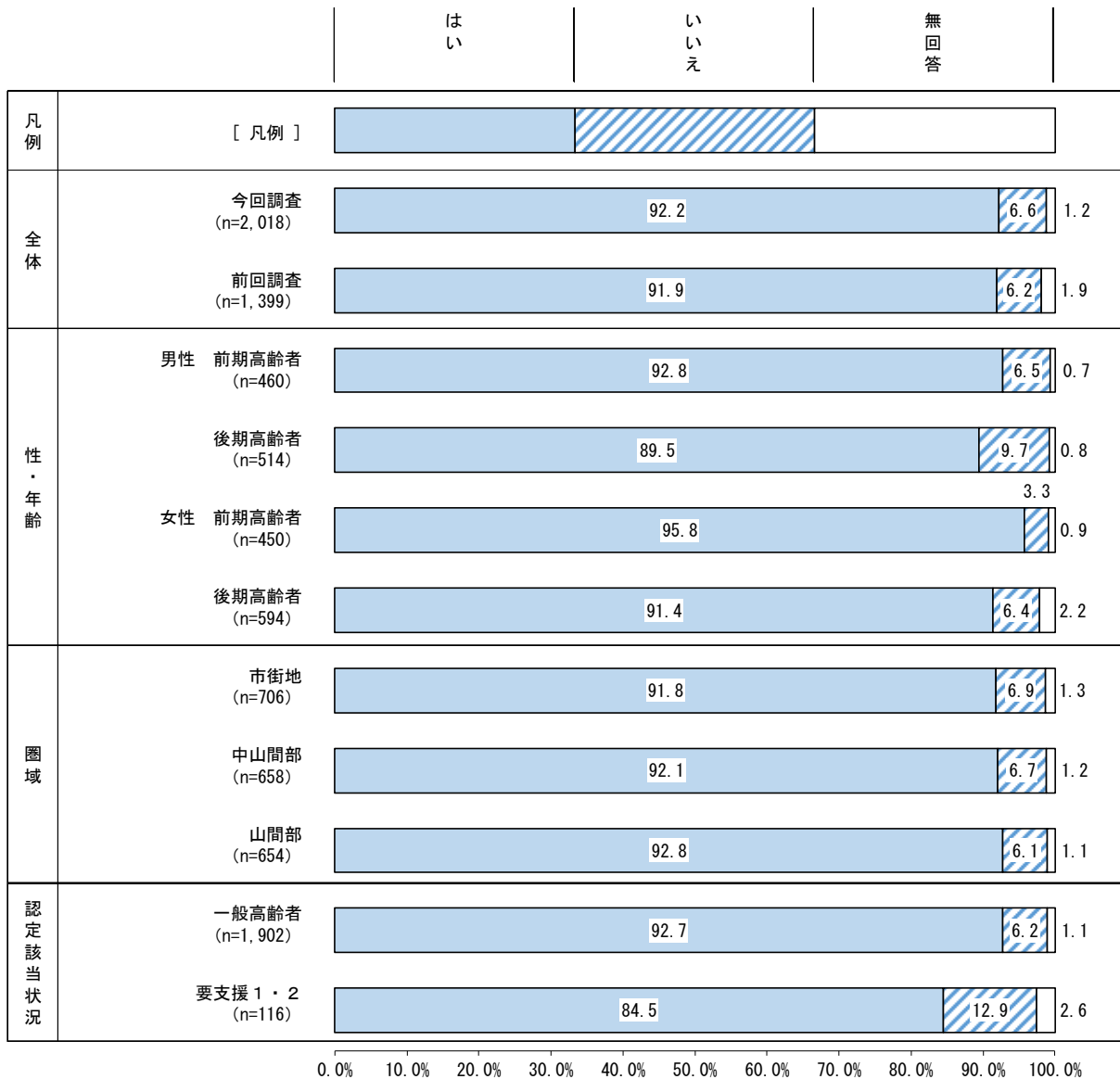


## ② 歯の状況

●問3 (6) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

**【全体】**  
 ○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 92.2%、「いいえ」が 6.6%となっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「いいえ」は要支援1・2が 12.9%と一般高齢者の 6.2%に比べて多くなっています。

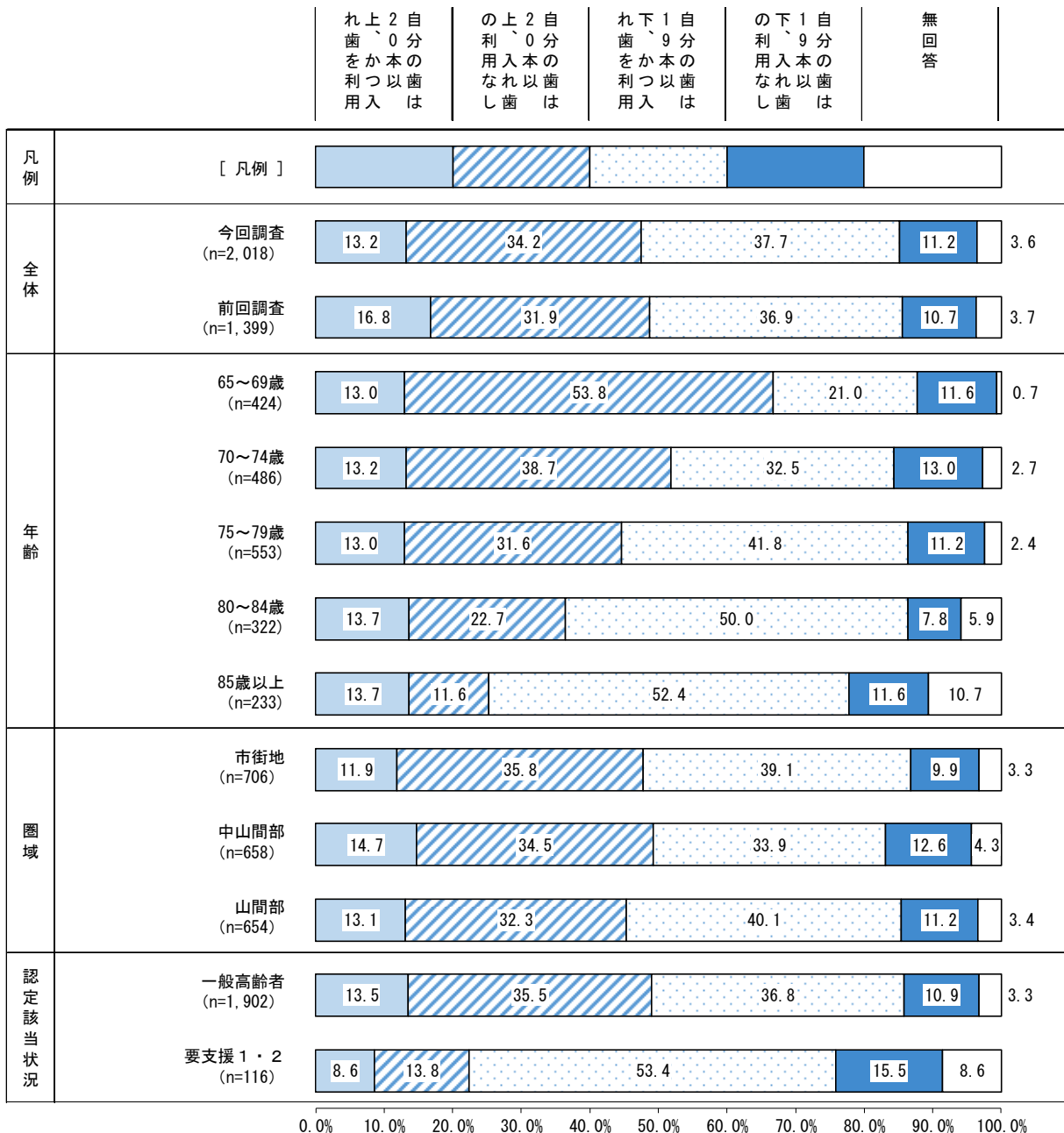
【歯磨きを毎日しているか】



●問3 (7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

- 【全体】**  
 ○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.7%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.2%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.2%となっています。
- 【年齢】**  
 ○ 年齢が高いほど「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が少なくなる傾向がみられます。  
 ○ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」を合わせた“自分の歯は 20 本以上”は 80～84 歳では 36.4%、85 歳以上では 25.3%となっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ “自分の歯は 20 本以上”は一般高齢者では 49.0%、要支援 1・2 では 22.4%となっています。

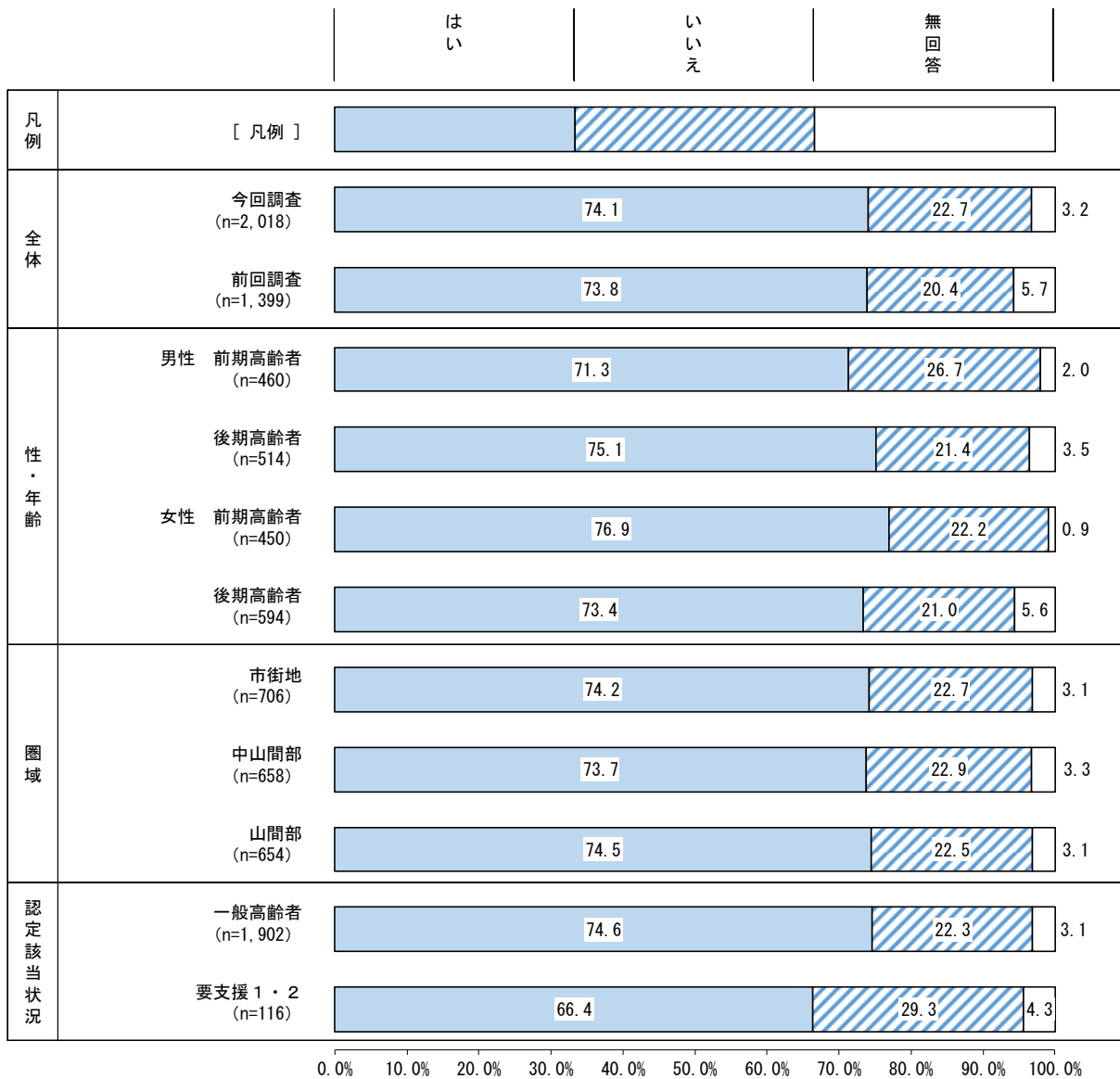
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問3 (7) -1 噛み合わせは良いですか

**【全体】**  
 ○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が74.1%、「いいえ」が22.7%となっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「いいえ」は要支援1・2が29.3%と一般高齢者の22.3%に比べて多くなっています。

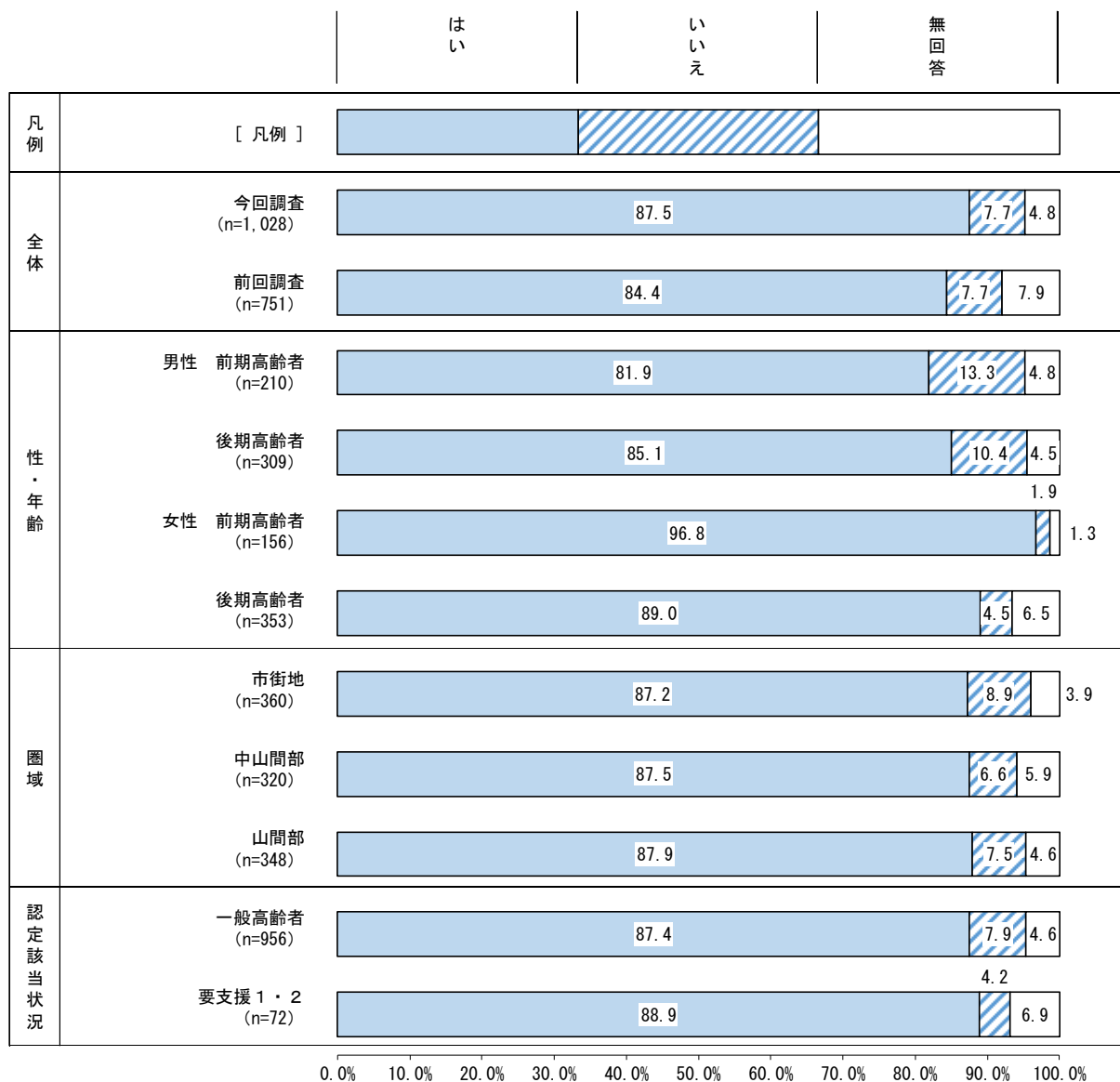
【噛み合わせは良いか】



- 問3 (7) -2 【(7) で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか

**【全体】**  
 ○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 87.5%、「いいえ」が 7.7%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



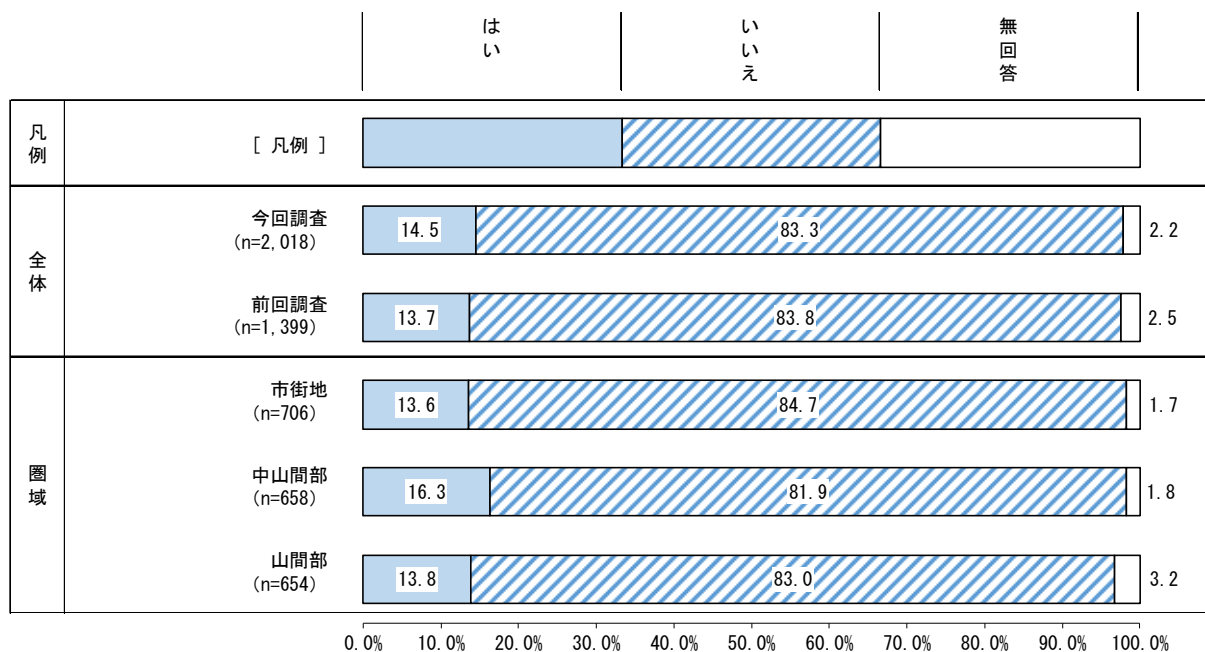
(2) 栄養

① 体重の状況

●問3 (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

**【全体】**  
 ○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が14.5%、「いいえ」が83.3%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】

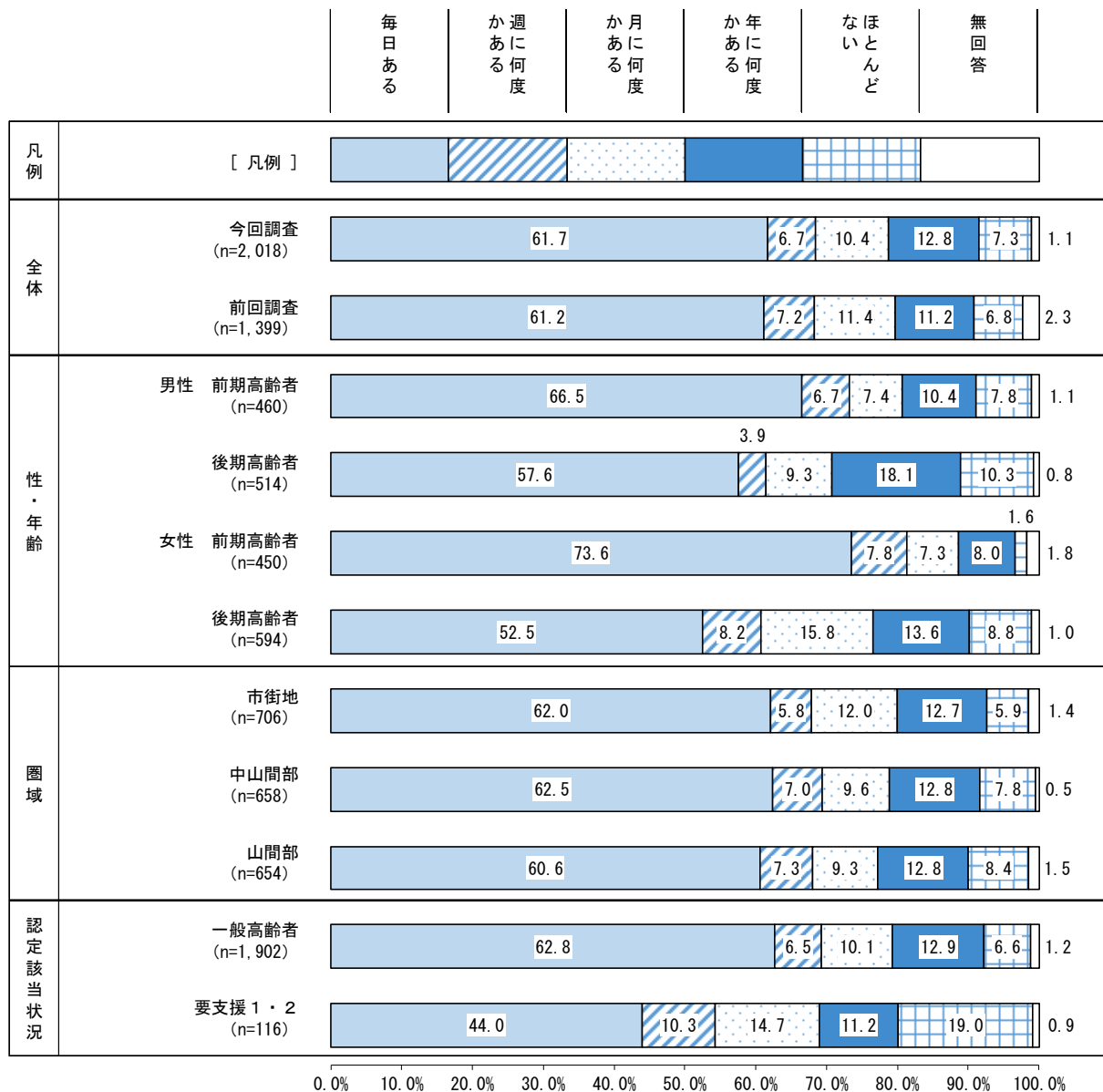


## ② 共食の有無

●問3 (9) どなたかと食事をともにする機会がありますか

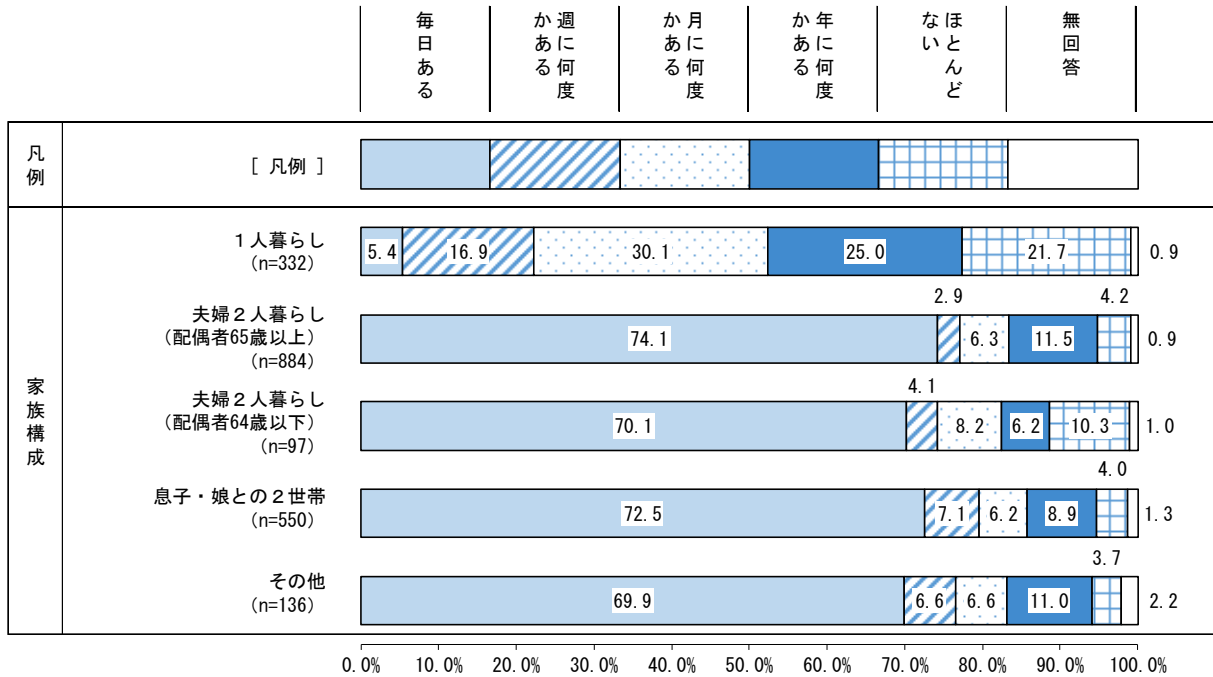
<b>【全体】</b>
○ 共食の有無について、「毎日ある」が61.7%で最も多く、次いで「年に何度かある」が12.8%、「月に何度かある」が10.4%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「毎日ある」が多くなっています。
○ 「ほとんどない」は女性 前期高齢者が1.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「ほとんどない」は要支援1・2が19.0%と一般高齢者の6.6%に比べて多くなっています。

【共食の有無】



**【家族構成】**

○ 1人暮らしでは、「毎日ある」が5.4%と他の区分に比べて少なく、「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」「ほとんどない」が他の区分に比べて多くなっています。

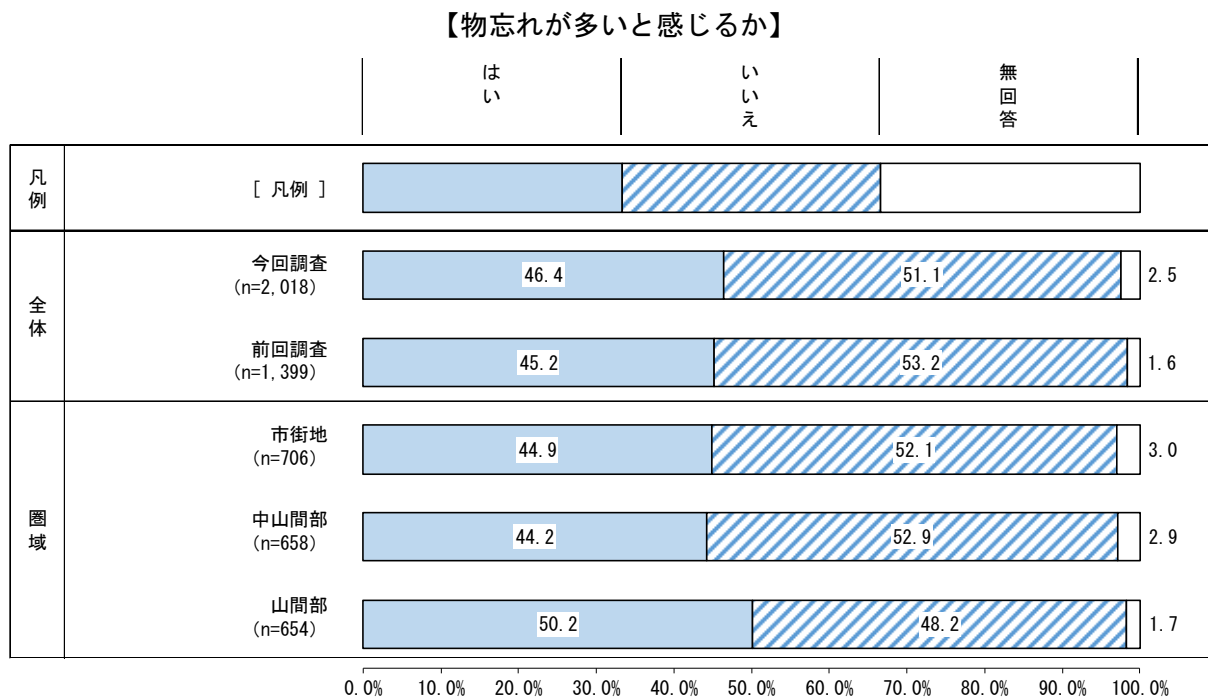


## 5. 毎日の生活について

### (1) 物忘れ

#### ●問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

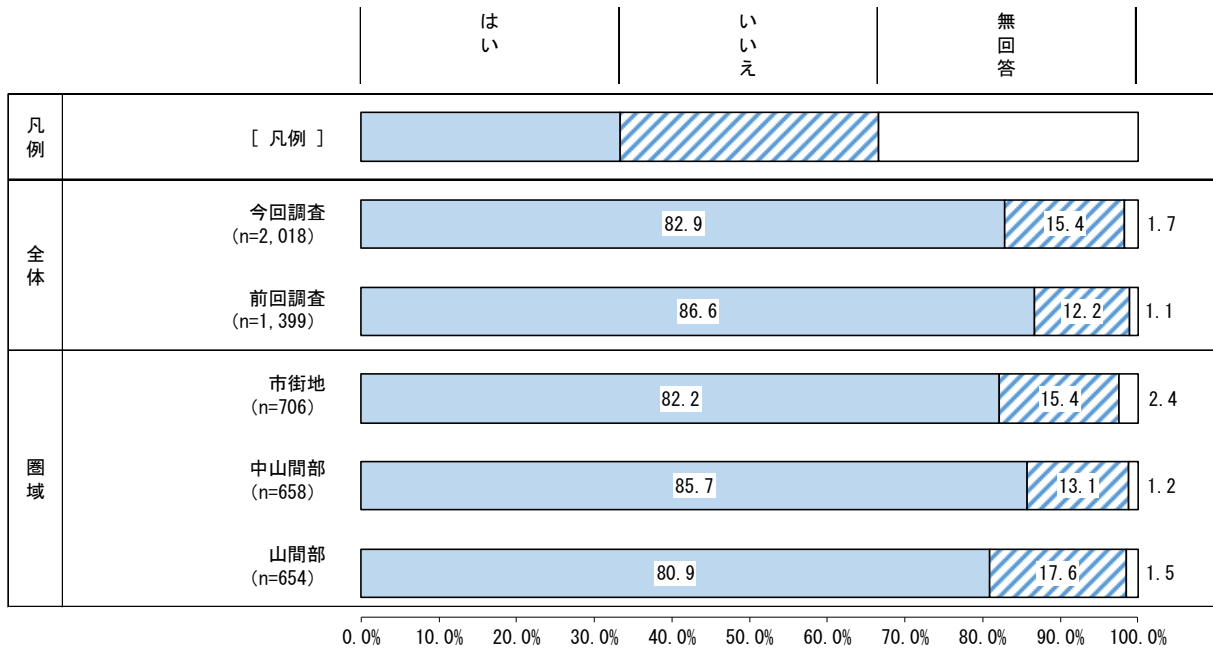
**【全体】**  
 ○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 46.4%、「いいえ」が 51.1%となっています。



●問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

**【全体】**  
 ○ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているについて、「はい」が 82.9%、「いいえ」が 15.4%となっています。

**【自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】**



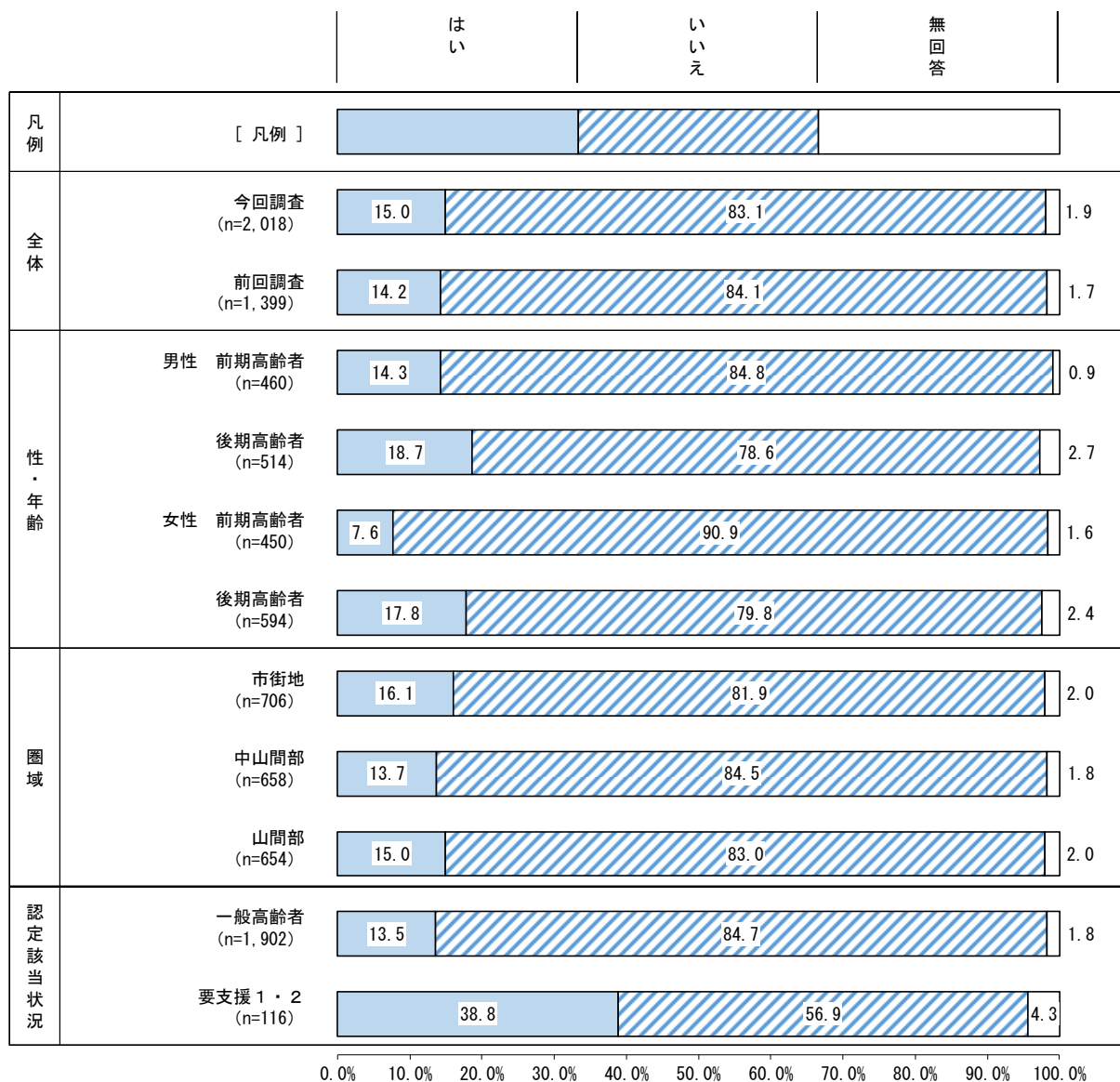
●問4 (3) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか

**【全体】**  
 ○ 物忘れがあるとされるかについて、「はい」が15.0%、「いいえ」が83.1%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が38.8%と一般高齢者の13.5%に比べて多くなっています。

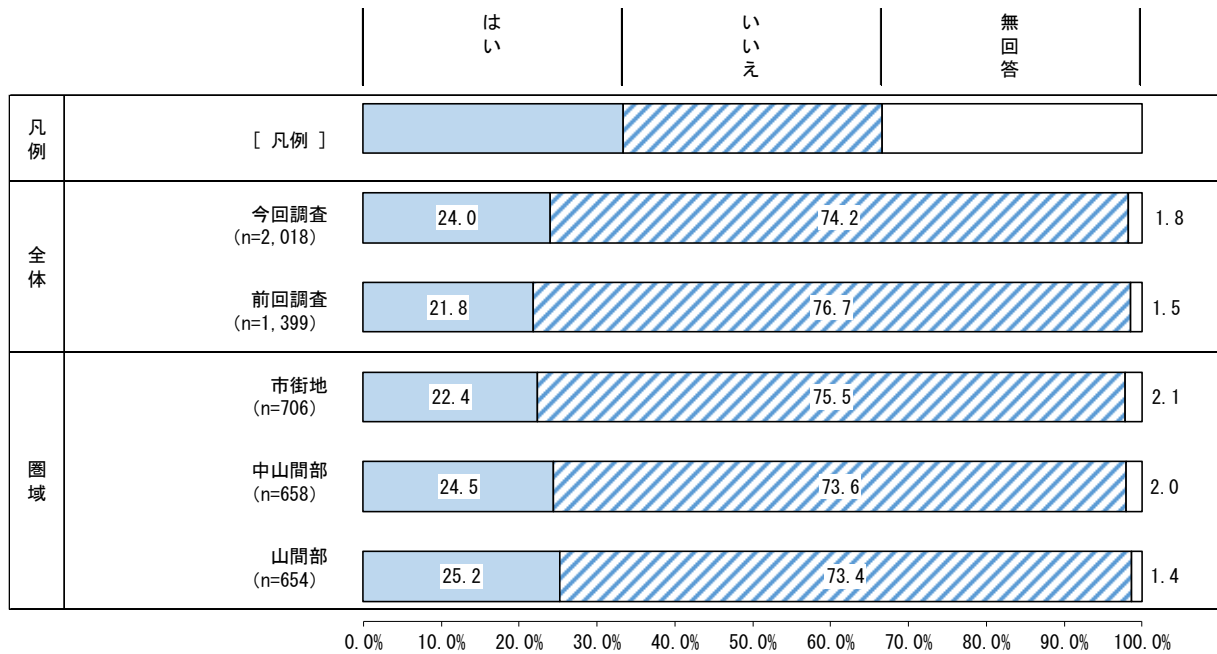
【物忘れがあるとされるか】



●問4 (4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

**【全体】**  
 ○ 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が24.0%、「いいえ」が74.2%となっています。

**【今日が何月何日かわからない時があるか】**

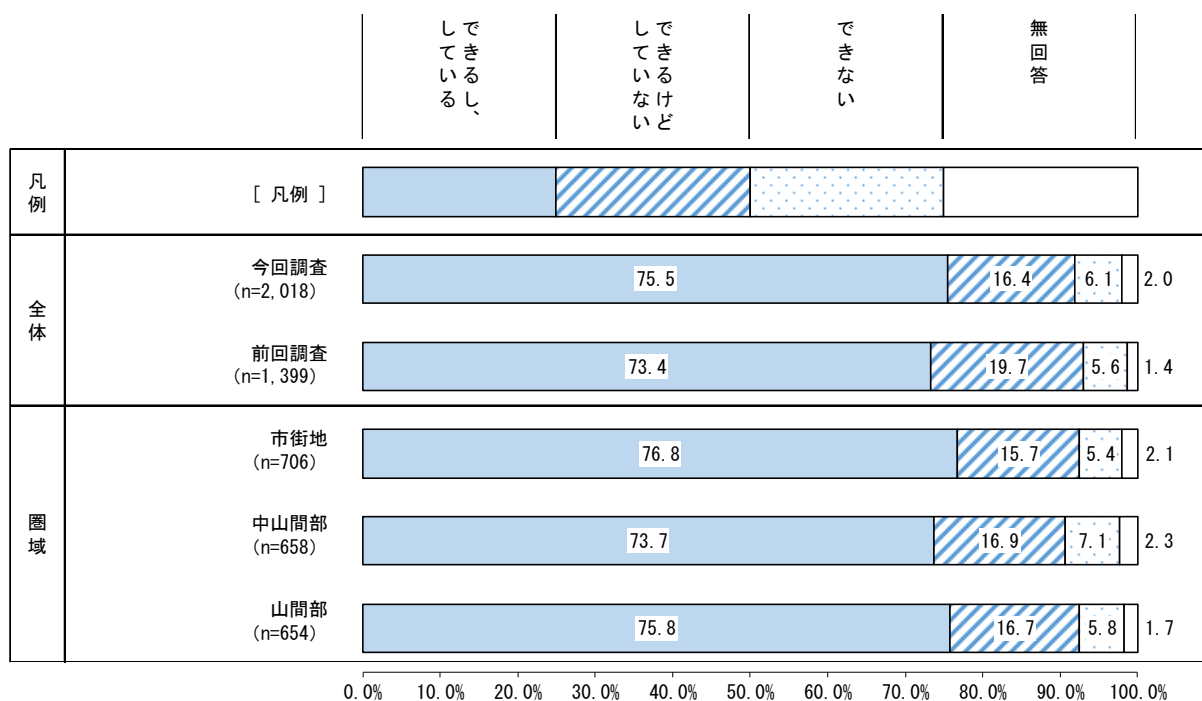


## (2) IADLの状況

### ●問4 (5) バスや電車を使って1人で外出していますか

**【全体】**  
 ○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が75.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.4%、「できない」が6.1%となっています。

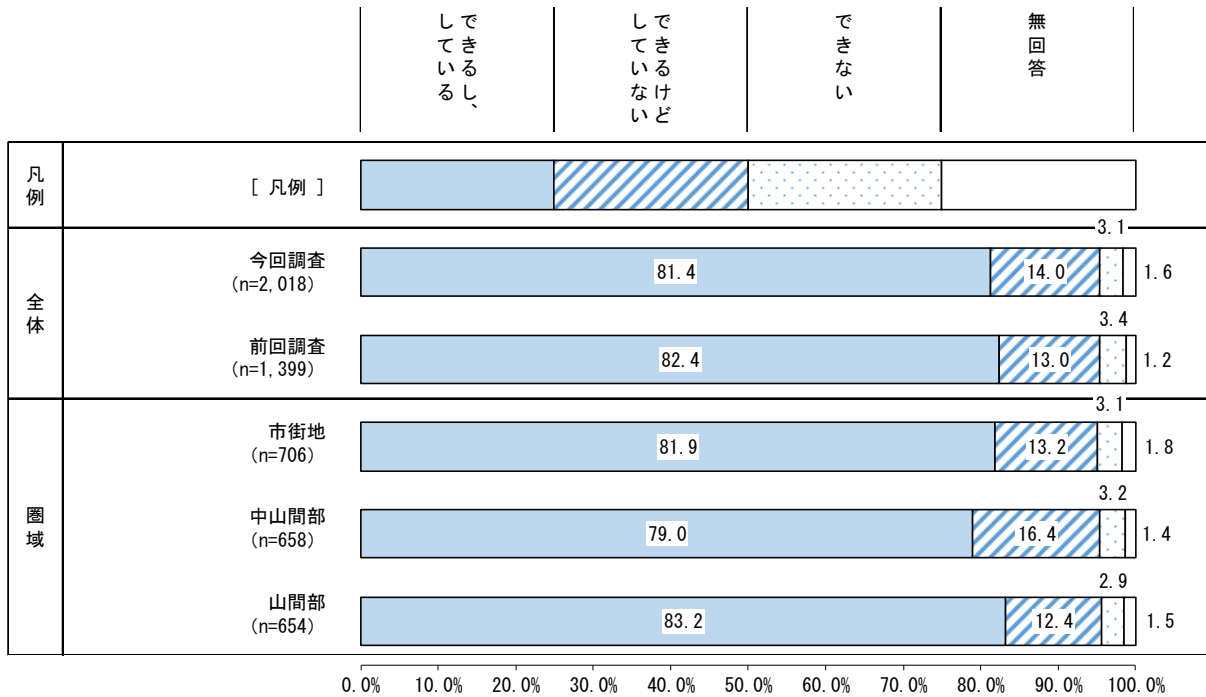
**【バスや電車を使った1人での外出】**



●問4 (6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

**【全体】**  
 ○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が81.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が3.1%となっています。

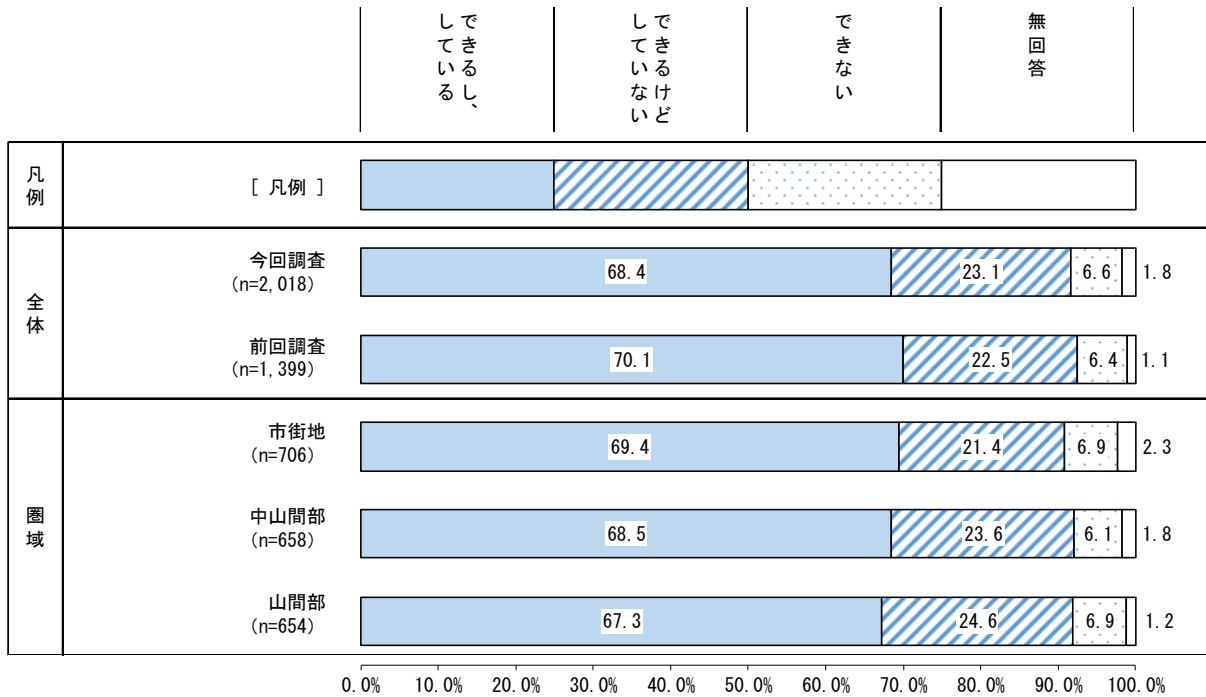
**【食品・日用品の買物】**



●問4 (7) 自分で食事の用意をしていますか

**【全体】**  
 ○ 食事の用意について、「できるし、している」が68.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が23.1%、「できない」が6.6%となっています。

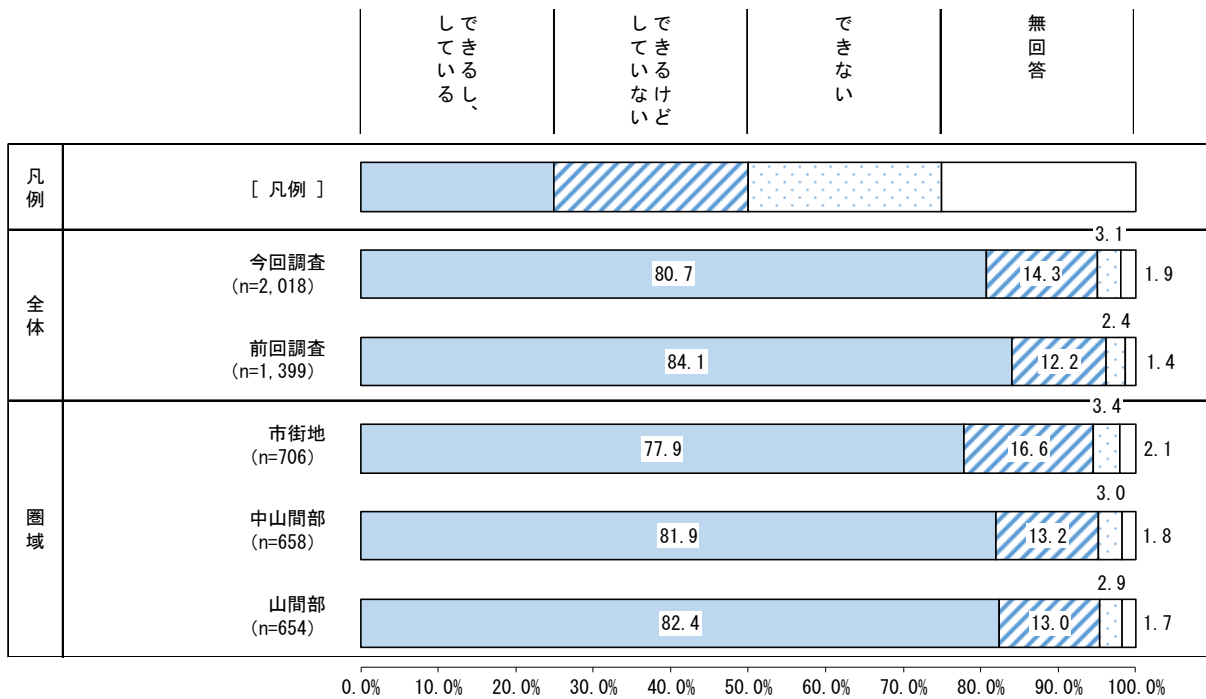
**【食事の用意】**



●問4 (8) 自分で請求書の支払いをしていますか

**【全体】**  
 ○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が3.1%となっています。

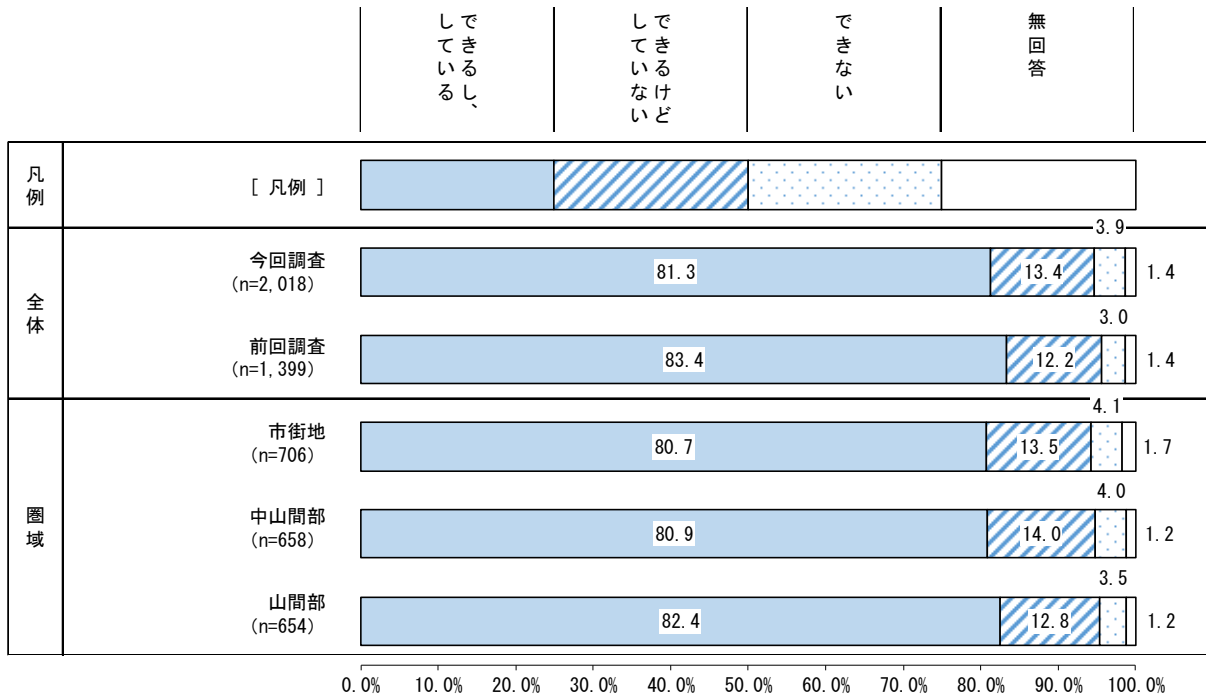
**【請求書の支払い】**



●問4 (9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

**【全体】**  
 ○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が81.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が3.9%となっています。

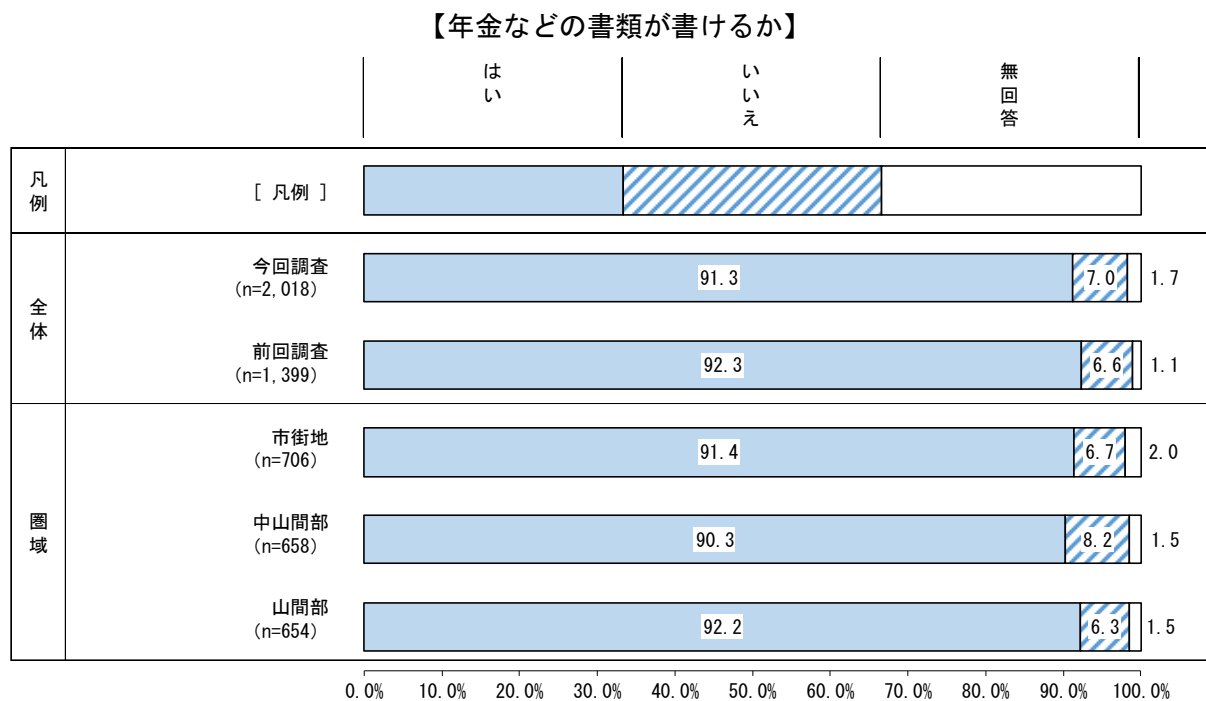
**【預貯金の出し入れ】**



### (3) 社会との関わり

●問4 (10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

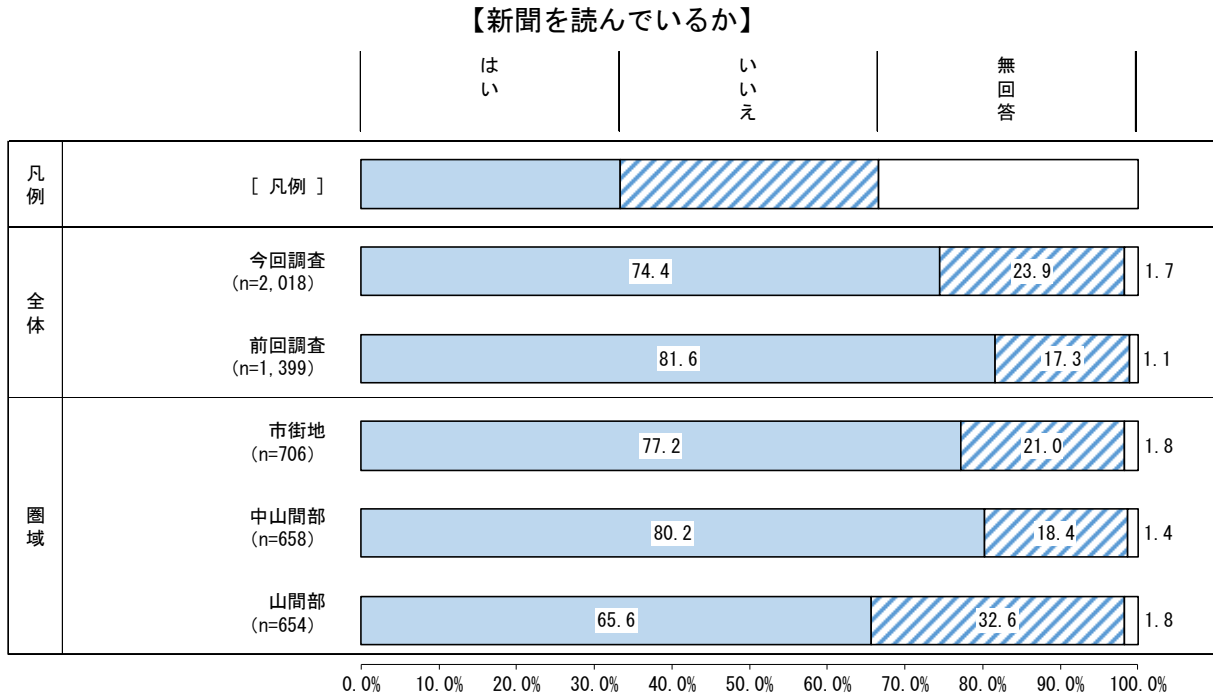
**【全体】**  
 ○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 7.0%となっています。



●問4 (11) 新聞を読んでいますか

**【全体】**  
 ○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が74.4%、「いいえ」が23.9%となっています。  
 ○ 「はい」は前回調査の81.6%に比べて少なくなっています。

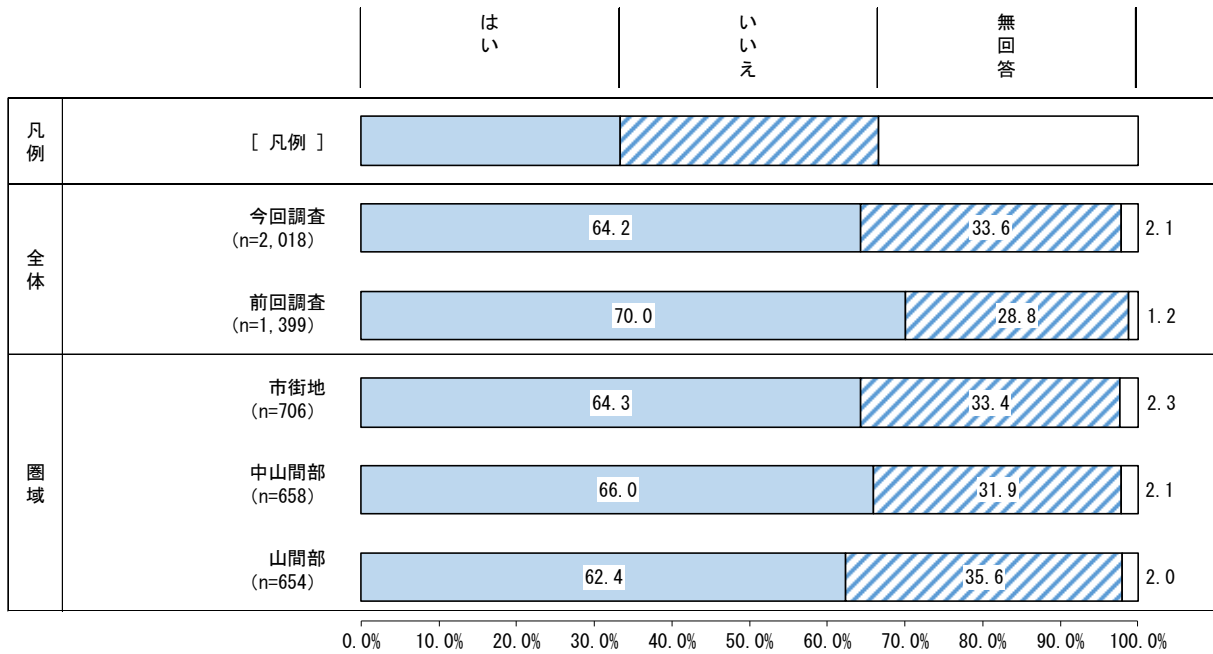
**【圏域】**  
 ○ 「はい」は山間部が65.6%と他の圏域に比べて少なくなっています。



●問4 (12) 本や雑誌を読んでいますか

**【全体】**  
 ○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 64.2%、「いいえ」が 33.6%となっています。  
 ○ 「はい」は前回調査の 70.0%に比べて少なくなっています。

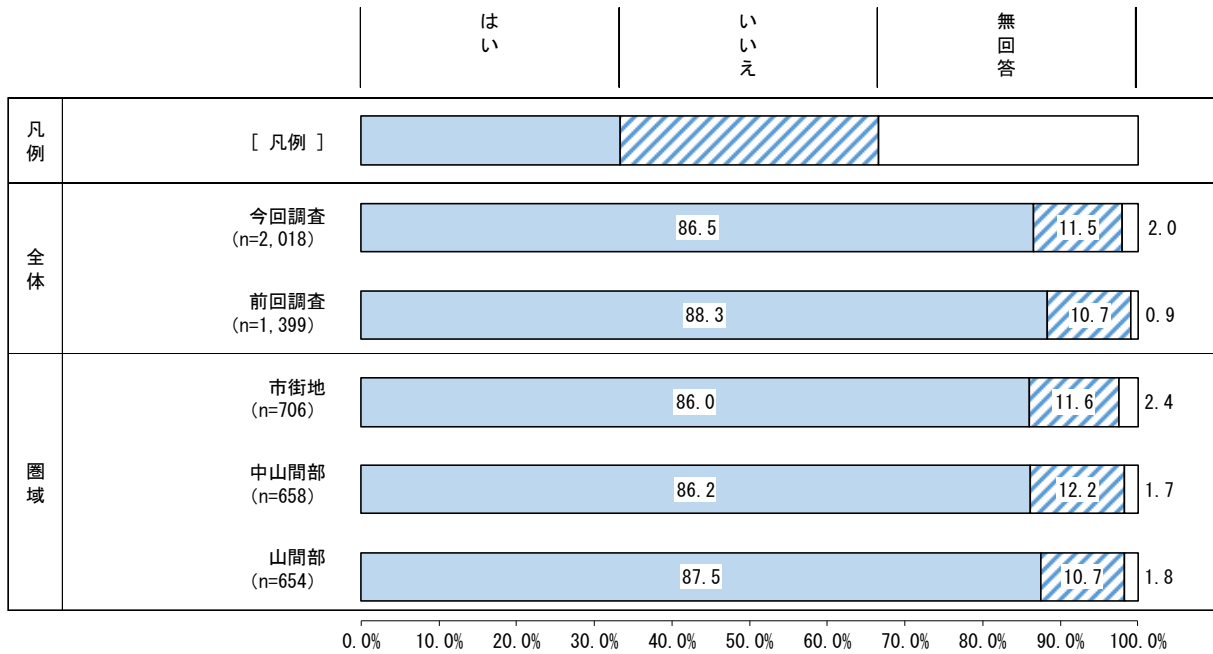
**【本や雑誌を読んでいるか】**



●問4 (13) 健康についての記事や番組に関心がありますか

**【全体】**  
 ○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 86.5%、「いいえ」が 11.5%となっています。

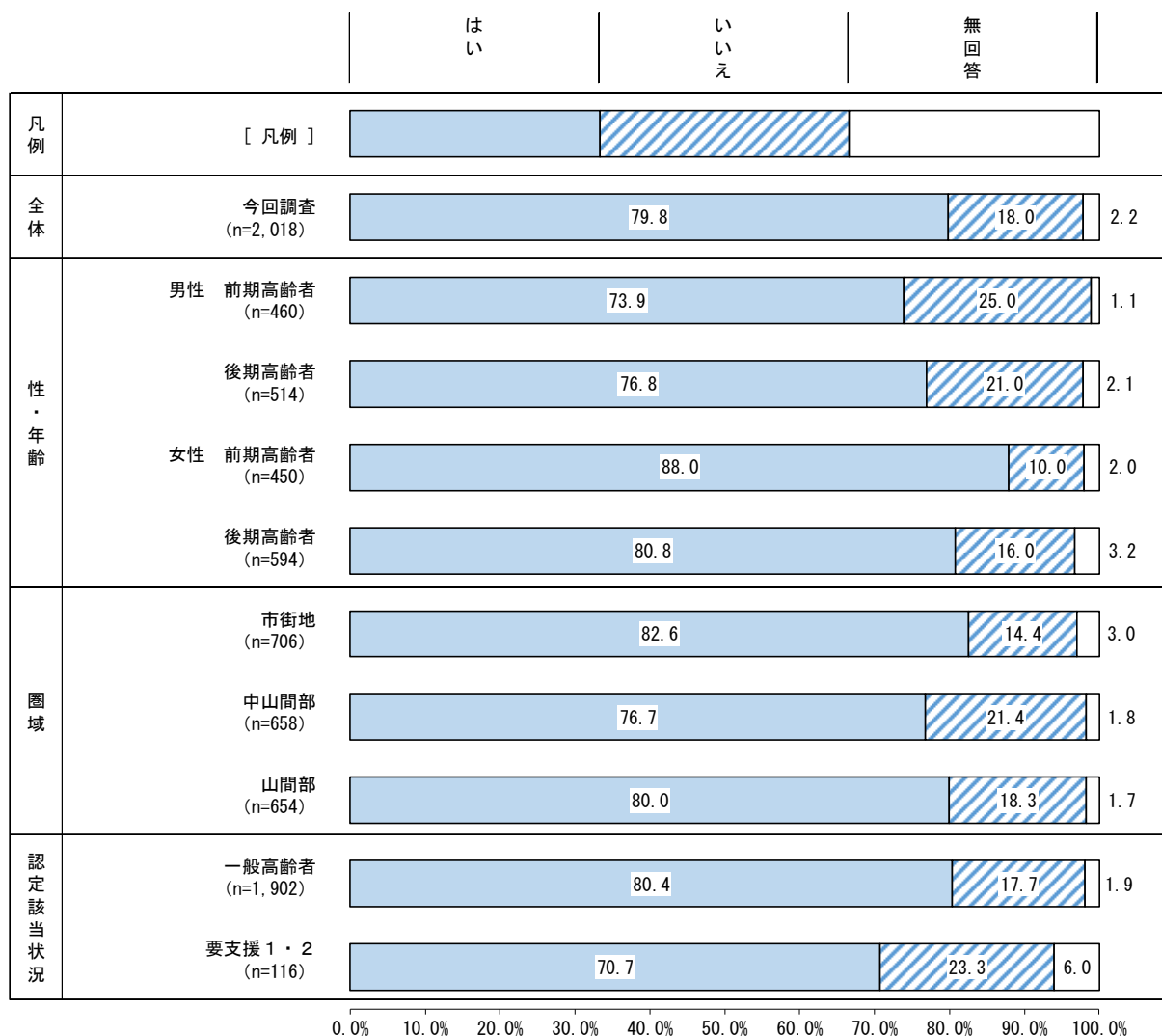
【健康についての記事や番組に関心があるか】



●問4 (14) 健康について気をつけていることや取り組んでいることはありますか

- 【全体】**  
 ○ 健康について気をつけていることがあるかについて、「はい」が 79.8%、「いいえ」が 18.0%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が 70.7%と一般高齢者の 80.4%に比べて少なくなっています。

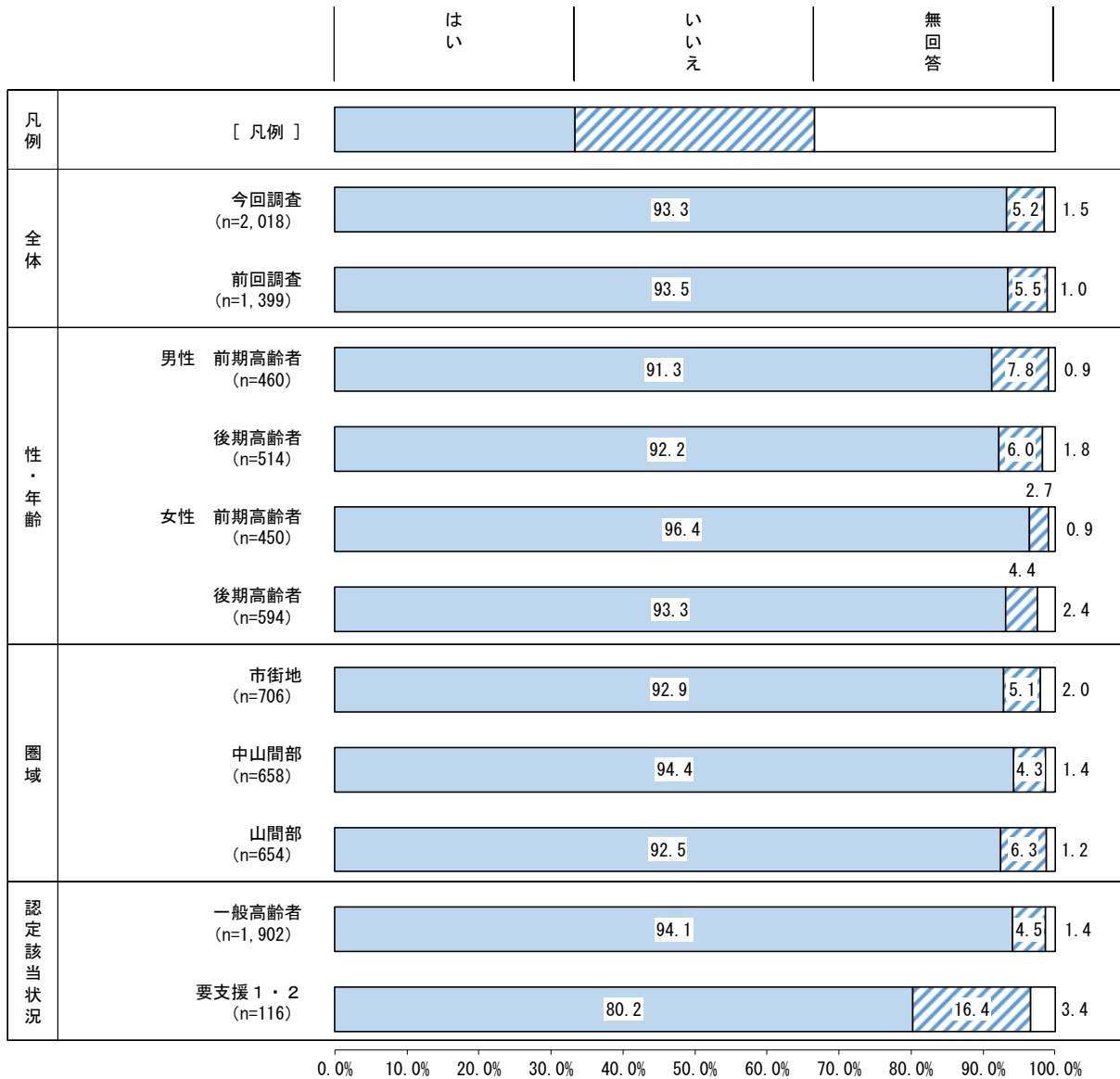
【健康について気をつけていることがあるか】



●問4 (15) ふだんから家族や友人と付き合いがありますか

**【全体】**  
 ○ 家族や友人と付き合いがあるかについて、「はい」が 93.3%、「いいえ」が 5.2%となっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が 80.2%と一般高齢者の 94.1%に比べて少なくなっています。

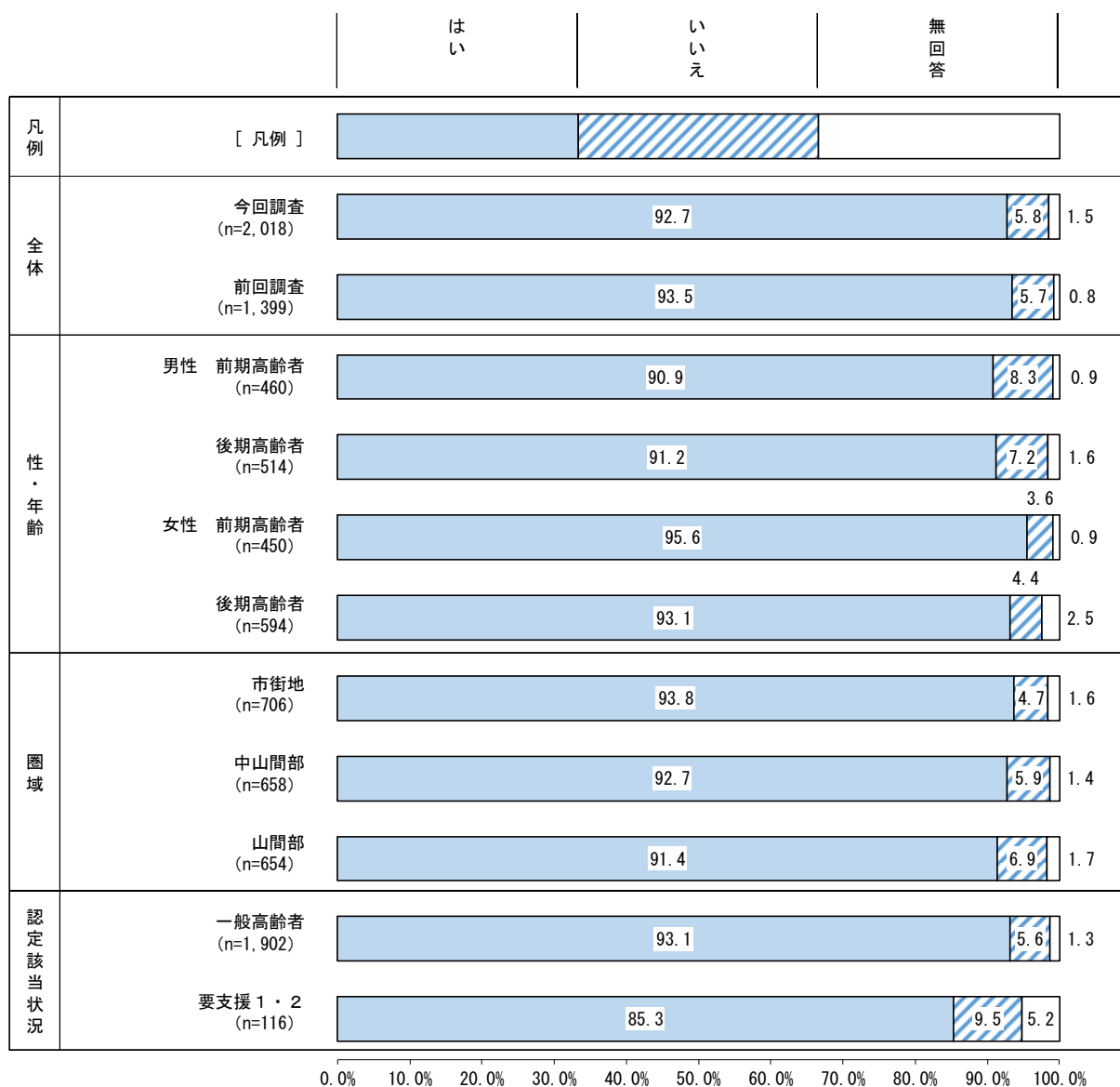
【家族や友人と付き合いがあるか】



●問4 (16) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか

**【全体】**  
 ○ 体調不良時に相談できる人がいるかについて、「はい」が 92.7%、「いいえ」が 5.8%となっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が 85.3%と一般高齢の 93.1%に比べて少なくなっています。

【体調不良時に相談できる人がいるか】



●問4 (17) 友人の家を訪ねていますか

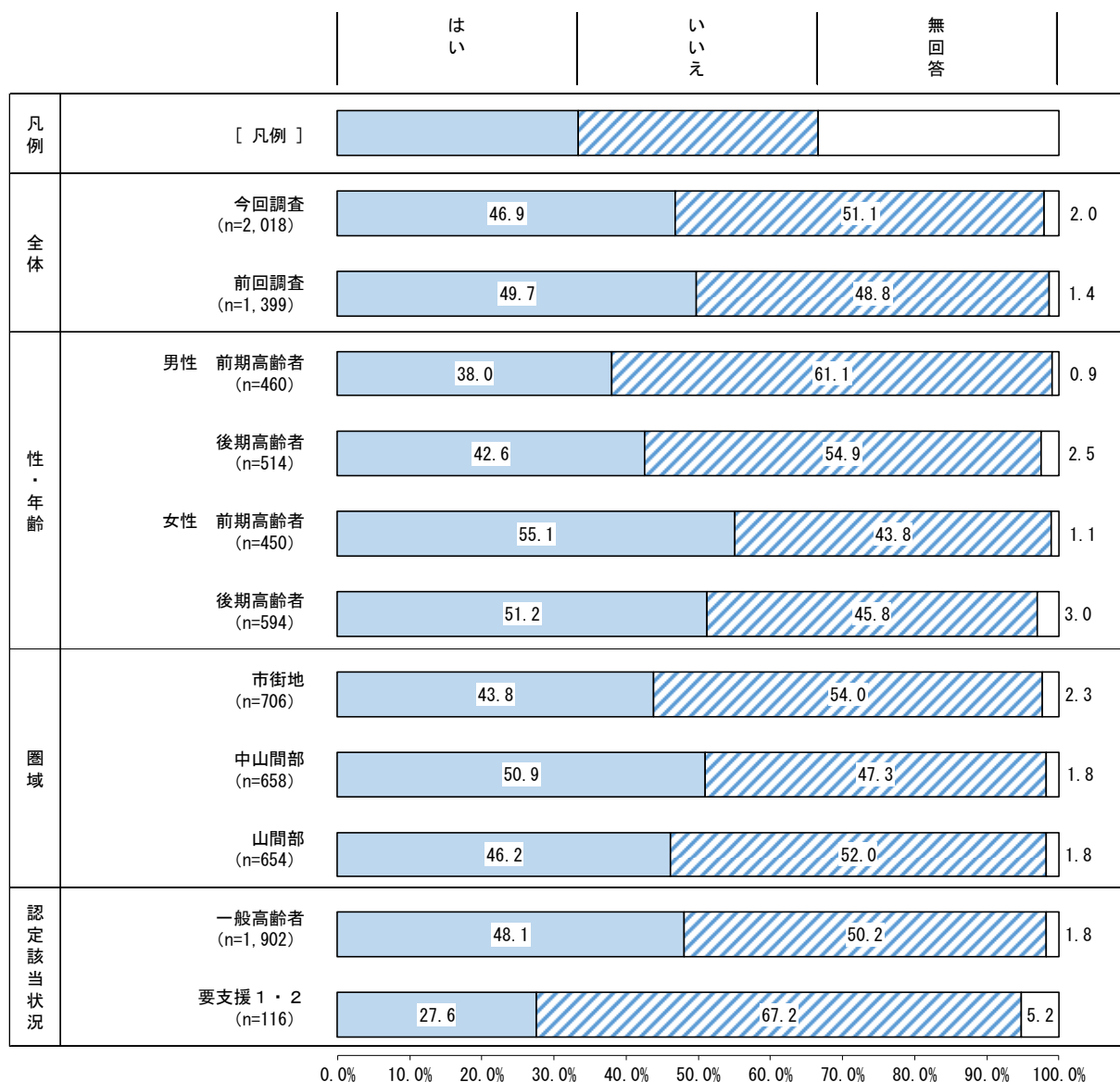
**【全体】**  
 ○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が46.9%、「いいえ」が51.1%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ 「はい」は中山間部が50.9%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が27.6%と一般高齢者の48.1%に比べて少なくなっています。

【友人の家を訪ねているか】



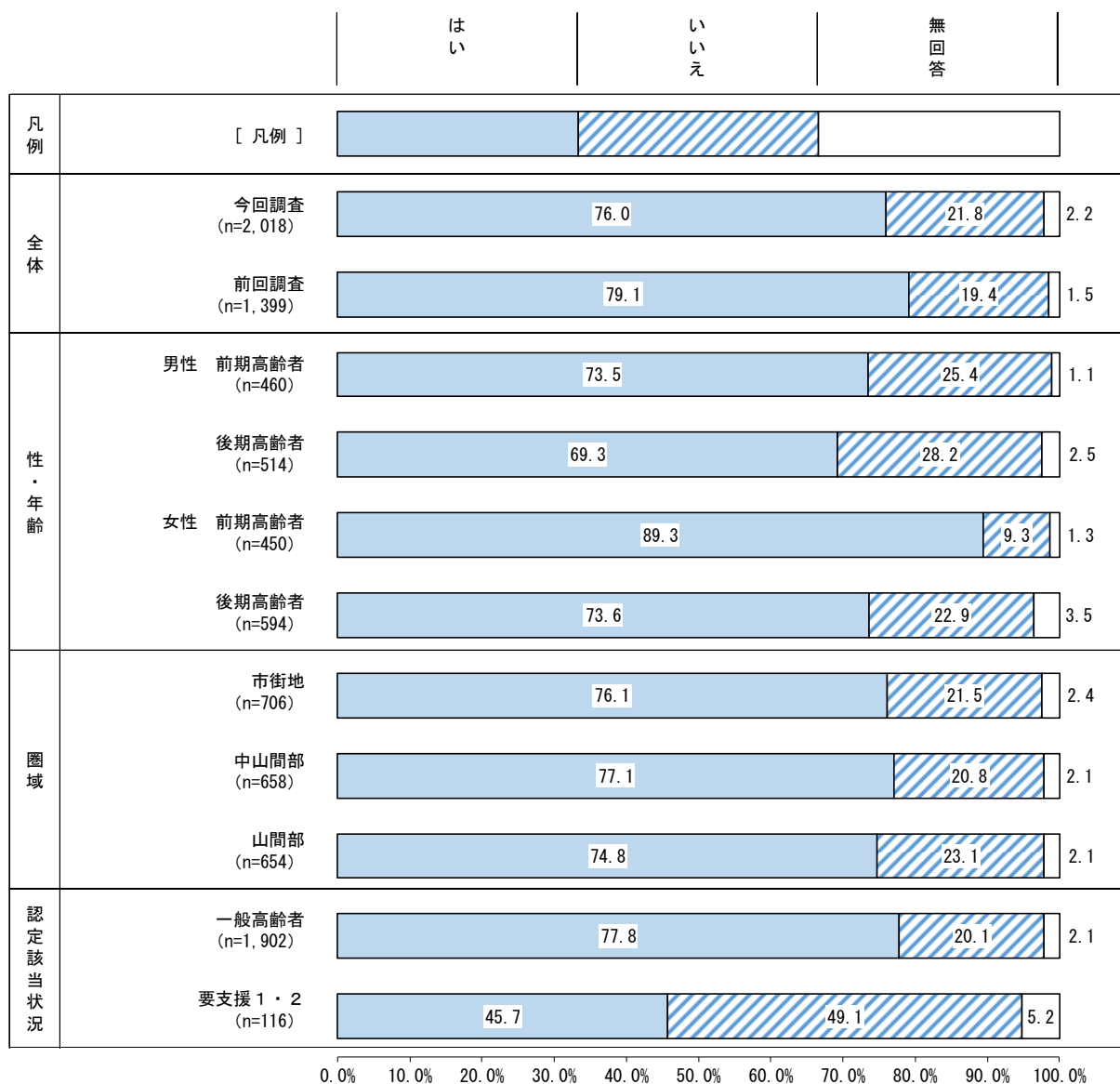
●問4 (18) 家族や友人の相談にのっていますか

**【全体】**  
 ○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が76.0%、「いいえ」が21.8%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 「はい」は女性 前期高齢者が89.3%と他の区分に比べて多くなっています。  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が45.7%と一般高齢者の77.8%に比べて少なくなっています。

【家族や友人の相談にのっているか】



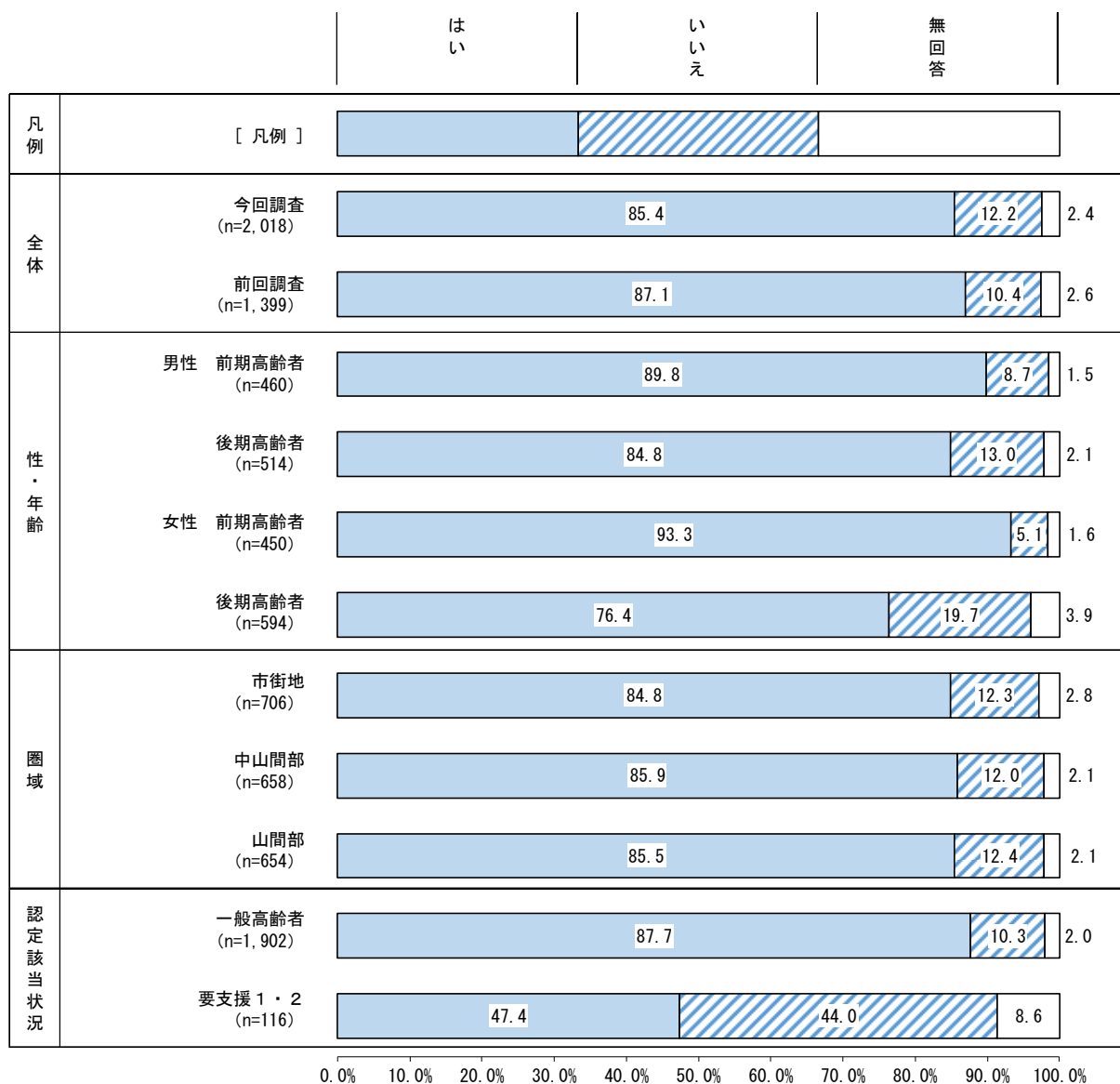
●問4 (19) 病人を見舞うことができますか

**【全体】**  
 ○ 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が85.4%、「いいえ」が12.2%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が47.4%と一般高齢者の87.7%に比べて少なくなっています。

【病人を見舞うことができるか】



#### (4) 趣味・生きがいについて

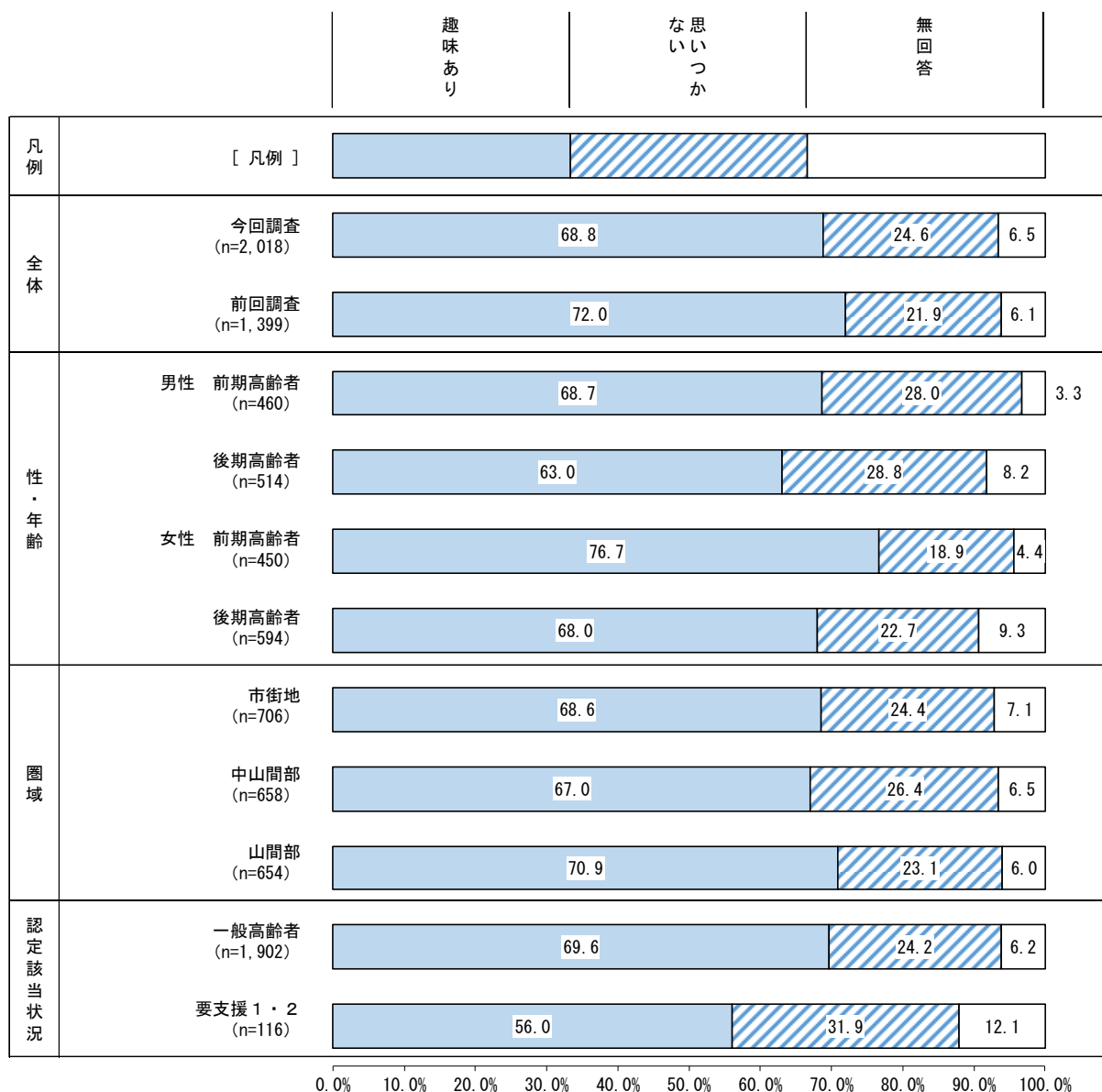
##### ●問4 (20) 趣味はありますか

**【全体】**  
 ○ 趣味の有無について、「趣味あり」が68.8%、「思いつかない」が24.6%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「趣味あり」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「趣味あり」は要支援1・2が56.0%と一般高齢者の69.6%に比べて少なくなっています。

【趣味の有無】



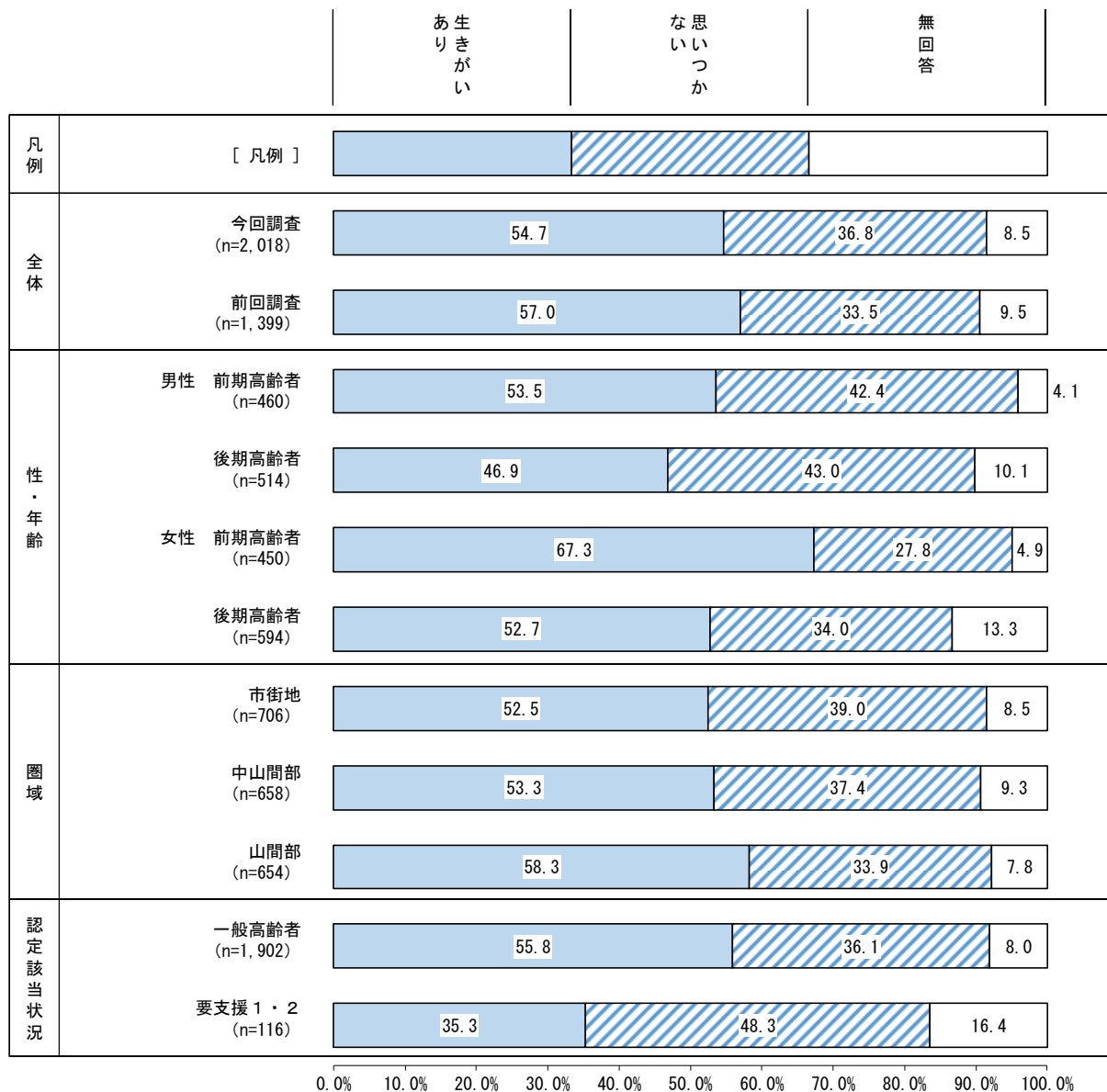
●問4 (21) 生きがいがありますか

**【全体】**  
 ○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 54.7%、「思いつかない」が 36.8%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「生きがいあり」が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「生きがいあり」は要支援1・2が 35.3%と一般高齢者の 55.8%に比べて少なくなっています。

【生きがいの有無】



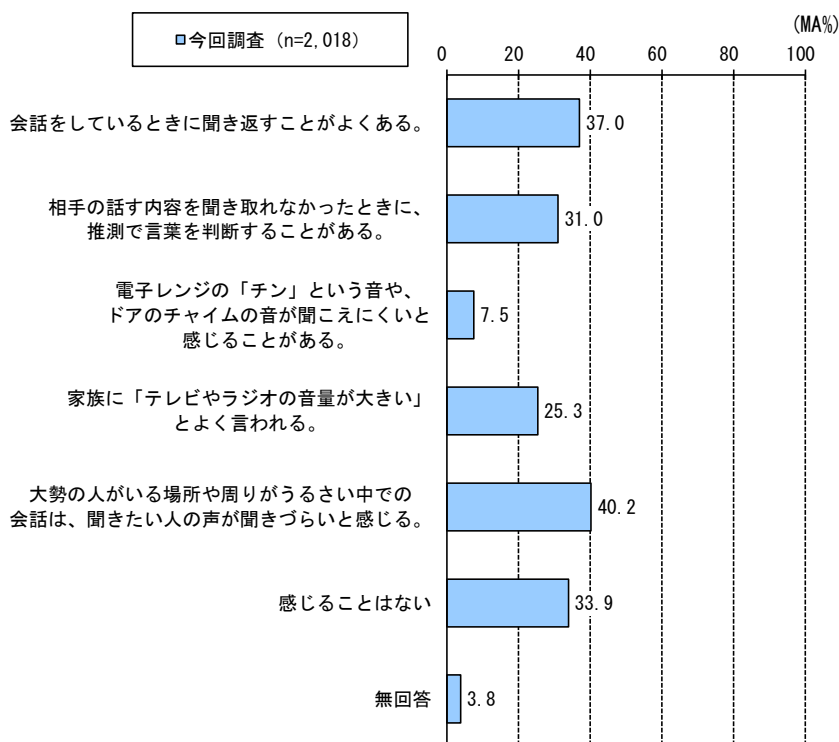
## (5) 耳の聞こえにくさについて

●問4 (22) 耳が聞こえにくくなったと感じることがありますか (○はいくつでも)

### 【全体】

○ 耳が聞こえにくくなったと感じることについて、「大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じる。」が40.2%で最も多く、次いで「会話をしているときに聞き返すことがよくある。」が37.0%、「感じることはない」が33.9%となっています。

【耳が聞こえにくくなったと感じること (MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感ずることがある。」「家族に「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われる。」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「家族に「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われる。」が多くなっています。
- 「大勢の人がいる場所や周りがあるさ中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感ずる。」は女性 後期高齢者が 44.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「感ずることはない」は要支援1・2が 21.6%と一般高齢者の 34.6%に比べて少なくなっています。

単位：%

		母数	耳が聞こえにくくなったと感ずること(MA)						感ずることはない	無回答
			る。聞会 き話を 返すし てい るよ くき あに	こ推取相 と測れ手 があでな 言か話 をたす 判と内 断きを すに聞 るき	あにチと電 るくやい子 いイウレ とム音ン 感のや、ジ るがド「 こ聞アチ とこのン」 がえ	よオ家 くの族に 言音に「 わ量「レ れが大ビ きい「や とラ ジ	る。声会周大 が話り勢 聞はがの き、う人 づ聞るい らきさ いたいる とい中場 と人ので 感ずるの			
全体	今回調査	2,018	37.0	31.0	7.5	25.3	40.2	33.9	3.8	
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	
性・年齢	男性 前期高齢者	460	39.1	35.4	5.0	27.4	38.9	36.1	1.7	
	後期高齢者	514	41.4	32.9	11.1	32.5	38.9	31.1	4.5	
	女性 前期高齢者	450	28.0	26.9	1.6	▼13.1	36.9	40.0	2.2	
	後期高齢者	594	38.2	29.1	10.9	26.8	44.8	30.0	6.1	
圏域	市街地	706	35.8	32.9	7.1	25.6	39.1	34.3	4.0	
	中山間部	658	36.0	28.6	6.4	25.5	40.6	35.6	3.5	
	山間部	654	39.1	31.5	9.2	24.8	41.0	31.8	4.0	
状況認定	一般高齢者	1,902	36.0	30.6	6.7	24.6	39.4	34.6	3.7	
	要支援1・2	116	△53.4	37.9	△21.6	△37.9	△53.4	▼21.6	5.2	

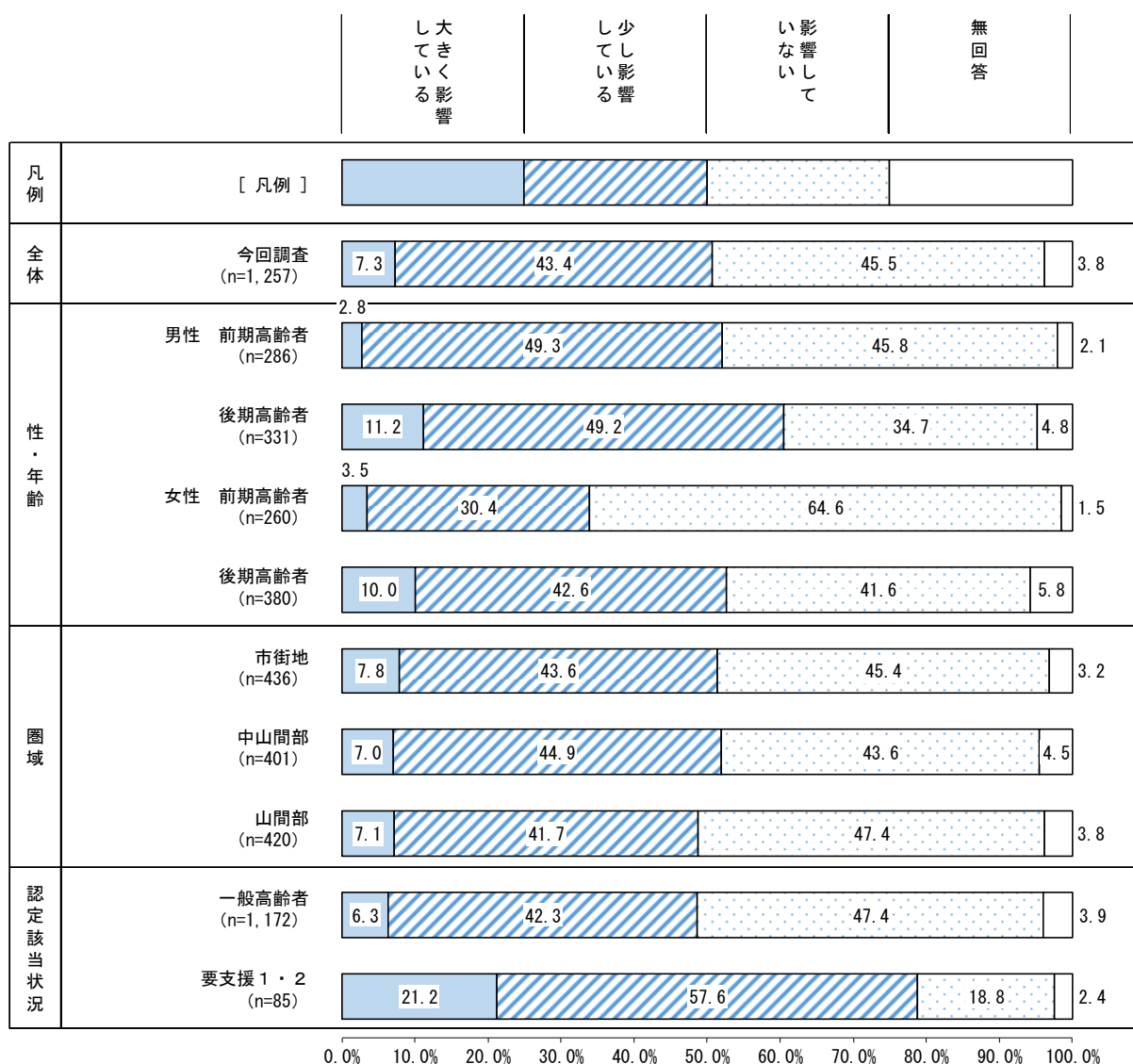
●問4 (22) -1 【(22) で「1.」～「5.」と回答の方のみ】聞こえにくさが、日常生活やコミュニケーションに影響していますか

**【全体】**  
 ○ 聞こえにくさの日常生活への影響について、「影響していない」が45.5%で最も多く、次いで「少し影響している」が43.4%、「大きく影響している」が7.3%となっています。「大きく影響している」「少し影響している」を合わせた“影響している”は50.7%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「大きく影響している」が多くなっています。  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“影響している”が多くなっています。  
 ○ 女性 後期高齢者では女性 前期高齢者に比べて“影響している”が多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「大きく影響している」は要支援1・2が21.2%と一般高齢者の6.3%に比べて多くなっています。  
 ○ 「少し影響している」は要支援1・2が57.6%と一般高齢者の42.3%に比べて多くなっています。

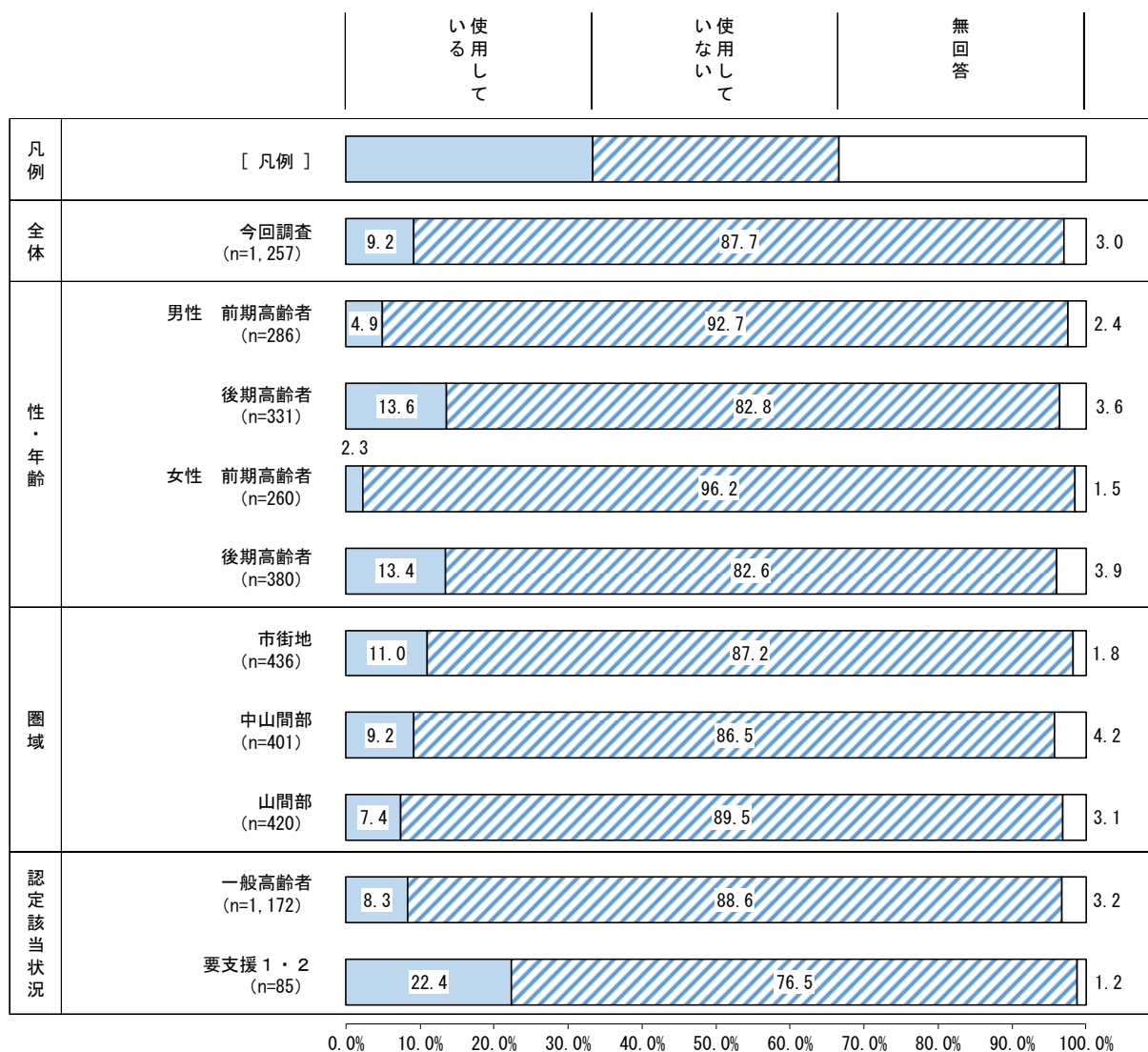
【聞こえにくさの日常生活への影響】



●問4 (22) -2 【(22) で「1.」～「5.」と回答の方のみ】 現在、補聴器を使用していますか

**【全体】**  
 ○ 補聴器の使用状況について、「使用している」が 9.2%、「使用していない」が 87.7%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「使用している」が多くなっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「使用している」は要支援1・2が 22.4%と一般高齢者の 8.3%に比べて多くなっています。

【補聴器の使用状況】



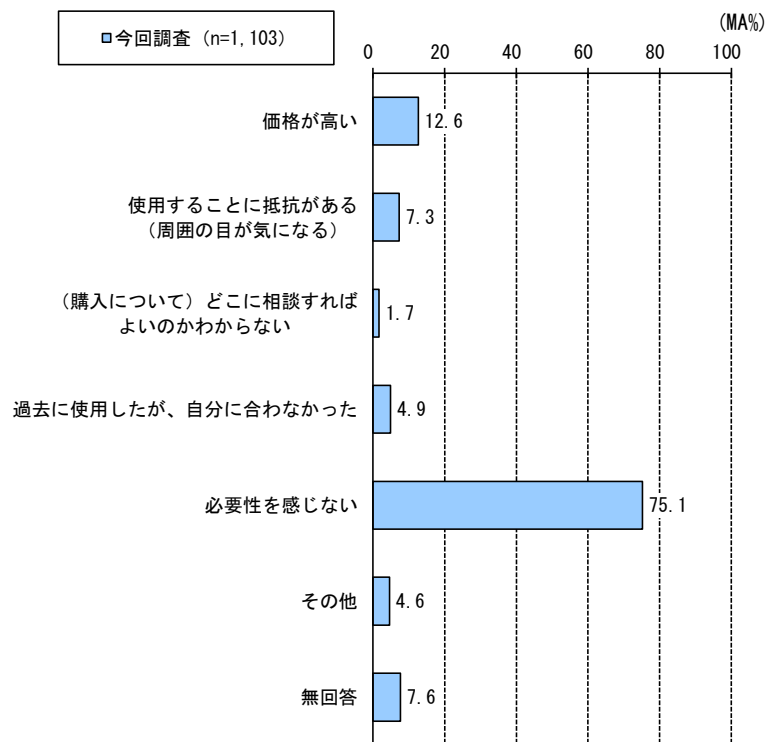
- 問4 (22) -3 【(22) -2で「2. 使用していない」と回答の方のみ】使用していない理由は何ですか (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 使用していない理由について、「必要性を感じない」が75.1%で最も多く、次いで「価格が高い」が12.6%、「使用することに抵抗がある(周囲の目が気になる)」が7.3%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「必要性を感じない」が少なくなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「必要性を感じない」は要支援1・2が63.1%と一般高齢者の75.8%に比べて少なくなっており、「価格が高い」「過去に使用したが、自分に合わなかった」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

【使用していない理由(MA)】



単位：%

		母数	使用していない理由(MA)						
			価格が高い	抵抗がある(周囲の目に気になる)	いよど(購入に相談する(周囲の抵抗))	かが過(購入した自分使用した)	過去に使用した	必要性を感じない	その他
全体	今回調査	1,103	12.6	7.3	1.7	4.9	75.1	4.6	7.6
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	265	12.5	9.1	0.8	1.5	80.4	3.4	5.7
	後期高齢者	274	15.3	8.0	0.4	7.7	69.3	4.7	10.6
	女性 前期高齢者	250	6.8	3.2	2.0	2.4	80.0	4.8	8.0
	後期高齢者	314	15.0	8.6	3.5	7.3	71.7	5.4	6.4
圏域	市街地	380	12.9	6.3	1.3	4.7	77.1	3.9	5.5
	中山間部	347	13.5	7.5	2.3	3.7	73.2	6.6	8.9
	山間部	376	11.4	8.2	1.6	6.1	74.7	3.5	8.5
状況認定	一般高齢者	1,038	11.8	7.2	1.4	4.5	75.8	4.5	7.7
	要支援1・2	65	△26.2	9.2	6.2	10.8	▼63.1	6.2	6.2

## 6. 地域での活動について

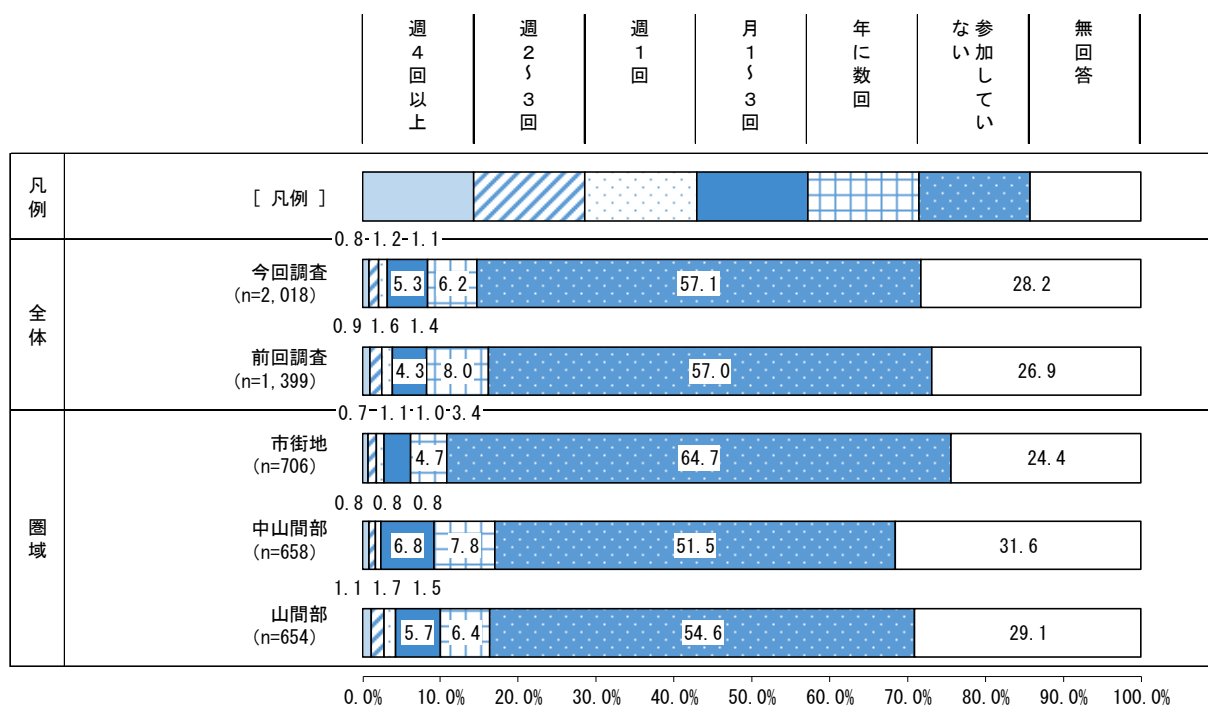
### (1) 地域活動づくりへの参加状況

#### ●問5 (1) ① ボランティアのグループ

**【全体】**  
 ○ ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が57.1%で最も多く、次いで「年に数回」が6.2%、「月1～3回」が5.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上”は3.1%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 「参加していない」「無回答」を除いた“参加している”は市街地が10.9%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【①ボランティアのグループへの参加頻度】

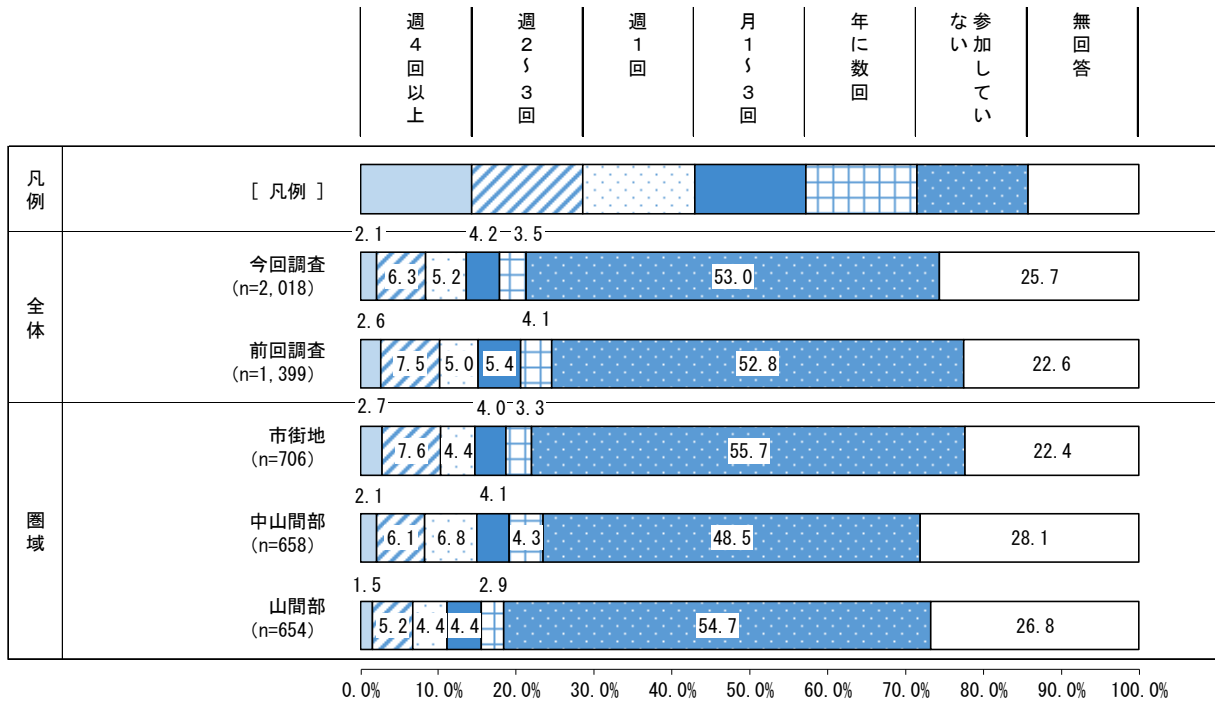


●問5 (1) ② スポーツ関係のグループやクラブ

**【全体】**  
 ○ スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が53.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が6.3%、「週1回」が5.2%となっています。「週1回以上」は13.6%となっています。

**【圏域】**  
 ○ “参加している”は山間部が18.4%と他の圏域に比べて少なくなっています。

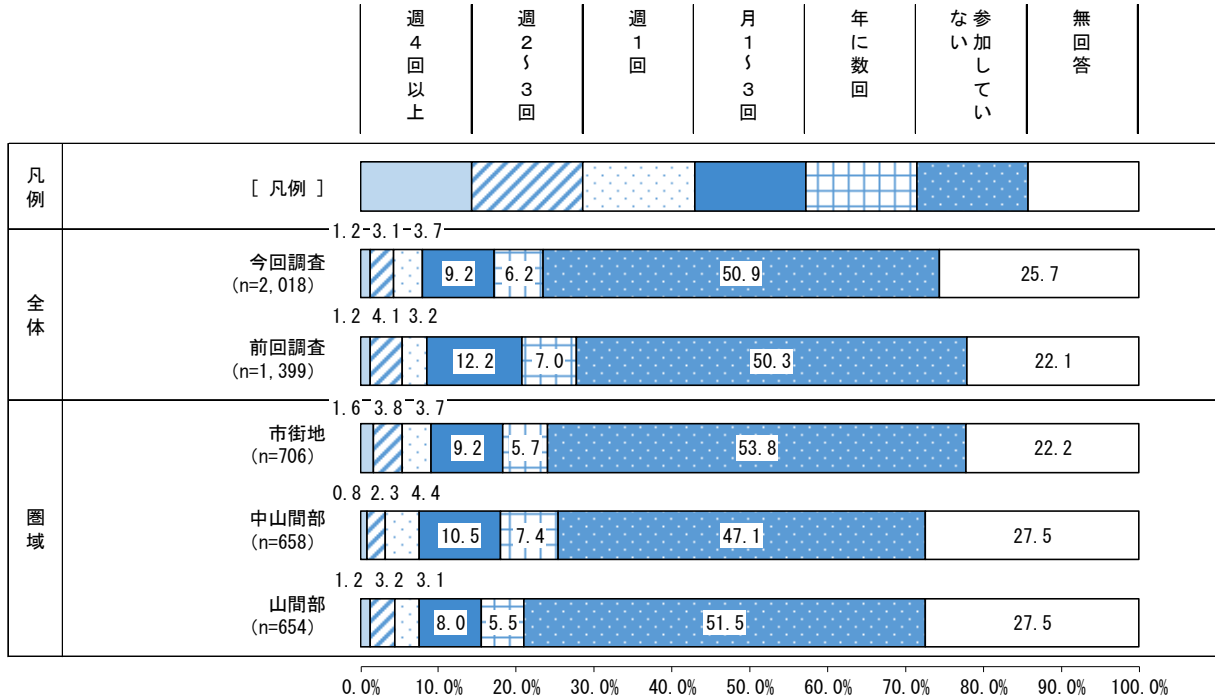
【②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】



●問5 (1) ③ 趣味関係のグループ

**【全体】**  
 ○ 趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が50.9%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.2%、「年に数回」が6.2%となっています。“週1回以上”は8.0%となっています。

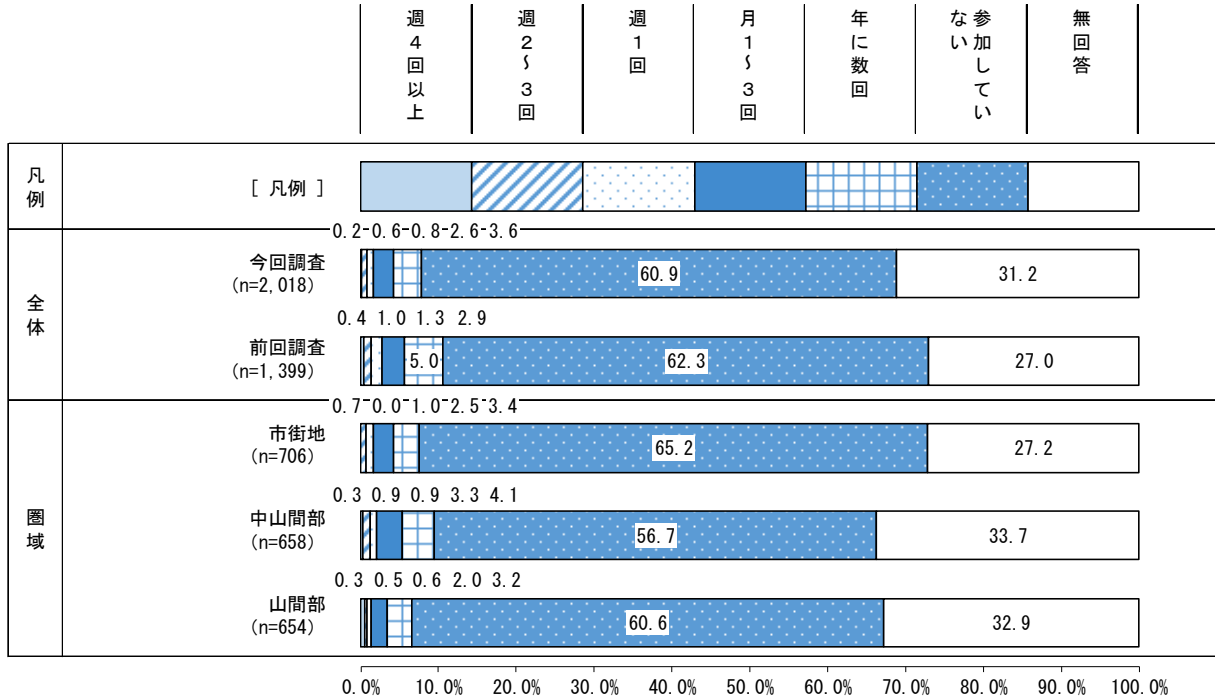
**【③趣味関係のグループへの参加頻度】**



●問5 (1) ④ 学習・教養サークル

**【全体】**  
 ○ 学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が60.9%で最も多く、次いで「年に数回」が3.6%、「月1～3回」が2.6%となっています。“週1回以上”は1.6%となっています。

**【④学習・教養サークルへの参加頻度】**

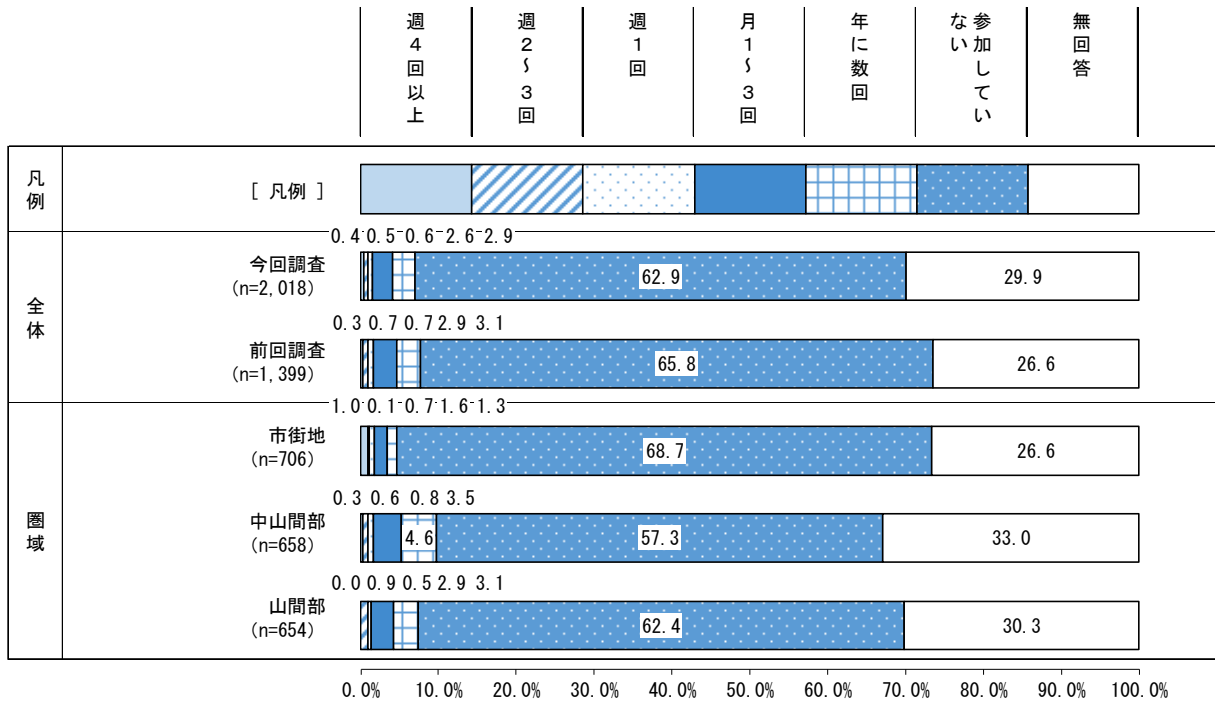


●問5 (1) ⑤ 介護予防のための通いの場

**【全体】**  
 ○ 介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が 62.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 2.9%、「月1～3回」が 2.6%となっています。“週1回以上”は1.5%となっています。

**【圏域】**  
 ○ “参加している”は市街地が 4.7%と他の圏域に比べて少なくなっています。

**【⑤介護予防のための通いの場への参加頻度】**

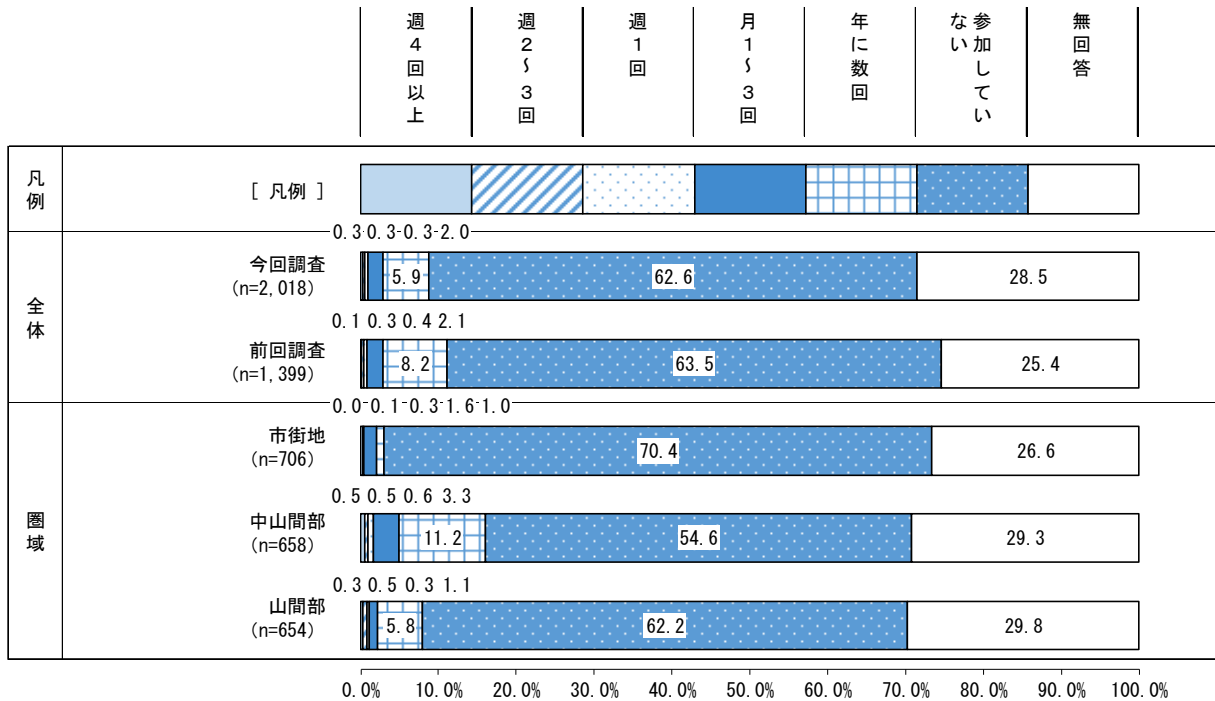


●問5 (1) ⑥ 老人クラブ

**【全体】**  
 ○ 老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が62.6%で最も多く、次いで「年に数回」が5.9%、「月1～3回」が2.0%となっています。“週1回以上”は0.9%となっています。

**【圏域】**  
 ○ “参加している”は中山間部が16.1%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【⑥老人クラブへの参加頻度】**

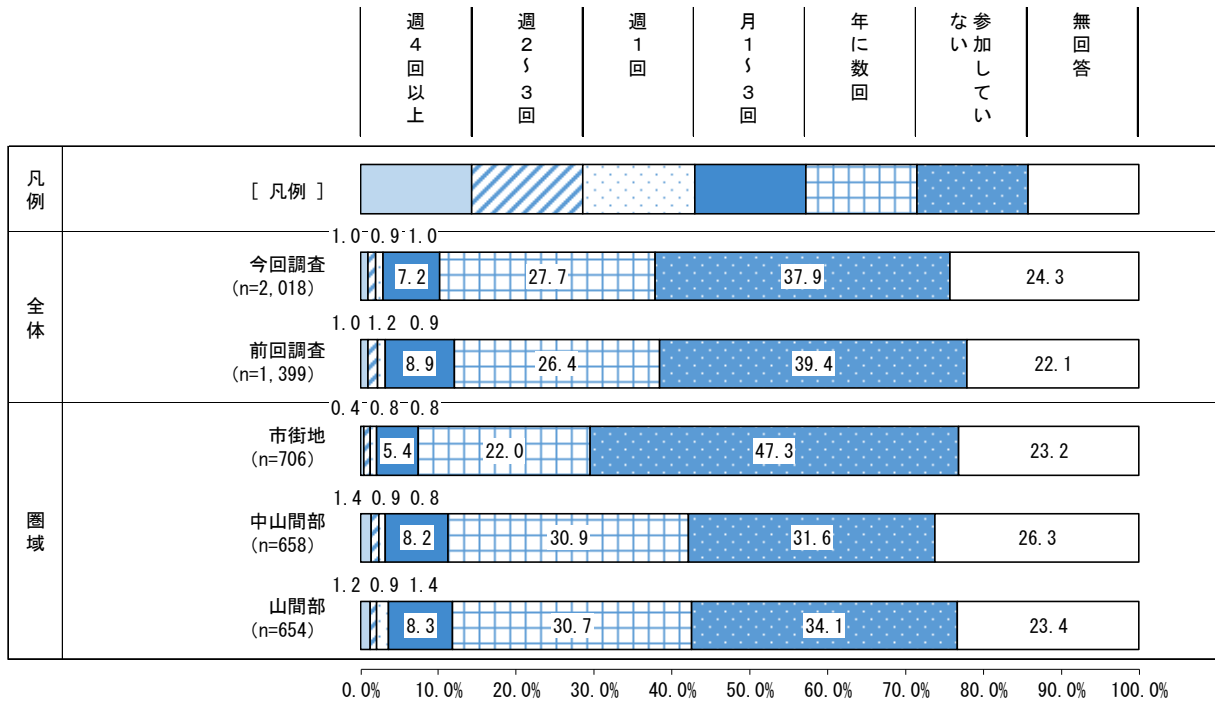


●問5 (1) ⑦ 町内会・自治会

**【全体】**  
 ○ 町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が37.9%で最も多く、次いで「年に数回」が27.7%、「月1～3回」が7.2%となっています。“週1回以上”は2.9%となっています。

**【圏域】**  
 ○ “参加している”は市街地が29.4%と他の圏域に比べて少なくなっています。

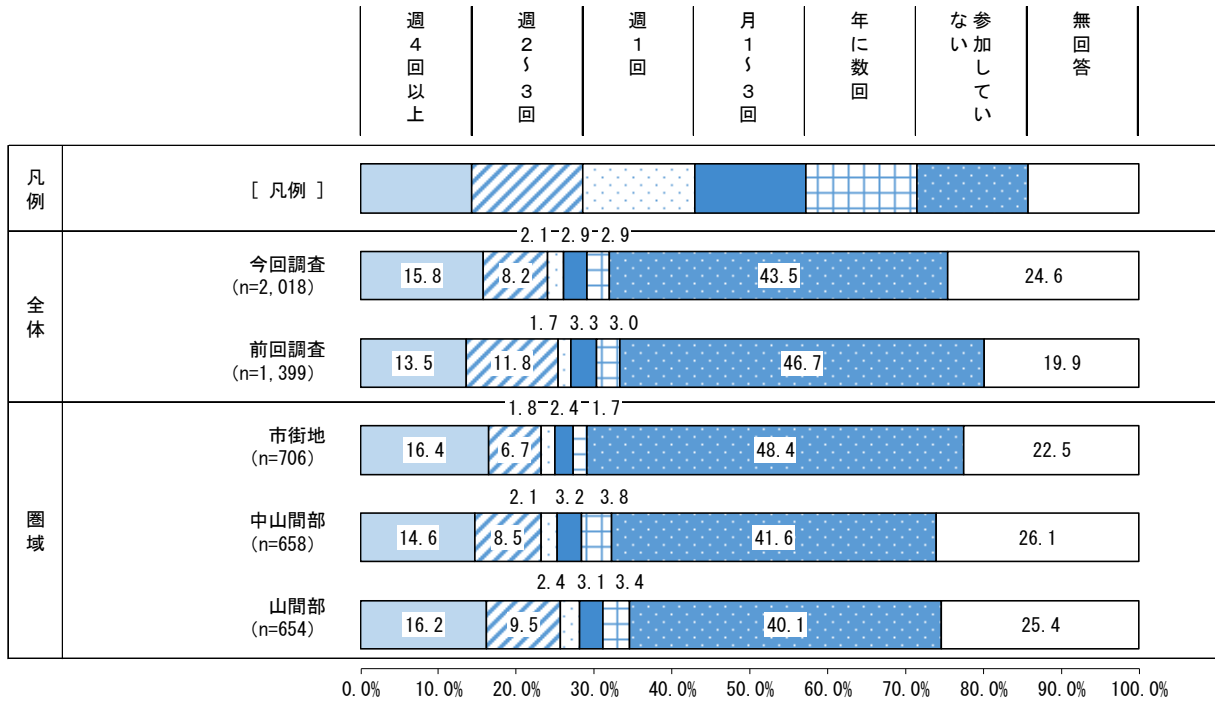
**【⑦町内会・自治会への参加頻度】**



●問5 (1) ⑧ 収入のある仕事

**【全体】**  
 ○ 収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が 43.5%で最も多く、次いで「週4回以上」が 15.8%、「週2～3回」が 8.2%となっています。“週1回以上”は 26.1%となっています。

**【⑧収入のある仕事への参加頻度】**

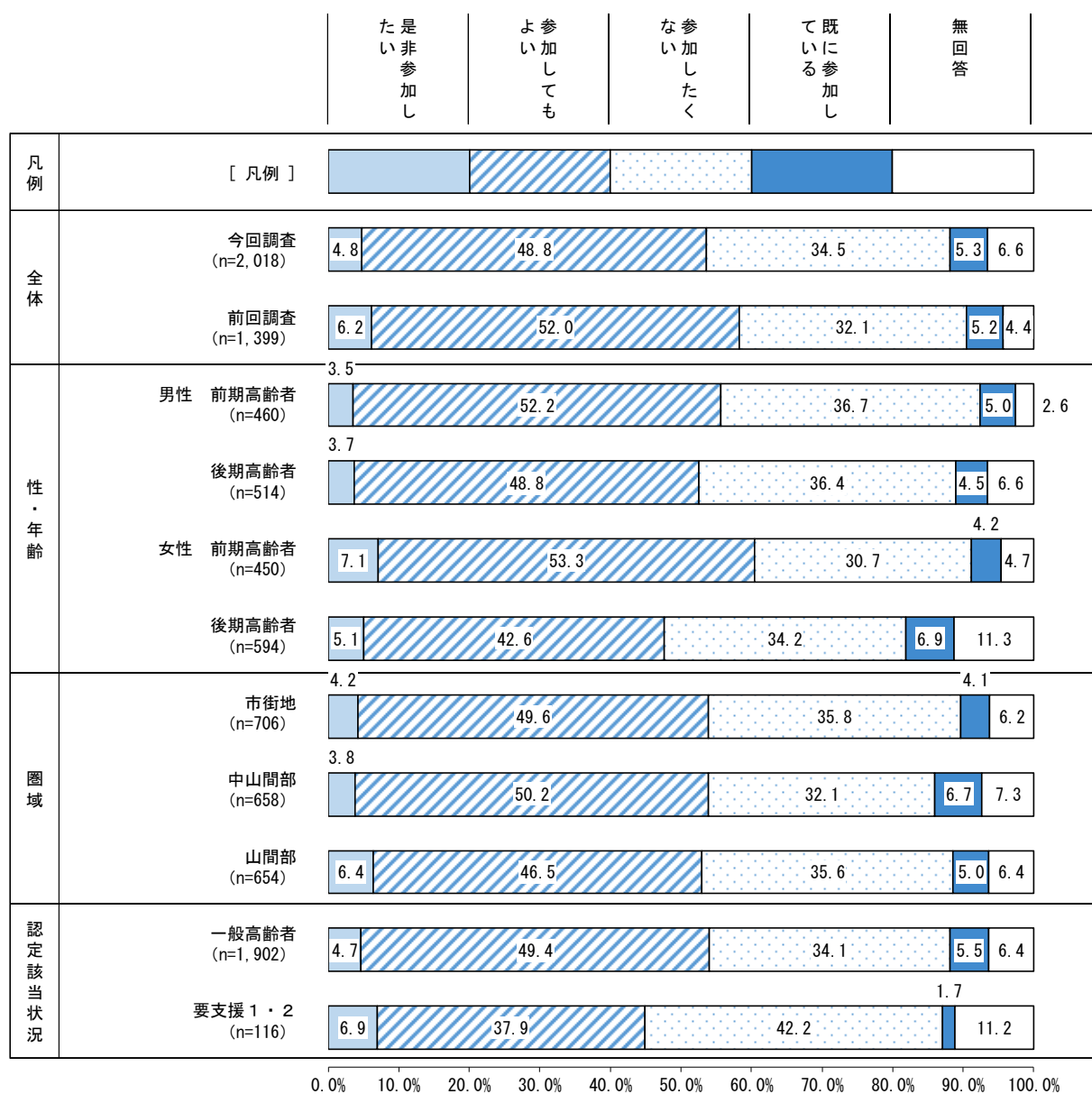


## (2) 地域活動づくりへの参加意向

- 問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

<b>【全体】</b>
○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が48.8%で最も多く、次いで「参加したくない」が34.5%、「既に参加している」が5.3%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある”は53.6%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ “参加意向がある”は女性 前期高齢者が60.4%と他の区分に比べて多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ “参加意向がある”は一般高齢者では54.1%、要支援1・2では44.8%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



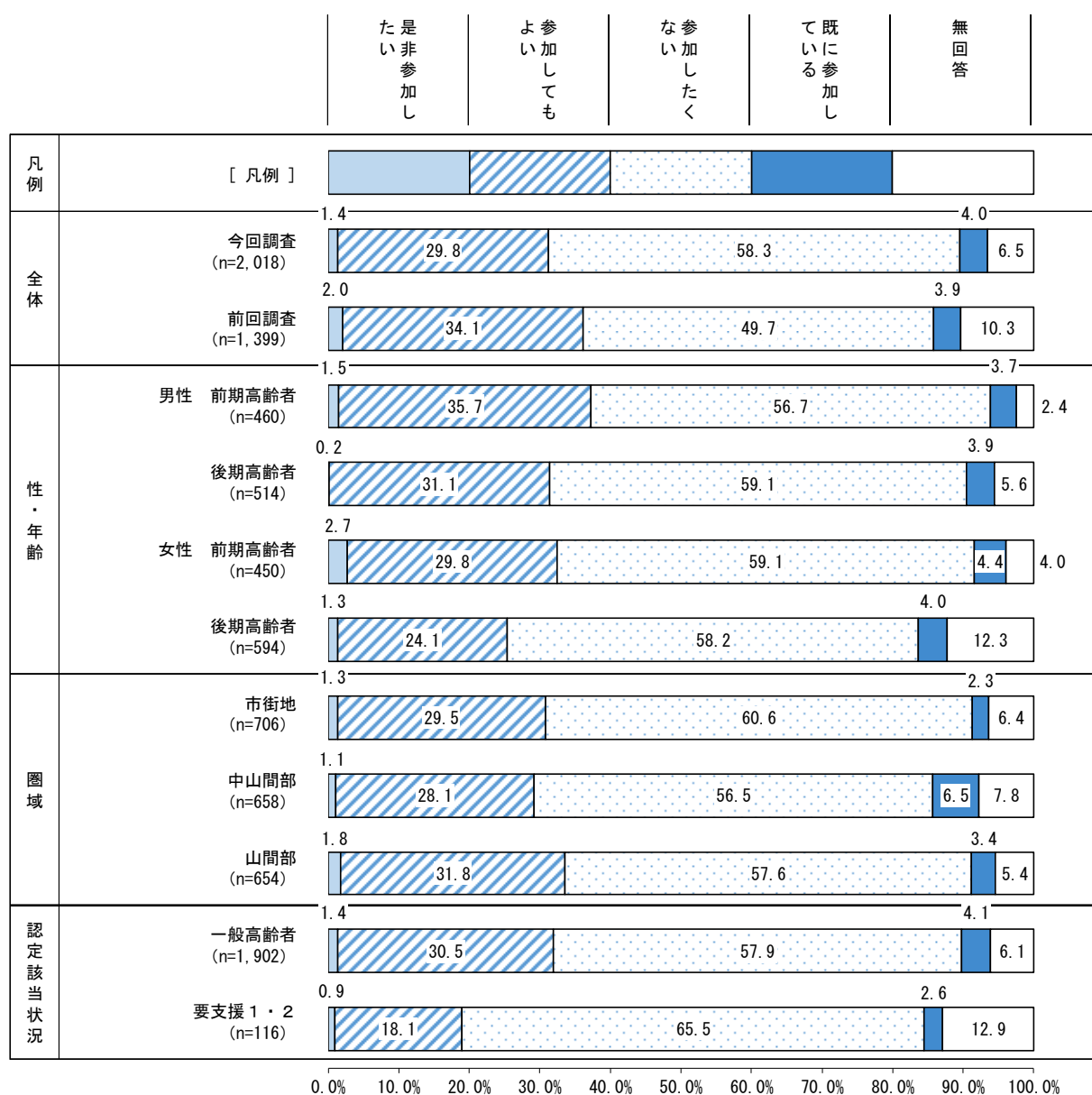
- 問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

**【全体】**  
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が58.3%で最も多く、次いで「参加してもよい」が29.8%、「既に参加している」が4.0%となっています。「参加意向がある」は31.2%となっています。  
 ○ 「参加したくない」は前回調査の49.7%に比べて多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加してもよい」が多くなっています。  
 ○ “参加意向がある”は男性 前期高齢者が37.2%と他の区分に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ “参加意向がある”は一般高齢者では31.9%、要支援1・2では19.0%となっています。

**【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】**

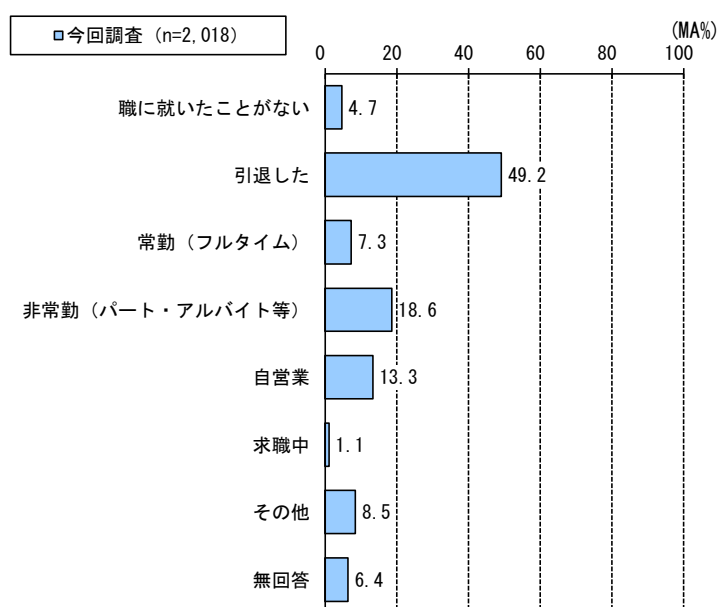


## 7. 就労について

- 問6 (1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (〇はいくつでも)

<b>【全体】</b>
○ 現在の就労状態について、「引退した」が49.2%で最も多く、次いで「非常勤 (パート・アルバイト等)」が18.6%、「自営業」が13.3%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「引退した」が多くなっています。
○ 「常勤 (フルタイム)」は男性 前期高齢者が21.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「非常勤 (パート・アルバイト等)」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自営業」が多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「職に就いたことがない」「引退した」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

【現在の就労状態 (MA)】



単位：%

		母数	現在の就労状態 (MA)							
			な職に就いたことがない	引退した	(常勤フルタイム)	(非常勤パート・アルバイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
全体	今回調査	2,018	4.7	49.2	7.3	18.6	13.3	1.1	8.5	6.4
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	0.7	▼ 35.9	△ 21.1	26.5	18.5	1.7	5.2	1.3
	後期高齢者	514	3.1	△ 63.6	3.5	9.5	16.1	0.8	8.4	4.7
	女性 前期高齢者	450	4.2	▼ 38.9	5.6	△ 33.6	10.7	1.8	9.8	3.1
	後期高齢者	594	9.4	54.7	1.2	9.1	8.8	0.3	10.3	14.3
圏域	市街地	706	5.2	53.5	6.9	17.0	10.9	1.4	7.2	5.1
	中山間部	658	3.6	50.6	7.8	17.9	13.8	0.8	7.9	6.8
	山間部	654	5.0	43.0	7.2	21.1	15.3	1.1	10.6	7.3
当該認定状況	一般高齢者	1,902	4.2	48.2	7.7	19.5	13.6	1.2	8.7	6.0
	要支援1・2	116	12.1	△ 64.7	-	▼ 5.2	7.8	-	5.2	12.1

●問6 (1) -2 【(1)で「2. 引退した」と回答の方のみ】あなたはいつ引退しましたか  
(2026年1月時点)

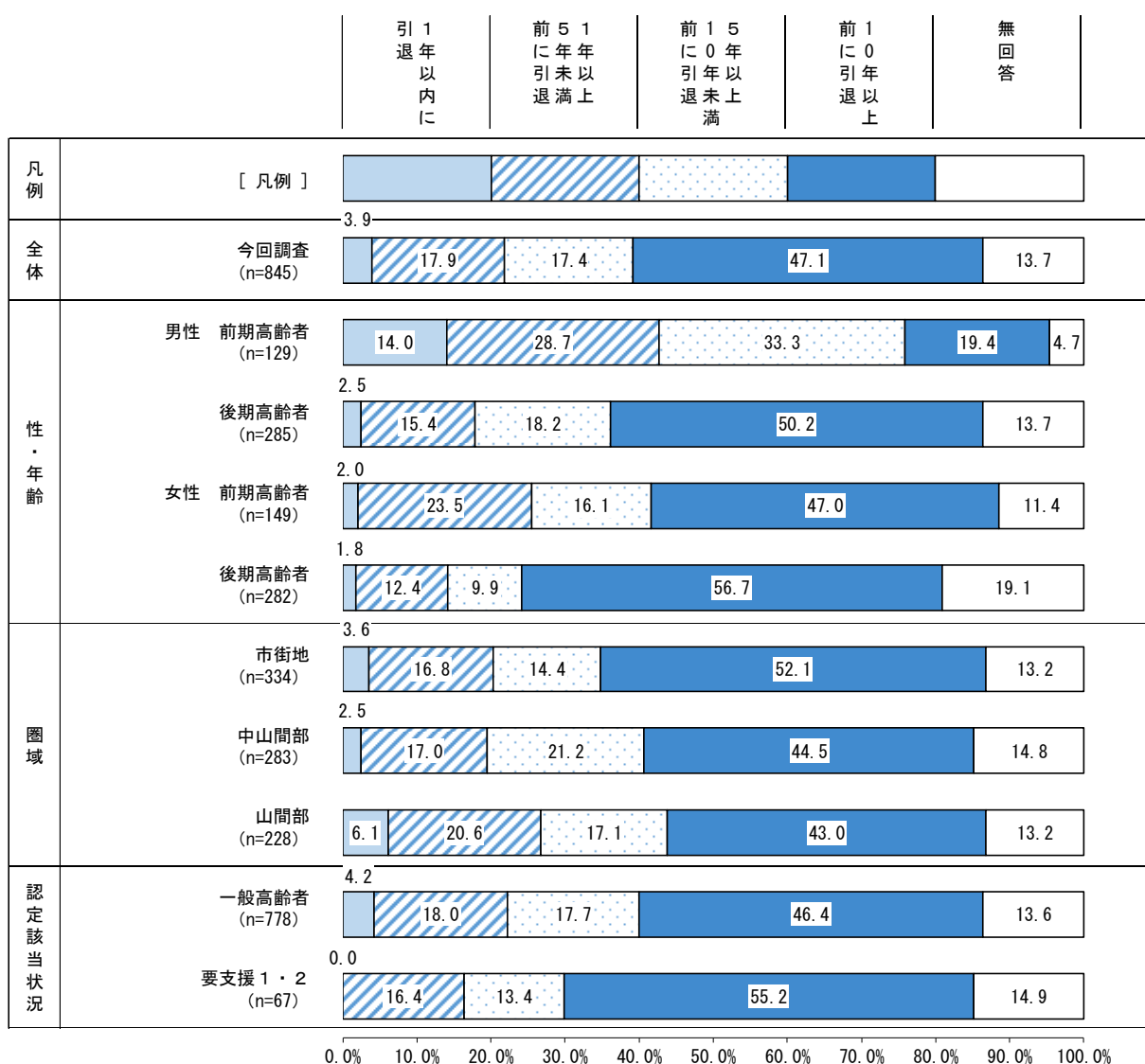
**【全体】**  
○ 引退した時期について、「10年以上前に引退」が47.1%で最も多く、次いで「1年以上5年未満前に引退」が17.9%、「5年以上10年未満前に引退」が17.4%となっています。

**【性・年齢】**  
○ 「10年以上前に引退」は男性 前期高齢者が19.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

**【圏域】**  
○ 「10年以上前に引退」は市街地が52.1%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
○ 「10年以上前に引退」は要支援1・2が55.2%と一般高齢者の46.4%に比べて多くなっています。

【引退した時期】



## 8. たすけあいについて

### (1) 周囲との相互の関係

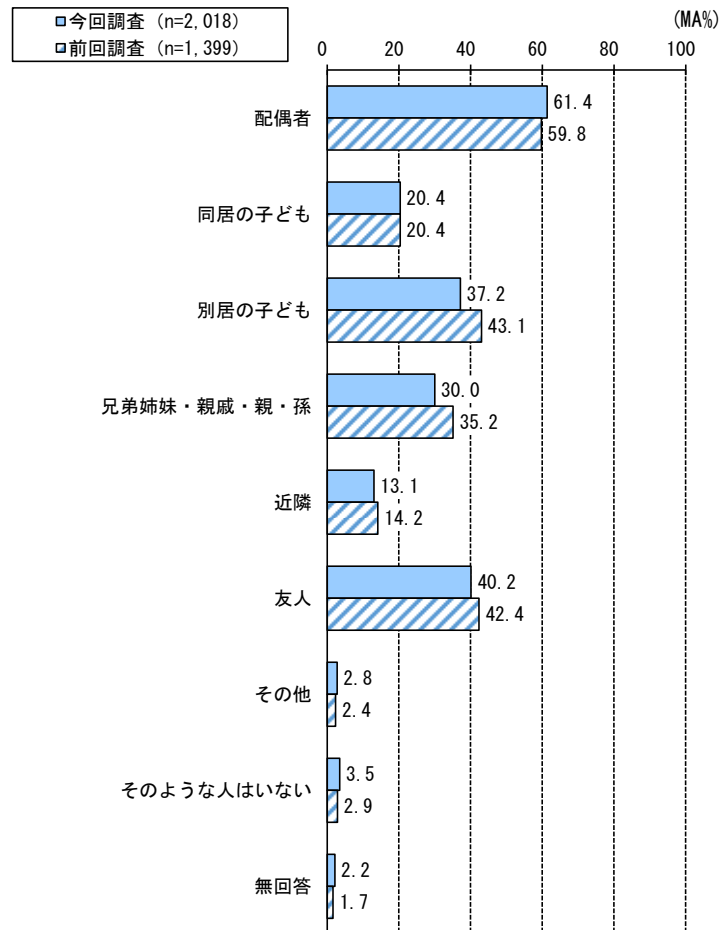
- 問7 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

**【全体】**

○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が61.4%で最も多く、次いで「友人」が40.2%、「別居の子ども」が37.2%となっています。

○ 「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は今回調査が前回調査に比べて少なくなっています。

**【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】**



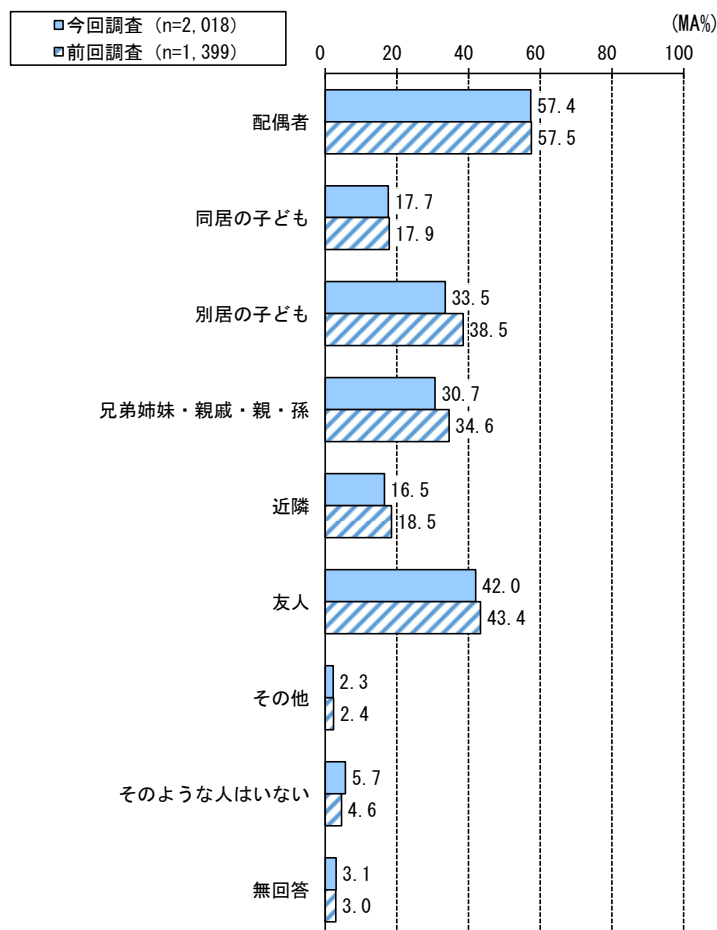
単位：%

	母数	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はそいのような人	無回答	
全体	2,018	61.4	20.4	37.2	30.0	13.1	40.2	2.8	3.5	2.2	
全体	今回調査	2,018	61.4	20.4	37.2	30.0	13.1	40.2	2.8	3.5	2.2
	前回調査	1,399	59.8	20.4	43.1	35.2	14.2	42.4	2.4	2.9	1.7
圏域	市街地	706	59.8	19.8	41.8	31.7	11.3	40.8	3.0	3.0	1.6
	中山間部	658	62.3	22.0	33.9	31.5	14.1	41.3	1.8	3.8	2.7
	山間部	654	62.2	19.4	35.5	26.8	14.1	38.4	3.5	3.8	2.3

●問7 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (○はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 57.4%で最も多く、次いで「友人」が 42.0%、「別居の子ども」が 33.5%となっています。  
 ○ 「別居の子ども」は今回調査が 33.5%と前回調査の 38.5%に比べて少なくなっています。

**【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】**



単位：%

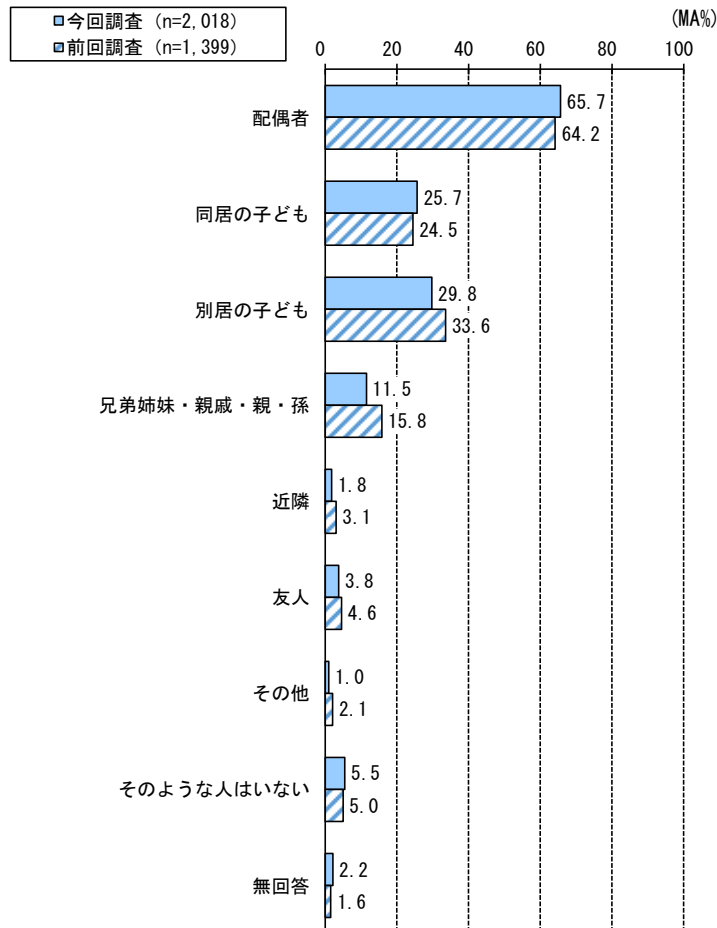
	母数	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はそれ以外のようない人	無回答	
全体	2,018	57.4	17.7	33.5	30.7	16.5	42.0	2.3	5.7	3.1	
全体	今回調査	2,018	57.4	17.7	33.5	30.7	16.5	42.0	2.3	5.7	3.1
	前回調査	1,399	57.5	17.9	38.5	34.6	18.5	43.4	2.4	4.6	3.0
圏域	市街地	706	57.8	17.8	37.0	30.6	13.6	41.5	1.7	6.2	2.8
	中山間部	658	57.3	19.9	30.1	33.3	16.6	44.5	2.0	5.3	2.9
	山間部	654	57.0	15.4	33.3	28.1	19.4	39.9	3.2	5.7	3.7

- 問7 (3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が65.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」が29.8%、「同居の子ども」が25.7%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 「別居の子ども」は市街地が34.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



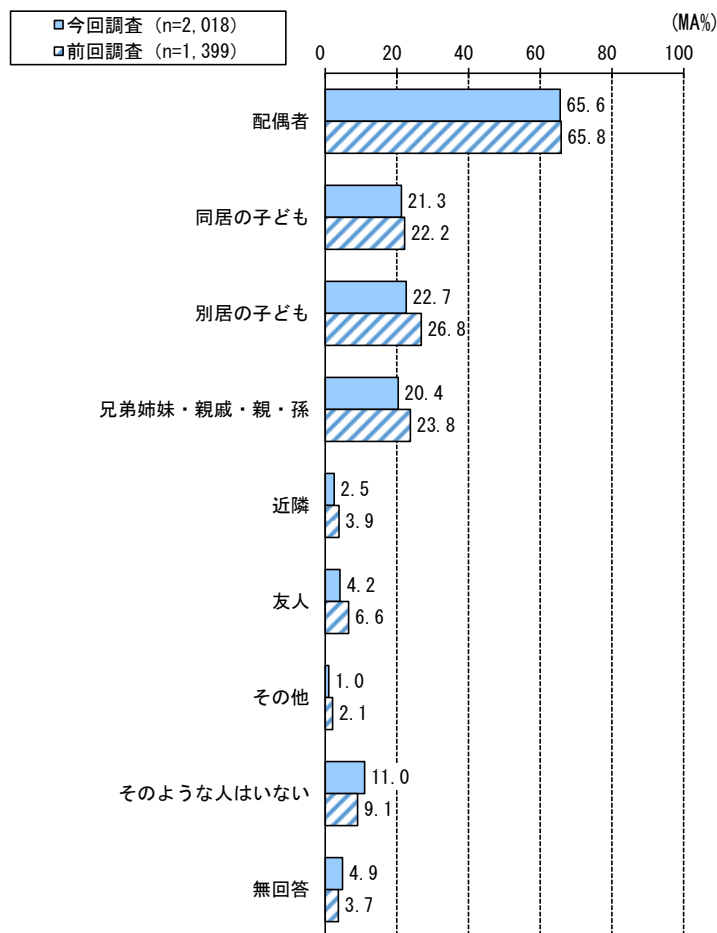
単位：%

		あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)									
		母数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,018	65.7	25.7	29.8	11.5	1.8	3.8	1.0	5.5	2.2
全体	今回調査	2,018	65.7	25.7	29.8	11.5	1.8	3.8	1.0	5.5	2.2
	前回調査	1,399	64.2	24.5	33.6	15.8	3.1	4.6	2.1	5.0	1.6
圏域	市街地	706	64.2	23.2	34.3	9.9	1.6	4.1	1.1	5.0	2.0
	中山間部	658	65.8	29.5	28.0	13.4	1.7	2.4	0.3	5.6	2.1
	山間部	654	67.1	24.5	26.9	11.5	2.3	4.9	1.7	6.0	2.6

●問7 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が65.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が22.7%、「同居の子ども」が21.3%となっています。

**【反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)】**



単位：%

		反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)									
		母数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はそいような人	無回答
全体		2,018	65.6	21.3	22.7	20.4	2.5	4.2	1.0	11.0	4.9
全体	今回調査	2,018	65.6	21.3	22.7	20.4	2.5	4.2	1.0	11.0	4.9
	前回調査	1,399	65.8	22.2	26.8	23.8	3.9	6.6	2.1	9.1	3.7
圏域	市街地	706	64.9	21.1	24.9	20.4	2.1	4.0	1.0	11.3	5.1
	中山間部	658	65.8	22.5	21.1	21.3	2.0	3.8	1.2	9.1	5.3
	山間部	654	66.1	20.3	22.0	19.6	3.4	4.9	0.9	12.4	4.1

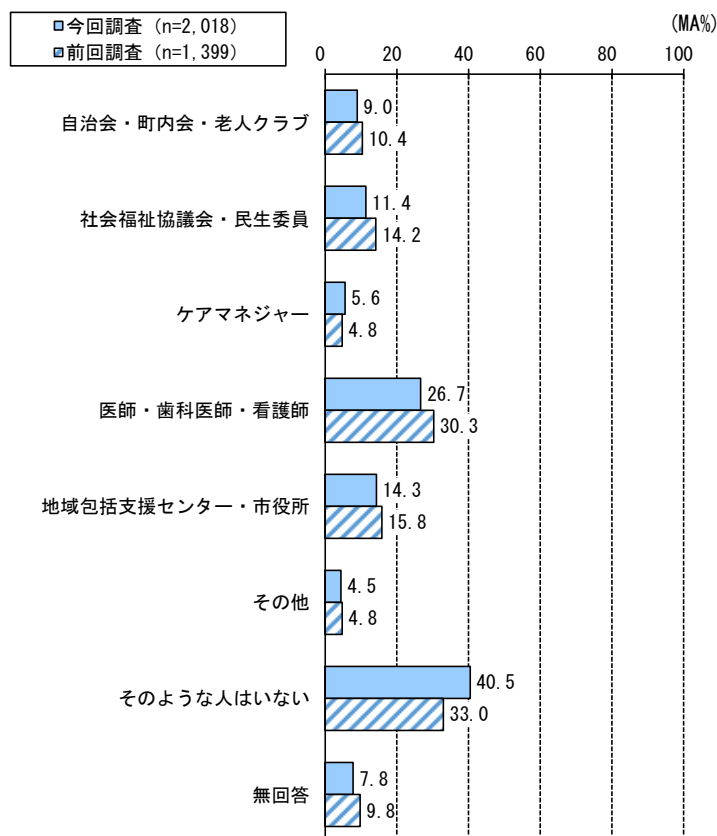
## (2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問7 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください (〇はいくつでも)

### 【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が40.5%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.7%、「地域包括支援センター・市役所」が14.3%となっています。
- 「そのような人はいない」は今回調査が40.5%と前回調査の33.0%に比べて多くなっています。

### 【何かあったときの相談相手 (MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「ケアマネジャー」は要支援1・2が40.5%と一般高齢者の3.5%に比べて多くなっています。
- 「地域包括支援センター・市役所」は要支援1・2が37.1%と一般高齢者の12.9%に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は一般高齢者が42.0%と要支援1・2の16.4%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「社会福祉協議会・民生委員」が19.9%と他の区分に比べて多く、「医師・歯科医師・看護師」が19.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：%

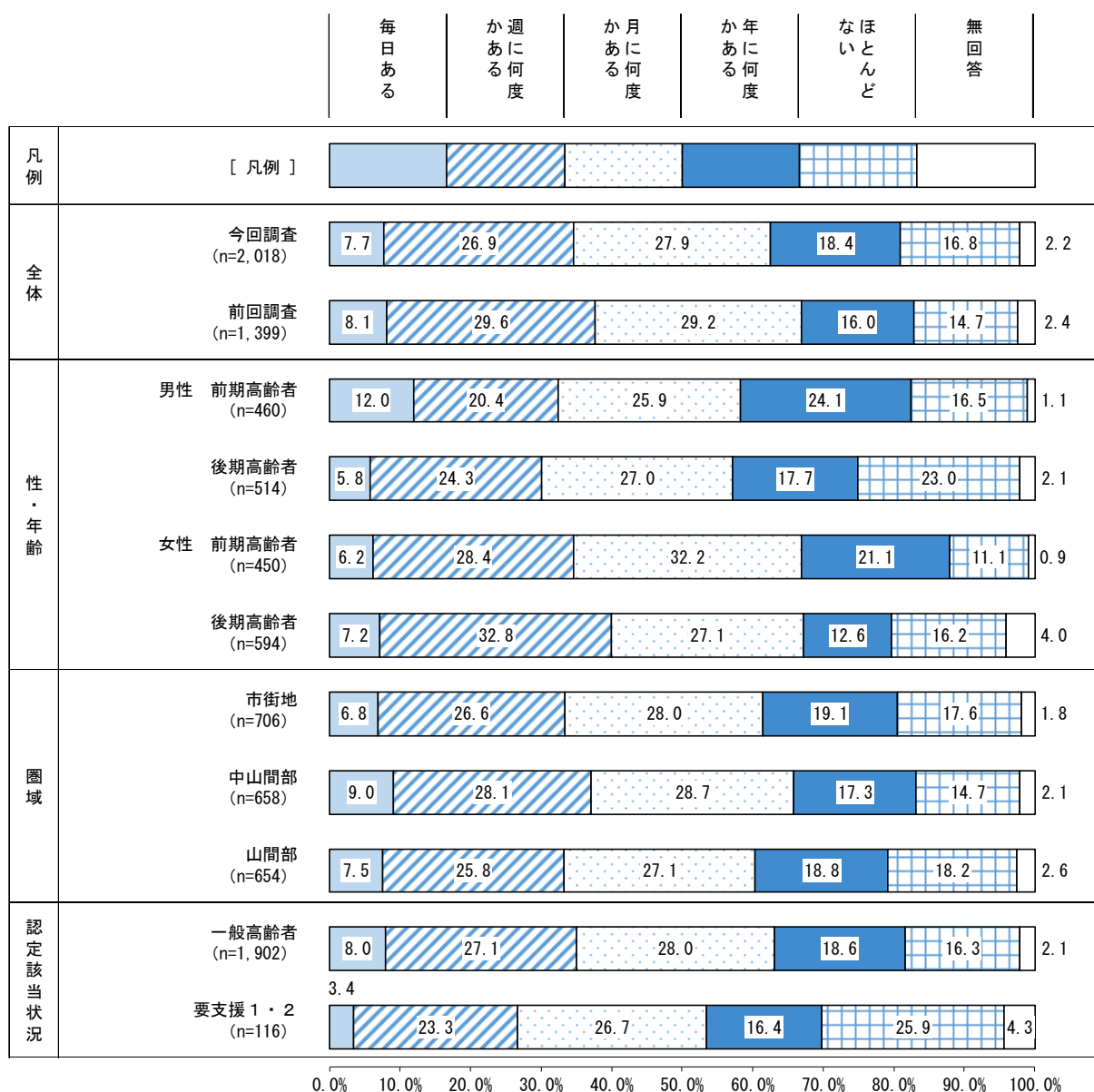
		母数	何かあったときの相談相手(MA)							無回答
			自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター	その他	いそがないような人は	
全体	今回調査	2,018	9.0	11.4	5.6	26.7	14.3	4.5	40.5	7.8
	前回調査	1,399	10.4	14.2	4.8	30.3	15.8	4.8	33.0	9.8
性・年齢	男性 前期高齢者	460	12.8	7.4	2.6	24.1	10.2	4.8	△ 51.1	3.7
	後期高齢者	514	10.7	12.8	6.8	30.5	15.2	3.9	35.8	7.0
	女性 前期高齢者	450	6.0	7.3	3.6	29.3	14.2	4.2	45.3	5.8
	後期高齢者	594	6.9	16.3	8.6	23.4	16.7	4.9	32.8	13.3
圏域	市街地	706	6.1	8.8	5.9	26.3	13.6	4.5	43.3	6.9
	中山間部	658	10.2	13.1	6.2	26.9	16.1	3.2	37.7	9.7
	山間部	654	11.0	12.5	4.7	26.9	13.1	5.7	40.4	6.9
状況認定	一般高齢者	1,902	9.4	11.4	3.5	26.8	12.9	4.6	42.0	7.8
	要支援1・2	116	3.4	11.2	△ 40.5	25.9	△ 37.1	2.6	▼ 16.4	8.6
家族構成	1人暮らし	332	11.4	19.9	6.6	19.3	14.8	4.5	38.3	6.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	9.2	10.3	5.4	29.5	14.1	3.6	40.4	8.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	9.3	11.3	2.1	22.7	7.2	3.1	47.4	6.2
	息子・娘との2世帯	550	7.8	8.7	5.5	27.6	15.6	5.6	42.0	7.3
	その他	136	6.6	8.8	7.4	24.3	15.4	6.6	37.5	11.8

### (3) 友人・知人との関係性

#### ●問7 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が27.9%で最も多く、次いで「週に何度かある」が26.9%、「年に何度かある」が18.4%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「週に何度かある」が多くなっています。</p> <p>○ 「月に何度かある」は女性 前期高齢者が32.2%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほとんどない」が多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <p>○ 「ほとんどない」は要支援1・2が25.9%と一般高齢者の16.3%に比べて多くなっています。</p>
---

【友人・知人と会う頻度】



●問7 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

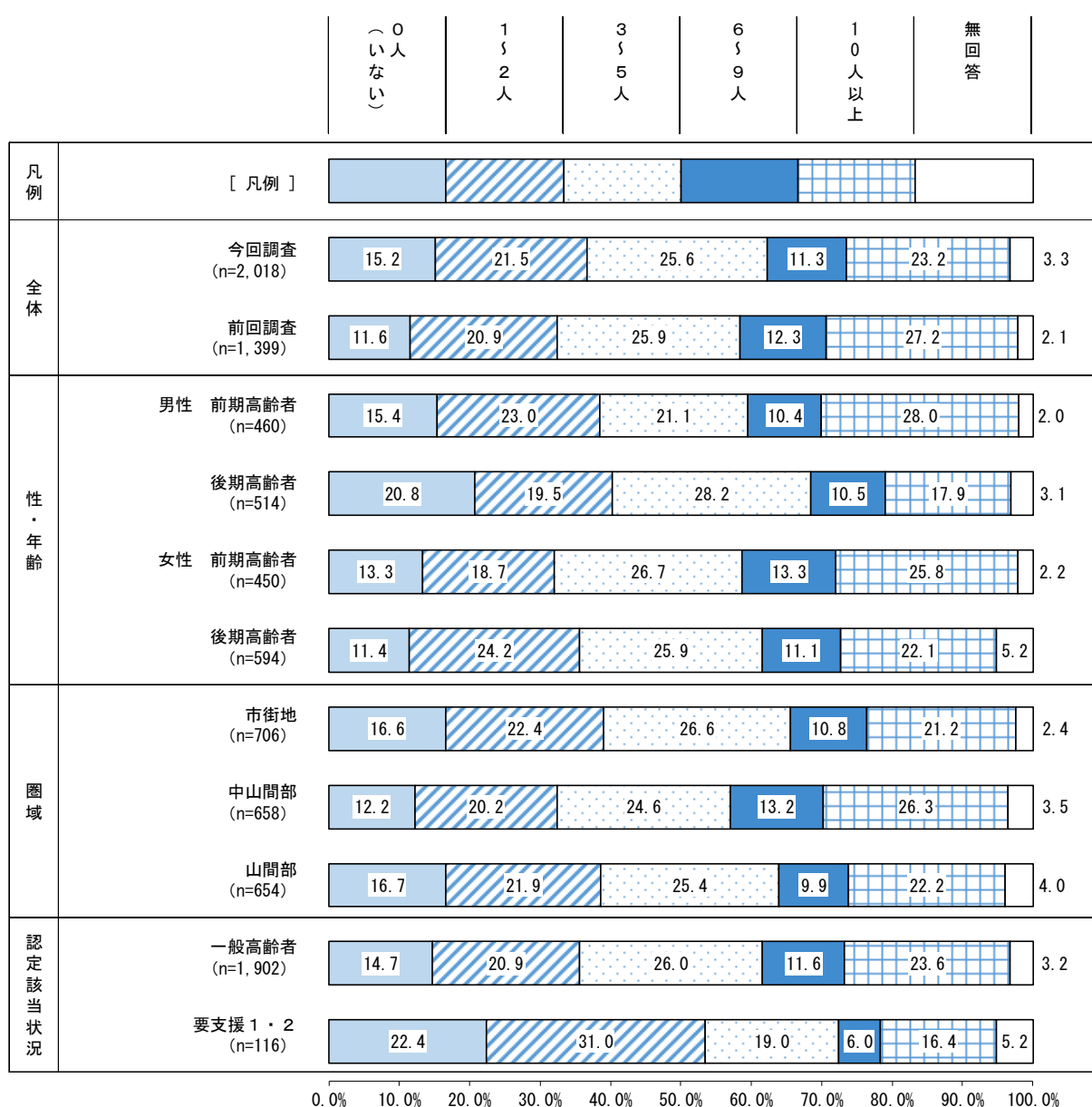
**【全体】**  
 ○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が25.6%で最も多く、次いで「10人以上」が23.2%、「1～2人」が21.5%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 後期高齢者では、「0人(いない)」は男性が20.8%と女性の11.4%に比べて多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ 「10人以上」は中山間部が26.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「0人(いない)」「1～2人」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。  
 ○ 「3～5人」「6～9人」「10人以上」は一般高齢者が要支援1・2に比べて多くなっています。

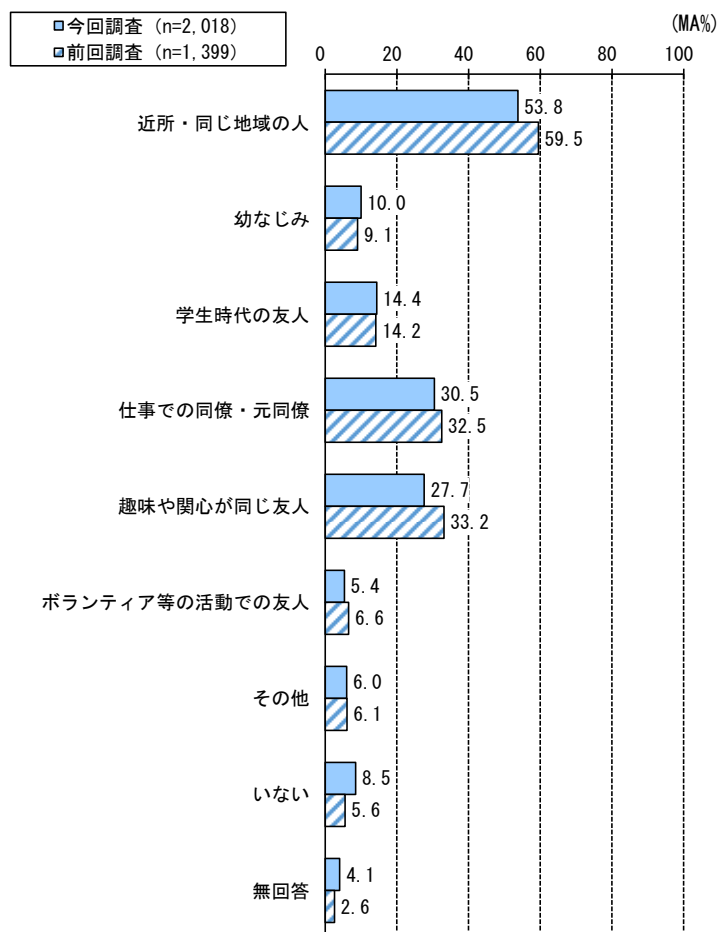
【この1か月間で会った友人・知人の数】



●問7 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

- 【全体】**
- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が53.8%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が30.5%、「趣味や関心が同じ友人」が27.7%となっています。
  - 「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」は今回調査が前回調査に比べて少なくなっています。

**【よく会う友人・知人との関係 (MA)】**



- 【性・年齢】**
- 「近所・同じ地域の人」は女性 後期高齢者が 62.3%と他の区分に比べて多くなっています。
  - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「仕事での同僚・元同僚」が多くなっています。
  - 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「趣味や関心が同じ友人」が多くなっています。
- 【圏域】**
- 「近所・同じ地域の人」は市街地が 45.3%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」は要支援1・2が一般高齢者に比べて少なくなっています。

単位：%

		母数	よく会う友人・知人との関係(MA)								
			の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	じ趣味友人や関心が同	のボランティアでの友人等	その他	いない	無回答
全体		2,018	53.8	10.0	14.4	30.5	27.7	5.4	6.0	8.5	4.1
全体	今回調査	2,018	53.8	10.0	14.4	30.5	27.7	5.4	6.0	8.5	4.1
	前回調査	1,399	59.5	9.1	14.2	32.5	33.2	6.6	6.1	5.6	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	460	47.8	12.6	15.9	△ 46.5	21.1	5.9	5.7	10.4	2.4
	後期高齢者	514	51.6	9.9	11.5	25.7	22.4	3.3	5.4	10.9	5.4
	女性 前期高齢者	450	51.1	9.3	20.7	38.9	34.7	7.3	5.3	6.2	1.8
	後期高齢者	594	62.3	8.4	11.1	▼ 15.8	32.2	5.2	7.4	6.7	6.1
圏域	市街地	706	45.3	7.9	15.0	32.2	29.9	3.1	6.4	9.8	3.7
	中山間部	658	60.0	11.9	15.3	29.8	28.7	6.4	5.0	6.4	4.0
	山間部	654	56.6	10.2	12.8	29.4	24.3	6.7	6.7	9.3	4.7
当該認定状況	一般高齢者	1,902	54.0	10.0	15.0	31.4	28.4	5.6	5.5	8.4	3.9
	要支援1・2	116	50.0	9.5	5.2	▼ 15.5	▼ 15.5	1.7	14.7	10.3	7.8

## 9. 健康について

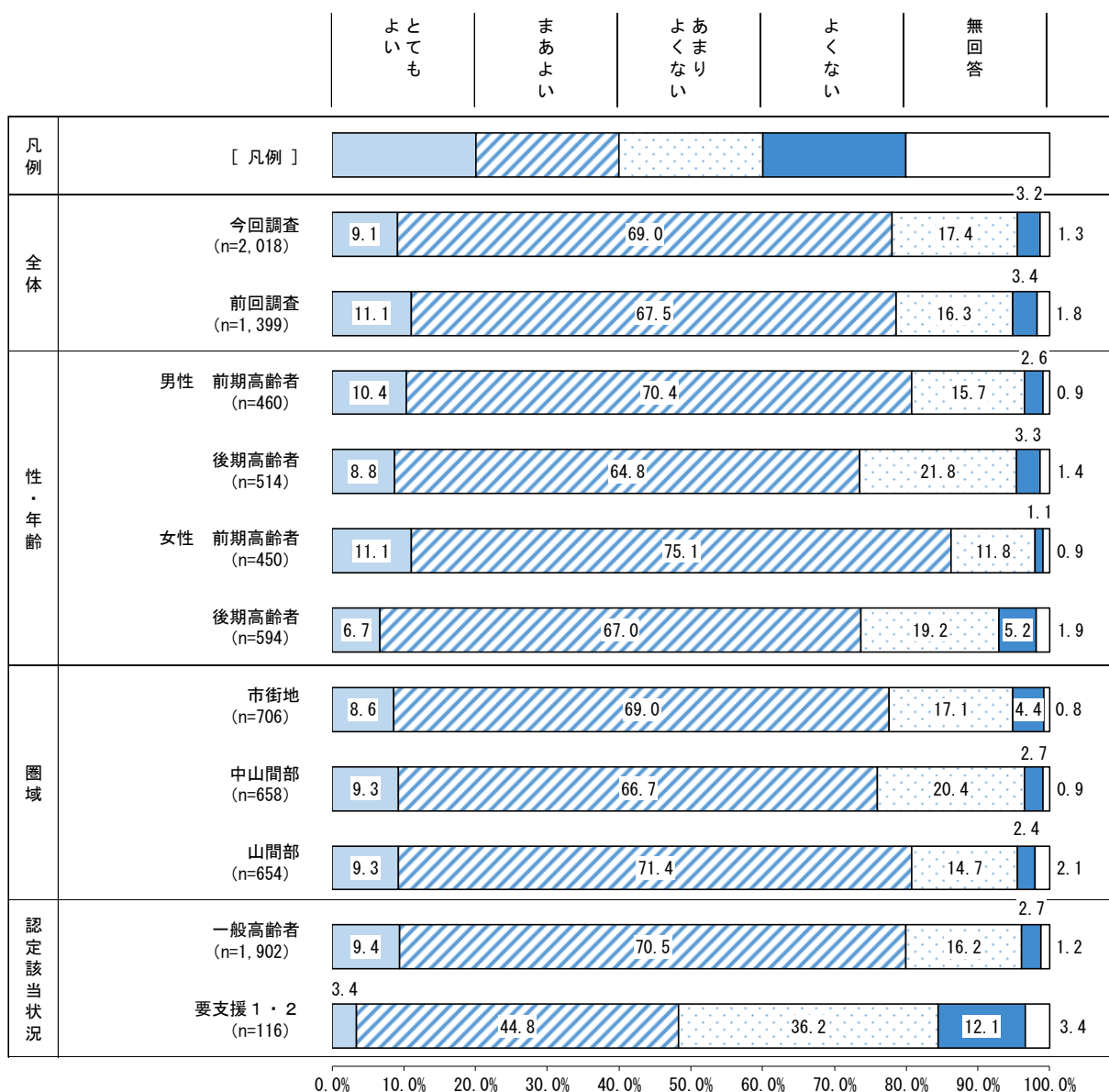
### (1) 健康状態

#### ① 主観的な健康感

●問8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

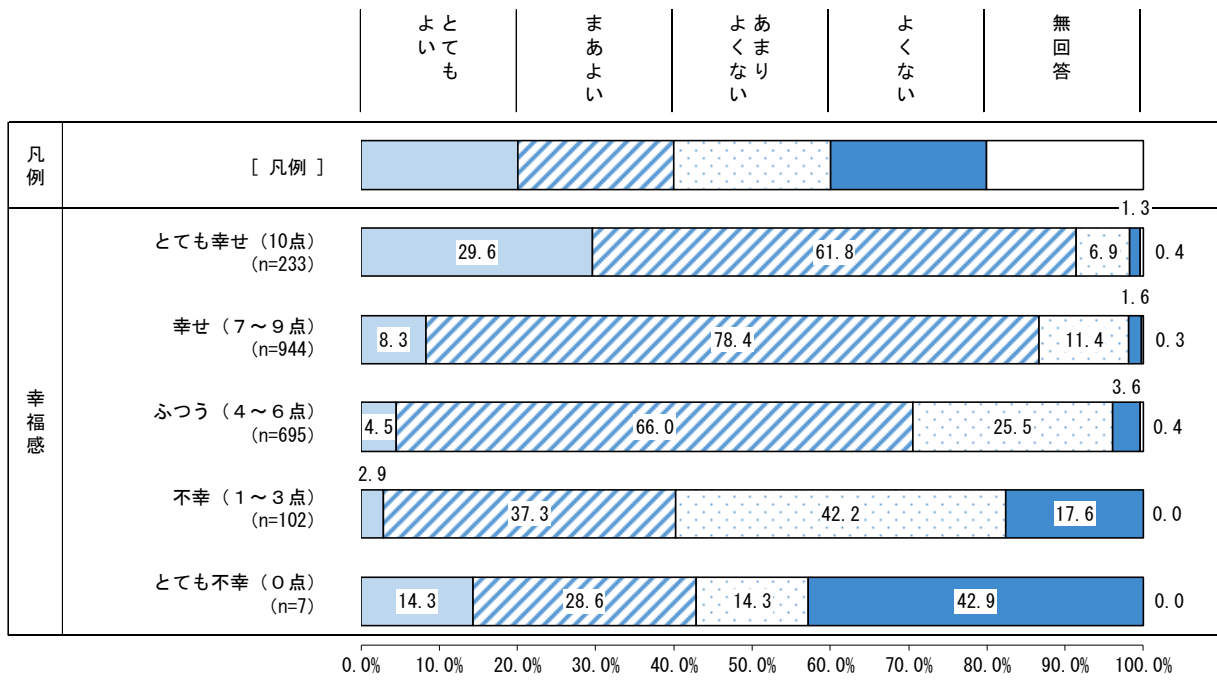
<b>【全体】</b>
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 69.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 17.4%、「とてもよい」が 9.1%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は 78.1%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”は 20.6%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“よくない”が多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ “よくない”は要支援1・2が 48.3%と一般高齢者の 18.9%に比べて多くなっています。

【主観的健康感】



**【幸福感】**  
 ○ 幸福感が低いほど「よくない」が多くなる傾向がみられます。

**【主観的健康感】**

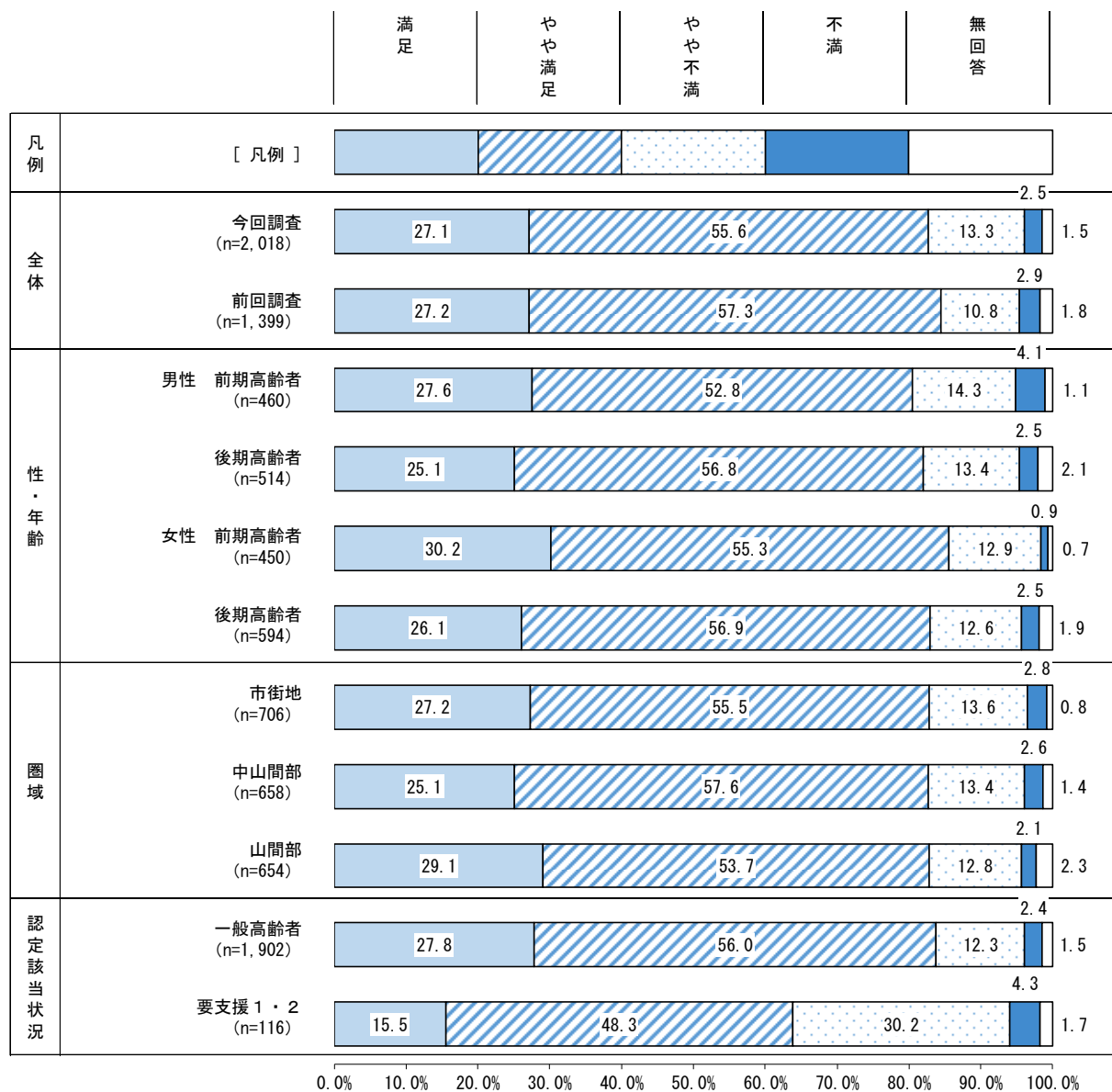


●問8 (2) 毎日の生活に満足していますか

**【全体】**  
 ○ 毎日の生活の満足度について、「やや満足」が 55.6%で最も多く、次いで「満足」が 27.1%、「やや不満」が 13.3%となっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 要支援1・2では、「満足」「やや満足」が一般高齢者に比べて少なく、「やや不満」が 30.2%と一般高齢者の 12.3%に比べて多くなっています。

**【毎日の生活の満足度】**

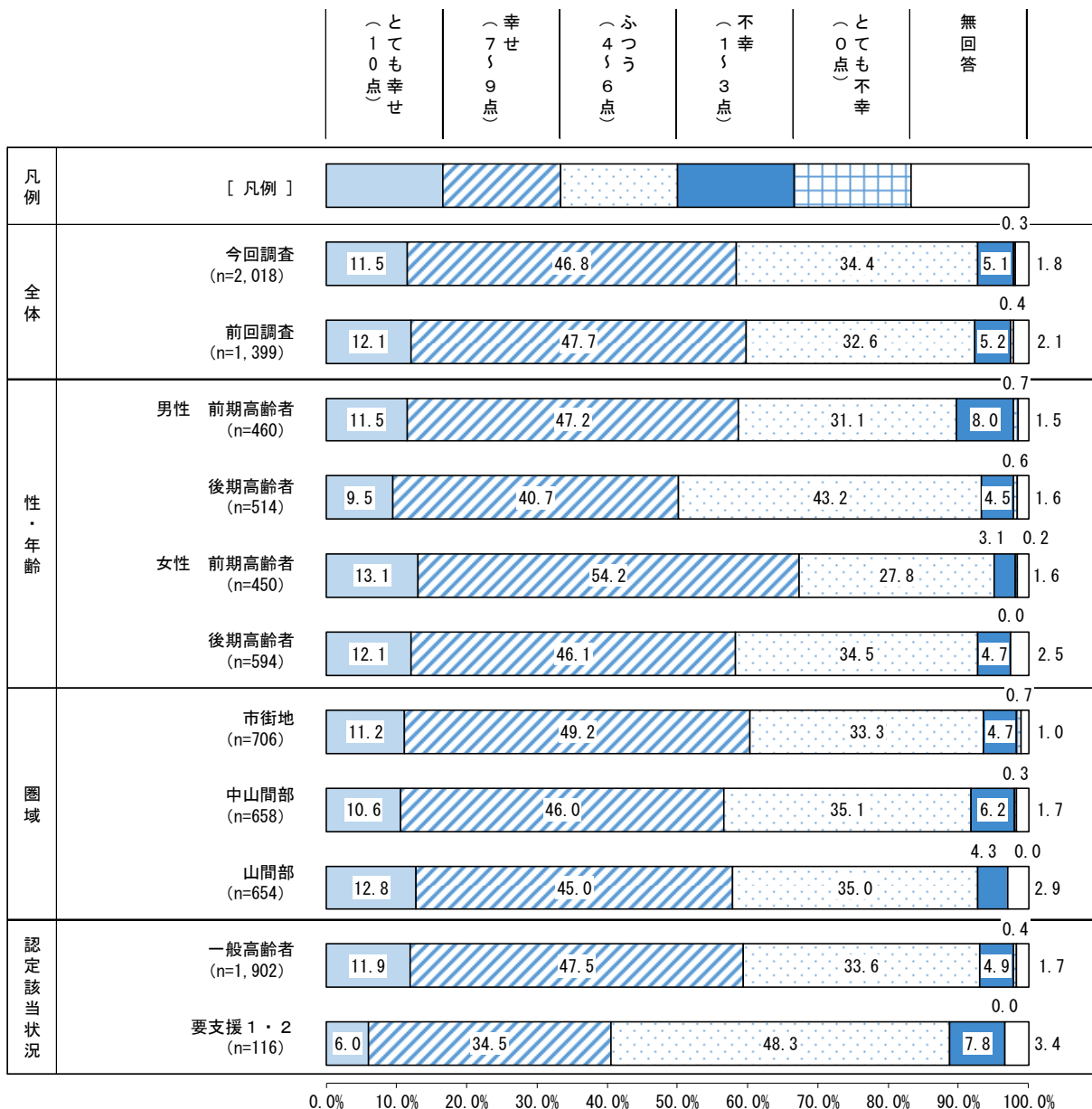


## ② こころの健康

●問8 (3) あなたは、現在どの程度幸せですか

<b>【全体】</b>
○ 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が46.8%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が34.4%、「とても幸せ（10点）」が11.5%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「幸せ（7～9点）」が多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せ”は一般高齢者が59.4%と要支援1・2の40.5%に比べて多くなっています。

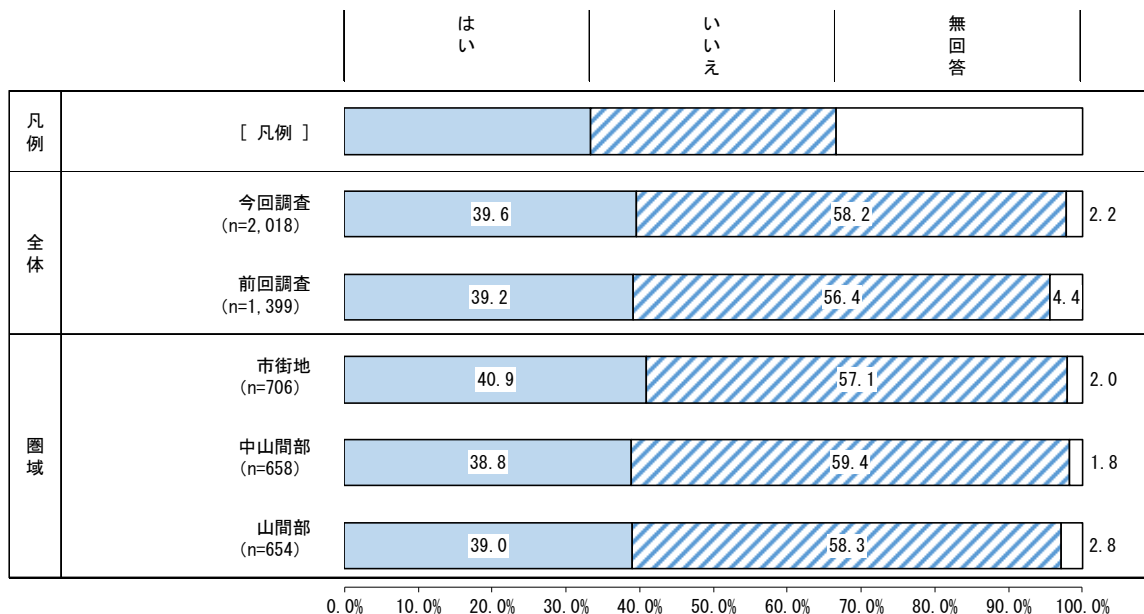
### 【幸福感】



- 問8 (4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

**【全体】**  
 ○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が39.6%、「いいえ」が58.2%となっています。

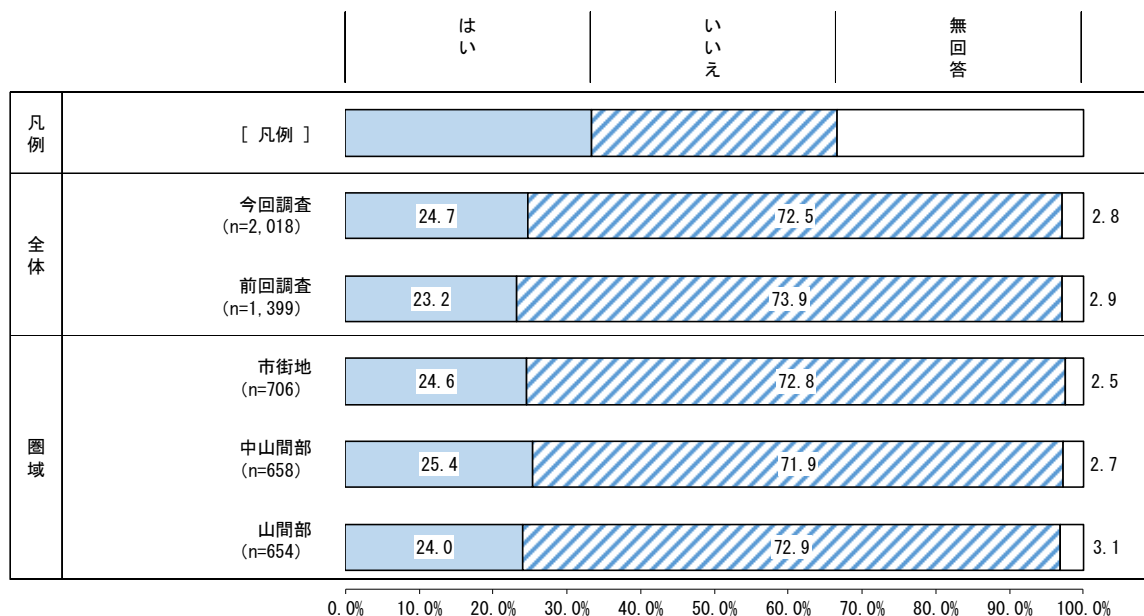
**【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】**



- 問8 (5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

**【全体】**  
 ○ 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が24.7%、「いいえ」が72.5%となっています。

**【物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか】**

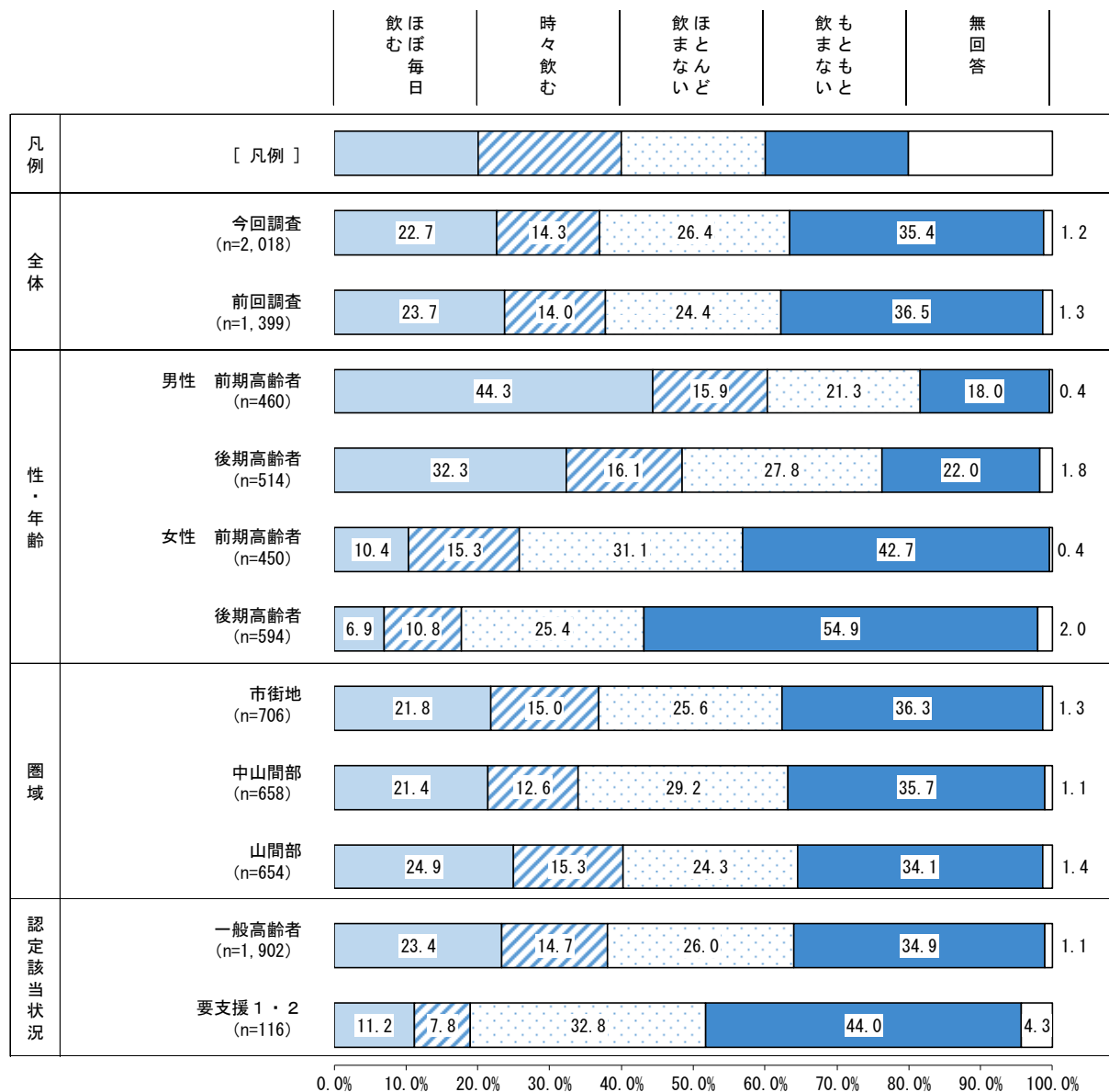


## (2) 飲酒・喫煙

### ●問8 (6) お酒は飲みますか

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が35.4%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.4%、「ほぼ毎日飲む」が22.7%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「もともと飲まない」が多くなっています。</p>
---

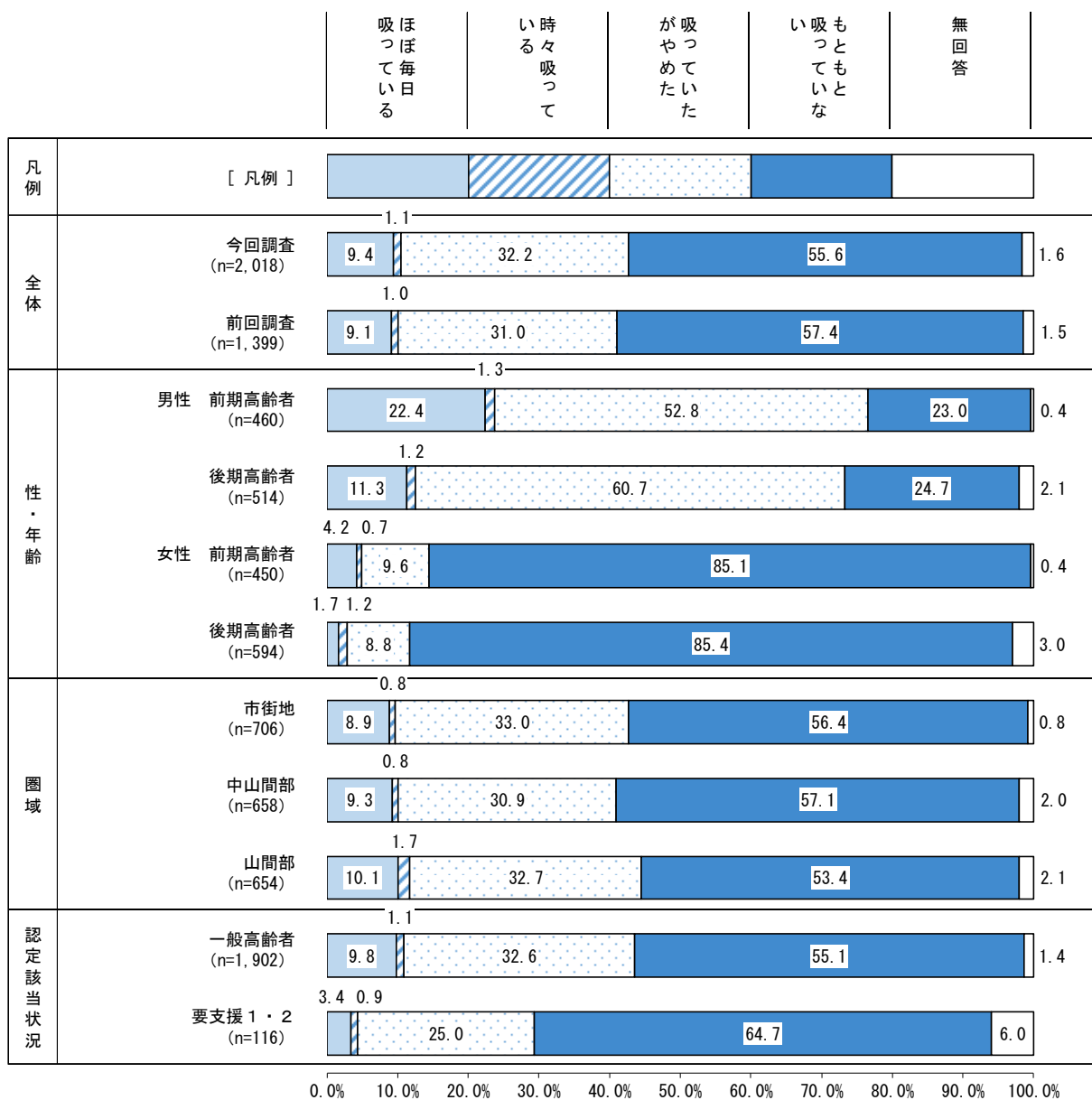
【飲酒の状況】



●問8 (7) タバコは吸っていますか

- 【全体】**  
 ○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が55.6%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が32.2%、「ほぼ毎日吸っている」が9.4%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」が多くなっています。  
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「もともと吸っていない」が多くなっています。

【喫煙の状況】

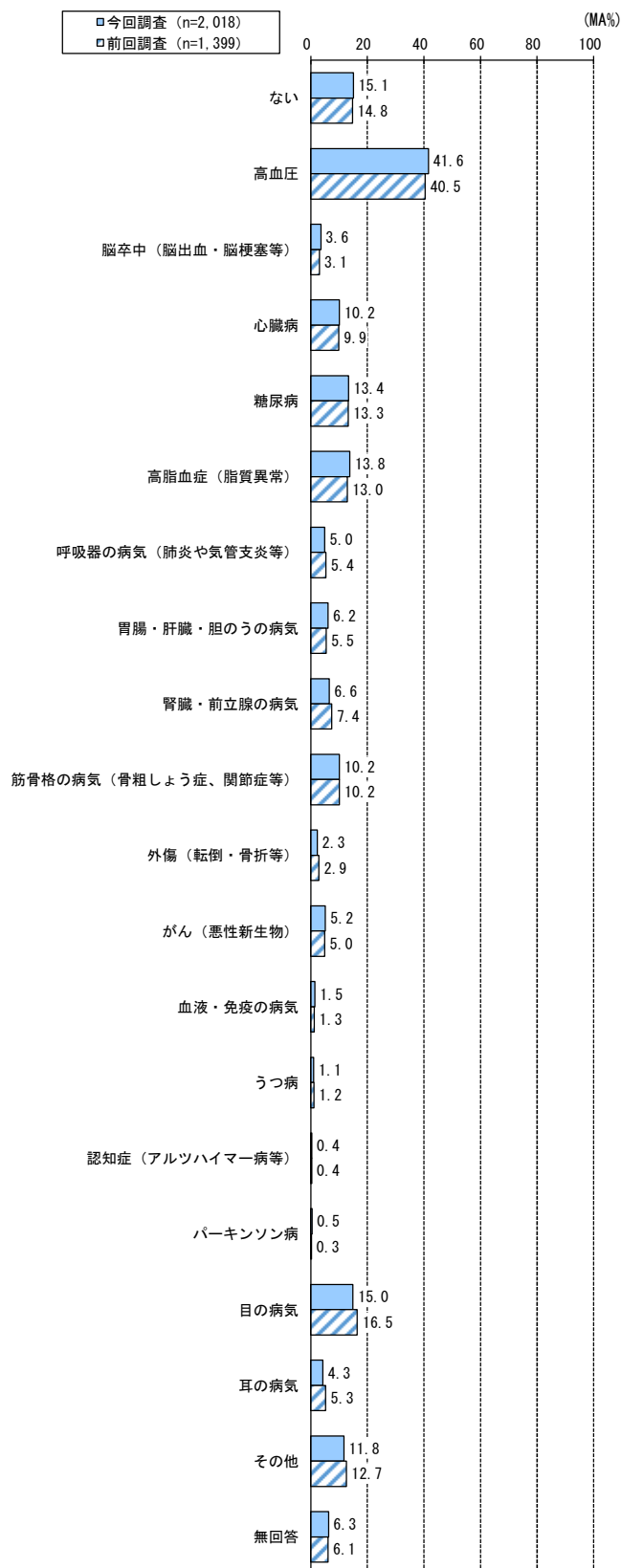


### (3) 病気の状況

●問8 (8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 41.6%で最も多く、次いで「ない」が 15.1%、「目の病気」が 15.0%となっています。

**【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】**



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「ない」「高脂血症（脂質異常）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「心臓病」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「ない」は要支援1・2が3.4%と一般高齢者の15.8%に比べて多くなっています。
- 「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」「耳の病気」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：%

	母数	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		ない	高血圧	脳卒中等 （脳出血・脳梗塞）	心臓病	糖尿病	高脂血症 （脂質異常）	支（肺炎や気管炎等）	胆胃腸の 病気・肝臓病	腎臓病・ 前立腺	筋骨格の 病気（骨粗しょう症、 関節症）	
全体	2,018	15.1	41.6	3.6	10.2	13.4	13.8	5.0	6.2	6.6	10.2	
全体	今回調査	2,018	15.1	41.6	3.6	10.2	13.4	13.8	5.0	6.2	10.2	
	前回調査	1,399	14.8	40.5	3.1	9.9	13.3	13.0	5.4	5.5	10.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	460	18.3	40.9	3.9	9.1	15.4	14.1	5.7	4.3	3.3	
	後期高齢者	514	10.3	44.6	6.4	16.0	17.9	7.2	5.3	9.5	5.4	
	女性 前期高齢者	450	20.0	34.9	1.8	2.9	9.1	22.9	4.7	3.6	11.1	
	後期高齢者	594	13.0	44.6	2.4	11.4	11.1	12.3	4.4	6.9	18.9	
圏域	市街地	706	13.0	41.6	2.8	9.6	11.3	14.4	5.2	7.1	11.6	
	中山間部	658	15.0	42.4	4.0	11.1	15.0	14.9	4.9	5.0	9.6	
	山間部	654	17.3	40.7	4.1	9.8	13.9	11.9	4.7	6.6	9.2	
当該認定状況	一般高齢者	1,902	15.8	41.2	3.3	9.4	13.4	14.0	4.8	6.0	9.5	
	要支援1・2	116	▼ 3.4	47.4	8.6	△ 22.4	13.8	9.5	6.9	10.3	△ 21.6	

単位：%

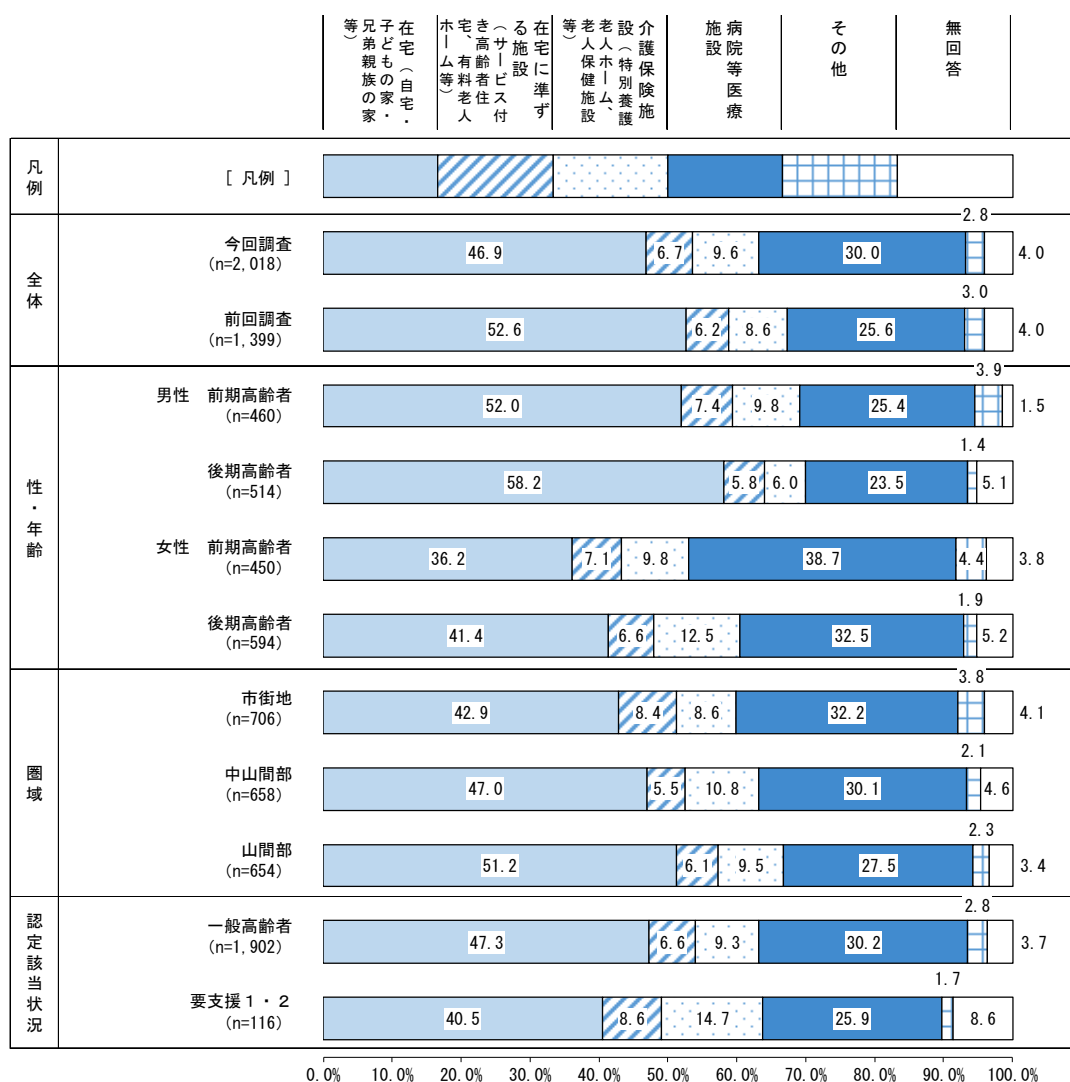
	母数	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
		骨折等 （転倒・	がん （悪性新	血液・ 免疫の	うつ 病	認知症 （アル	パー キンソン	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回答
全体	2,018	2.3	5.2	1.5	1.1	0.4	0.5	15.0	4.3	11.8	6.3
全体	今回調査	2,018	2.3	5.2	1.5	1.1	0.4	0.5	15.0	4.3	11.8
	前回調査	1,399	2.9	5.0	1.3	1.2	0.4	0.3	16.5	5.3	12.7
性・年齢	男性 前期高齢者	460	1.3	5.2	1.5	1.5	-	0.9	11.3	3.5	13.9
	後期高齢者	514	2.3	6.4	1.4	0.6	0.8	0.6	16.9	5.3	10.1
	女性 前期高齢者	450	2.2	5.8	1.8	1.1	-	0.2	14.9	3.6	11.6
	後期高齢者	594	3.2	3.7	1.3	1.2	0.7	0.5	16.3	4.5	11.8
圏域	市街地	706	2.0	5.1	1.4	1.6	0.3	0.6	16.3	5.2	11.5
	中山間部	658	2.6	4.4	1.4	0.8	0.3	0.8	15.5	3.6	12.0
	山間部	654	2.4	6.1	1.7	0.9	0.6	0.3	13.1	3.8	11.9
当該認定状況	一般高齢者	1,902	1.6	5.1	1.4	1.0	0.3	0.4	14.6	3.9	11.6
	要支援1・2	116	△ 13.8	6.9	2.6	2.6	1.7	2.6	21.6	10.3	14.7

#### (4) 人生の最期について

- 問8 (9) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか

<b>【全体】</b>
○ 最期を迎えたい場所について、「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が46.9%で最も多く、次いで「病院等医療施設」が30.0%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が9.6%となっています。
○ 「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」は今回調査が46.9%と前回調査の52.6%に比べて少なくなっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「病院等医療施設」が多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」は一般高齢者が47.3%と要支援1・2の40.5%に比べて多くなっています。
○ 「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」は要支援1・2が14.7%と一般高齢者の9.3%に比べて多くなっています。

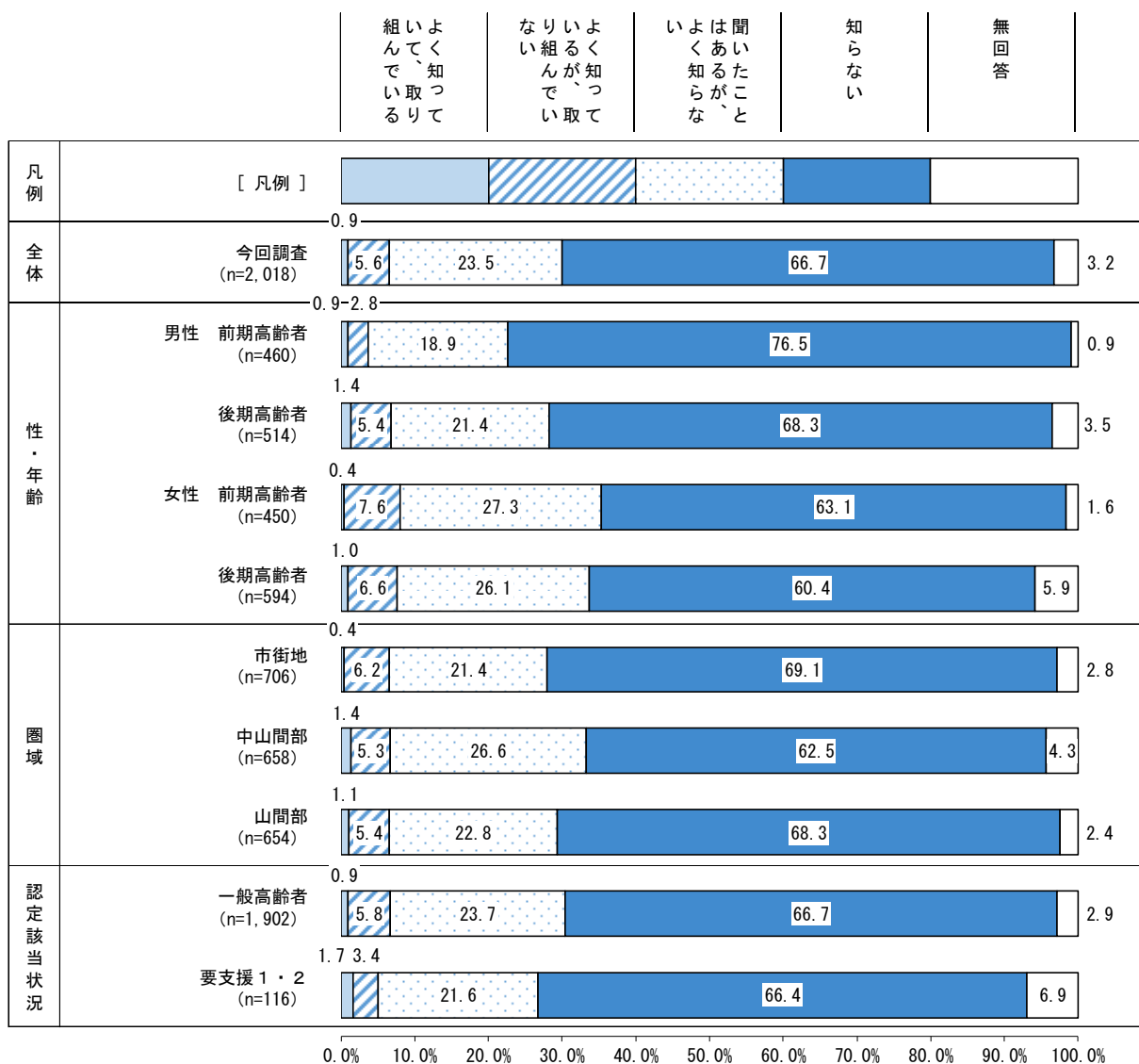
【最期を迎えたい場所】



●問8 (10) ACPや人生会議を知っていますか

- 【全体】**  
 ○ ACP や人生会議の認知状況について、「知らない」が66.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が23.5%、「よく知っているが、取り組んでいない」が5.6%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。
- 【圏域】**  
 ○ 「知らない」は中山間部が62.5%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【ACP や人生会議の認知状況】

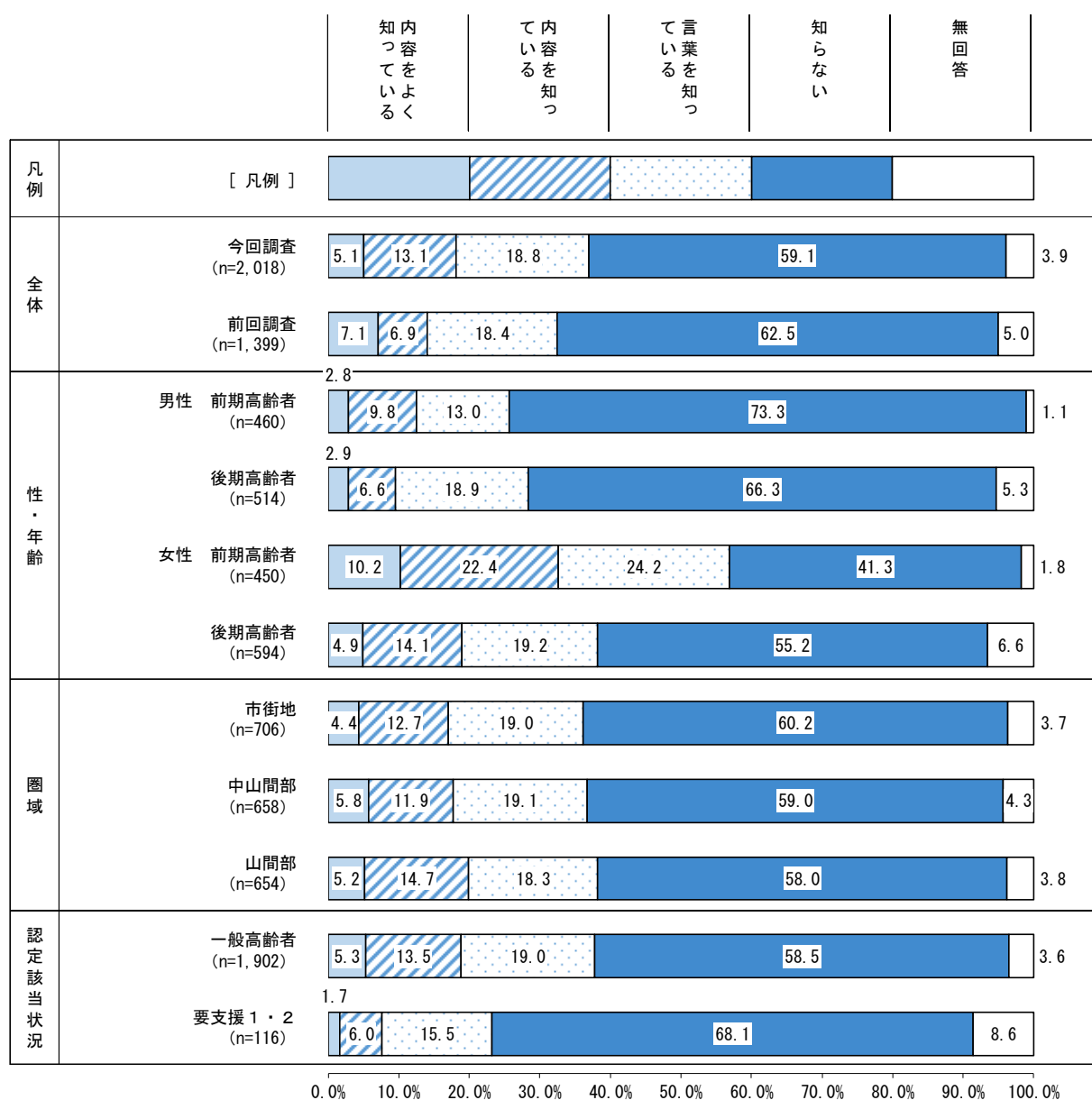


## (5) 健康維持について

### ●問8 (11)「フレイル」を知っていますか

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 「フレイル」の認知状況について、「知らない」が59.1%で最も多く、次いで「言葉を知っている」が18.8%、「内容を知っている」が13.1%となっています。</p> <p>○ 「内容を知っている」は前回調査の6.9%に比べて多くなっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「内容を知っている」が多くなっています。</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <p>○ 「内容を知っている」は一般高齢者が13.5%と要支援1・2の6.0%に比べて多くなっています。</p> <p>○ 「知らない」は要支援1・2が68.1%と一般高齢者の58.5%に比べて多くなっています。</p>
--

【「フレイル」の認知状況】



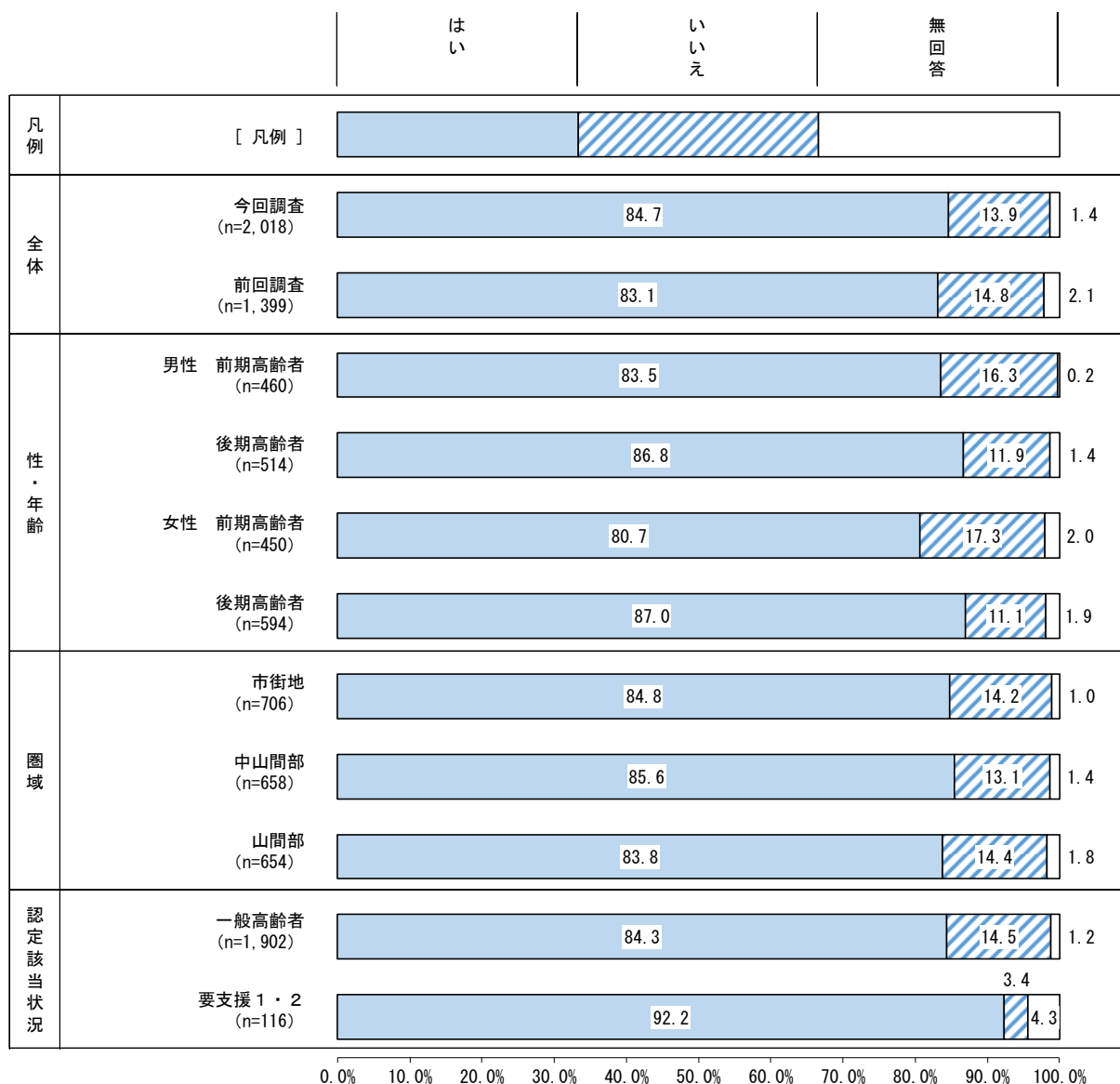
●問8 (12) かかりつけ医はありますか

**【全体】**  
 ○ かかりつけ医の有無について、「はい」が84.7%、「いいえ」が13.9%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 女性では、「はい」が前期高齢者では80.7%と後期高齢者の87.0%に比べて少なくなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援1・2が92.2%と一般高齢者の84.3%に比べて多くなっています。

【かかりつけ医の有無】



●問8 (13) 定期的に歯科検診を受けていますか

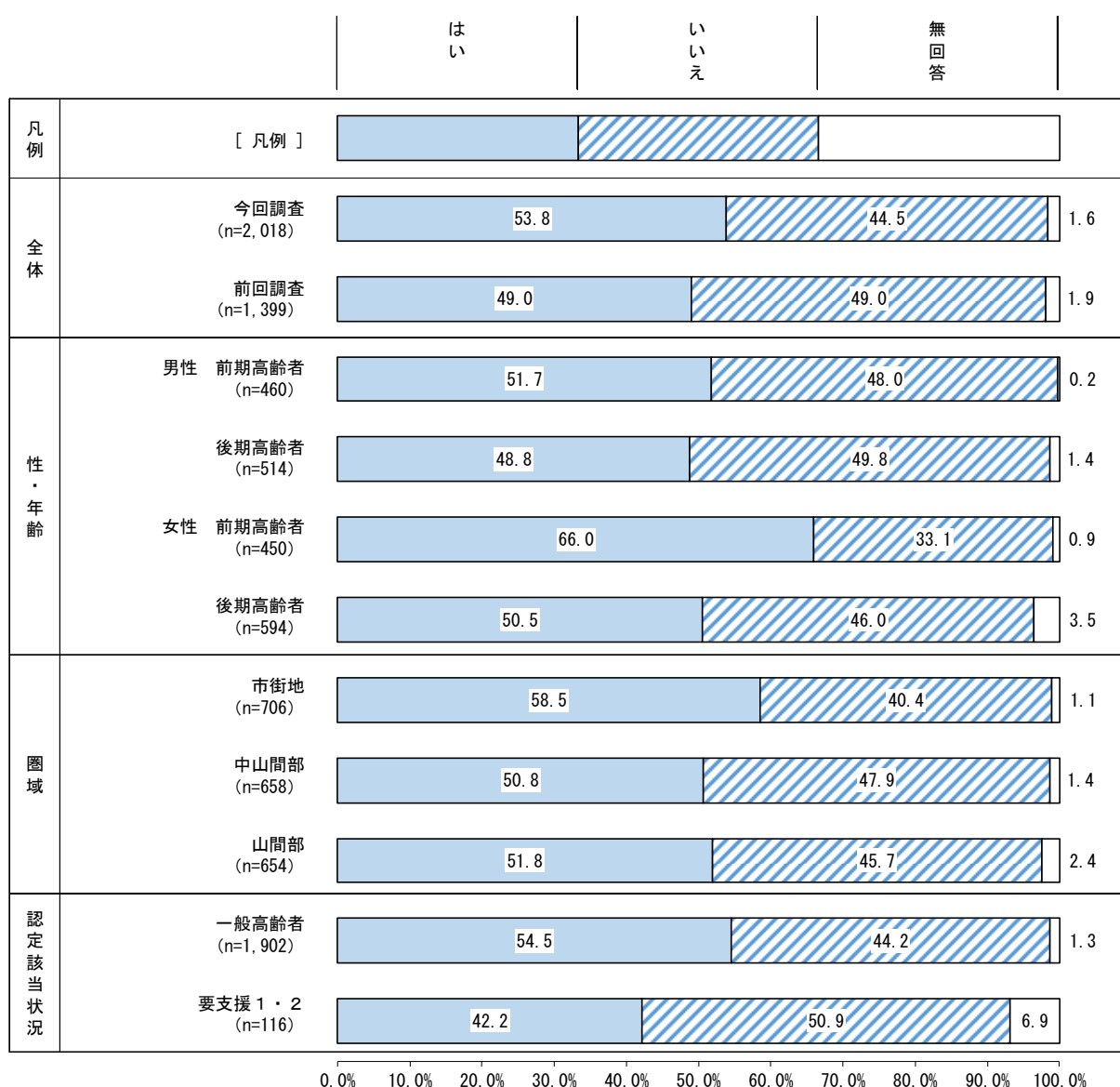
**【全体】**  
 ○ 定期的な歯科検診の受診について、「はい」が 53.8%、「いいえ」が 44.5%となっています。  
 ○ 「はい」は前回調査の 49.0%に比べて多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 「はい」は女性 前期高齢者が 66.0%と他の区分に比べて多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ 「はい」は市街地が 58.5%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は要支援 1・2 が 42.2%と一般高齢者の 54.5%に比べて少なくなっています。

【定期的な歯科検診の受診】



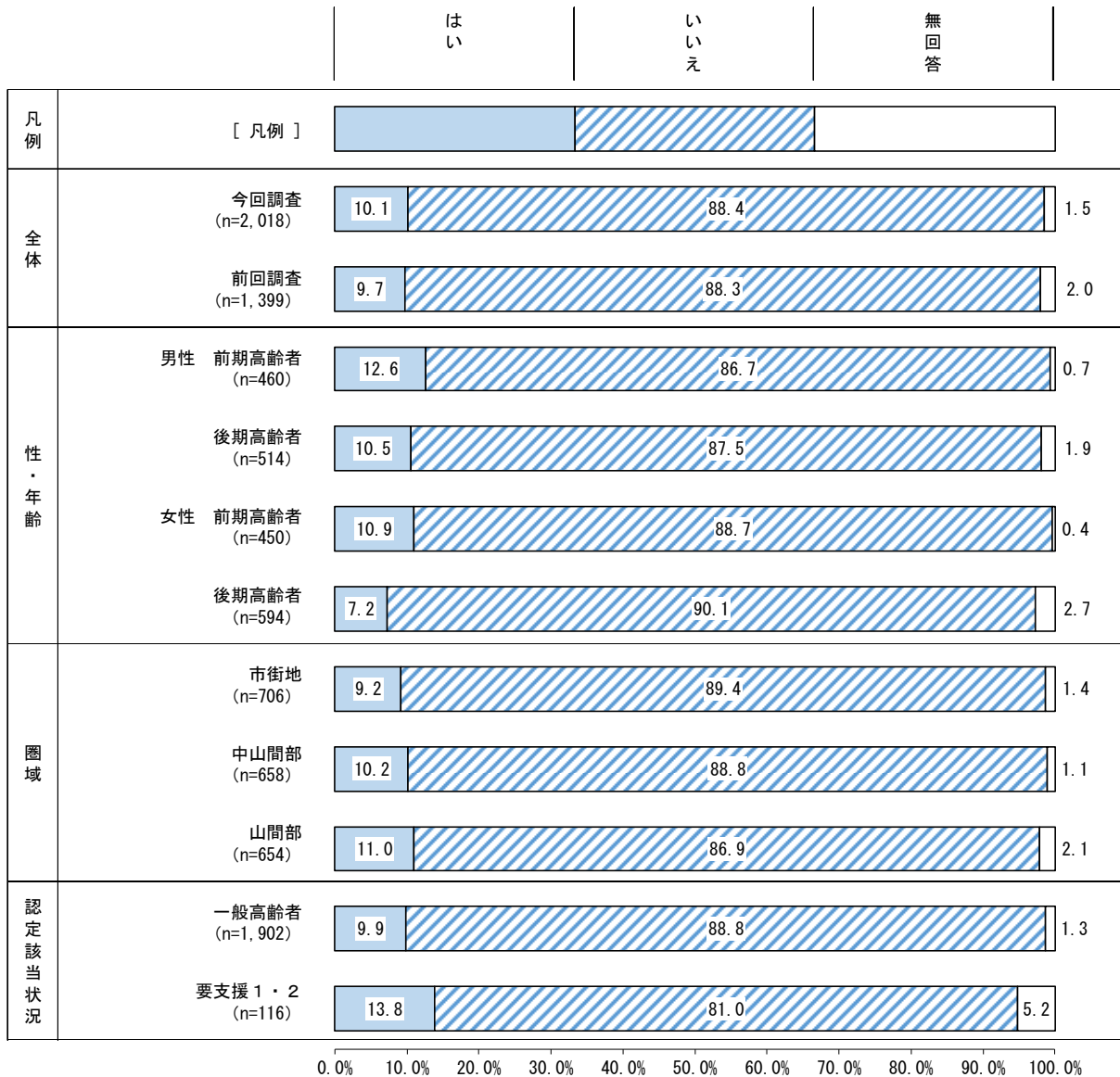
## 10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 認知症の症状の有無

●問9 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

<p><b>【全体】</b> ○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が10.1%、「いいえ」が88.4%となっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b> ○ 要支援1・2では、「はい」が13.8%となっています。</p>
---

【自身や家族の認知症の症状有無】

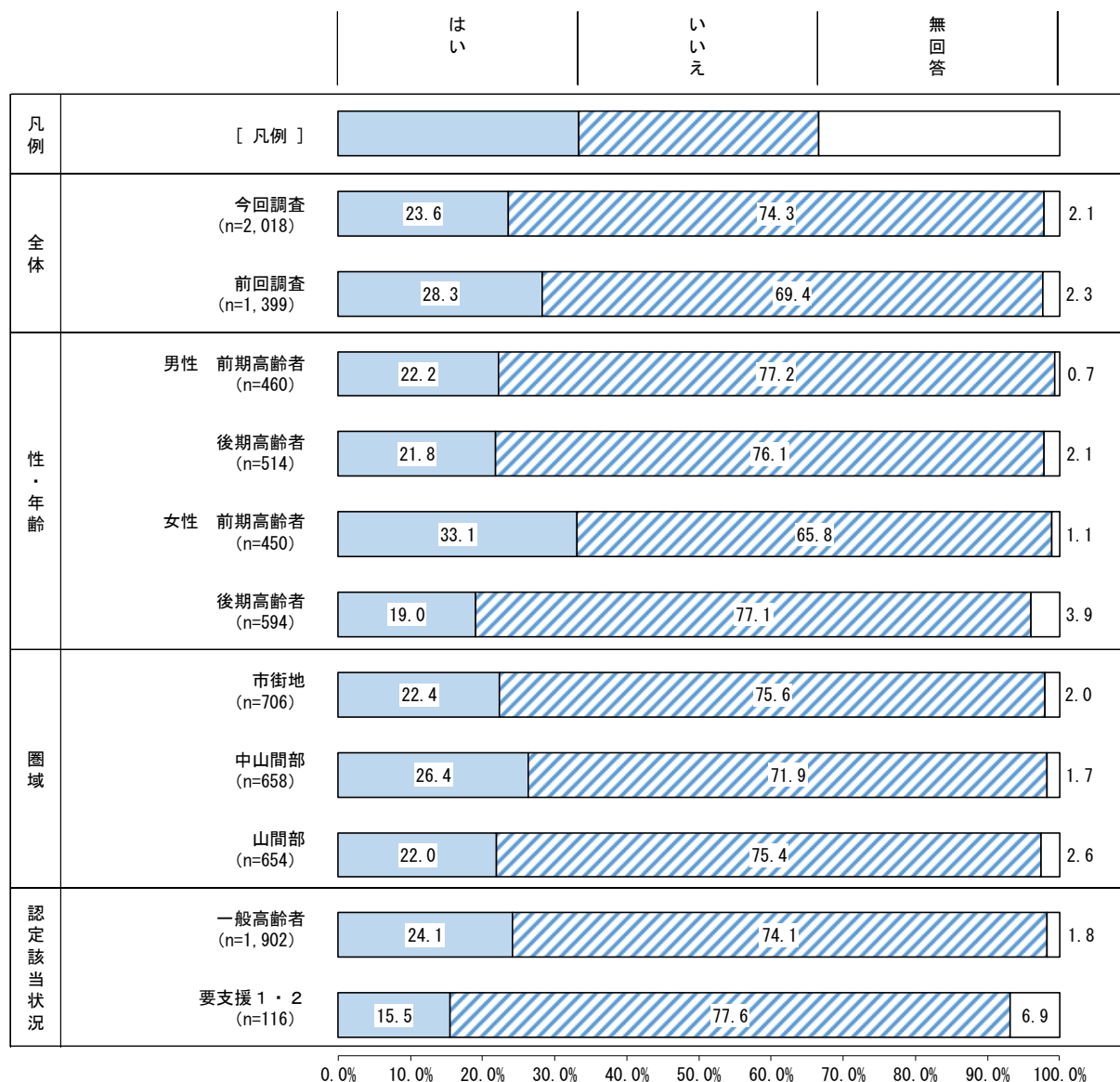


## (2) 認知症の相談窓口の認知状況

### ●問9 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

<p><b>【全体】</b> ○ 認知症に関する相談窓口の認知状況について、「はい」が23.6%、「いいえ」が74.3%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b> ○ 「はい」は女性 前期高齢者が33.1%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b> ○ 「はい」は一般高齢者が24.1%、要支援1・2が15.5%となっています。</p>
--

【認知症に関する相談窓口の認知状況】

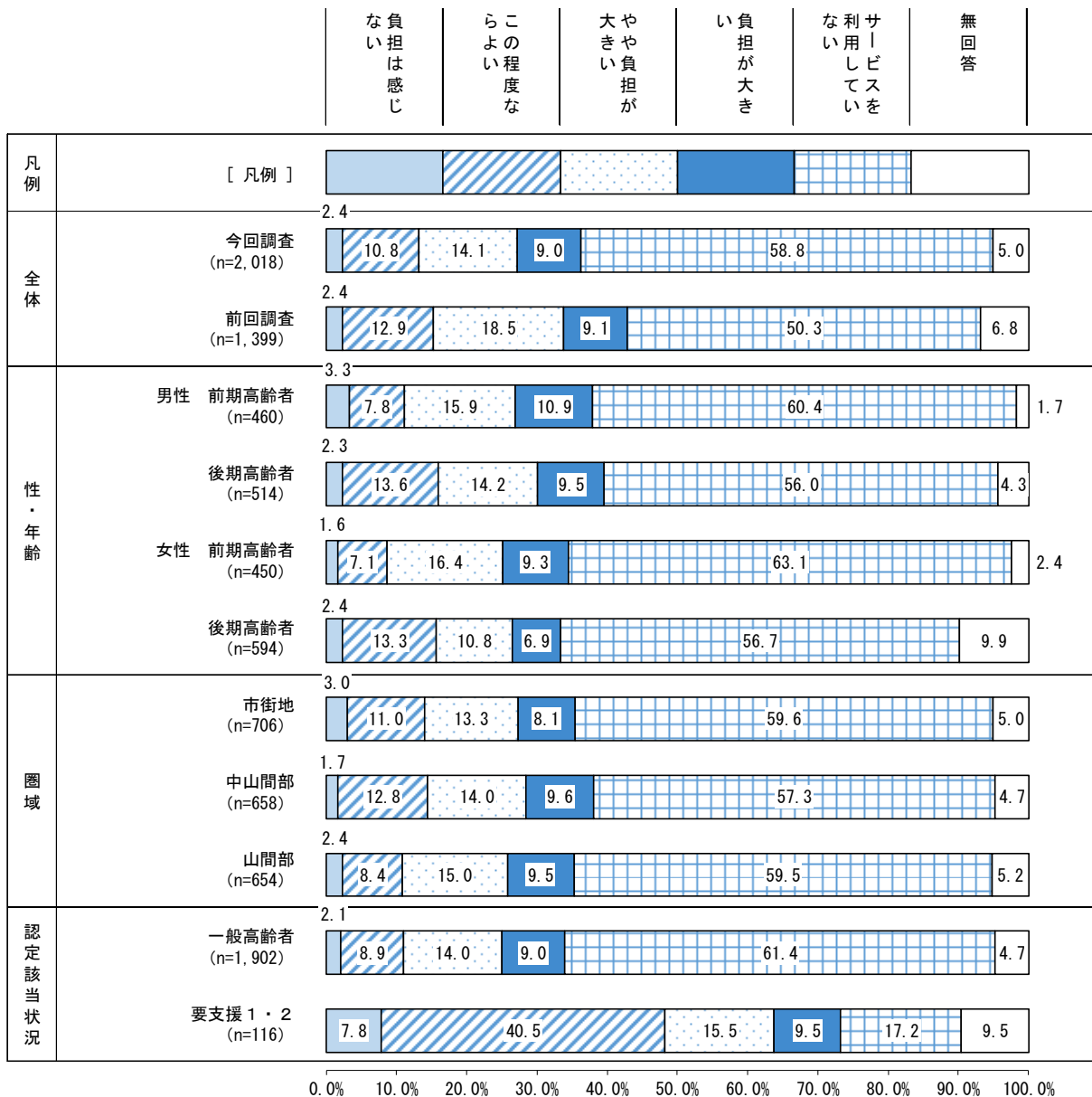


## 11. 介護保険サービスについて

●問10 (1) サービス利用に伴う自己負担分について経済的負担感はどうか

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 自己負担分の負担感について、「サービスを利用していない」が58.8%で最も多く、次いで「やや負担が大きい」が14.1%、「この程度ならよい」が10.8%となっています。</p> <p>○ 「サービスを利用していない」は前回調査の50.3%に比べて多くなっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「この程度ならよい」が多くなっており、「負担は感じない」「この程度ならよい」を合わせた“負担は少ない”が多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <p>○ 要支援1・2では、「この程度ならよい」が40.5%で最も多く、次いで「サービスを利用していない」が17.2%、「やや負担が大きい」が15.5%となっています。“負担は少ない”は48.3%となっています。</p>
---

**【自己負担分の負担感】**



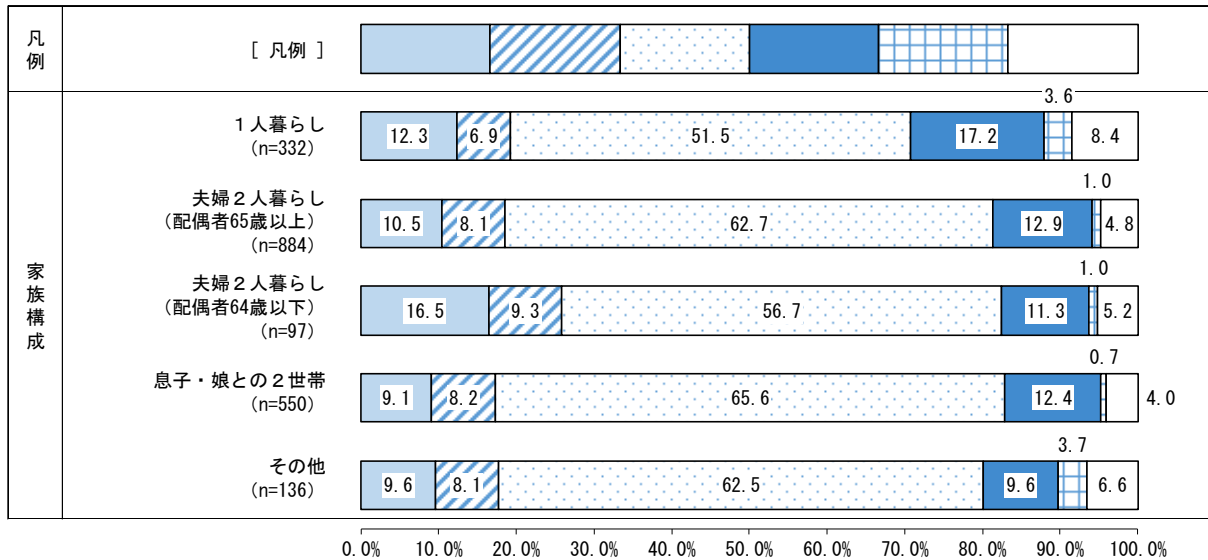


**【家族構成】**

- 「できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が16.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい」は1人暮らしが17.2%と他の区分に比べて多くなっています。

**【介護サービス利用についての考え】**

はり分 頼、で ら介 な対 いサ すけ いサ すけ べき スで にあ	補をカテ家 つ介でイ族 て護もや、 ほサ足や自 ししり地分、 いピな域、 スいのボ で部人ラ 分のン	びつ対家 スい族 をてでや 利用はき自 した介な分 たいサいだ いサ分け いサ分で いサ分 いサ分	用から介 したる護 たい権サ いで利ー できがビ るあるス だるを だけの利 利用	その他	無 回 答
--	--	--	---	-----	-------------



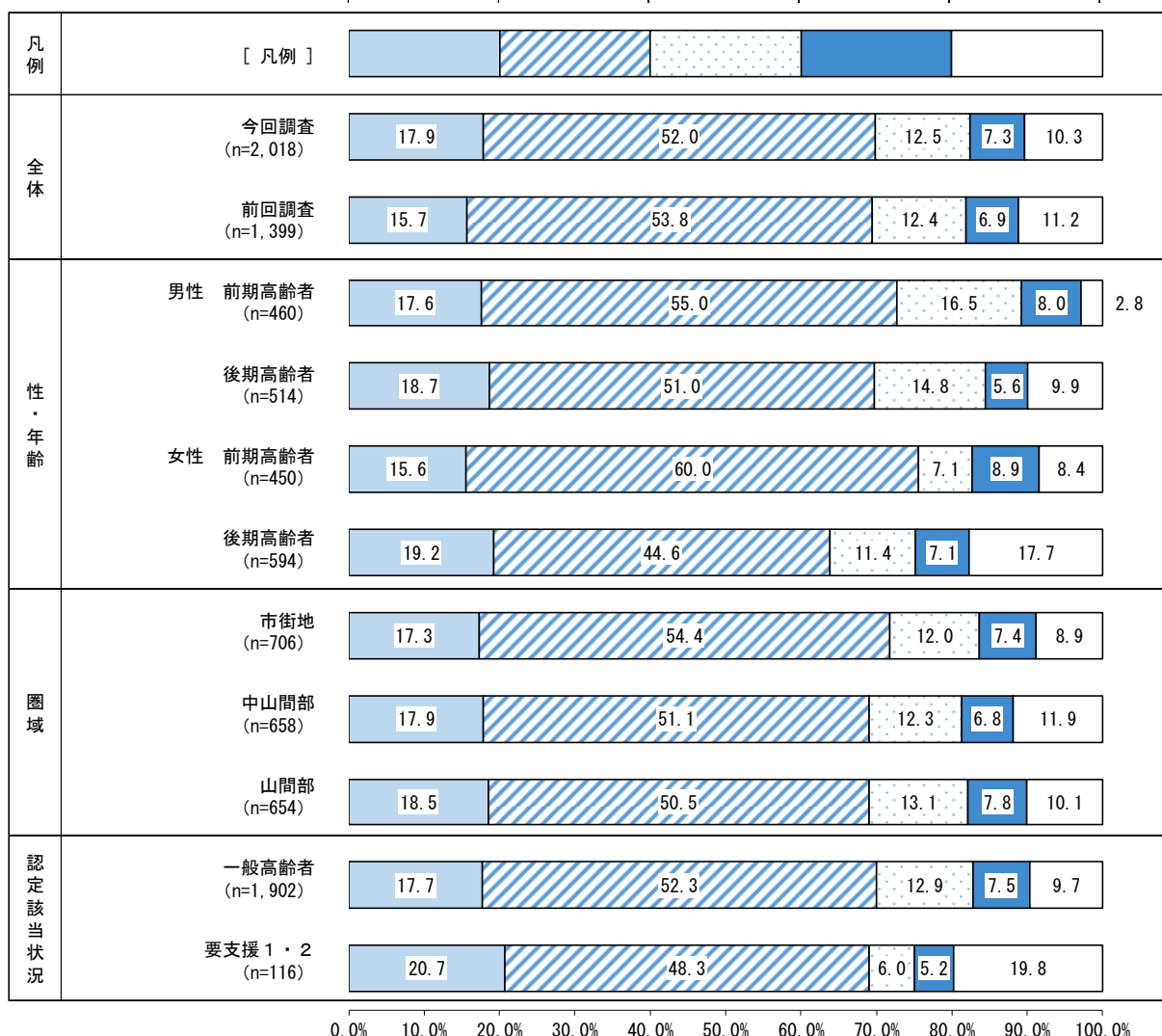
●問10 (3) あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか

**【全体】**  
 ○ 介護サービスと保険料の関係についての考えについて、「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」が 52.0%で最も多く、次いで「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」が17.9%、「サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」が12.5%となっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」は一般高齢者が 12.9%と要支援1・2の6.0%に比べて多くなっています。

**【介護サービスと保険料の関係についての考え】**

やび設な今介 すスやつよ護 方の在てり保 が量宅も高険 いをサ、く料 い増し施が	る現しはサ施 の状、現し設 が程保状ビや よ度険程ス在 いと料度の宅 すもと量	い安もがサ い、低し ほ保下ビ う険シス が料ての よが量	そ の 他	無 回 答
---	--	--	-------------	-------------



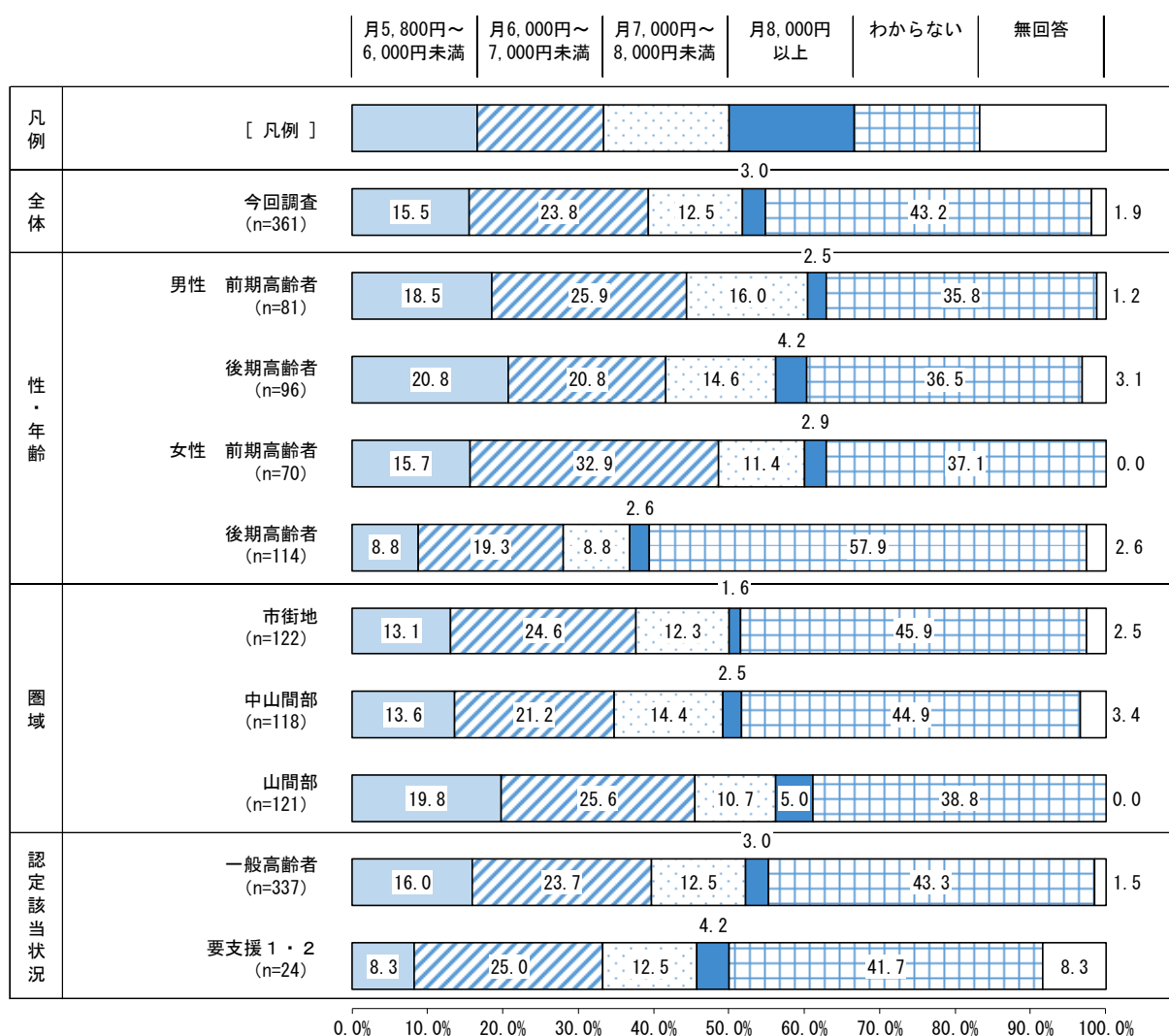
- 問10 (3) -1 【(3) で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在月5,800円）は、いくらが適当だと思いますか

**【全体】**  
 ○ 適当だと思う基準額について、「わからない」が43.2%で最も多く、次いで「月6,000円～7,000円未満」が23.8%、「月5,800円～6,000円未満」が15.5%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 「わからない」は女性 後期高齢者が57.9%と他の区分に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「月5,800円～6,000円未満」は一般高齢者が16.0%と要支援1・2の8.3%に比べて多くなっています。

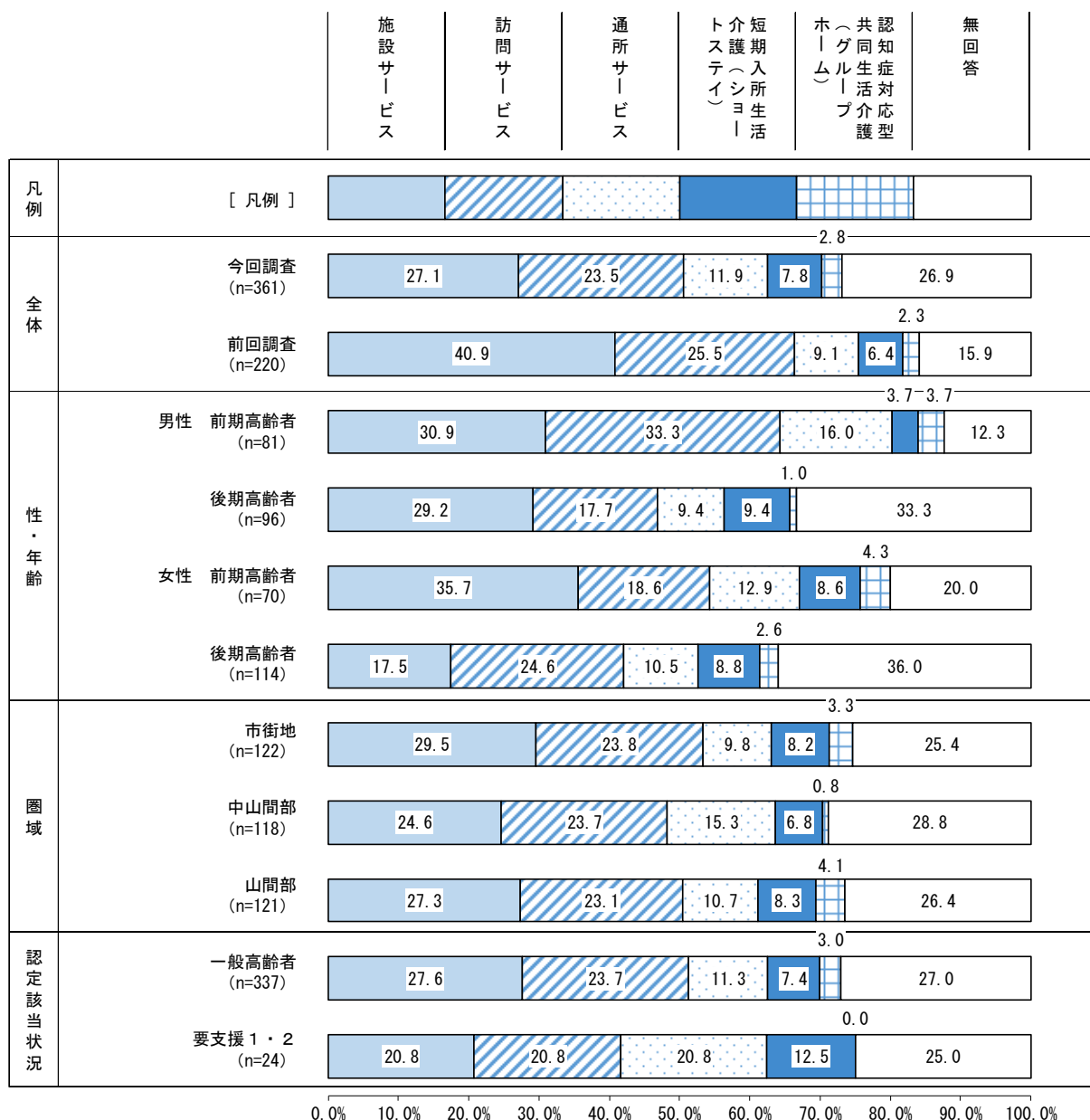
**【適当だと思う基準額】**



- 問10 (3) -2 【(3) で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか

<b>【全体】</b>
○ 最も希望するサービスについて、「施設サービス」が27.1%で最も多く、次いで「訪問サービス」が23.5%、「通所サービス」が11.9%となっています。
○ 「施設サービス」は前回調査の40.9%に比べて少なくなっています（無回答が前回調査に比べて11.0ポイント多くなっています）。
<b>【性・年齢】</b>
○ 「施設サービス」は女性 後期高齢者が17.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「訪問サービス」は男性 前期高齢者が33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
<b>【認定該当状況】</b>
○ 「施設サービス」は一般高齢者が27.6%と要支援1・2の20.8%に比べて多くなっています。
○ 「通所サービス」「短期入所生活介護（ショートステイ）」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

**【最も希望するサービス】**



- 問10 (3) -3 【(3) で「2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」または「3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」と回答の方のみ】施設や在宅サービスの中で、なくなると最も困るサービスは何ですか

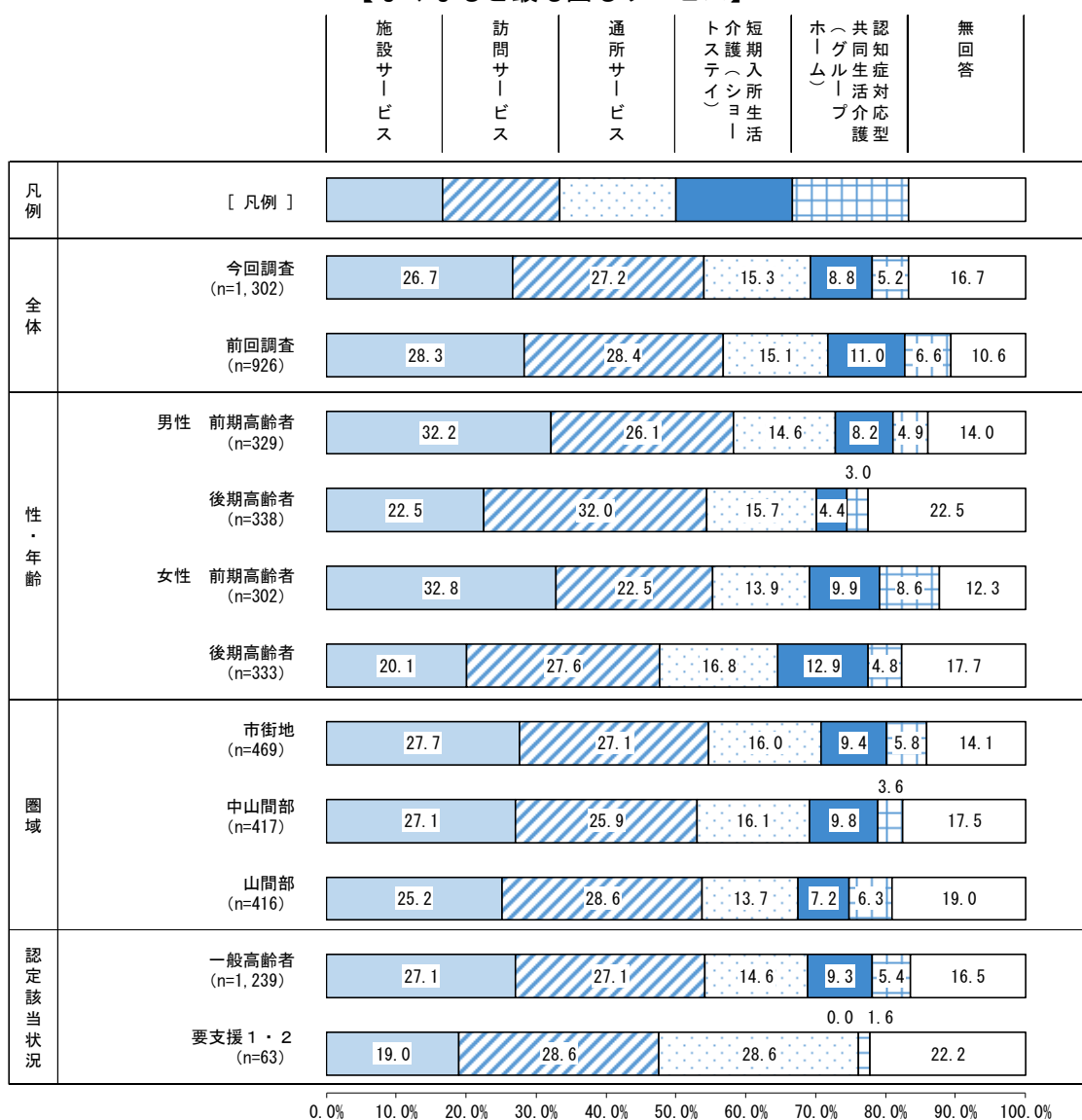
**【全体】**  
 ○ なくなると最も困るサービスについて、「訪問サービス」が 27.2%で最も多く、次いで「施設サービス」が 26.7%、「通所サービス」が 15.3%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「施設サービス」が多くなっています。  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「訪問サービス」が多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ 市街地、中山間部では「施設サービス」、山間部では「訪問サービス」が最も多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「施設サービス」は一般高齢者が 27.1%と要支援1・2の 19.0%に比べて多くなっています。  
 ○ 「通所サービス」は要支援1・2が 28.6%と一般高齢者の 14.6%に比べて多くなっています。

【なくなると最も困るサービス】

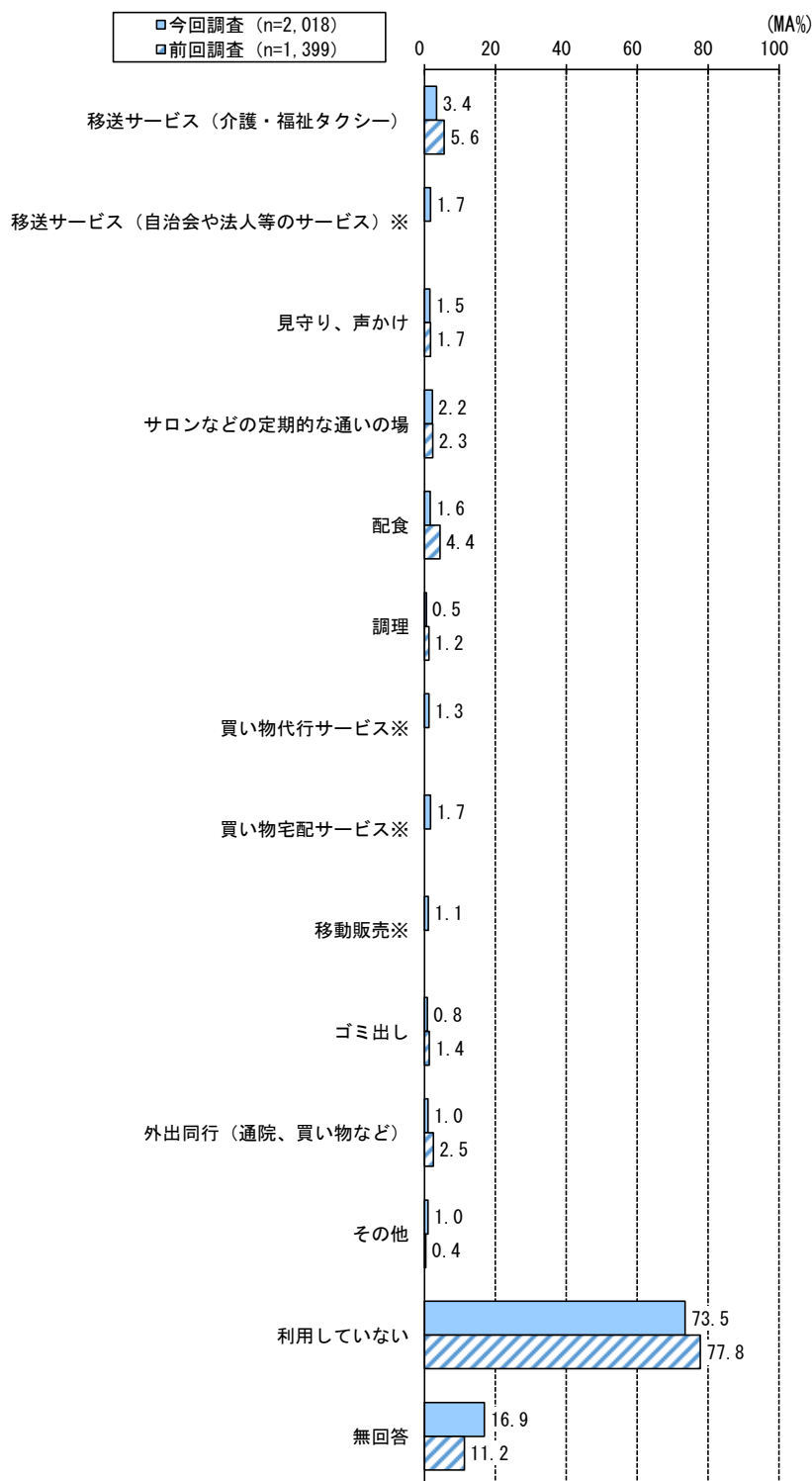


## 12. その他

- 問11 (1) 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

**【全体】**  
 ○ 利用している介護サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が73.5%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が3.4%、「サロンなどの定期的な通いの場」が2.2%となっています。

【利用している介護サービス以外の支援・サービス(MA)】



※付きの選択肢は前回調査では設問なし（以下同様）。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用していない」が少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「利用していない」は要支援1・2が50.0%と一般高齢者の74.9%に比べて少なくなっており、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」「移送サービス（自治会や法人等のサービス）※」「サロンなどの定期的な通いの場」「買い物宅配サービス※」「外出同行（通院、買い物など）」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族構成】

○ 「利用していない」は1人暮らしが65.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：％

		母数	利用している介護サービス以外の支援・サービス(MA)						
			ク(移 シ)介 護サ ー ビ ス タ	※等(移 の自 送サ ー ビ ス 人	見 守 り、 声 か け	期サ 的ロ ン な 通 い の 場 定	配 食	調 理	ビ 買 い 物 代 行 サ ー ビ ス
全体	今回調査	2,018	3.4	1.7	1.5	2.2	1.6	0.5	1.3
	前回調査	1,399	5.6	-	1.7	2.3	4.4	1.2	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	1.7	1.3	1.1	1.1	2.0	0.2	0.9
	後期高齢者	514	4.7	1.6	2.5	1.4	2.5	0.8	1.9
	女性 前期高齢者	450	0.9	0.9	0.4	1.3	0.7	0.2	0.2
	後期高齢者	594	5.4	2.7	1.9	4.4	1.3	0.7	1.9
圏域	市街地	706	3.7	1.0	1.8	1.1	1.6	0.4	1.4
	中山間部	658	3.3	1.4	1.7	2.9	2.1	0.6	1.2
	山間部	654	3.1	2.8	1.1	2.6	1.2	0.5	1.2
状況認定	一般高齢者	1,902	2.6	1.4	1.4	1.9	1.5	0.5	1.1
	要支援1・2	116	△ 15.5	6.9	4.3	6.9	4.3	-	5.2
家族構成	1人暮らし	332	4.5	3.0	3.9	2.7	3.0	0.6	1.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	3.7	1.5	1.1	2.3	1.0	0.8	1.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	3.1	2.1	1.0	1.0	1.0	-	2.1
	息子・娘との2世帯	550	2.4	1.5	0.9	2.0	1.6	0.2	1.3
	その他	136	2.2	0.7	0.7	2.2	2.2	-	-

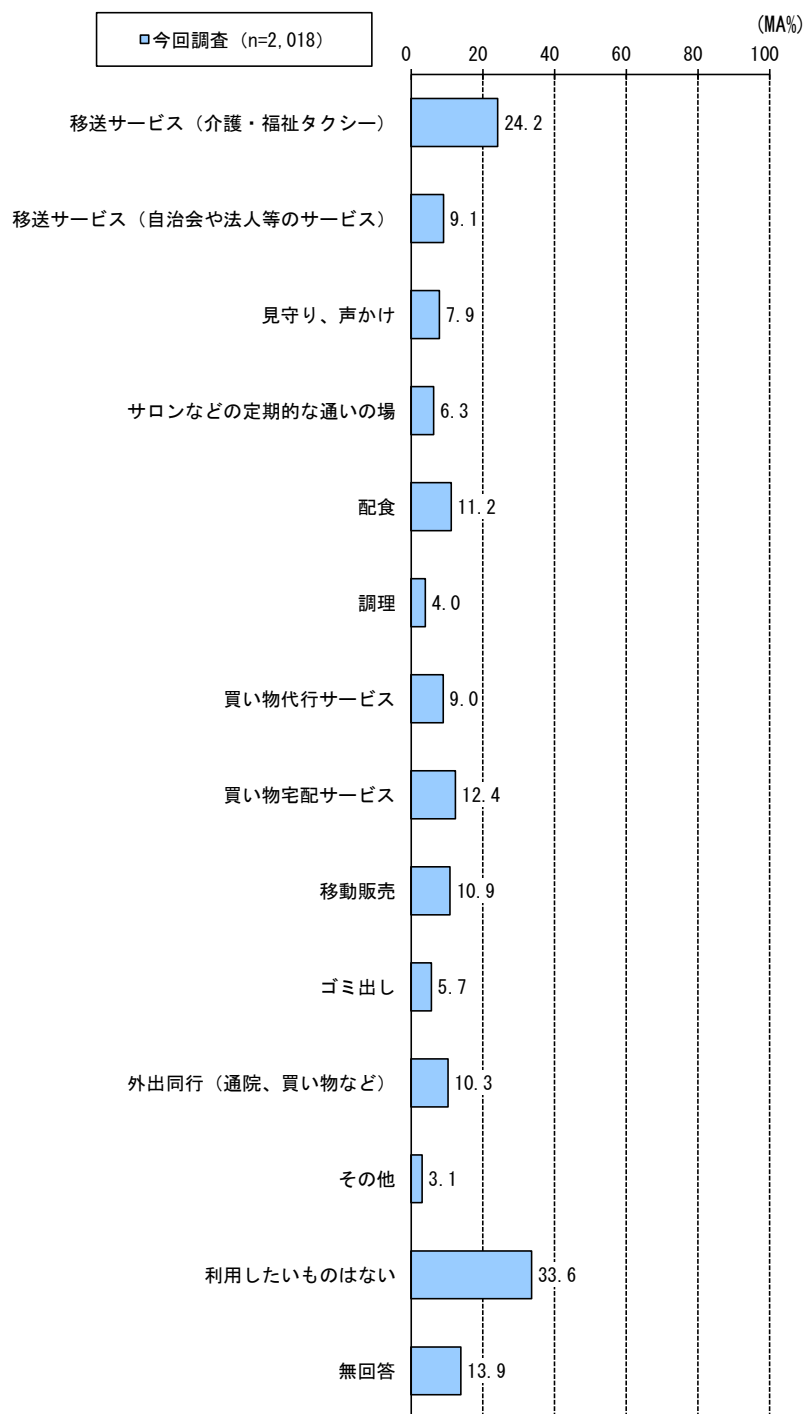
単位：％

		母数	利用している介護サービス以外の支援・サービス(MA)						
			ビ 買 い 物 宅 配 サ ー ビ ス	移 動 販 売 ※	ゴ ミ 出 し	ど 院 外 出 行 同 行 物 へ 通	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
全体	今回調査	2,018	1.7	1.1	0.8	1.0	1.0	73.5	16.9
	前回調査	1,399	-	-	1.4	2.5	0.4	77.8	11.2
性・年齢	男性 前期高齢者	460	0.9	0.4	0.7	0.2	0.7	△ 85.0	8.9
	後期高齢者	514	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	67.9	21.6
	女性 前期高齢者	450	0.9	1.3	0.2	0.4	0.9	△ 83.6	11.6
	後期高齢者	594	3.7	1.7	1.2	2.0	1.3	▼ 61.8	23.2
圏域	市街地	706	1.1	0.7	0.7	0.8	1.1	75.4	16.7
	中山間部	658	2.3	1.7	0.8	0.9	1.1	71.3	18.1
	山間部	654	1.8	1.1	1.1	1.4	0.9	73.7	16.1
状況認定	一般高齢者	1,902	1.4	1.1	0.7	0.7	0.9	74.9	16.8
	要支援1・2	116	6.9	2.6	3.4	6.0	3.4	▼ 50.0	19.0
家族構成	1人暮らし	332	3.0	1.2	2.7	1.5	1.8	65.7	17.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	1.6	1.2	0.6	1.1	0.8	75.6	16.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	1.0	-	1.0	-	-	79.4	12.4
	息子・娘との2世帯	550	1.5	1.5	0.2	0.7	1.1	74.7	17.5
	その他	136	0.7	-	0.7	0.7	1.5	72.1	18.4

- 問11 (2) 今後、利用してみたい「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 利用したい介護サービス以外の支援・サービスについて、「利用したいものはない」が33.6%で最も多く、次いで「移送サービス (介護・福祉タクシー)」が24.2%、「買い物宅配サービス」が12.4%となっています。

**【利用したい介護サービス以外の支援・サービス (MA)】**



【性・年齢】

- 「買い物宅配サービス」は女性 前期高齢者が 19.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「外出同行（通院、買い物など）」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「利用したいものはない」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が 37.1%で最も多く、次いで「利用したいものはない」が 26.7%、「移送サービス（自治会や法人等のサービス）」が 15.5%となっています。
- 「移送サービス（介護・福祉タクシー）」「移送サービス（自治会や法人等のサービス）」は要支援1・2が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：%

		母数	利用したい介護サービス以外の支援・サービス(MA)						
			ク（移 シ）介 護サ ー ビ ス ・ 福 祉 サ ー ビ ス ・ タ ク シ ー	等（移 の自 送サ ー ビ ス ・ 法 人	見 守 り、 声 か け	期サ 的ロ ン な 通 い の 場 定	配 食	調 理	ビ 買 ス い 物 代 行 サ ー ビ ス
全体	今回調査	2,018	24.2	9.1	7.9	6.3	11.2	4.0	9.0
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	18.7	8.3	6.7	3.3	11.5	5.2	7.8
	後期高齢者	514	23.7	8.0	8.4	4.5	12.6	3.3	9.3
	女性 前期高齢者	450	26.2	9.8	9.8	9.1	12.7	4.9	11.3
	後期高齢者	594	27.4	10.1	7.1	8.2	8.8	2.9	7.7
圏域	市街地	706	26.1	4.7	7.2	6.1	11.3	3.8	8.8
	中山間部	658	24.8	8.2	8.8	7.6	11.2	4.4	7.8
	山間部	654	21.7	14.7	7.8	5.4	11.2	3.7	10.4
当該認定状況	一般高齢者	1,902	23.4	8.7	7.9	6.3	11.2	4.0	8.9
	要支援1・2	116	△ 37.1	15.5	8.6	6.9	12.1	2.6	9.5
家族構成	1人暮らし	332	25.9	13.3	10.8	5.4	8.7	3.3	9.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	24.4	9.3	9.4	7.0	12.7	4.4	10.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	19.6	8.2	7.2	6.2	10.3	6.2	5.2
	息子・娘との2世帯	550	24.5	7.3	5.1	6.5	10.5	3.1	7.3
	その他	136	20.6	5.9	3.7	4.4	10.3	4.4	5.9

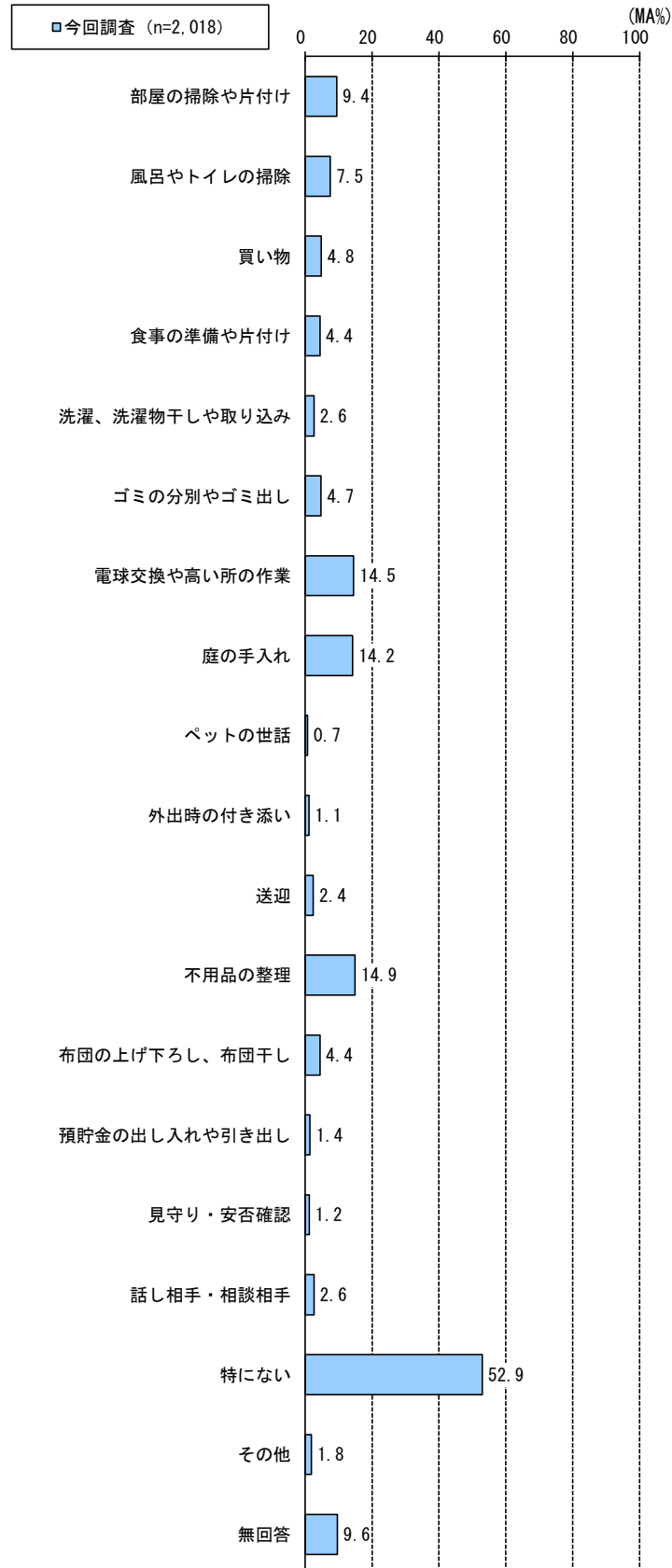
単位：%

		母数	利用したい介護サービス以外の支援・サービス(MA)						
			ビ 買 ス い 物 宅 配 サ ー ビ ス	移 動 販 売	ゴ ミ 出 し	ど 院 外 出 同 行 物 （ 買 い 物 な 通	そ の 他	は 利 用 し た い も の な い	無 回 答
全体	今回調査	2,018	12.4	10.9	5.7	10.3	3.1	33.6	13.9
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	9.1	7.4	4.3	6.1	3.5	△ 47.8	7.0
	後期高齢者	514	10.3	9.7	4.9	8.8	2.3	32.7	19.6
	女性 前期高齢者	450	19.3	13.8	6.2	11.6	2.4	32.4	10.7
	後期高齢者	594	11.4	12.3	7.1	13.8	4.0	24.2	16.8
圏域	市街地	706	11.9	7.6	5.0	9.3	3.4	36.5	13.9
	中山間部	658	13.1	12.0	5.5	10.5	2.6	33.0	14.1
	山間部	654	12.2	13.1	6.7	11.0	3.4	31.0	13.8
当該認定状況	一般高齢者	1,902	12.4	10.9	5.4	10.0	3.1	34.0	14.0
	要支援1・2	116	12.1	10.3	10.3	13.8	3.4	26.7	12.9
家族構成	1人暮らし	332	9.9	9.6	9.3	13.3	4.5	29.2	13.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	14.0	12.2	6.8	10.2	2.6	33.5	13.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	13.4	3.1	4.1	6.2	1.0	43.3	10.3
	息子・娘との2世帯	550	12.2	12.2	3.1	9.5	3.5	33.5	14.2
	その他	136	8.1	6.6	2.2	10.3	3.7	39.0	16.2

●問11 (3) 日常生活で不安や困っていることは何ですか (〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 日常生活での不安や困りごとについて、「特にない」が52.9%で最も多く、次いで「不用品の整理」が14.9%、「電球交換や高い所の作業」が14.5%となっています。

**【日常生活での不安や困りごと (MA)】**



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「電球交換や高い所の作業」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて、また前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「特にない」が多くなっています。

【圏域】

- 利用したいサービスについて、市街地では「電球交換や高い所の作業」、中山間部、山間部では「庭の手入れ」が最も多くなっています。

【認定該当状況】

- 「特にない」は要支援1・2が17.2%と一般高齢者の55.0%に比べて少なくなっており、要支援1・2が利用したいサービスについて、「電球交換や高い所の作業」が44.0%で最も多く、次いで「不用品の整理」が25.0%、「庭の手入れ」が24.1%となっています。

単位：%

		母数	日常生活での不安や困りごと (MA)									
			片部屋 の掃除や	の風呂 掃除や トイレ	買 い 物	片食 事 の 準 備 や	み 干 洗 濯 し や 取 り 洗 濯 込 物	ゴ ミ の 分 別 や	い 電 球 の 交 換 や 高	庭 の 手 入 れ	ベ ッ ト の 世 話	添 外 出 時 の 付 き
全体	今回調査	2,018	9.4	7.5	4.8	4.4	2.6	4.7	14.5	14.2	0.7	1.1
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	10.0	7.4	1.5	5.2	1.7	2.8	▼ 3.3	9.8	0.2	0.4
	後期高齢者	514	11.7	8.9	5.4	5.6	4.9	5.6	13.8	13.6	1.0	1.4
	女性 前期高齢者	450	6.4	3.3	2.0	1.8	0.7	3.1	13.1	13.1	0.7	0.2
	後期高齢者	594	9.1	9.4	8.9	4.5	2.7	6.6	△ 24.7	19.0	0.8	2.2
圏域	市街地	706	7.9	7.5	4.8	4.0	2.7	3.3	14.3	9.9	0.3	0.8
	中山間部	658	9.3	7.0	5.6	5.2	2.7	5.0	14.4	17.2	1.1	1.8
	山間部	654	11.0	8.0	4.0	4.0	2.3	6.0	14.7	15.9	0.8	0.8
状況認定	一般高齢者	1,902	8.6	6.7	4.0	3.9	2.1	4.3	12.7	13.6	0.7	0.8
	要支援1・2	116	△ 22.4	△ 19.8	△ 17.2	12.1	10.3	12.1	△ 44.0	24.1	-	6.9
家族構成	1人暮らし	332	14.5	13.3	8.7	6.3	3.3	8.7	△ 25.9	21.7	1.5	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	8.6	6.6	4.8	3.8	2.3	4.3	12.8	12.0	0.5	0.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	6.2	4.1	4.1	2.1	2.1	2.1	6.2	8.2	-	-
	息子・娘との2世帯	550	8.0	5.8	3.1	4.2	2.4	3.3	12.5	14.5	0.5	1.1
	その他	136	8.1	8.1	2.9	4.4	2.9	4.4	11.0	12.5	0.7	1.5

単位：%

		母数	日常生活での不安や困りごと (MA)								その他	無回答
			送 迎	不 用 品 の 整 理	し ろ 布 団 の 上 下 干 下	し 入 預 れ 貯 金 の 引 き 出 し	確 見 認 守 り ・ 安 否	談 話 相 手 ・ 相	特 に な い			
全体	今回調査	2,018	2.4	14.9	4.4	1.4	1.2	2.6	52.9	1.8	9.6	
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
性・年齢	男性 前期高齢者	460	1.1	12.2	1.7	0.4	0.9	1.3	△ 68.7	2.4	4.3	
	後期高齢者	514	2.3	12.8	2.9	2.9	1.6	2.7	49.6	0.6	12.1	
	女性 前期高齢者	450	1.6	17.8	3.6	0.2	0.9	1.1	59.3	1.3	7.8	
	後期高齢者	594	4.0	16.7	8.4	1.9	1.5	4.7	▼ 38.6	2.9	12.8	
圏域	市街地	706	2.3	12.9	4.5	1.4	1.7	1.8	55.8	1.4	8.6	
	中山間部	658	2.7	16.7	5.0	1.8	0.3	2.7	50.3	1.5	10.2	
	山間部	654	2.1	15.3	3.7	1.1	1.7	3.4	52.3	2.6	9.9	
状況認定	一般高齢者	1,902	2.1	14.3	3.9	1.2	1.3	2.1	55.0	1.8	9.5	
	要支援1・2	116	6.9	△ 25.0	12.1	6.0	-	11.2	▼ 17.2	1.7	11.2	
家族構成	1人暮らし	332	4.2	△ 25.3	6.0	2.1	3.6	7.2	▼ 35.8	2.4	9.3	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	884	1.9	13.5	4.4	1.0	1.0	1.1	56.2	1.0	10.1	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	97	4.1	8.2	1.0	-	-	3.1	△ 64.9	1.0	7.2	
	息子・娘との2世帯	550	1.3	12.7	3.5	1.5	0.4	2.4	56.7	2.4	9.1	
	その他	136	4.4	14.0	5.9	2.2	1.5	2.2	50.7	4.4	9.6	

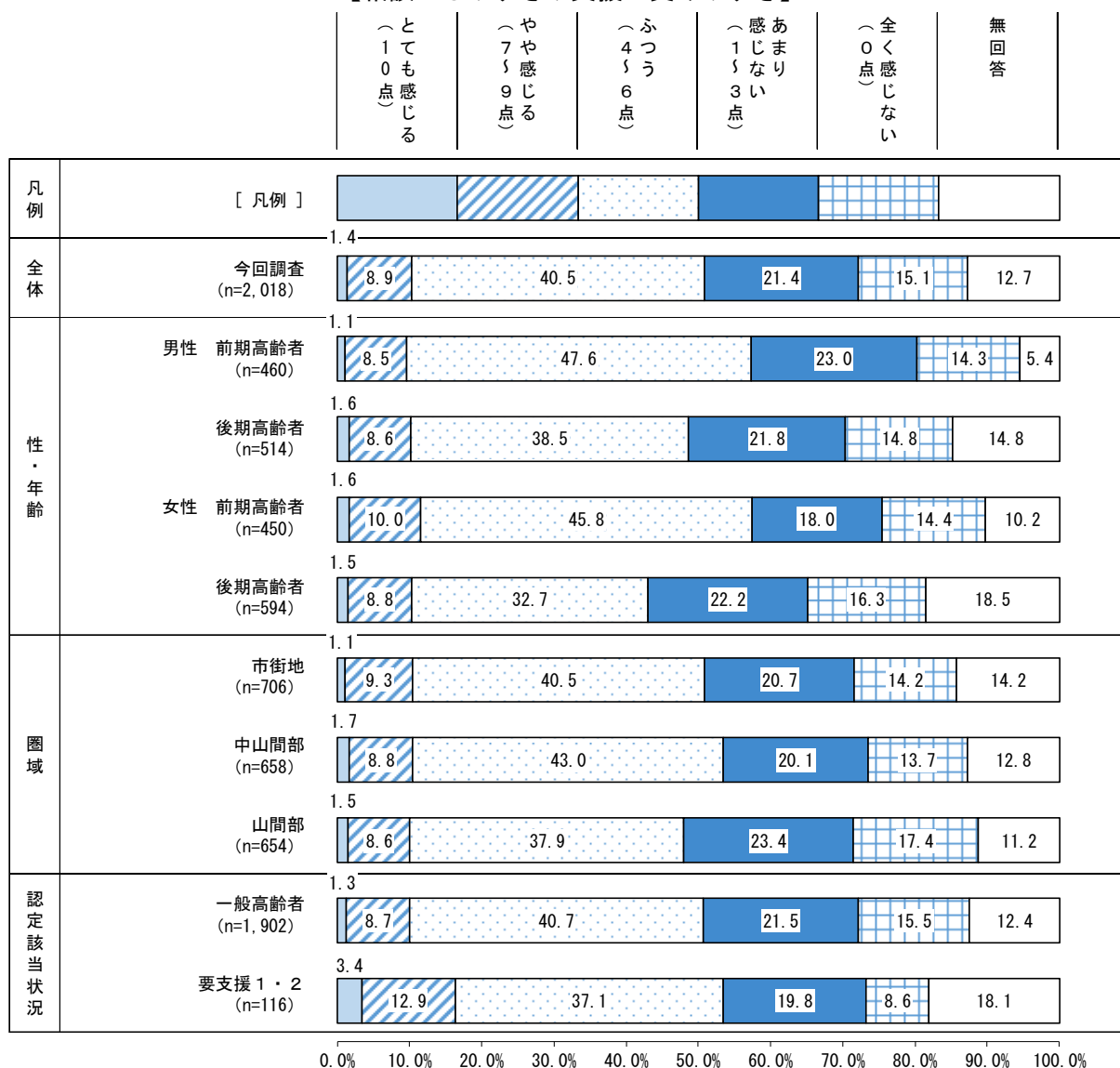
●問11 (4) お住まいの地域について、困りごとの相談をしたり、支援を受けやすいと感じますか

**【全体】**  
 ○ 相談のしやすさや支援の受けやすさについて、「ふつう（4～6点）」が40.5%で最も多く、次いで「あまり感じない（1～3点）」が21.4%、「全く感じない（0点）」が15.1%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 「あまり感じない（1～3点）」「全く感じない（0点）」を合わせた“感じない”は山間部が40.8%と他の圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「とても感じる（10点）」「やや感じる（7～9点）」を合わせた“感じる”は要支援1・2が16.3%と一般高齢者の10.0%に比べて多くなっています。

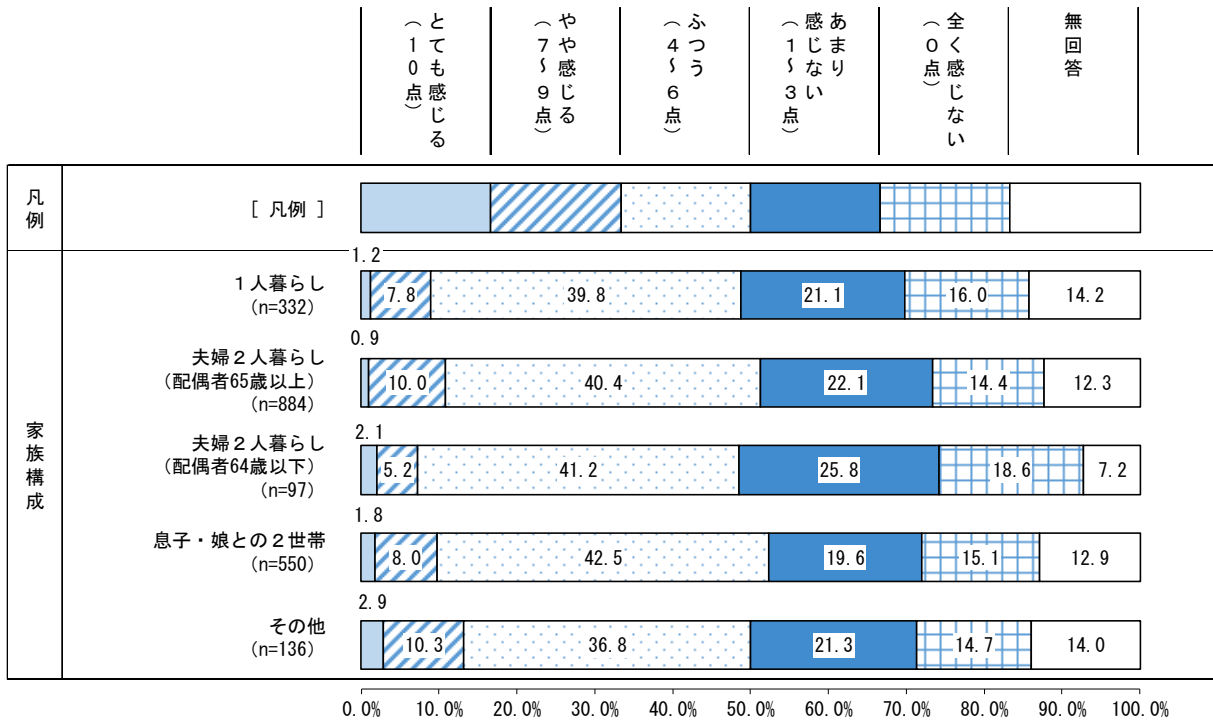
【相談のしやすさや支援の受けやすさ】



**【家族構成】**

○ “感じない”は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が44.4%と他の区分に比べて多くなっています。

**【相談のしやすさや支援の受けやすさ】**

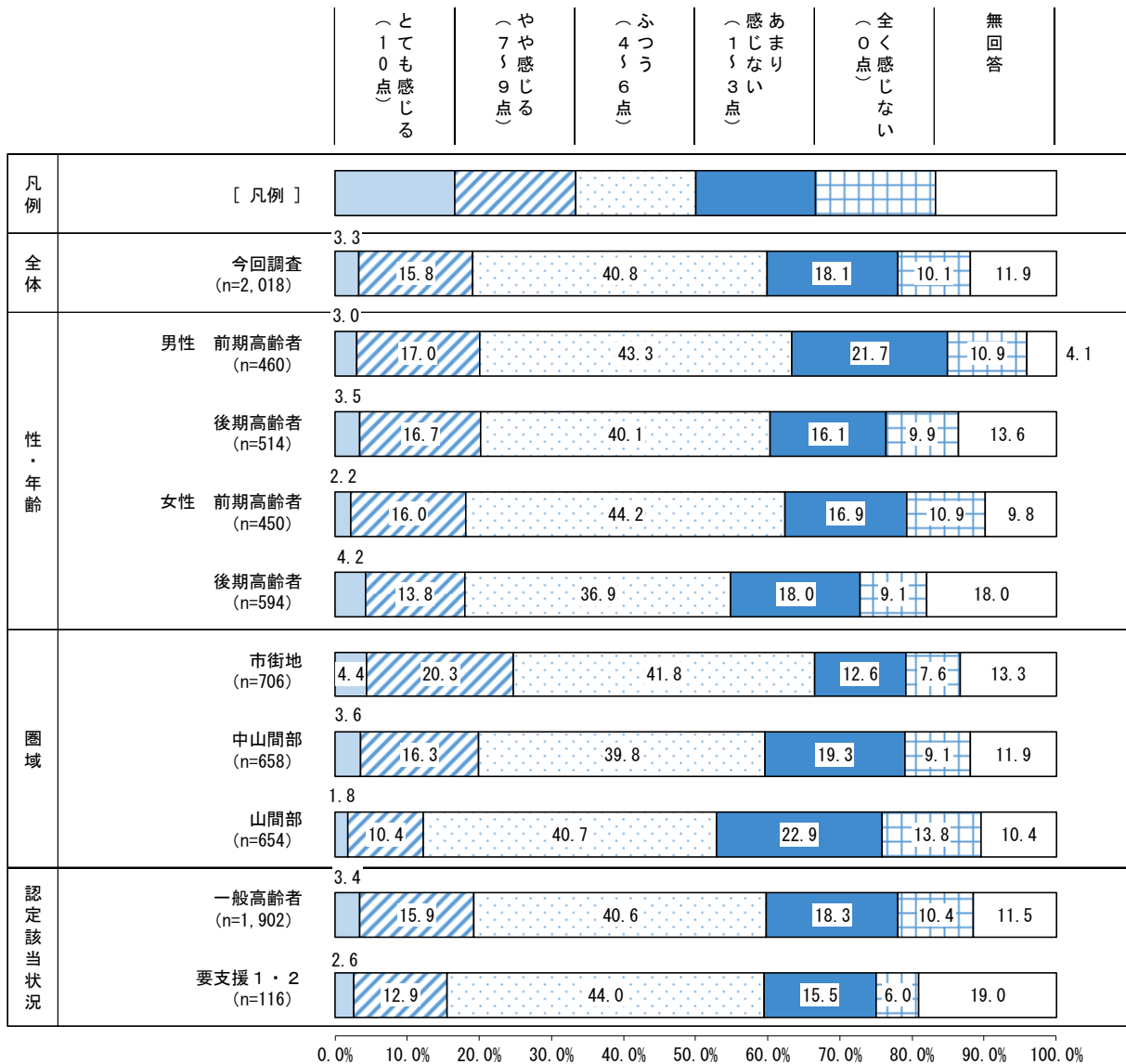


●問11 (5) お住まいの地域について、安心して在宅生活を継続しやすいと感じますか

**【全体】**  
 ○ 在宅生活の継続しやすさについて、「ふつう（4～6点）」が40.8%で最も多く、次いで「あまり感じない（1～3点）」が18.1%、「やや感じる（7～9点）」が15.8%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 「あまり感じない（1～3点）」「全く感じない（0点）」を合わせた“感じない”は市街地が20.2%、中山間部が28.4%、山間部が36.7%と順に多くなっています。

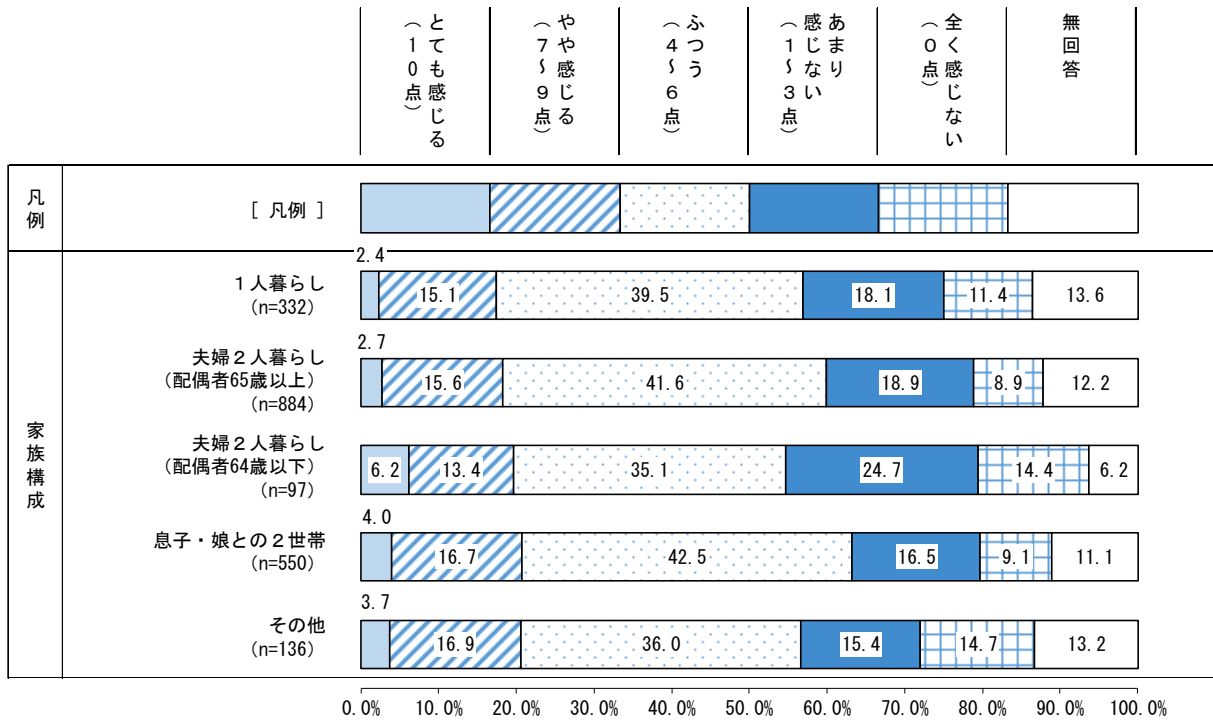
【在宅生活の継続しやすさ】



【家族構成】

○ “感じない”は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が39.1%と他の区分に比べて多くなっています。

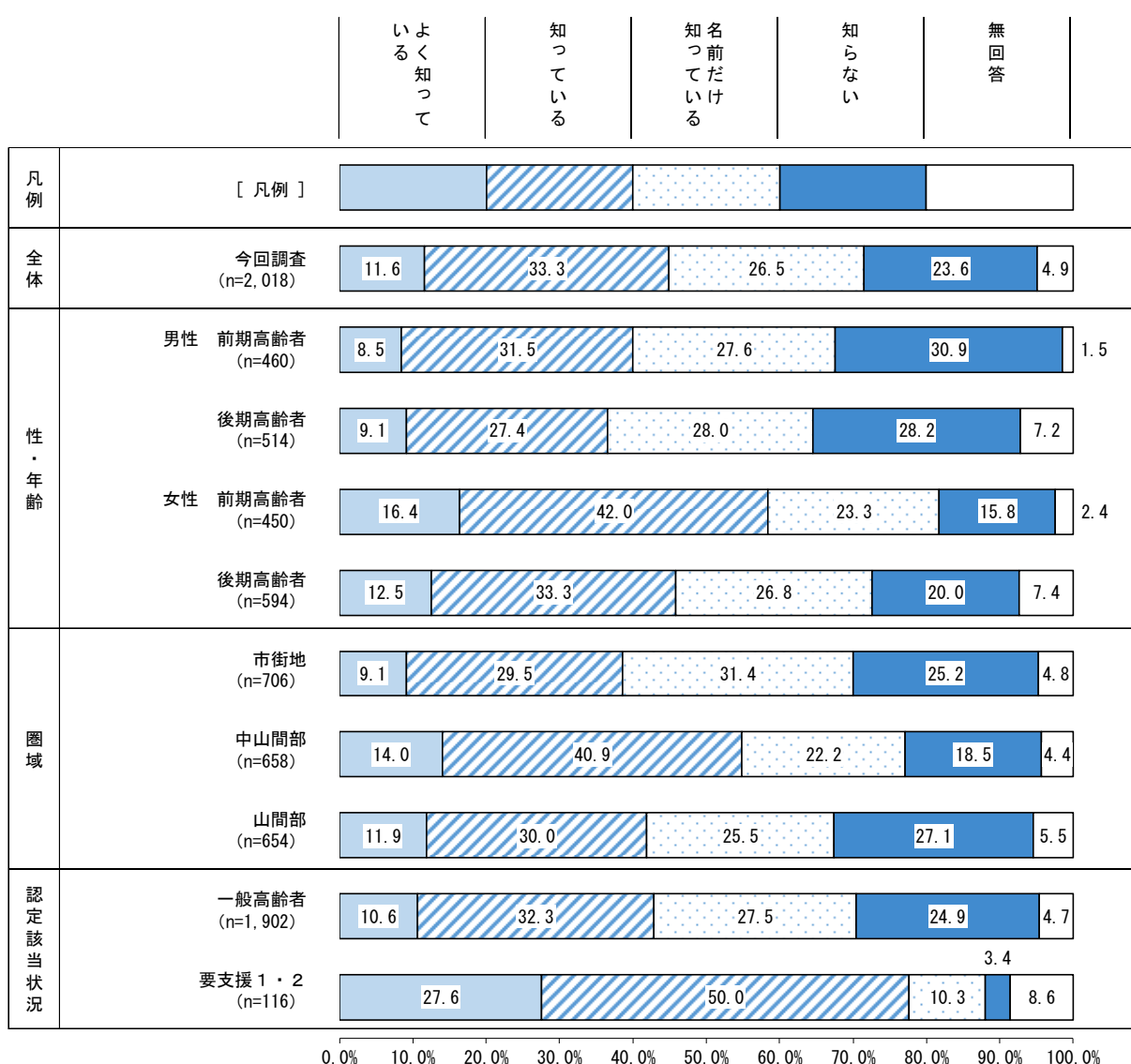
【在宅生活の継続しやすさ】



●問11 (6) 「地域包括支援センター」を知っていますか

- 【全体】**  
 ○ 「地域包括支援センター」の認知状況について、「知っている」が33.3%で最も多く、次いで「名前だけ知っている」が26.5%、「知らない」が23.6%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。  
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。
- 【圏域】**  
 ○ 「知っている」は中山間部が40.9%、「よく知っている」「知っている」を合わせた“知っている”は54.9%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ “知っている”は要支援1・2が77.6%と一般高齢者の42.9%に比べて多くなっています。

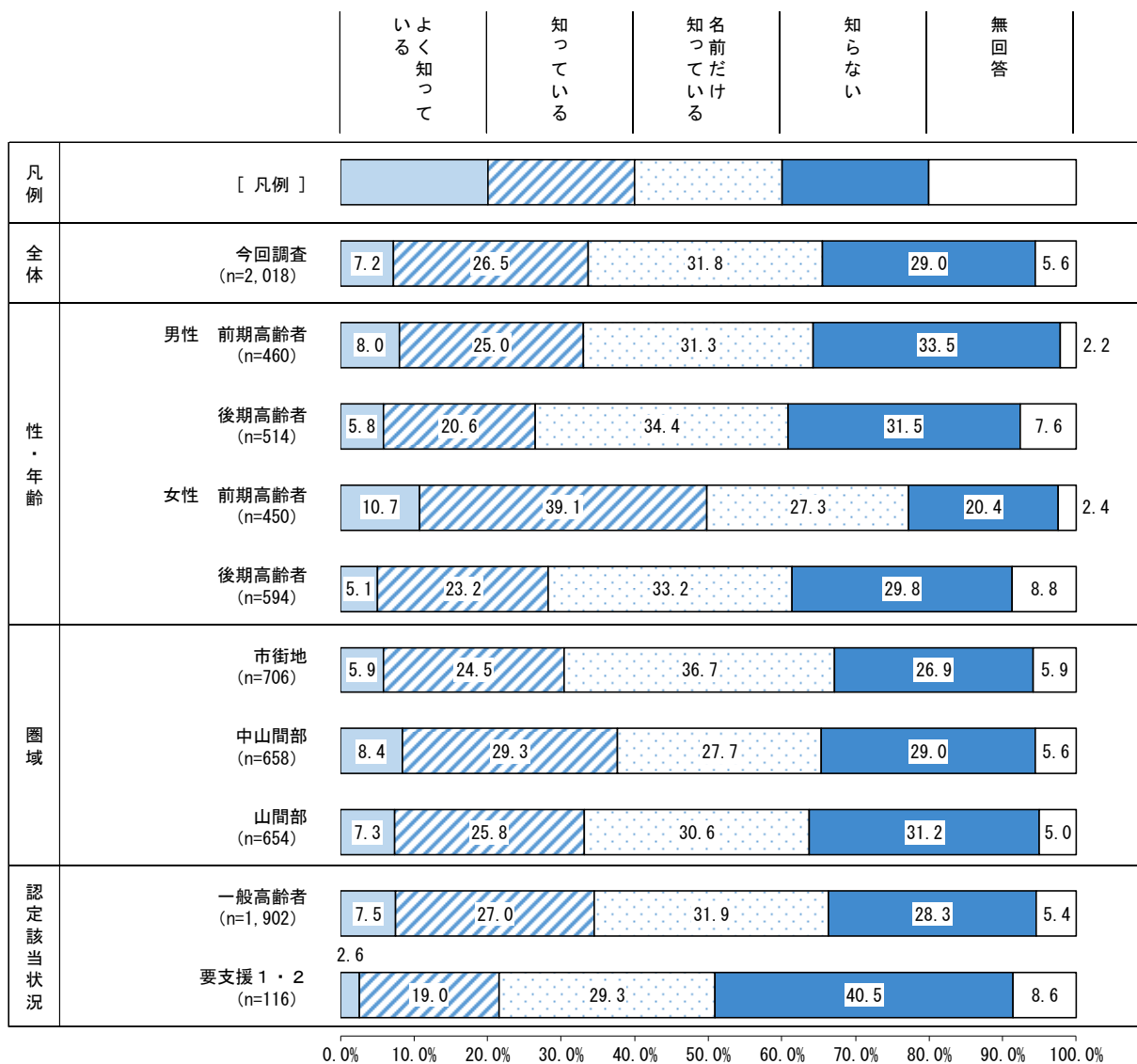
【「地域包括支援センター」の認知状況】



●問11 (7)「成年後見制度」を知っていますか

- 【全体】**  
 ○ 「成年後見制度」の認知状況について、「名前だけ知っている」が31.8%で最も多く、次いで「知らない」が29.0%、「知っている」が26.5%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 「よく知っている」「知っている」を合わせた“知っている”は女性 前期高齢者が49.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「知らない」は要支援1・2が40.5%と一般高齢者の28.3%に比べて多くなっています。

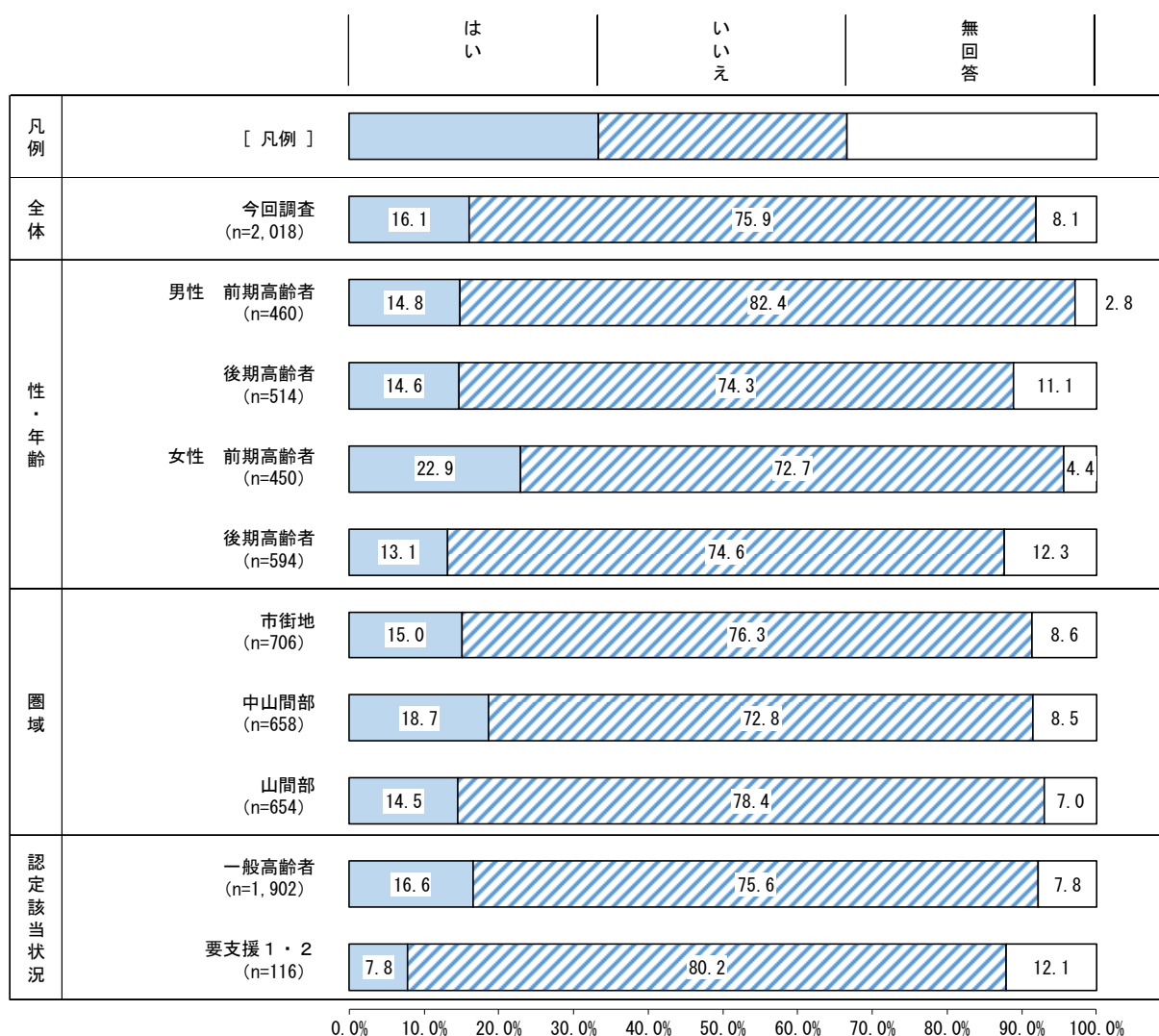
【「成年後見制度」の認知状況】



●問11 (8)「成年後見制度」を利用したいときに、どこに相談したらよいか知っていますか

- 【全体】**  
 ○ 「成年後見制度」利用希望時の相談先の認知状況について、「はい」が16.1%、「いいえ」が75.9%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 「はい」は女性 前期高齢者が22.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「はい」は一般高齢者が16.6%と要支援1・2の7.8%に比べて多くなっています。

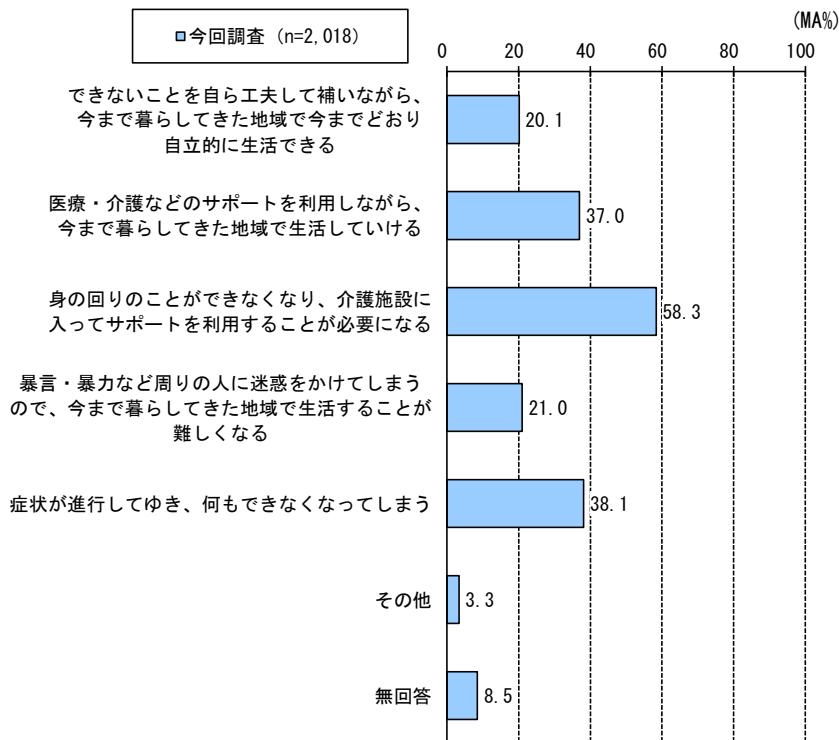
【「成年後見制度」利用希望時の相談先の認知状況】



●問11 (9) 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか (〇はいくつでも)

- 【全体】**
- 認知症に対するイメージについて、「身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 58.3%で最も多く、次いで「症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」が 38.1%、「医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 37.0%となっています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が多くなっています。
  - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」「暴言・暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」が多くなっています。

【認知症に対するイメージ(MA)】



単位：%

状況	母数	認知症に対するイメージ(MA)							
		できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立して生活できる	医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	暴言・暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	その他	無回答	
全体	今回調査	2,018	20.1	37.0	58.3	21.0	38.1	3.3	8.5
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年齢	男性 前期高齢者	460	16.5	27.8	62.2	24.3	42.2	3.5	3.5
	後期高齢者	514	23.9	34.8	51.8	17.3	32.9	4.3	13.2
	女性 前期高齢者	450	18.9	42.7	△ 68.4	24.2	40.7	2.7	5.1
	後期高齢者	594	20.4	41.6	53.4	19.0	37.4	2.7	10.8
圏域	市街地	706	19.5	35.6	61.5	19.5	38.8	2.5	9.1
	中山間部	658	20.4	41.5	57.3	22.3	35.0	3.3	8.8
	山間部	654	20.3	33.9	56.0	21.1	40.4	4.0	7.5
当該認定状況	一般高齢者	1,902	20.4	36.9	58.6	20.7	38.0	3.2	8.1
	要支援1・2	116	14.7	38.8	53.4	25.9	39.7	4.3	13.8

### 13. 生活機能評価等に関する分析

#### (1) 生活機能評価

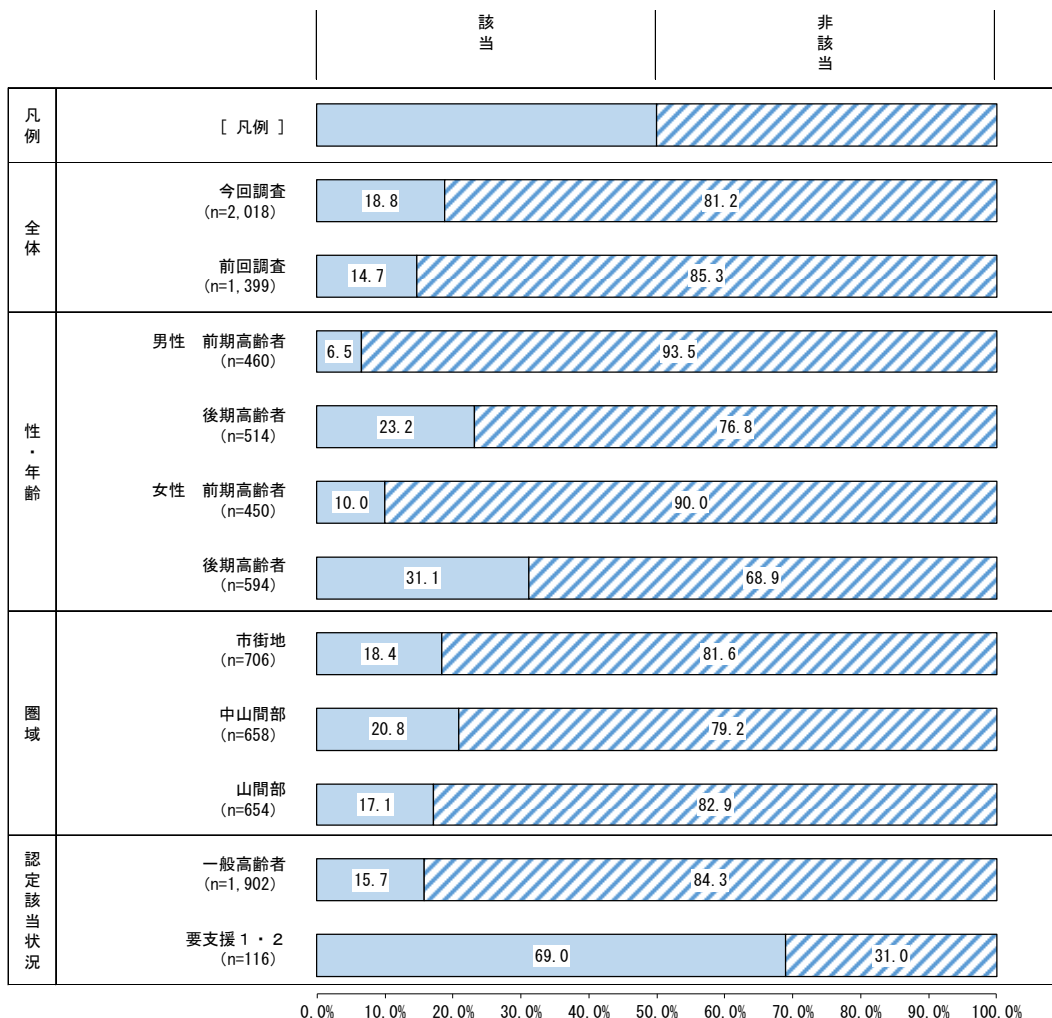
##### ●運動器の機能低下リスク（判定）

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(5)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(6)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が18.8%、「非該当」が81.2%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多く、女性では31.1%と男性の23.2%に比べて多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <p>○ 「該当」は一般高齢者が15.7%、要支援1・2が69.0%となっています。</p>
---

【運動器の機能低下リスク】



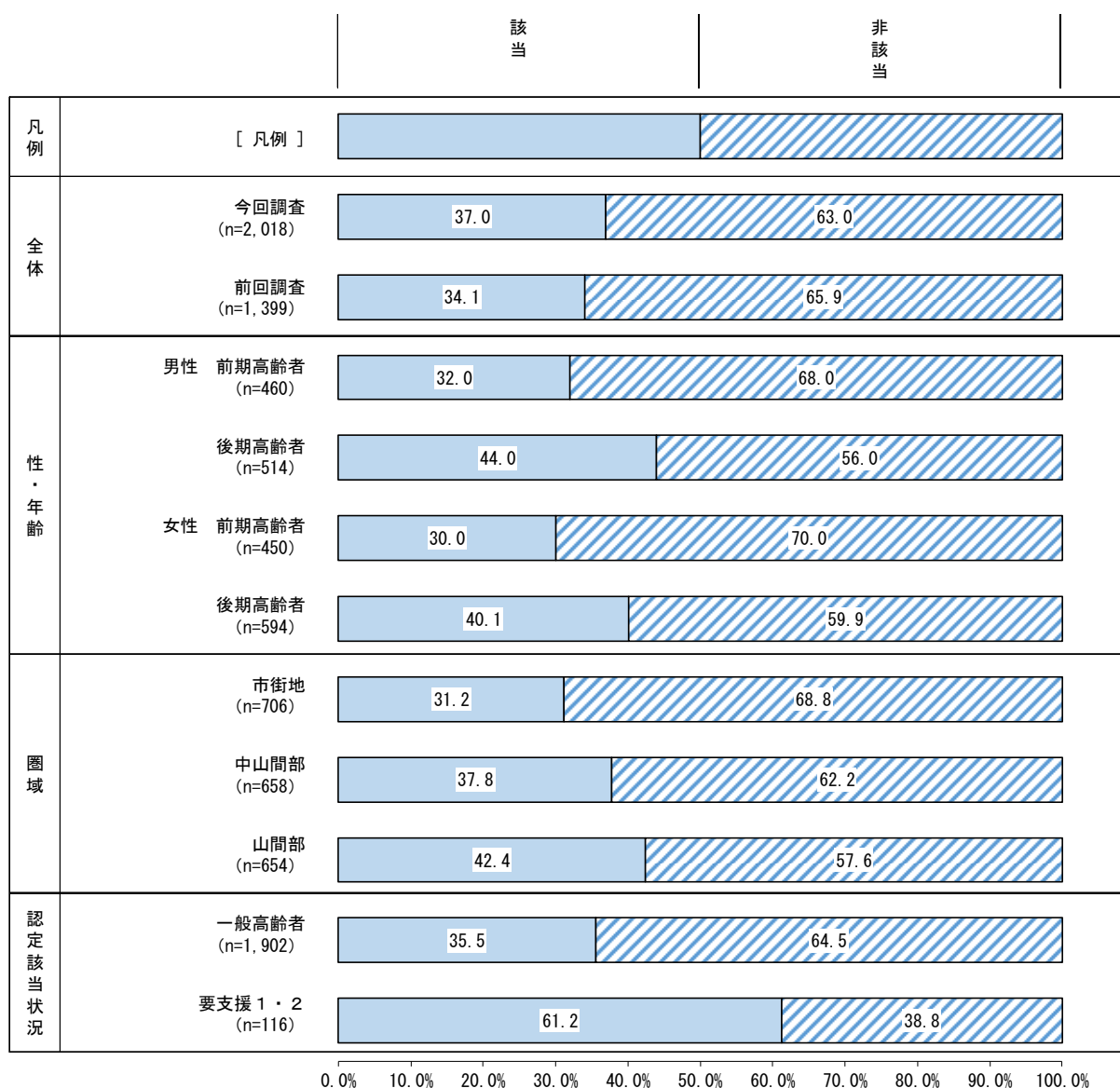
●転倒リスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	判定設問	該当する選択肢
問 2(5)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある

<p><b>【全体】</b> ○ 転倒リスクについて、「該当」が 37.0%、「非該当」が 63.0%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b> ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p><b>【圏域】</b> ○ 「該当」は市街地が 31.2%、中山間部が 37.8%、山間部が 42.4%と順に多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b> ○ 「該当」は一般高齢者が 35.5%、要支援 1・2 が 61.2%となっています。</p>
---

【転倒リスク】



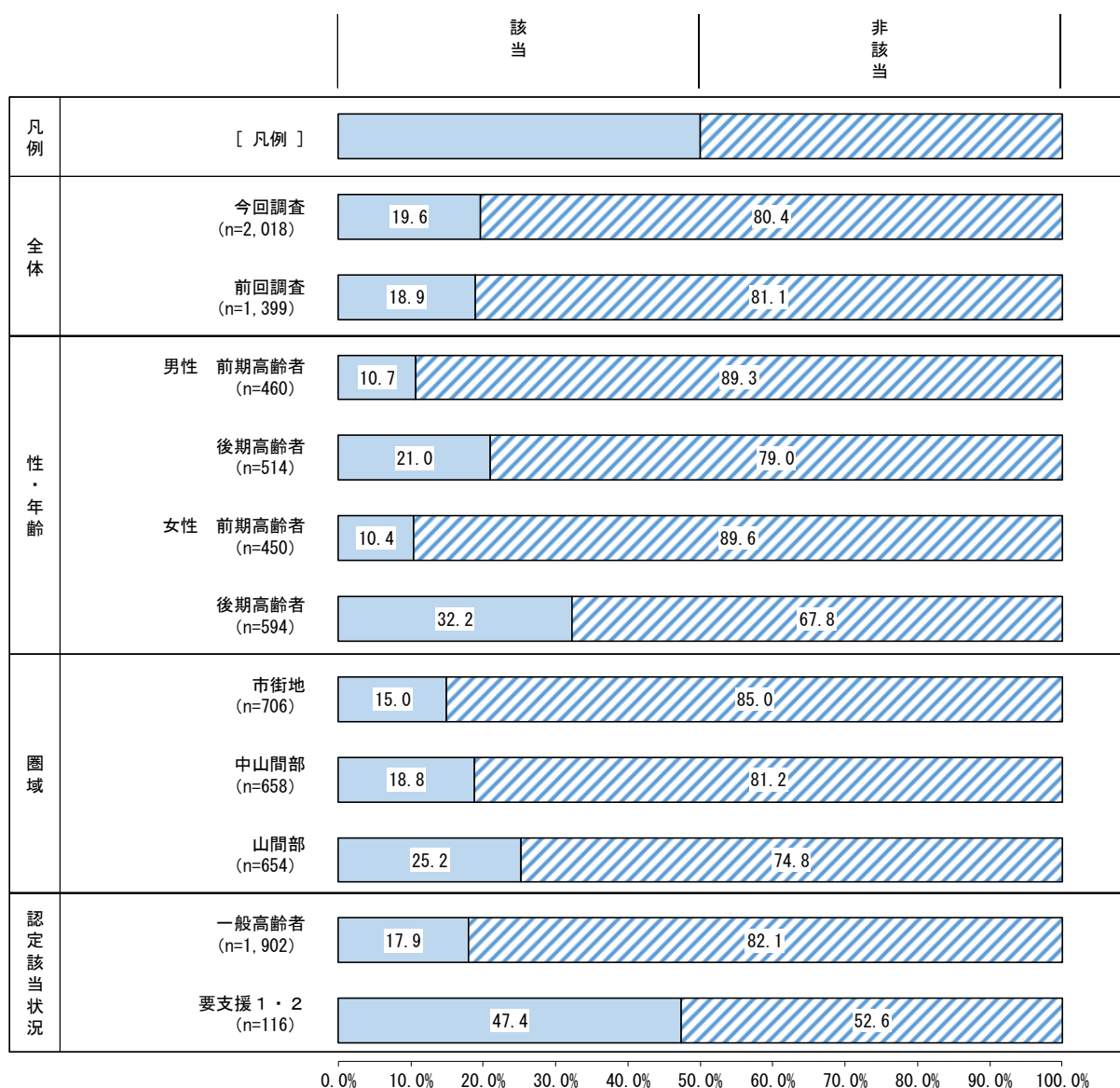
●閉じこもりのリスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問 2(7)	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

<p><b>【全体】</b> ○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が19.6%、「非該当」が80.4%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b> ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多く、女性では32.2%と男性の21.0%と比べて多くなっています。</p> <p><b>【圏域】</b> ○ 「該当」は市街地が15.0%、中山間部が18.8%、山間部が25.2%と順に多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b> ○ 「該当」は一般高齢者が17.9%、要支援1・2が47.4%となっています。</p>
---

【閉じこもりのリスク】



●低栄養のリスク（判定）

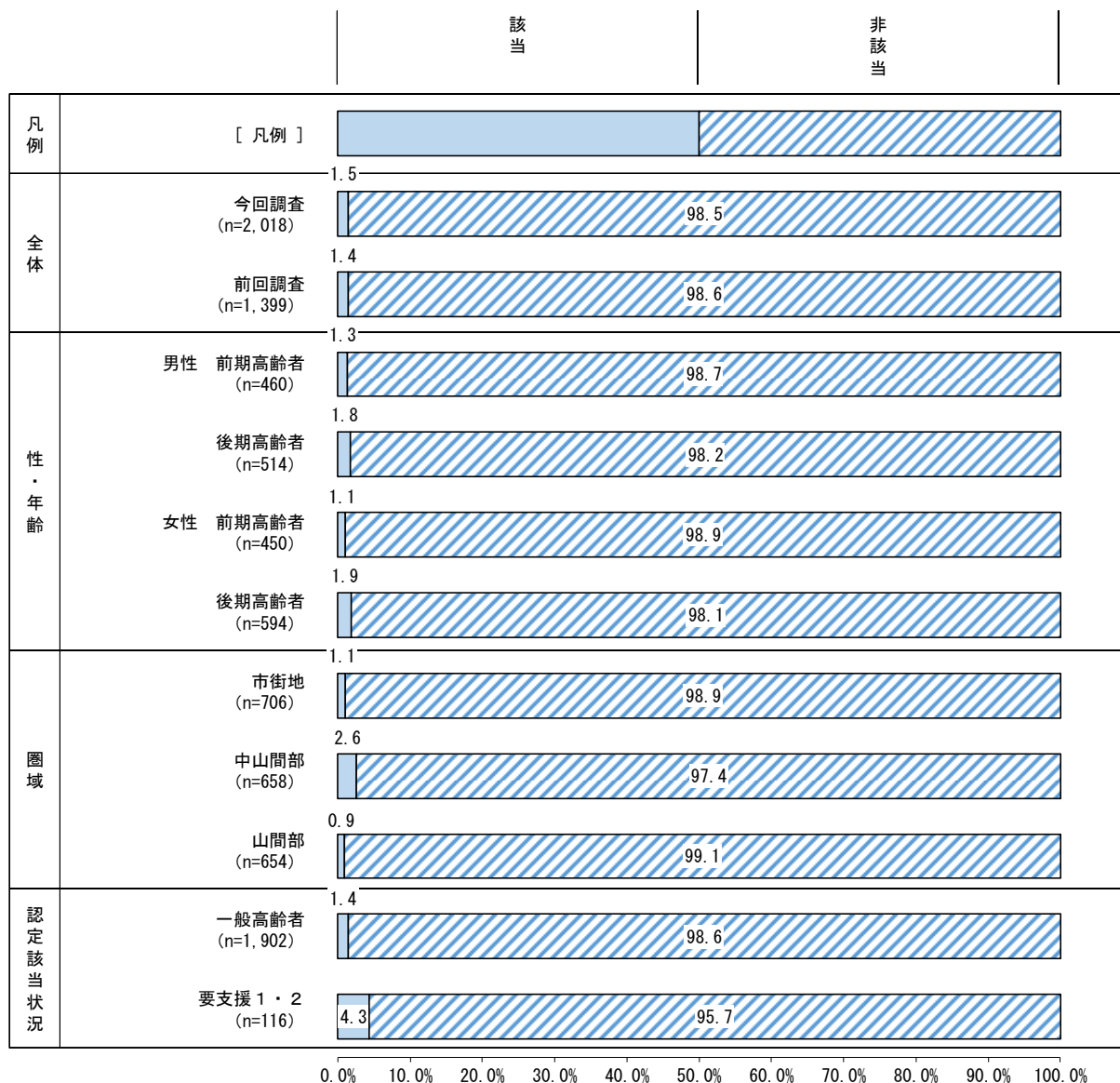
以下の設問に対して2問中2問該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷（身長（m）） <sup>2</sup> ）	18.5未満
問3(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.5%、「非該当」が98.5%となっています。

【低栄養のリスク】



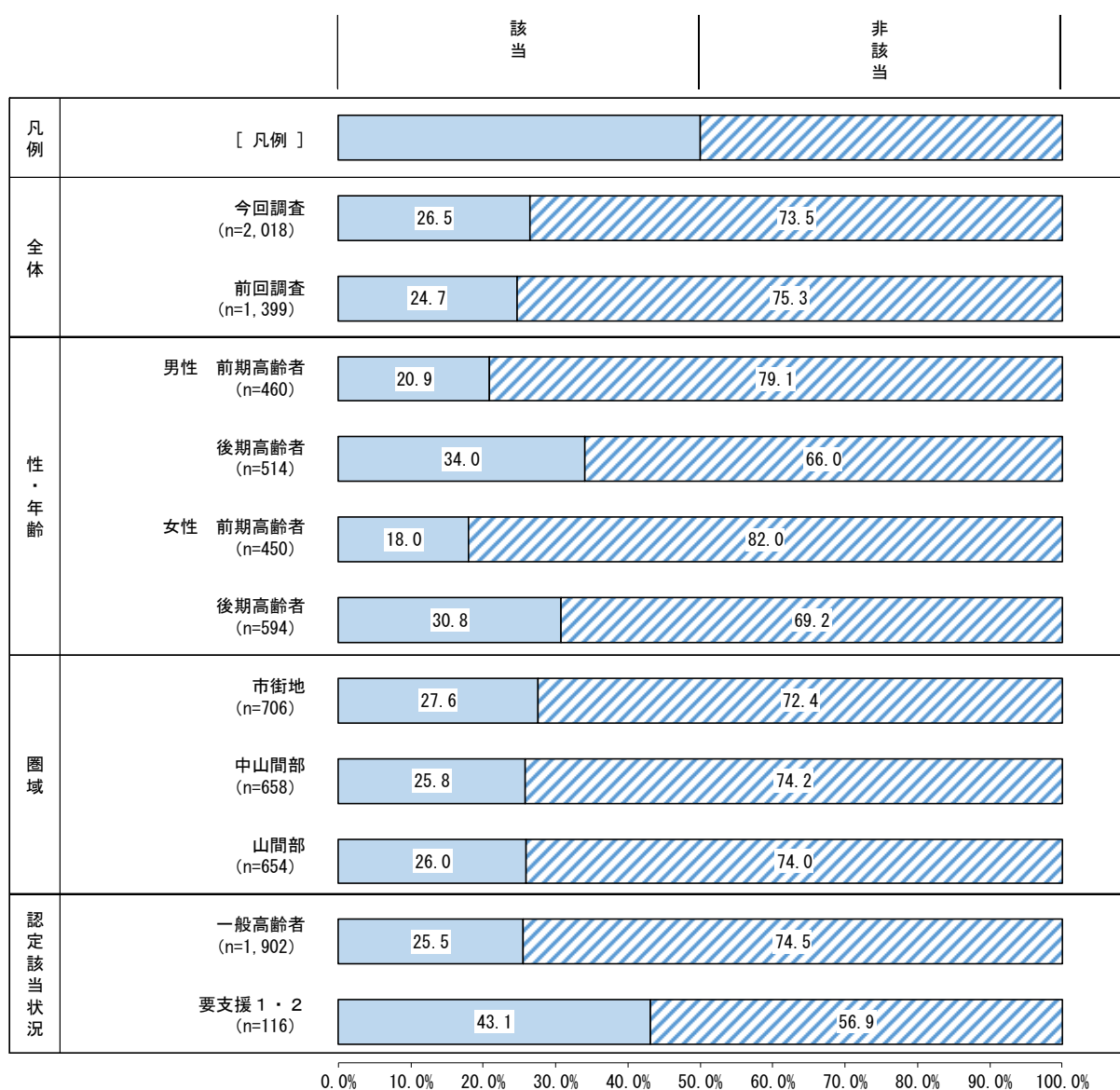
●口腔機能の低下リスク（判定）

以下の設問に対して3問中2問該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（咀嚼機能低下）	1. はい
問3(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか（嚥下機能低下）	1. はい
問3(5)	口の渇きが気になりますか（肺炎発症リスク）	1. はい

<p><b>【全体】</b>          ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が26.5%、「非該当」が73.5%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b>          ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b>          ○ 「該当」は一般高齢者が25.5%、要支援1・2が43.1%となっています。</p>
---

【口腔機能の低下リスク】



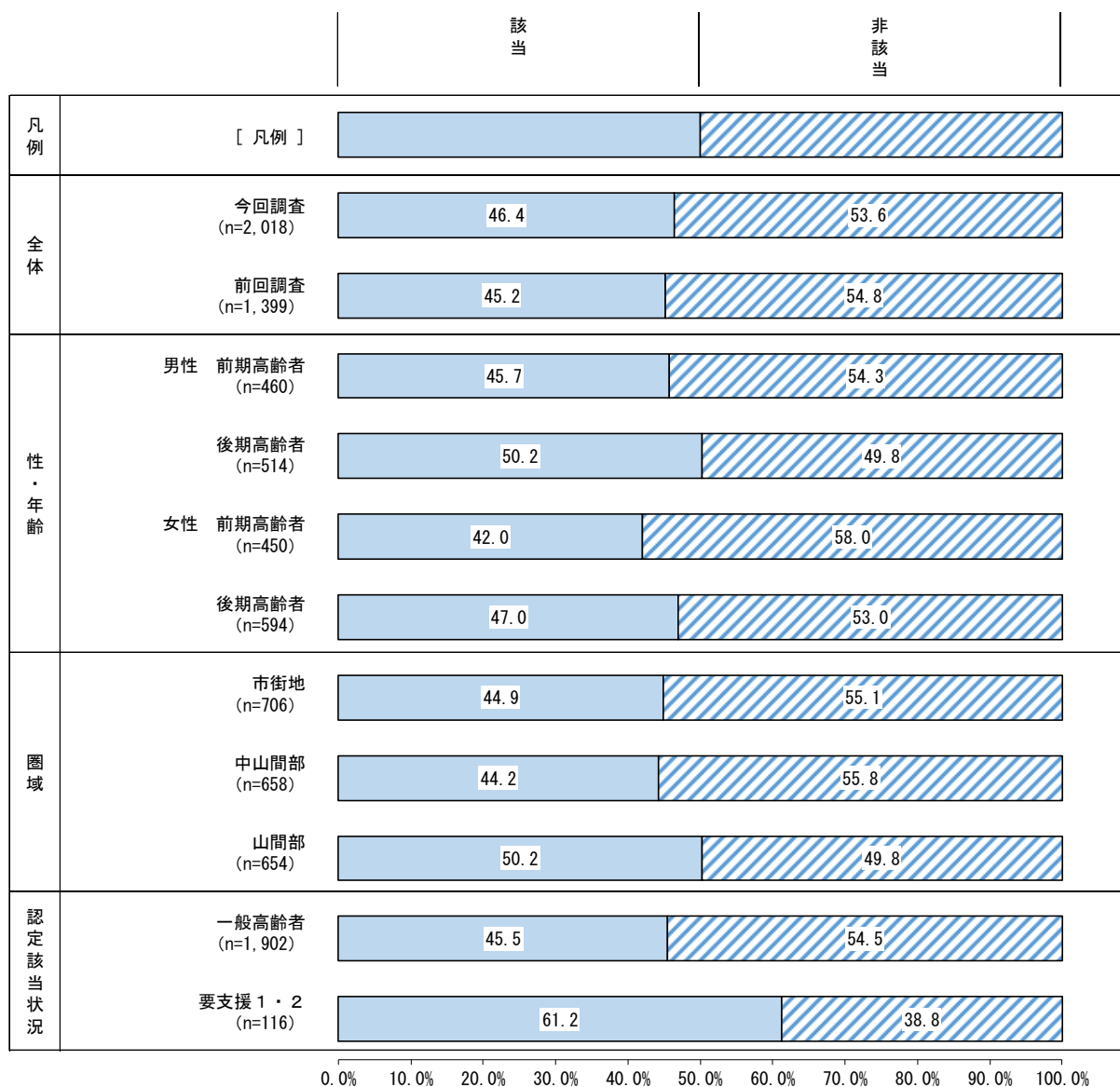
●認知機能の低下リスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問 4(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

<p><b>【全体】</b> ○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が46.4%、「非該当」が53.6%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b> ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p><b>【圏域】</b> ○ 「該当」は山間部が50.2%と他の圏域に比べて多くなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b> ○ 「該当」は一般高齢者が45.5%、要支援1・2が61.2%となっています。</p>
--

【認知機能の低下リスク】



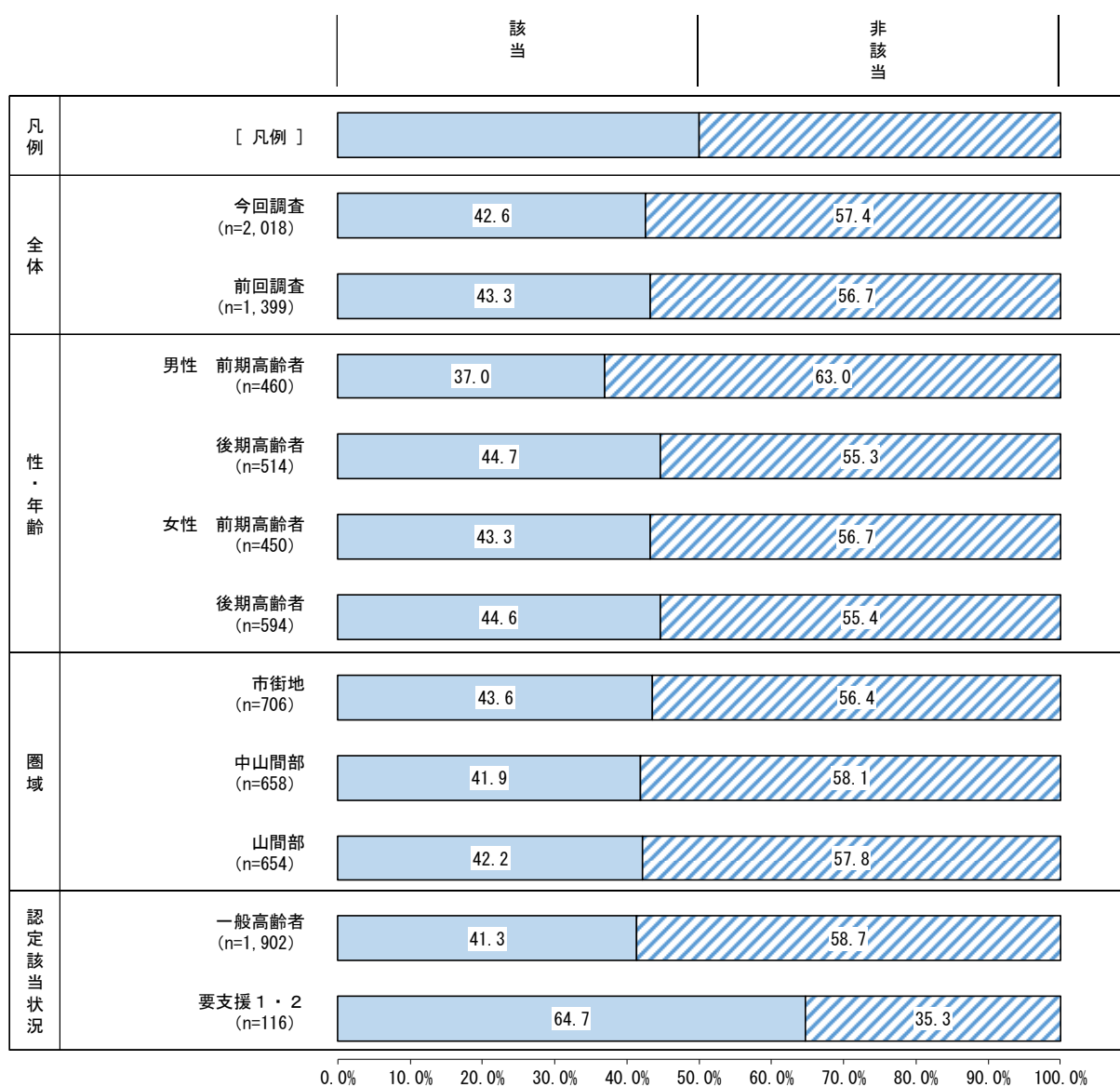
● うつのリスク（判定）

以下の設問に対して2問中1問以上該当する場合に「該当（リスクがある）」としています。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問8(4)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問8(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

**【全体】**  
 ○ うつのリスクについて、「該当」が42.6%、「非該当」が57.4%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 「該当」は男性 前期高齢者が37.0%と他の区分に比べて少なくなっています。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「該当」は一般高齢者が41.3%、要支援1・2が64.7%となっています。

**【うつのリスク】**



## (2) 日常生活評価

### ●手段的自立度（IADL）

日常生活の基本的な動作の中でも、より高度な運動や記憶力を必要とされる動作について、どれだけ独力でできるかを測る指標となります。

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問4(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問4(7)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問4(8)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問4(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

**【全体】**

○ IADL について、「5点（高い）」が 84.7%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が 6.8%、「3点以下（低い）」が 5.2%となっています。

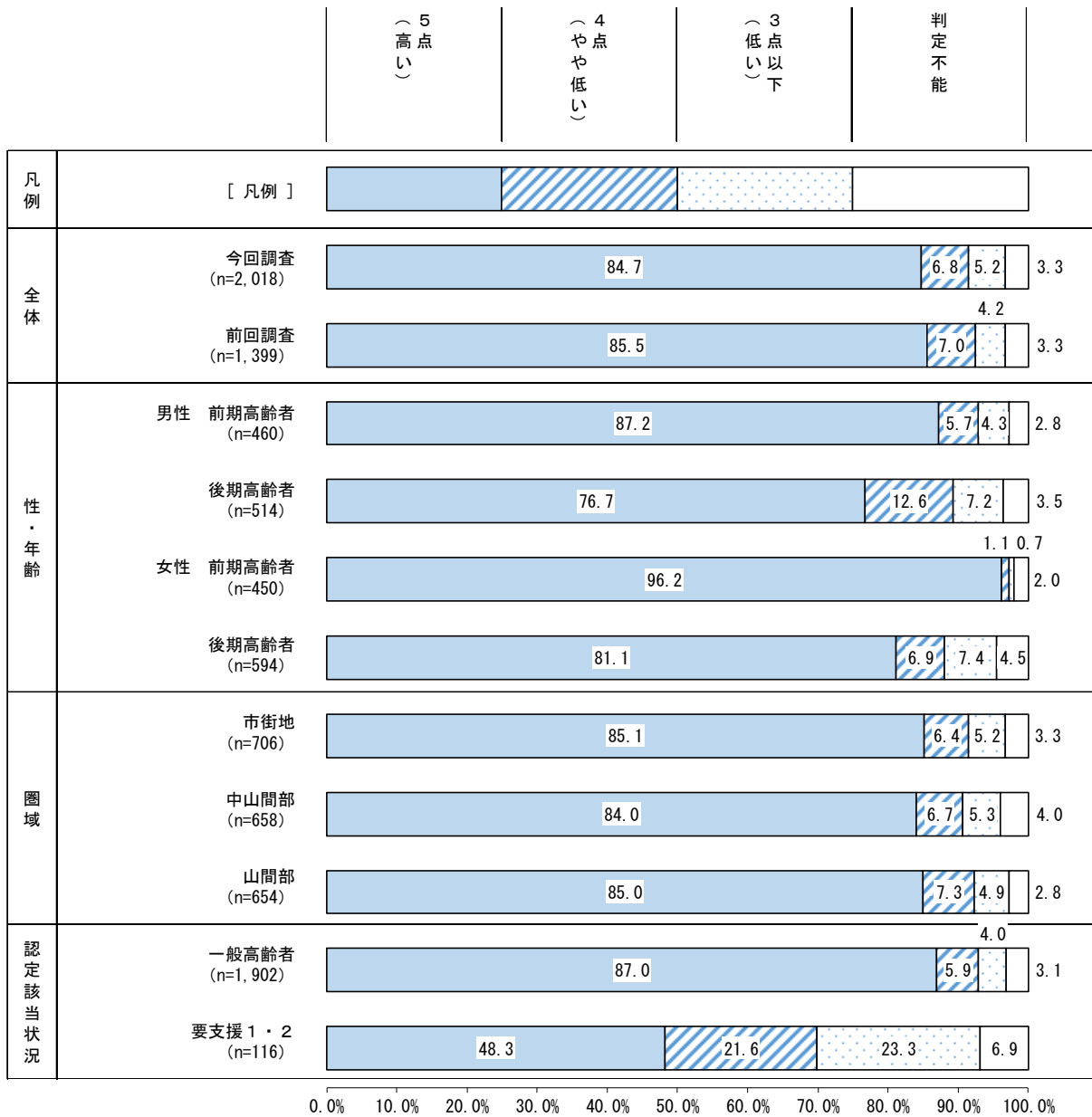
**【性・年齢】**

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「5点（高い）」が少なくなっています。

**【認定該当状況】**

○ 要支援1・2では、「5点（高い）」が 48.3%で最も多く、次いで「3点以下（低い）」が 23.3%、「4点（やや低い）」が 21.6%となっています。

**【IADL】**



### (3) 社会参加評価

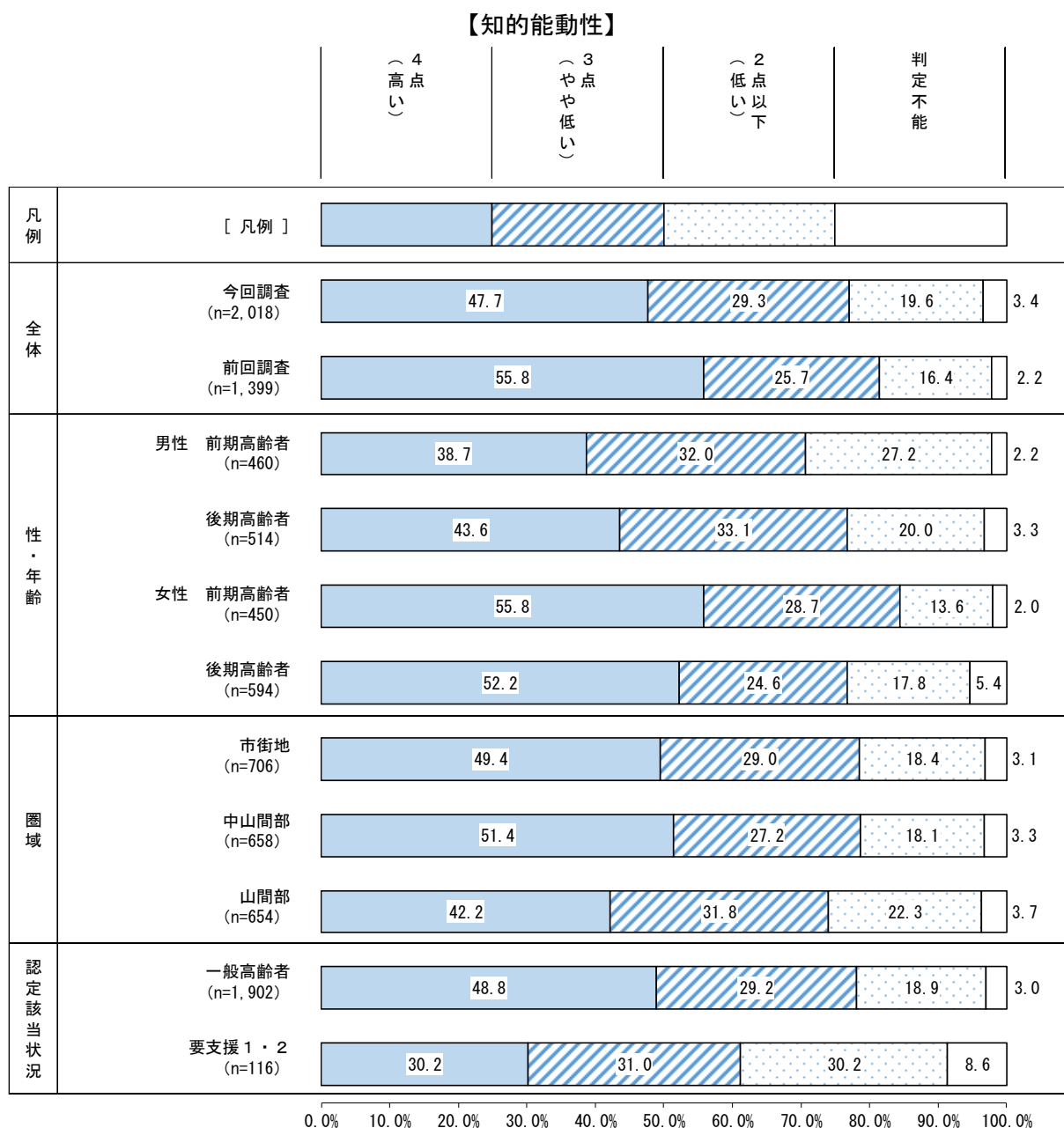
#### ●知的能動性

老研式活動能力指標の1つで、創作や余暇を楽しむなどの知的活動を行う能力を測る指標となります。

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

設問番号	設問内容	該当する 選択肢	配点
問4(10)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい	1点
問4(11)	新聞を読んでいますか	1. はい	1点
問4(12)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい	1点
問4(13)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	1点

- 【全体】**  
○ 知的能動性について、「4点（高い）」が47.7%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が29.3%、「2点以下（低い）」が19.6%となっています。
- 【性・年齢】**  
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「4点（高い）」が多くなっています。  
○ 「2点以下（低い）」は男性 前期高齢者が27.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**  
○ 「4点（高い）」は山間部が42.2%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】**  
○ 要支援1・2では、「3点（やや低い）」が31.0%で最も多く、次いで「4点（高い）」「2点以下（低い）」が30.2%となっています。



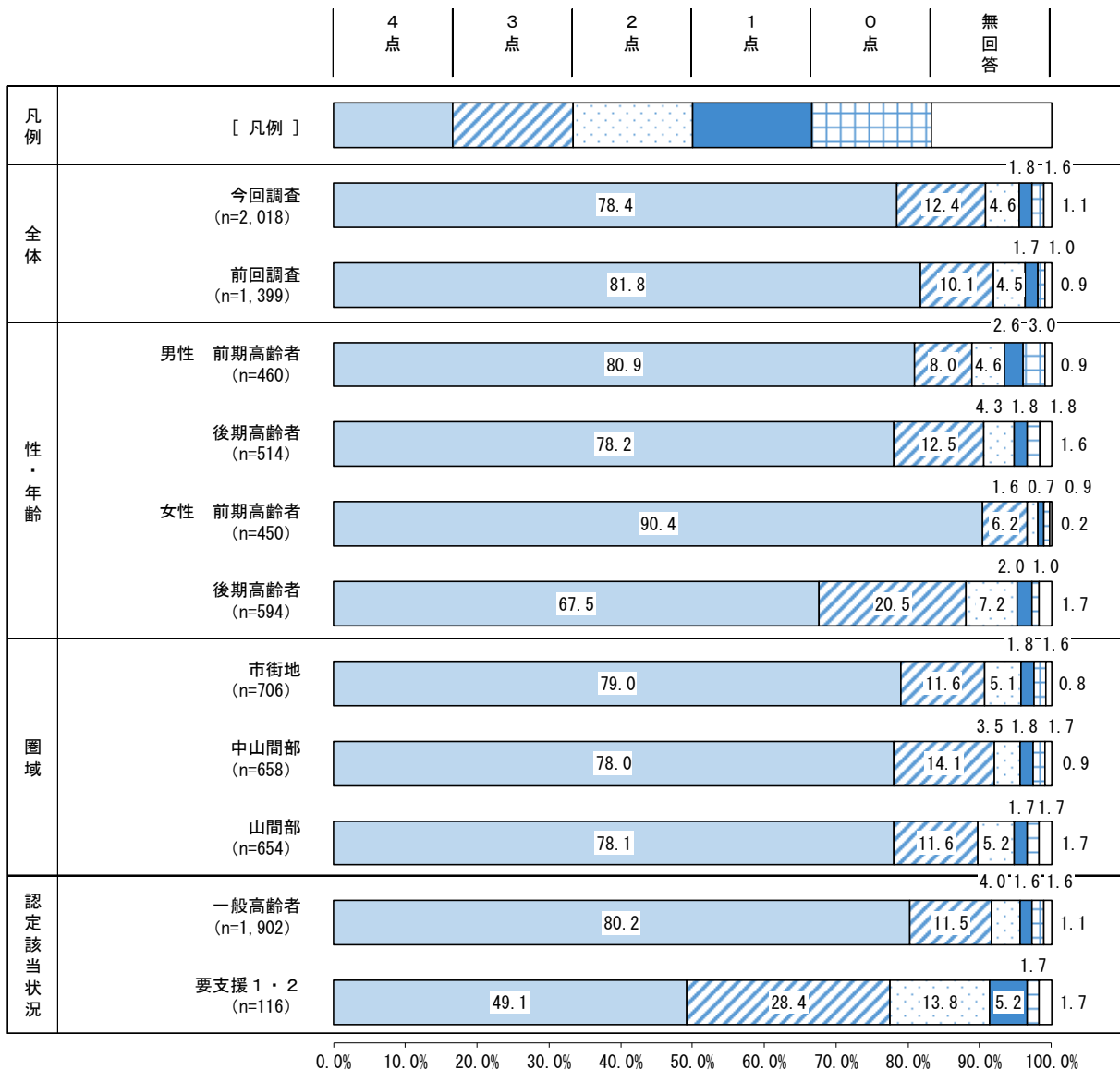
●たすけあいの合計点

以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価しています。

設問番号	設問内容	配点
問6(1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
問6(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
問6(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
問6(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ たすけあいの合計点について、「4点」が78.4%で最も多く、次いで「3点」が12.4%、「2点」が4.6%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b></p> <p>○ 「4点」は女性 前期高齢者が90.4%と他の区分に比べて多くなっている一方で、女性 後期高齢者では67.5%と他の区分に比べて少なくなっています。</p> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <p>○ 「4点」は要支援1・2が49.1%と一般高齢者の80.2%に比べて少なくなっています。</p>
---

【たすけあいの合計点】



### Ⅲ. 在宅介護実態調査結果

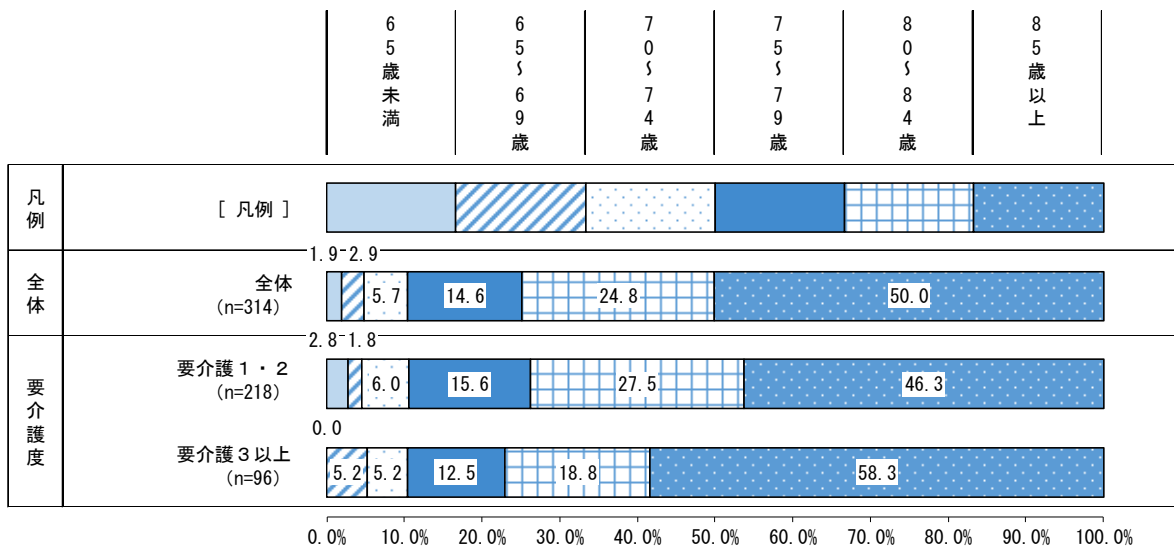
#### 1. 対象者の属性

##### ●年齢

**【全体】**  
 ○ 年齢について、「85歳以上」が50.0%で最も多く、次いで「80～84歳」が24.8%、「75～79歳」が14.6%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「85歳以上」が58.3%となっています。

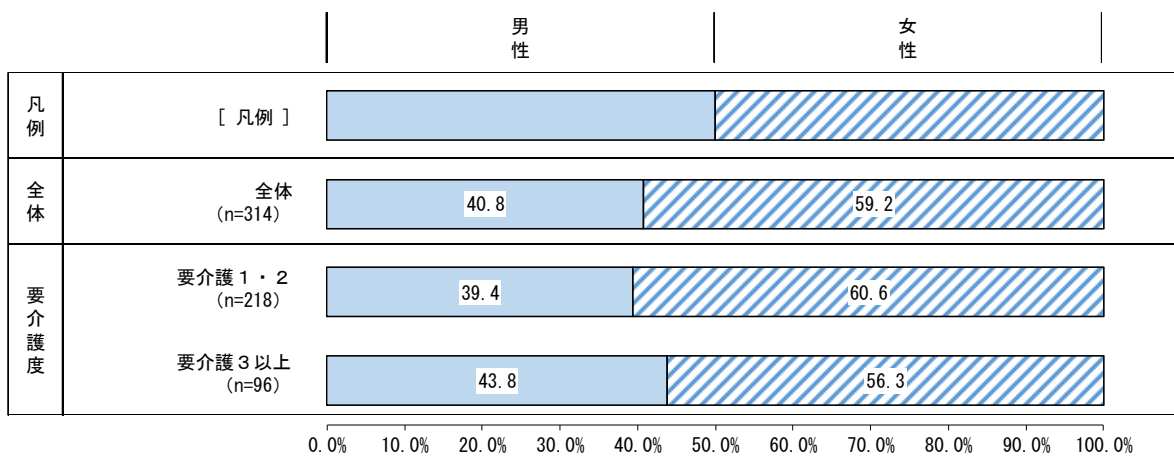
【年齢】



##### ●性別

**【全体】**  
 ○ 性別について、「男性」が40.8%、「女性」が59.2%となっています。

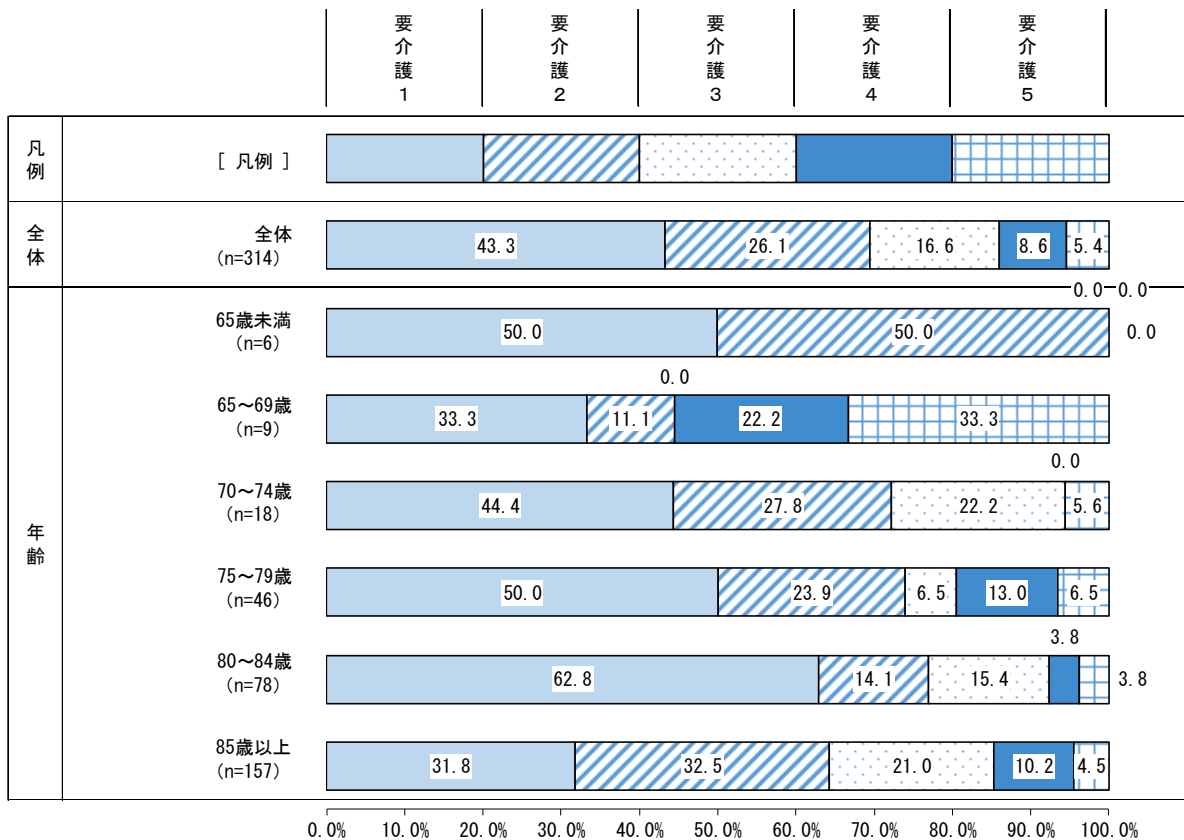
【性別】



●要介護度

- 【全体】**  
 ○ 要介護度について、「要介護1」が43.3%で最も多く、次いで「要介護2」が26.1%、「要介護3」が16.6%となっています。
- 【年齢】**  
 ○ 65歳以上84歳未満では、年齢が高いほど「要介護1」が多くなる傾向がみられます。  
 ○ 70歳以上84歳未満では、“要介護3以上”が2～3割程度となっていますが、85歳以上では35.7%と多くなっています。

【要介護度】

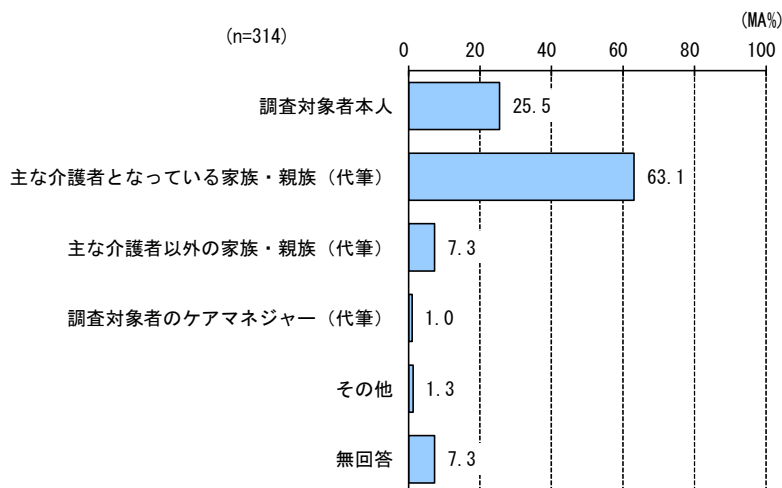


## 2. A票：調査対象者本人について

●まずはじめに、『A票』にご回答いただくのは、どなたですか（〇はいくつでも）

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 記入者について、「主な介護者となっている家族・親族（代筆）」が 63.1%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が 25.5%、「主な介護者以外の家族・親族（代筆）」が 7.3%となっています。</p> <p><b>【要介護度】</b></p> <p>○ 要介護3以上では、「主な介護者となっている家族・親族（代筆）」が 77.1%で最も多くなっています。</p>
---

### 【記入者】



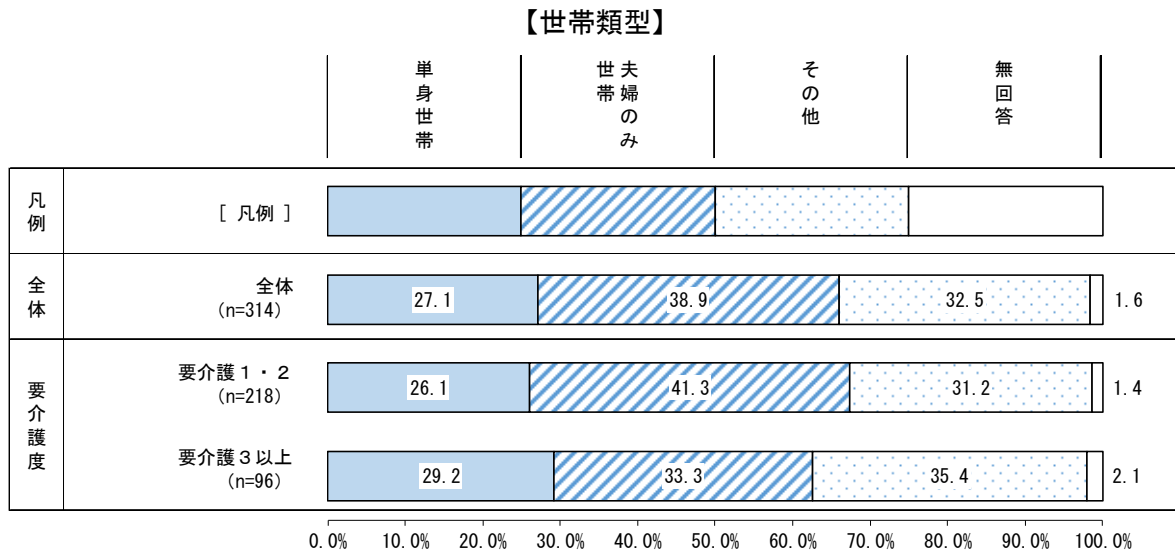
単位：%

	母数 (n)	記入者 (MA)					
		調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族（代筆）	主な介護者以外の家族・親族（代筆）	調査対象者のケアマネジャー（代筆）	その他	無回答
全体	314	25.5	63.1	7.3	1.0	1.3	7.3
要介護1・2	218	32.1	56.9	8.3	0.9	0.5	7.3
要介護3以上	96	▼ 10.4	△ 77.1	5.2	1.0	3.1	7.3

●A問1 世帯類型について、ご回答ください

**【全体】**  
 ○ 世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が 38.9%で最も多く、次いで「その他」が 32.5%、「単身世帯」が 27.1%となっています。

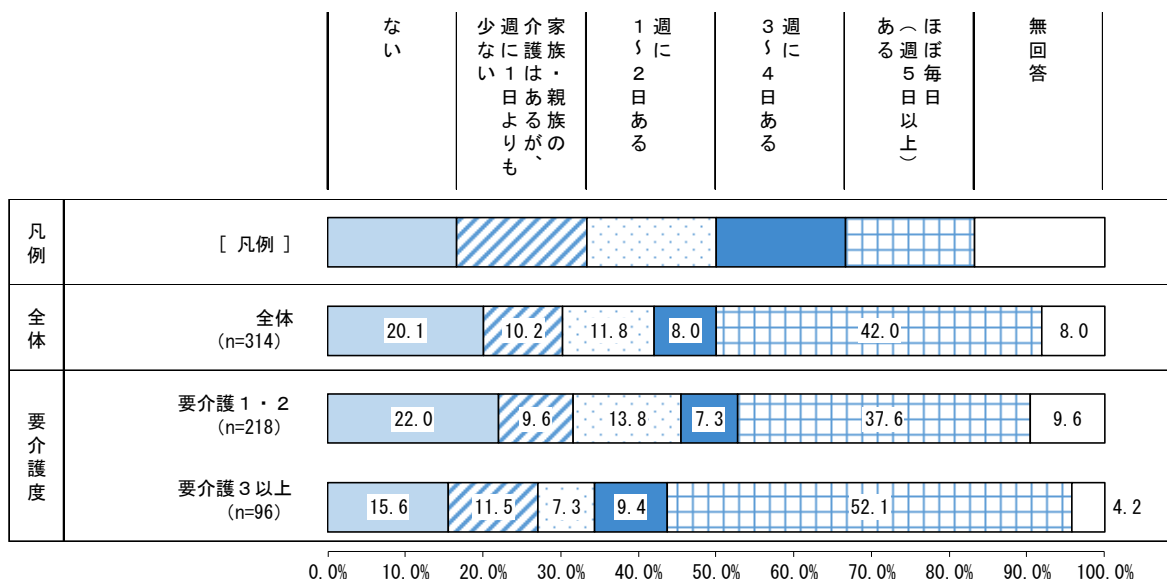
**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「その他」が 35.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が 33.3%、「単身世帯」が 29.2%となっています。



●A問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか

**【全体】**  
 ○ 家族・親族からの介護について、「ほぼ毎日（週5日以上）ある」が42.0%で最も多く、次いで「ない」が20.1%、「週に1～2日ある」が11.8%となっています。  
**【要介護度】**  
 ○ 「ほぼ毎日（週5日以上）ある」は、要介護1・2では37.6%であるのに対し、要介護3以上では52.1%となっています。

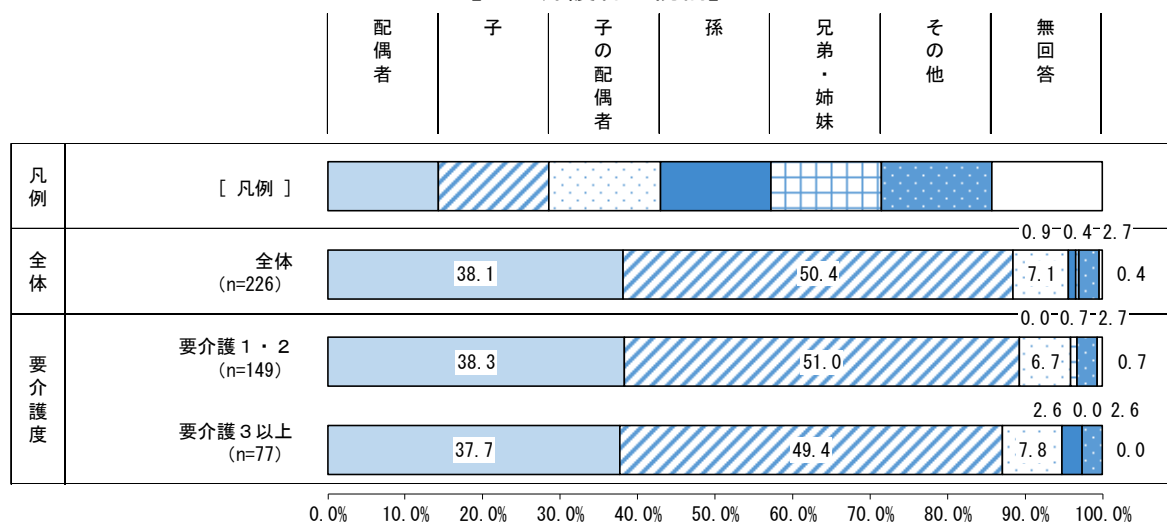
**【家族・親族からの介護】**



●A問3 主な介護者の方は、どなたですか

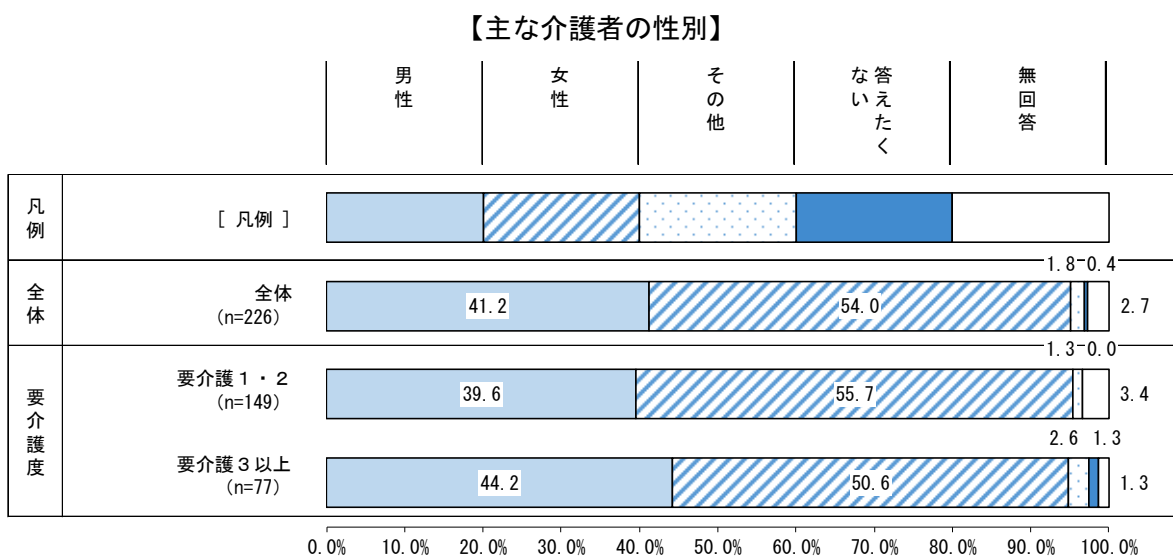
**【全体】**  
 ○ 主な介護者の続柄について、「子」が50.4%で最も多く、次いで「配偶者」が38.1%、「子の配偶者」が7.1%となっています。

**【主な介護者の続柄】**



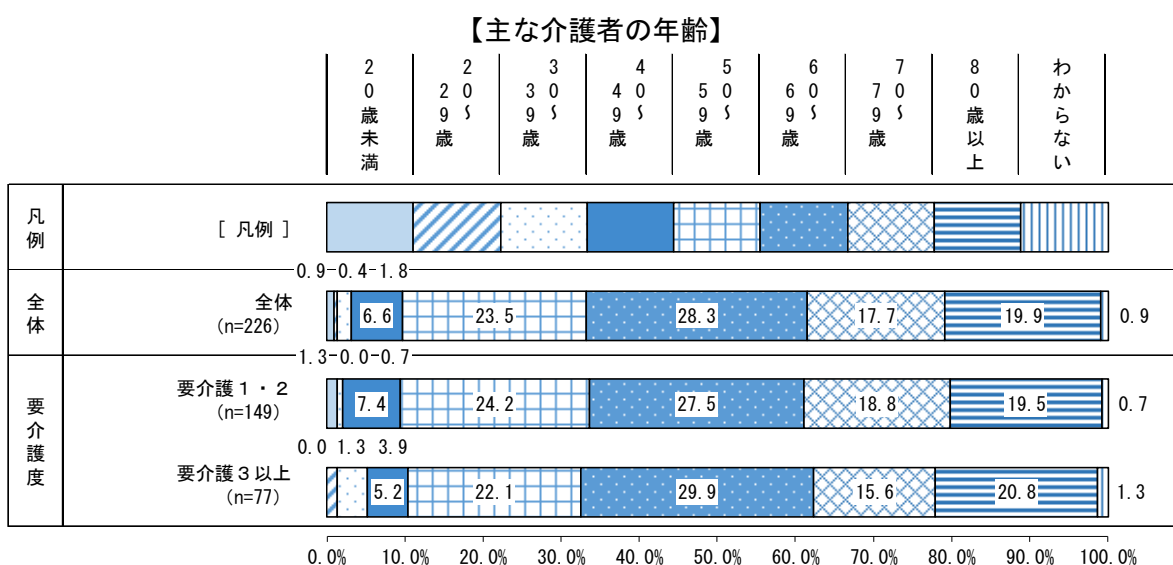
●A問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

**【全体】**  
 ○ 主な介護者の性別について、「女性」が 54.0%で最も多く、次いで「男性」が 41.2%、「その他」が 1.8%となっています。



●A問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

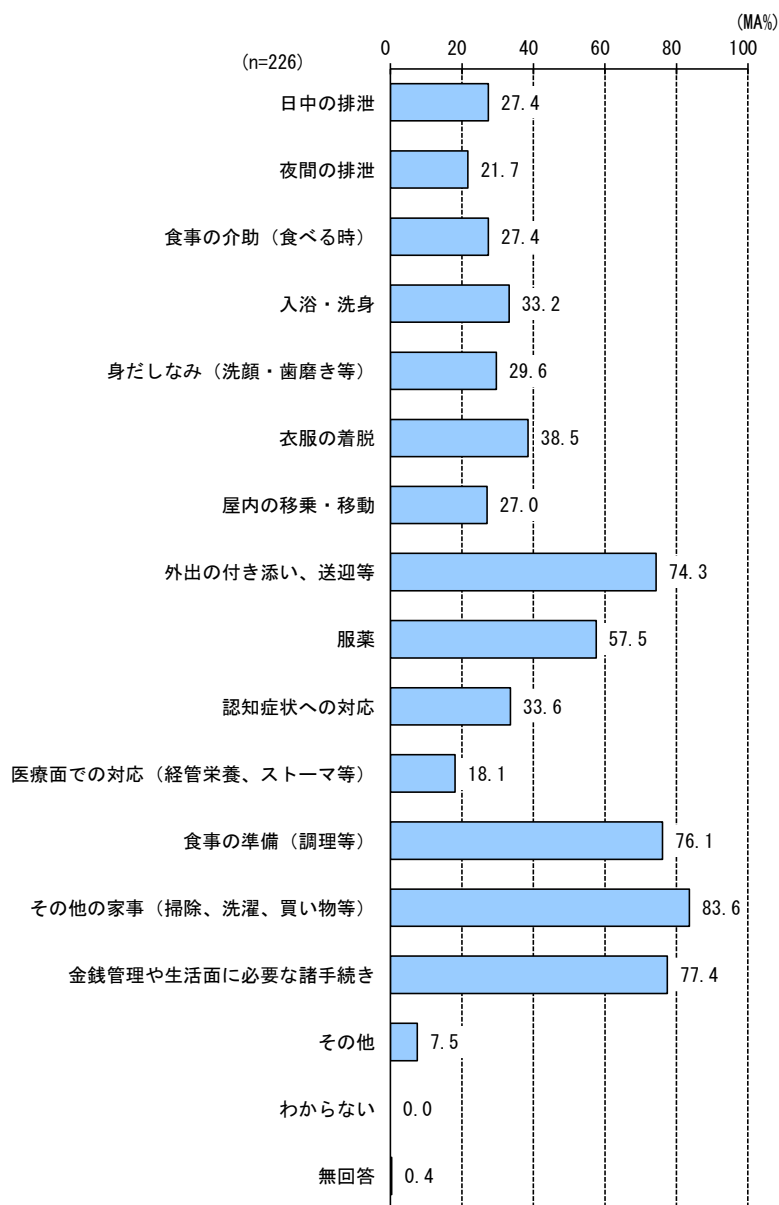
**【全体】**  
 ○ 主な介護者の年齢について、「60～69 歳」が 28.3%で最も多く、次いで「50～59 歳」が 23.5%、「80 歳以上」が 19.9%となっています。



- A問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

**【全体】**  
 ○ 主な介護者が行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.6%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.4%、「食事の準備（調理等）」が76.1%となっています。

**【主な介護者が行っている介護】**



【要介護度】

- 「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「服薬」は、要介護3以上で多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	主な介護者が行っている介護(MA)								
		日中の排泄	夜間の排泄	(食事の介助 (食べる時))	入浴・洗身	等(身だしなみ 洗顔・歯磨き)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送外 迎出の 付き添い、	服薬
全体	226	27.4	21.7	27.4	33.2	29.6	38.5	27.0	74.3	57.5
護要 度介	要介護1・2	▼ 10.1	▼ 9.4	▼ 16.8	29.5	▼ 18.8	▼ 24.8	18.1	75.8	▼ 45.6
	要介護3以上	△ 61.0	△ 45.5	△ 48.1	40.3	△ 50.6	△ 64.9	△ 44.2	71.4	△ 80.5

単位：%

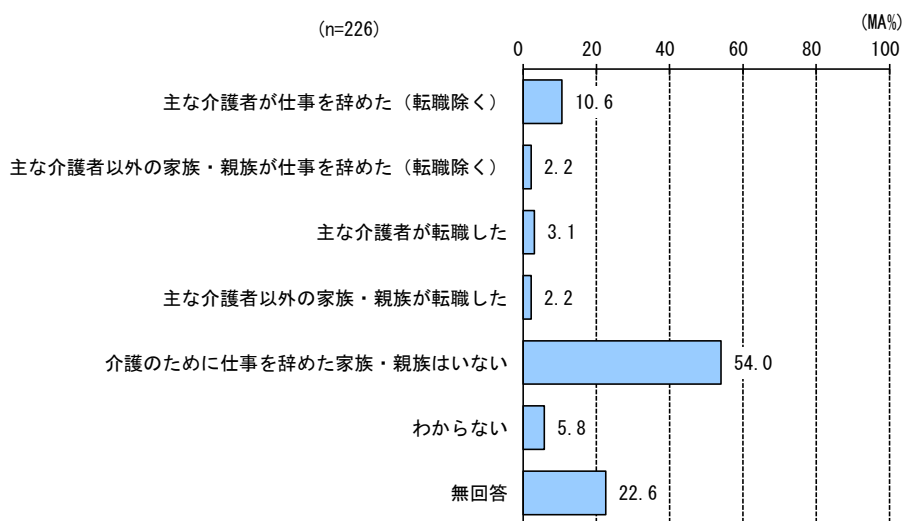
	母数 (n)	主な介護者が行っている介護(MA)							
		認知 症状 への 対応	ト ー マ 等 ( 経 管 栄 養 、 ス 等 )	医 療 面 で の 対 応	等 ( 食 事 の 準 備 ( 調 理 等 )	等 ( 除 、 そ の 他 の 家 事 買 い 物 掃 等 )	に 金 銭 管 理 や 生 活 面 に 必 要 な 諸 手 続 き	そ の 他	わ か ら な い
全体	226	33.6	18.1	76.1	83.6	77.4	7.5	-	0.4
護要 度介	要介護1・2	30.9	13.4	73.2	81.9	77.2	8.1	-	0.7
	要介護3以上	39.0	27.3	81.8	87.0	77.9	6.5	-	-

- A問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事（自営業や農林水産業を含む）を辞めた方はいますか（○はいくつでも）

**【全体】**  
 ○ 介護離職の有無について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が54.0%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.6%、「わからない」が5.8%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は、要介護1・2では8.1%であるのに対し、要介護3以上では15.6%となっています。

**【介護離職の有無 (MA)】**



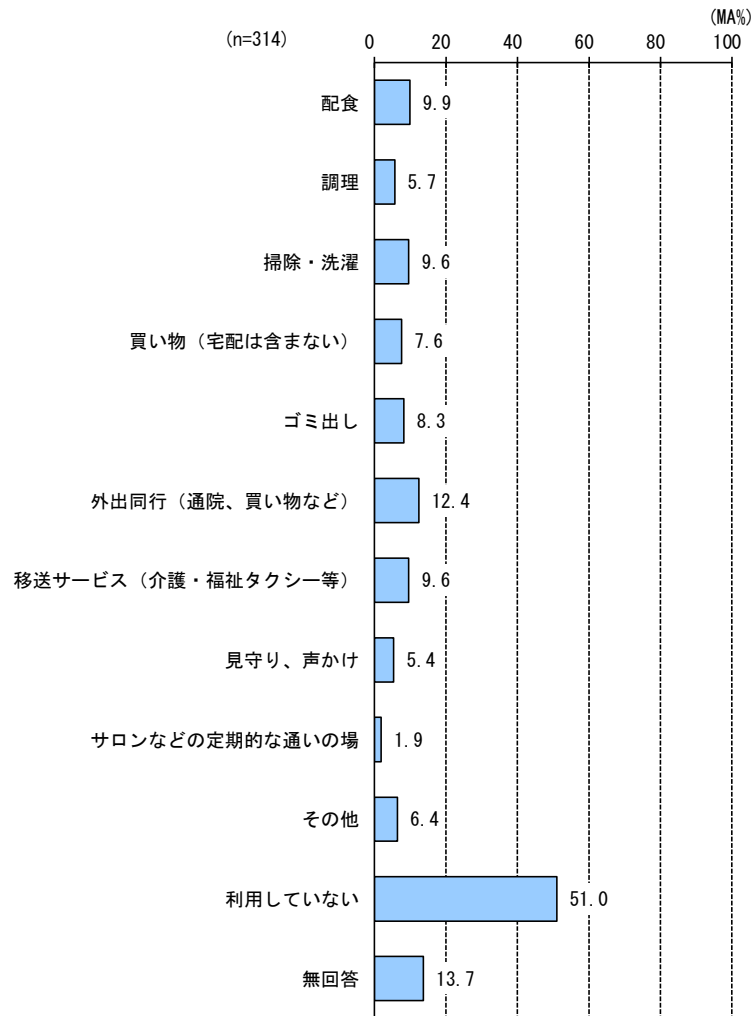
単位：%

	母数 (n)	介護離職の有無 (MA)						
		辞めた 主な 介護者 (転職 除く)	主な 家族・ 親族 (転職 除く)	主な 介護 者が 転職 した	主な 家族 親族 が 転職 した	介護 のため に 仕事を 辞めた 家族・ 親族 は ない	わ か ら な い	無 回 答
全体	226	10.6	2.2	3.1	2.2	54.0	5.8	22.6
要 介護 度								
要 介護 1・2	149	8.1	2.7	2.7	2.7	53.7	4.0	26.2
要 介護 3以上	77	15.6	1.3	3.9	1.3	54.5	9.1	15.6

- A問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

**【全体】**  
 ○ 介護保険サービス以外のサービス利用について、「利用していない」が51.0%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が12.4%、「配食」が9.9%となっています。

**【介護保険サービス以外のサービス利用(MA)】**



【要介護度】

- 要介護1・2では、「利用していない」に次いで「外出同行（通院、買い物など）」が12.8%、「掃除・洗濯」が10.6%となっています。
- 要介護3以上では、「利用していない」に次いで「配食」が13.5%、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.5%となっています。

【世帯類型】

- 「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は単身世帯が他の区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	介護保険サービス以外のサービス利用(MA)					い外 物出 同行 (通 院、 買
			配 食	調 理	掃 除 ・ 洗 濯	買 い 物 (宅 配 は 含 ま ない)	ゴ ミ 出 し	
全体		314	9.9	5.7	9.6	7.6	8.3	12.4
護 要 度 介	要介護1・2	218	8.3	6.4	10.6	7.8	9.6	12.8
	要介護3以上	96	13.5	4.2	7.3	7.3	5.2	11.5
世 帯 型 類	単身世帯	85	14.1	9.4	15.3	16.5	15.3	12.9
	夫婦のみ世帯	122	10.7	6.6	10.7	8.2	8.2	16.4
	その他	102	5.9	2.0	3.9	-	2.9	7.8

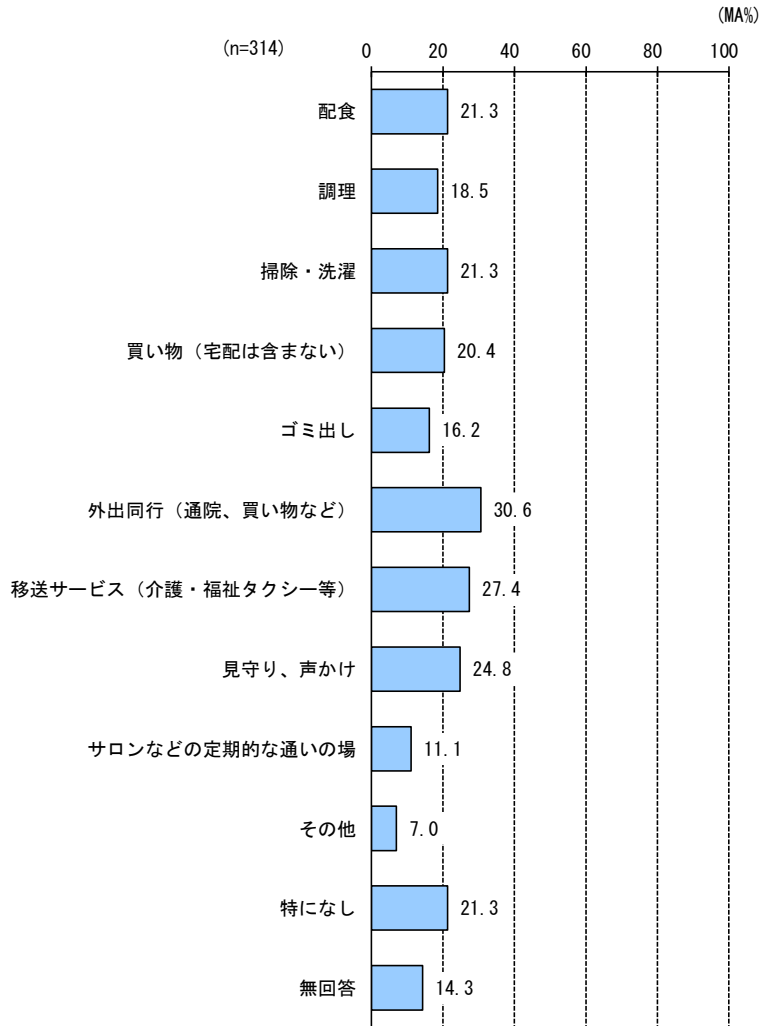
単位：%

		母数 (n)	介護保険サービス以外のサービス利用(MA)					無 回 答
			等 移 ) 送 福サ 社   タク シ   介	見 守 り、 声 か け	な サ 通 ロ い の な の 場 的 の 定 期 的	そ の 他	利 用 し て い な い	
全体		314	9.6	5.4	1.9	6.4	51.0	13.7
護 要 度 介	要介護1・2	218	8.7	6.4	2.8	7.3	49.1	14.2
	要介護3以上	96	11.5	3.1	-	4.2	55.2	12.5
世 帯 型 類	単身世帯	85	14.1	7.1	2.4	7.1	44.7	9.4
	夫婦のみ世帯	122	9.8	5.7	1.6	6.6	45.9	16.4
	その他	102	4.9	3.9	2.0	5.9	△ 64.7	10.8

- A問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください  
(〇はいくつでも)

**【全体】**  
 ○ 在宅生活の継続に必要と感じるサービスについて、「外出同行（通院、買い物など）」が30.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.4%、「見守り、声かけ」が24.8%となっています。

【在宅生活の継続に必要と感じるサービス(MA)】



【要介護度】

- 「配食」「調理」は、要介護1・2で要介護3以上に比べて多くなっています。

【世帯類型】

- 「配食」「調理」「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」は単身世帯が他の区分に比べて多くなっています。
- 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は夫婦のみ世帯が32.8%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	在宅生活の継続に必要と感ずるサービス(MA)					外出 同行 (通院、 買
			配 食	調 理	掃 除・ 洗 濯	買 い 物 (宅 配 は 含 ま な い)	ゴ ミ 出 し	
全体		314	21.3	18.5	21.3	20.4	16.2	30.6
護 要 介 度	要介護1・2	218	23.9	20.2	21.6	20.2	16.5	31.2
	要介護3以上	96	15.6	14.6	20.8	20.8	15.6	29.2
世 帯 類 型	単身世帯	85	27.1	24.7	30.6	27.1	△ 27.1	32.9
	夫婦のみ世帯	122	21.3	18.9	23.0	23.8	17.2	31.1
	その他	102	15.7	12.7	11.8	10.8	▼ 5.9	26.5

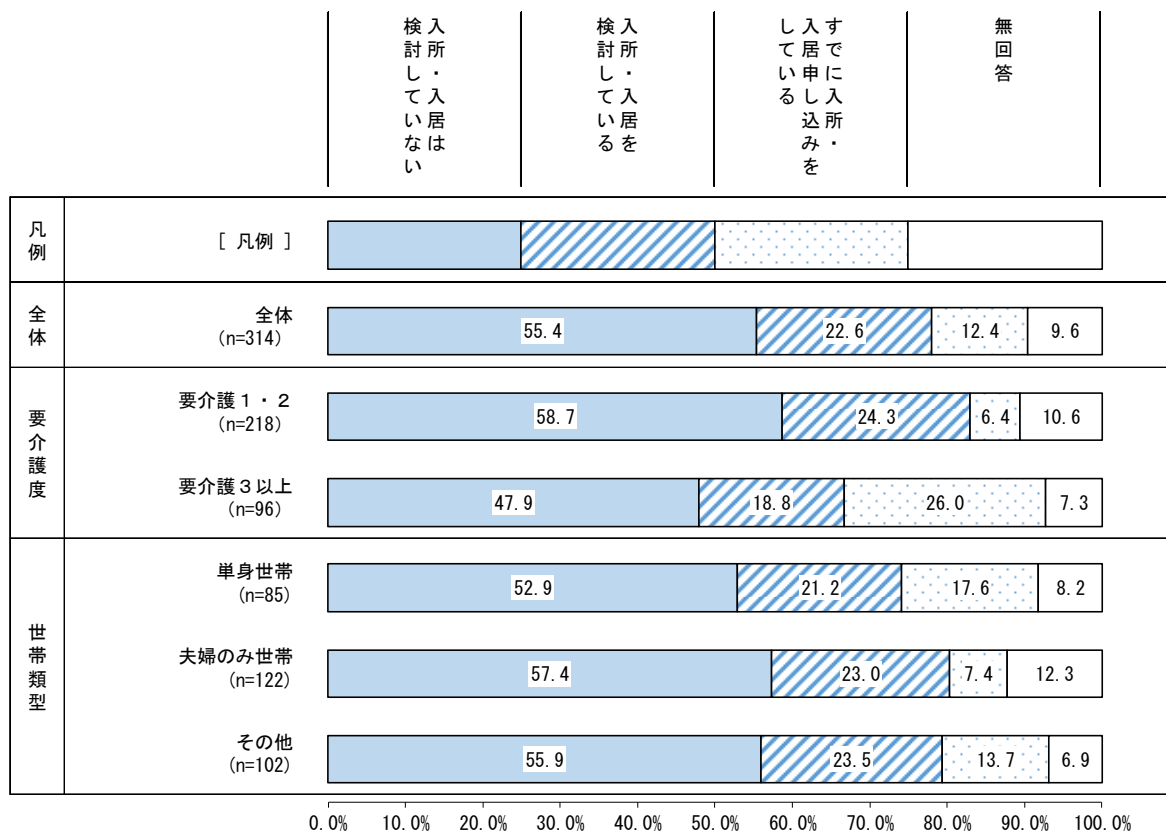
単位：%

		母数 (n)	在宅生活の継続に必要と感ずるサービス(MA)					無 回 答
			移 送 サ ー ビ ス （ 介 護 等 ）	見 守 り 、 声 か け	サ ロ ン の 場 の 定 期 的	そ の 他	特 に な し	
全体		314	27.4	24.8	11.1	7.0	21.3	14.3
護 要 介 度	要介護1・2	218	26.1	25.7	10.6	6.9	22.0	15.1
	要介護3以上	96	30.2	22.9	12.5	7.3	19.8	12.5
世 帯 類 型	単身世帯	85	23.5	29.4	14.1	3.5	21.2	11.8
	夫婦のみ世帯	122	32.8	21.3	12.3	6.6	17.2	18.0
	その他	102	23.5	26.5	7.8	9.8	26.5	12.7

●A問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

- 【全体】**  
 ○ 施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない」が55.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が22.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が12.4%となっています。
- 【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が26.0%となっています。
- 【世帯類型】**  
 ○ 「すでに入所・入居申し込みをしている」は単身世帯が17.6%と他の区分に比べて多くなっています。

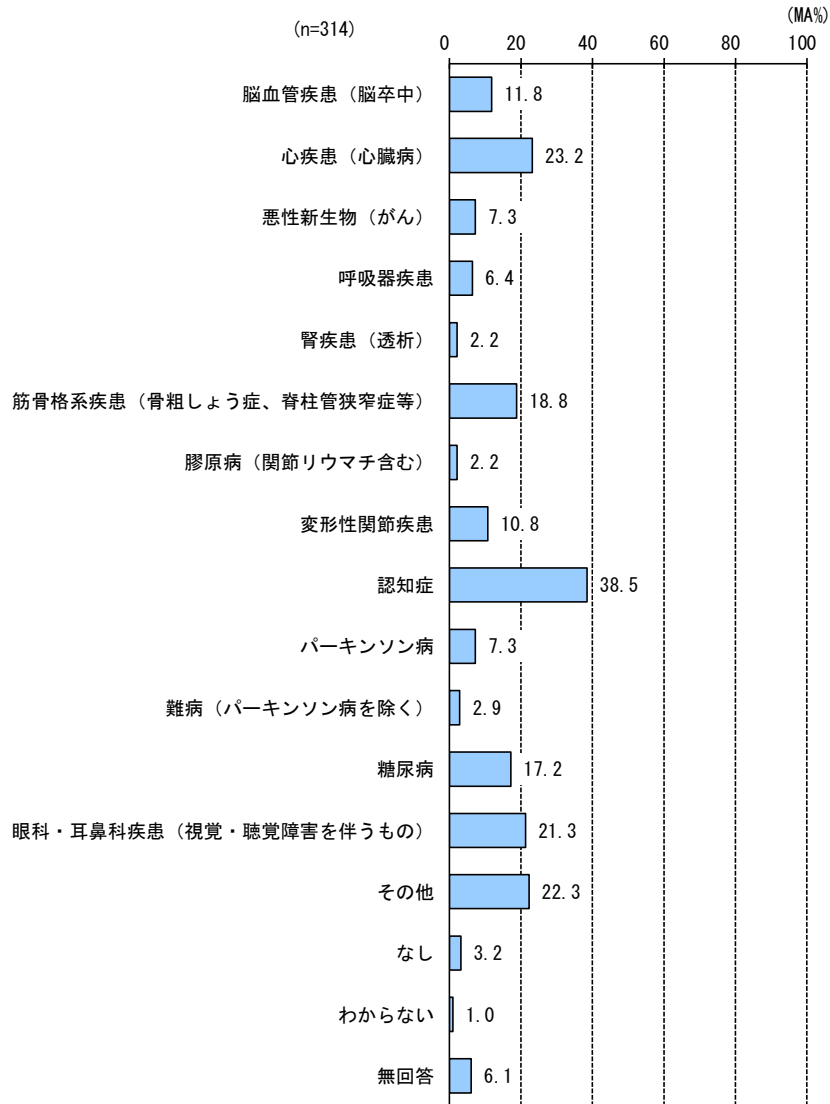
【施設等検討の状況】



- A問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください  
（〇はいくつでも）

**【全体】**  
 ○ 現在の傷病について、「認知症」が 38.5%で最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が 23.2%、「その他」が 22.3%となっています。

**【現在の傷病 (MA)】**



【要介護度】

○ 「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」は、要介護3以上で多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	現在の傷病(MA)									
		脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗鬆症等)	含む 膠原病 (関節リウマチ)	変形性 関節疾患	認知症	
全体	314	11.8	23.2	7.3	6.4	2.2	18.8	2.2	10.8	38.5	
要介護度	要介護1・2	218	7.8	22.5	6.4	5.0	2.3	20.2	1.8	11.5	33.9
	要介護3以上	96	20.8	25.0	9.4	9.4	2.1	15.6	3.1	9.4	△ 49.0

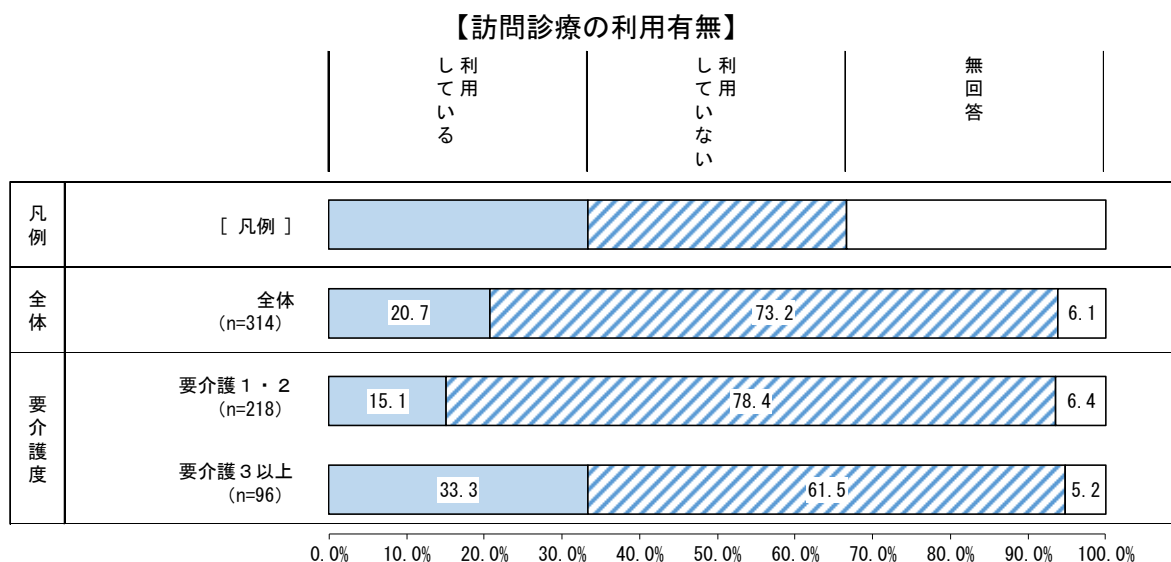
単位：%

	母数 (n)	現在の傷病(MA)								
		パーキンソン病	を難病 (パーキンソン病 を除く)	糖尿病	の覚眼 (科・聴・耳 科疾患を 伴うも視)	その他	なし	わからない	無回答	
全体	314	7.3	2.9	17.2	21.3	22.3	3.2	1.0	6.1	
要介護度	要介護1・2	218	7.8	1.8	16.5	22.0	25.2	3.2	1.4	7.8
	要介護3以上	96	6.3	5.2	18.8	19.8	15.6	3.1	-	2.1

●A問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか

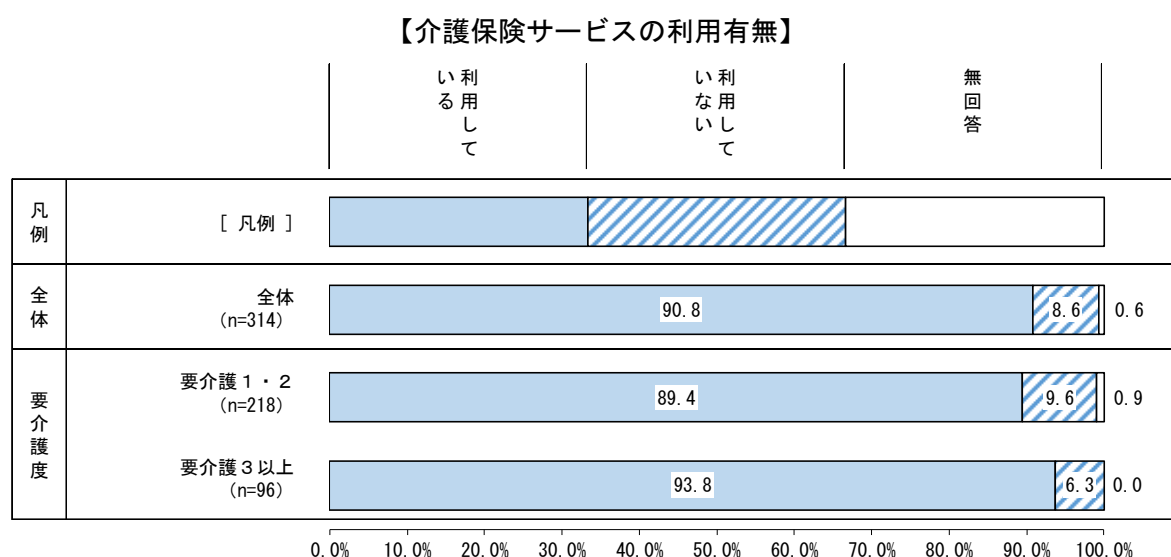
**【全体】**  
 ○ 訪問診療の利用有無について、「利用している」が20.7%、「利用していない」が73.2%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「利用している」は、要介護1・2では15.1%、要介護3以上では33.3%となっています。



●A問13 現在、介護保険サービスを利用していますか

**【全体】**  
 ○ 介護保険サービスの利用有無について、「利用している」が90.8%、「利用していない」が8.6%となっています。

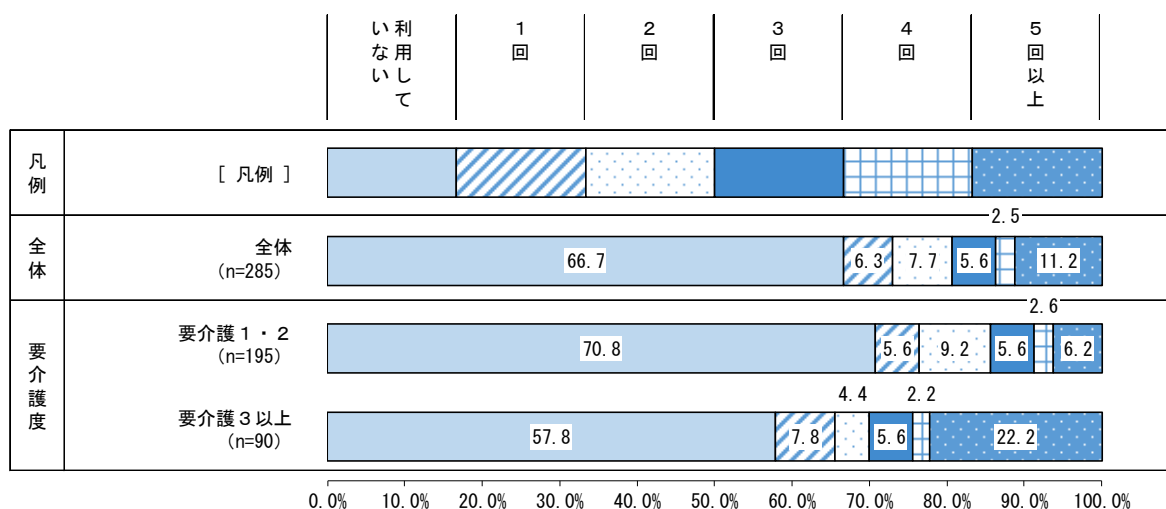


●A問13-1A 訪問介護（ホームヘルプサービス）

**【全体】**  
 ○ 訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況について、「利用していない」が66.7%で最も多く、次いで「5回以上」が11.2%、「2回」が7.7%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「5回以上」が22.2%となっています。

【訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況】

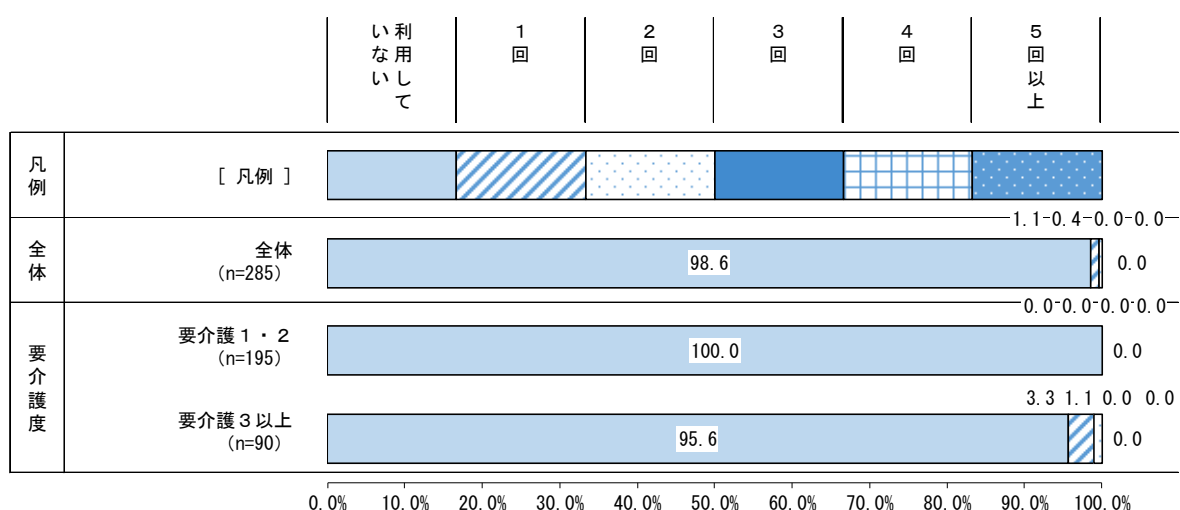


●A問13-1B 訪問入浴介護

**【全体】**  
 ○ 訪問入浴介護の利用状況について、「利用していない」が98.6%で最も多く、次いで「1回」が1.1%、「2回」が0.4%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「1回」が3.3%、「2回」が1.1%となっています。

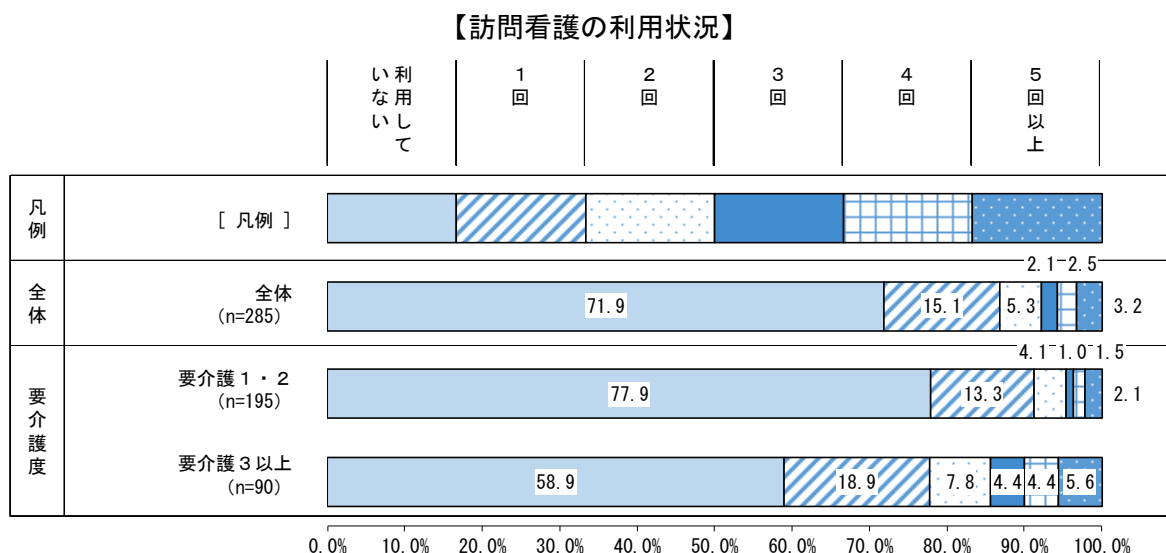
【訪問入浴介護の利用状況】



●A問13-1C 訪問看護

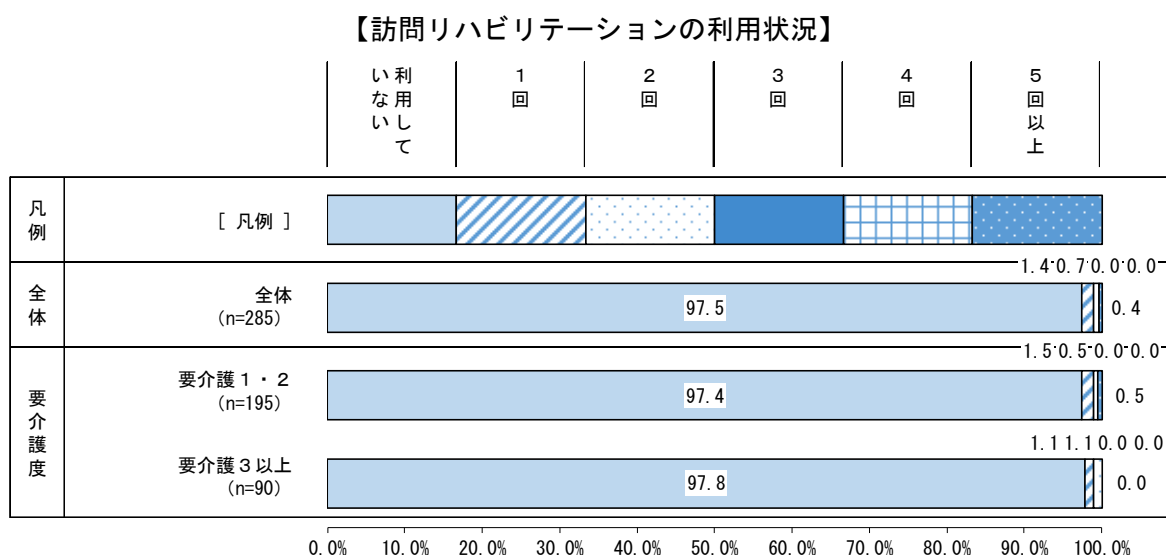
**【全体】**  
 ○ 訪問看護の利用状況について、「利用していない」が71.9%で最も多く、次いで「1回」が15.1%、「2回」が5.3%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護1・2では、「1回」が13.3%、「2回以上」が8.7%となっています。  
 ○ 要介護3以上では、「1回」が18.9%、「2回以上」が22.2%となっています。



●A問13-1D 訪問リハビリテーション

**【全体】**  
 ○ 訪問リハビリテーションの利用状況について、「利用していない」が97.5%で最も多く、次いで「1回」が1.4%、「2回」が0.7%となっています。

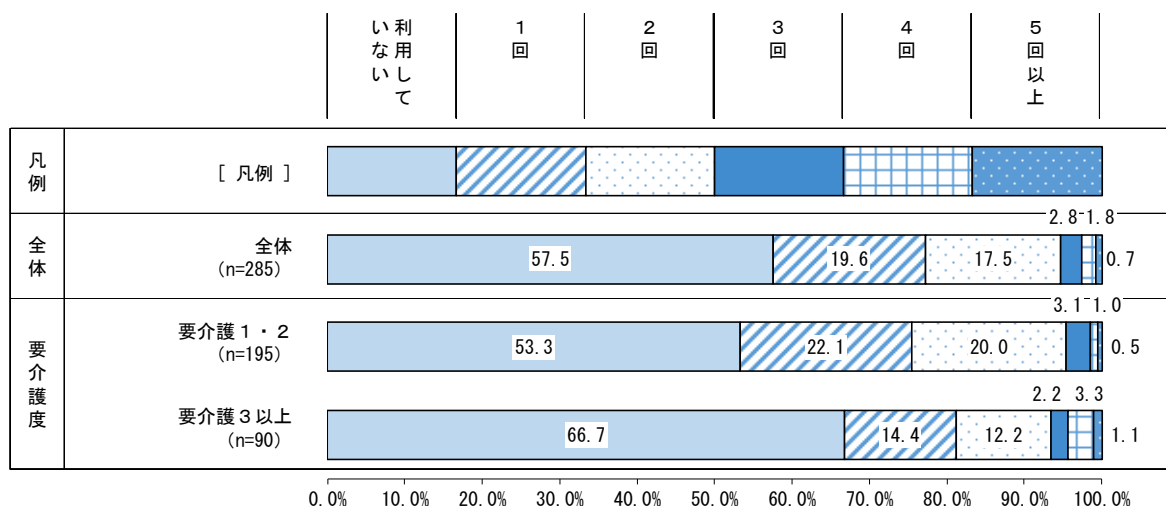


●A問13-1E 通所介護（デイサービス）

**【全体】**  
 ○ 通所介護（デイサービス）の利用状況について、「利用していない」が57.5%で最も多く、次いで「1回」が19.6%、「2回」が17.5%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護1・2では、「月1～2回」が42.1%となっています。  
 ○ 要介護3以上では、「月1～2回」が26.6%となっています。

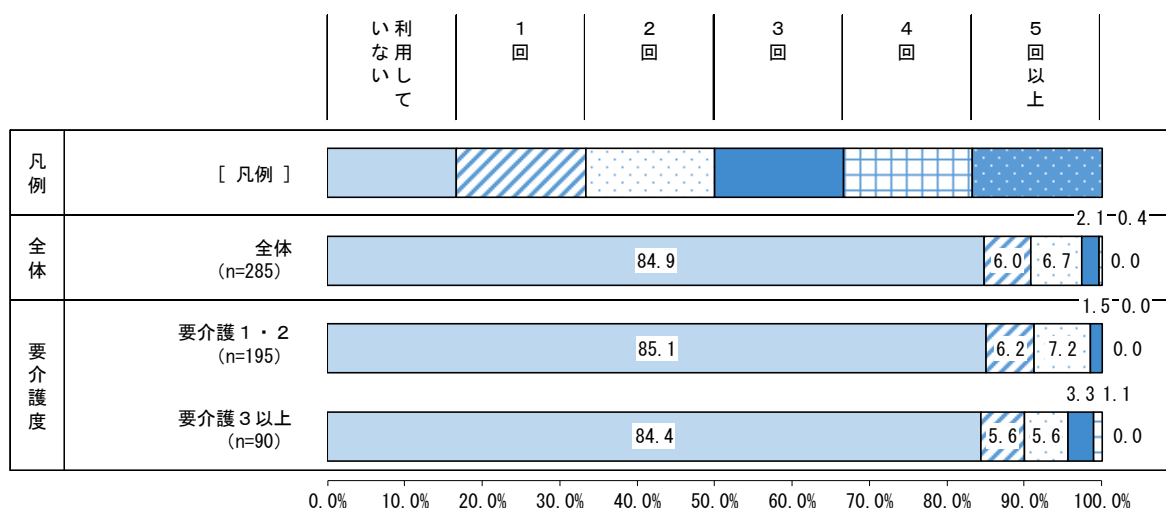
**【通所介護（デイサービス）の利用状況】**



●A問13-1F 通所リハビリテーション（デイケア）

**【全体】**  
 ○ 通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況について、「利用していない」が84.9%で最も多く、次いで「1回」が6.0%、「2回」が6.7%となっています。

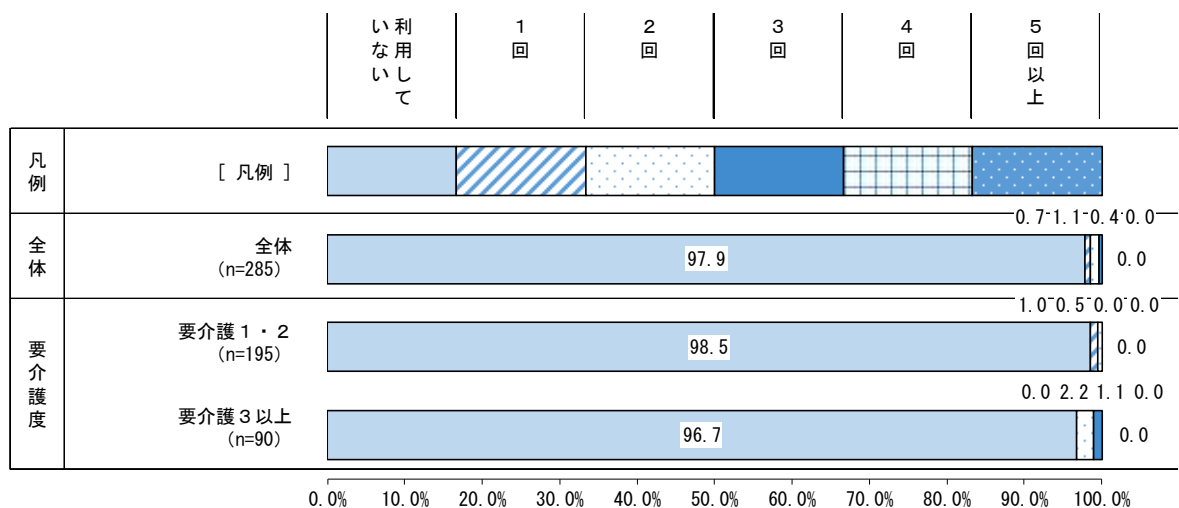
**【通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況】**



● A問13-1G 認知症対応型通所介護（デイサービス）

**【全体】**  
 ○ 認知症対応型通所介護（デイサービス）の利用状況について、「利用していない」が97.9%で最も多く、次いで「2回」が1.1%、「1回」が0.7%となっています。

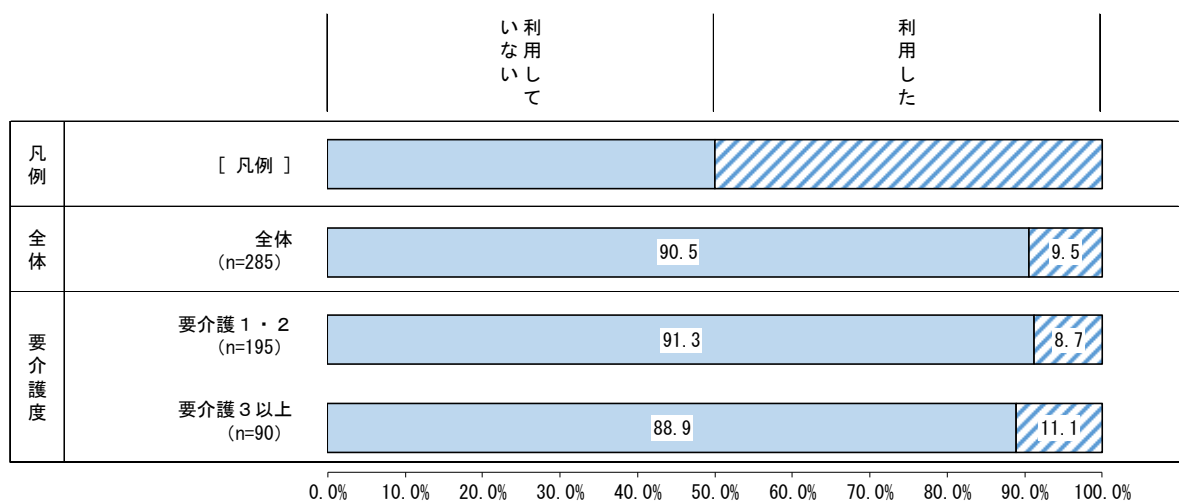
**【認知症対応型通所介護（デイサービス）の利用状況】**



● A問13-1H 小規模多機能型居宅介護

**【全体】**  
 ○ 小規模多機能型居宅介護の利用状況について、「利用していない」が90.5%、「利用した」が9.5%となっています。

**【小規模多機能型居宅介護の利用状況】**

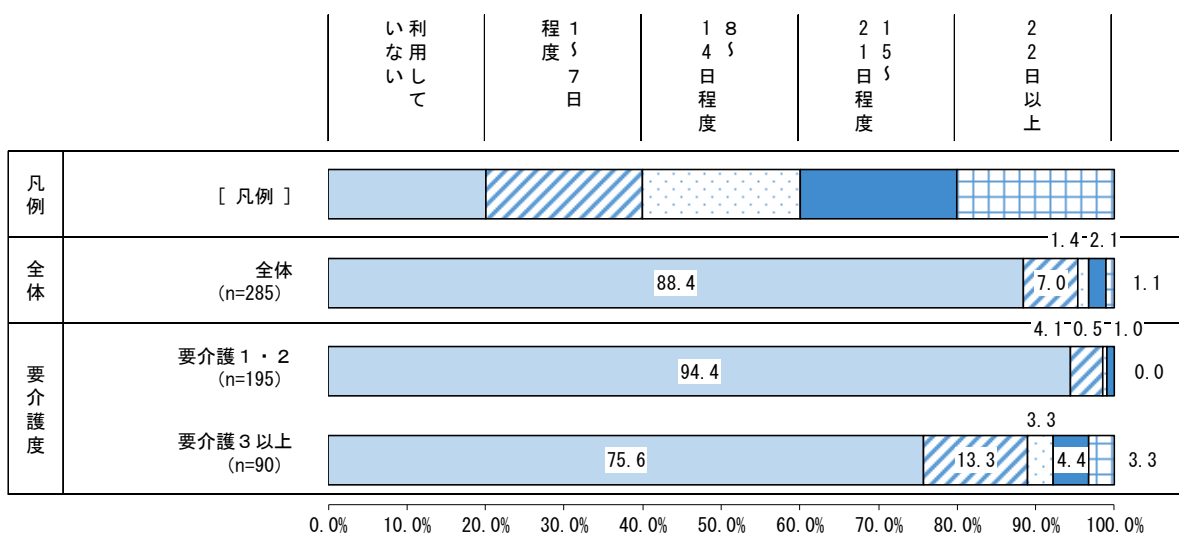


●A問13-1 I ショートステイ

**【全体】**  
 ○ ショートステイの利用状況について、「利用していない」が88.4%で最も多く、次いで「1～7日程度」が7.0%、「15～21日程度」が2.1%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「1～7日程度」が13.3%、「8日以上」が11.0%となっています。

【ショートステイの利用状況】

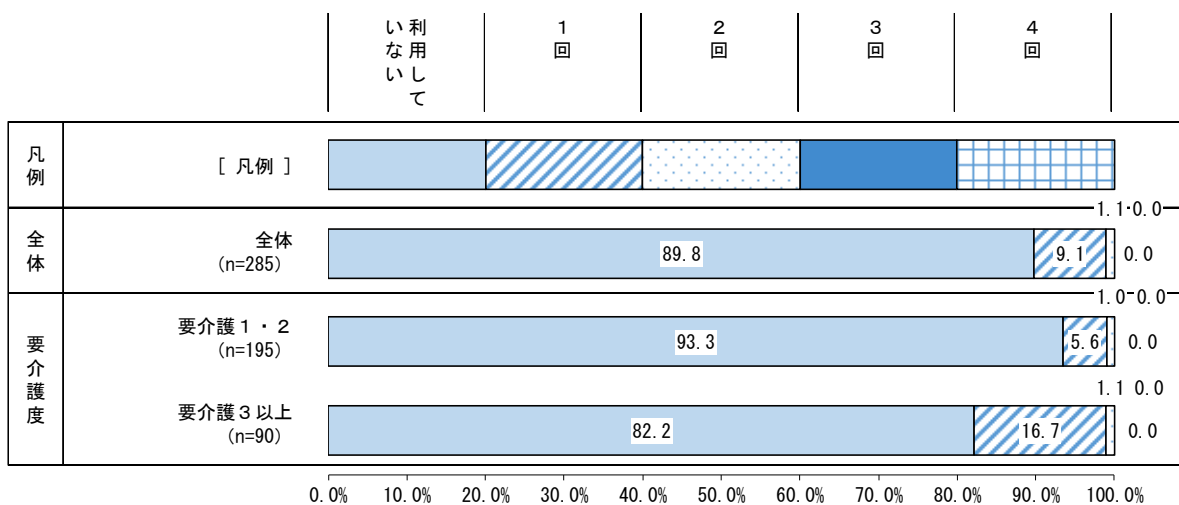


●A問13-1 J 居宅療養管理指導

**【全体】**  
 ○ 居宅療養管理指導の利用状況について、「利用していない」が89.8%で最も多く、次いで「1回」が9.1%、「2回」が1.1%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「1回」が16.7%となっています。

【居宅療養管理指導の利用状況】

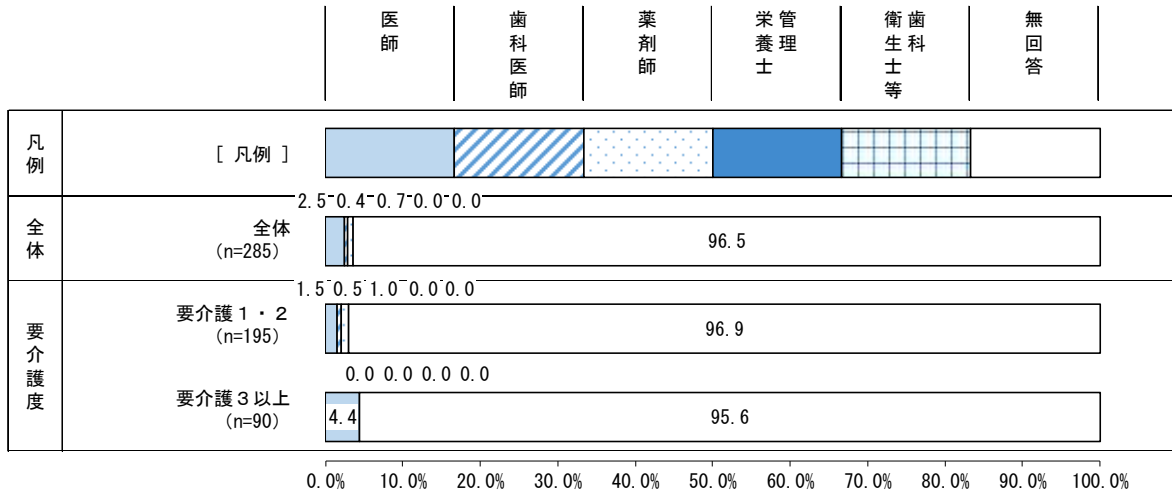


●A問13-1 J 職種

**【全体】**  
 ○ 居宅療養管理指導の職種について、「医師」が2.5%で最も多く、次いで「薬剤師」が0.7%、「歯科医師」が0.4%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「医師」が4.4%となっています。

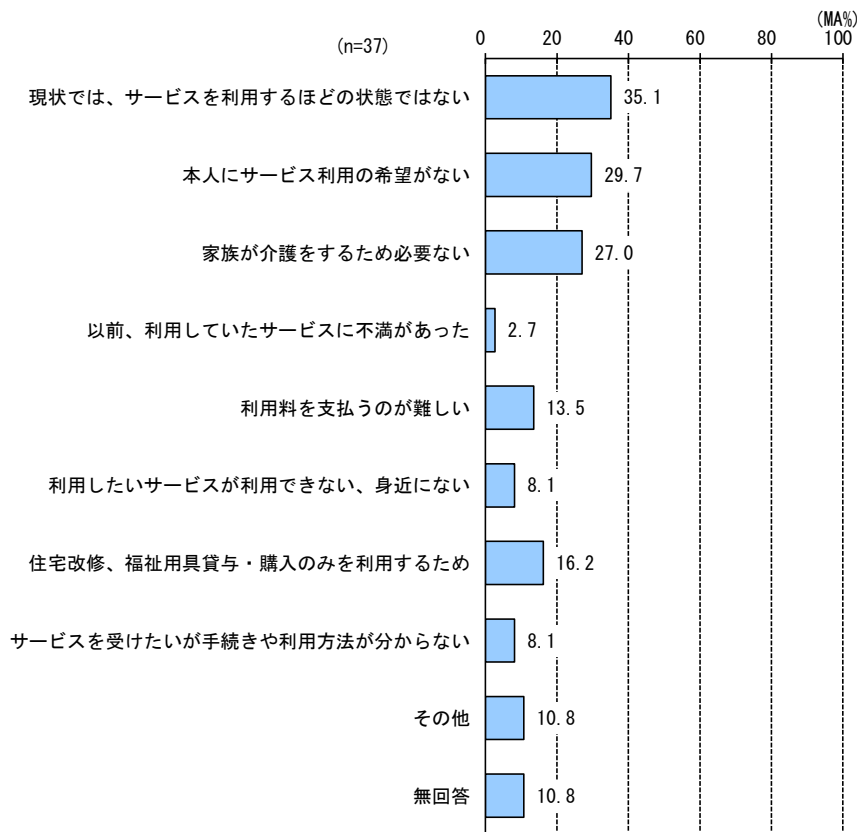
【居宅療養管理指導の職種】



●A問13-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）

- 【全体】**  
 ○ について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.1%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が29.7%、「家族が介護をするため必要ない」が27.0%となっています。
- 【要介護度】**  
 ○ 要介護1・2では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.4%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が27.6%となっています。  
 ○ 要介護3以上では、「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」が37.5%で最も多くなっています。
- 【世帯類型】**  
 ○ 「家族が介護をするため必要ない」は夫婦のみ世帯が38.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】



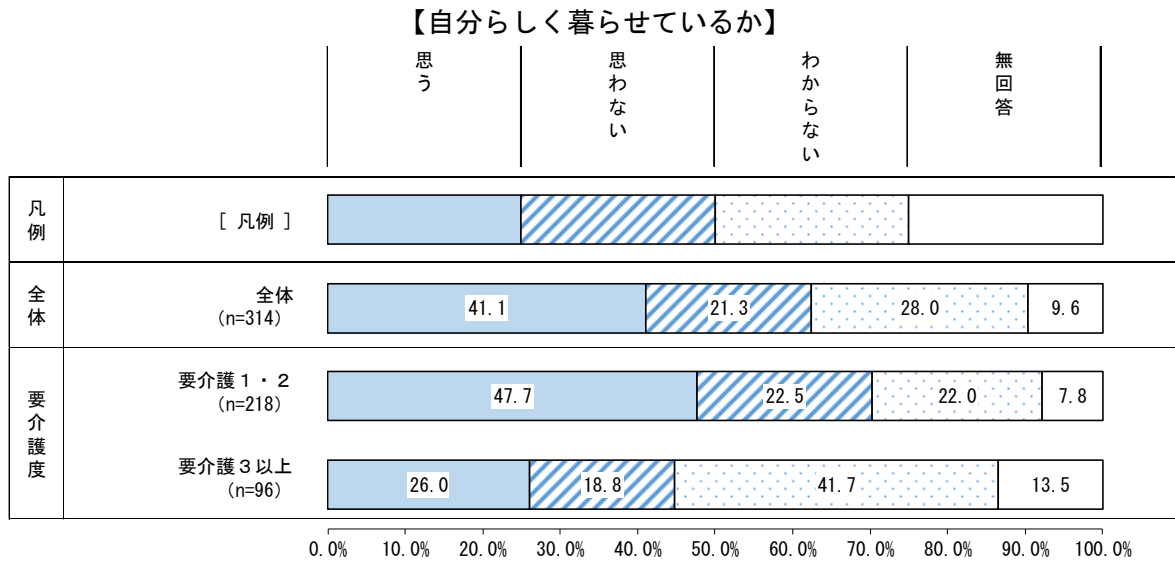
単位：%

	母数 (n)	介護保険サービスを利用していない理由(MA)										
		は利現 な用状 いす るは、 ほど のサ ービ ス 状 ビ ス を	希本 望人 がに ない サ ー ビ ス 利 用 の	必家 要族 が ない 介 護 を す る た め	たサ ー 以 前 、 ビ ス 利 用 し な い が あ た っ	し利 用 料 を 支 払 う の が 難	な利 用 で し き な い サ ー 身 近 に が	る住 宅 改 修 の 福 祉 用 具 貸 与	か手 続 き や サ ー ビ ス 利 用 方 法 が 分 ら な い	そ の 他	無 回 答	
全体	37	35.1	29.7	27.0	2.7	13.5	8.1	16.2	8.1	10.8	10.8	
護要 度介	要介護1・2	29	41.4	27.6	24.1	3.4	13.8	10.3	20.7	6.9	10.3	10.3
	要介護3以上	8	▼ 12.5	37.5	△ 37.5	-	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5
世帯 類型	単身世帯	4	25.0	▼ 25.0	25.0	-	-	-	-	-	△ 25.0	-
	夫婦のみ世帯	13	30.8	30.8	38.5	-	-	15.4	15.4	15.4	7.7	-
	その他	9	33.3	△ 66.7	▼ 22.2	11.1	△ 33.3	11.1	△ 33.3	-	11.1	11.1

●A問14 あなたは、自分らしく暮らしていると思いますか

**【全体】**  
 ○ 自分らしく暮らしているかについて、「思う」が41.1%で最も多く、次いで「わからない」が28.0%、「思わない」が21.3%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「思う」は、要介護1・2では47.7%であるのに対し、要介護3以上では26.0%となっています。

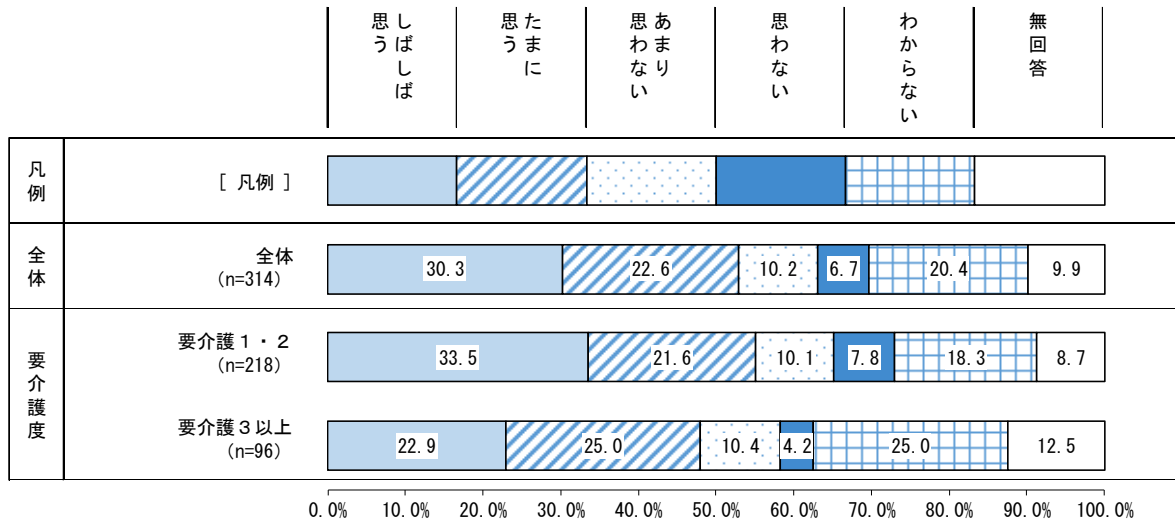


- A問15 在宅生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思いますか

**【全体】**  
 ○ 自分の望む在宅生活ができているかについて、「しばしば思う」が30.3%で最も多く、次いで「たまに思う」が22.6%、「わからない」が20.4%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「しばしば思う」は、要介護1・2では33.5%であるのに対し、要介護3以上では22.9%となっています。

【自分の望む在宅生活ができているか】



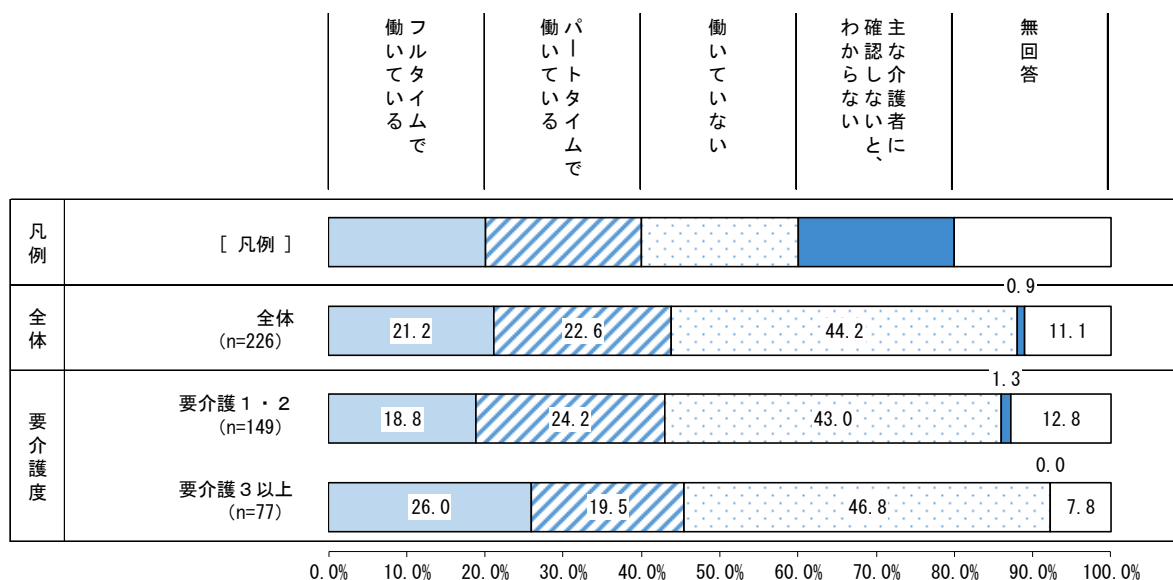
### 3. B票：主な介護者の方について

● B問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

**【全体】**  
 ○ 勤務形態について、「働いていない」が44.2%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が22.6%、「フルタイムで働いている」が21.2%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では「フルタイムで働いている」が26.0%と、要介護1・2の18.8%に比べて多くなっています。

**【勤務形態】**



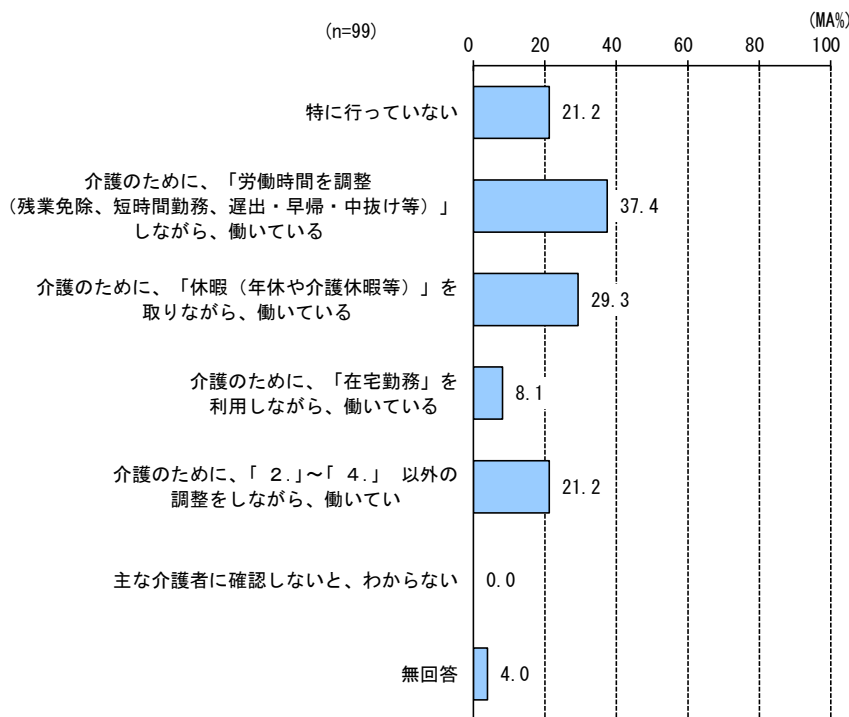
- B問2-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして  
いますか（○はいくつでも）

**【全体】**  
○ 働き方の調整について、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が37.4%で最も多く、次いで「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が29.3%、「特に行っていない」「介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている」が21.2%となっています。

**【勤務形態】**  
○ 「特に行っていない」「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」はフルタイムで働いている人がパートタイムで働いている人に比べて多くなっています。  
○ 「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」「介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている」はパートタイムで働いている人がフルタイムで働いている人に比べて多くなっています。

**【就労継続見込み】**  
○ 「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」は就労継続に問題があるほど多くなる傾向がみられます。

**【働き方の調整(MA)】**

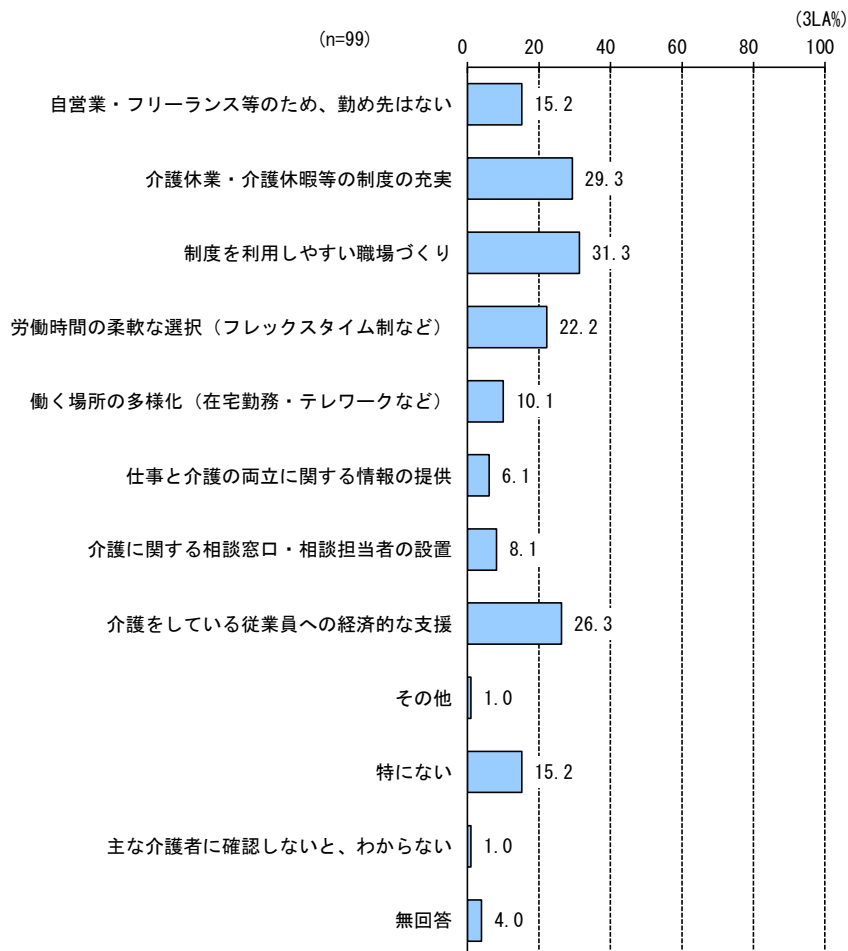


		母数 (n)	働き方の調整 (MA)							無回答		
			特に行っていない	い(等)「」している	遅出・早帰しながら、働	免除・短時間勤務、業	介護の時間を「」に、	「」を取りながら	「」(年休や介護休業		「」(在宅勤務)を利用して	「」(在宅勤務)を利用して
全体		99	21.2	37.4	29.3	8.1	21.2	-	4.0			
勤務形態	フルタイムで働いている	48	25.0	33.3	33.3	12.5	14.6	-	6.3			
	パートタイムで働いている	51	17.6	41.2	25.5	3.9	27.5	-	2.0			
就業継続 見込み	問題なく、続けていける	11	36.4	18.2	18.2	-	18.2	-	9.1			
	問題はあるが、何とか続けていける	55	20.0	38.2	27.3	12.7	23.6	-	-			
	続けていくのは、やや+かなり難しい	29	20.7	48.3	37.9	3.4	17.2	-	3.4			

- B問2-2 主な介護者の方は、勤め先から特にどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は主なもの3つまで）

**【全体】**  
 ○ 就労継続に効果のある勤め先からの支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が31.3%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が26.3%となっています。

**【就労継続に効果のある勤め先からの支援(3LA)】**



【勤務形態】

- 「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「制度を利用しやすい職場づくり」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」はフルタイムで働いている人がパートタイムで働いている人に比べて多くなっています。
- 「介護をしている従業員への経済的な支援」「特にない」はパートタイムで働いている人がフルタイムで働いている人に比べて多くなっています。

【就労継続見込み】

- 続けていくのは、やや+かなり難しい人では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」が34.5%で最も多くなっています。
- 「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」は問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは、やや+かなり難しい人が問題なく、続けていける人に比べて多くなっています。
- 「特にない」は続けていくのは、やや+かなり難しい人が6.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：%

		母数 (n)	就労継続に効果のある勤め先からの支援(3LA)					の立 提に 供関 する 介護 情報 の報 両
			いめ ら、 勤 め 先 は た り な い	自 営 業 ・ フ リ ー ラ ン ス 等 の 支 援	充 実 の 制 度 の 充 実	介 護 休 業 ・ 介 護 休 暇 等 の 制 度	制 度 を 利 用 し や す い 職 場 づ く り	
全体		99	15.2	29.3	31.3	22.2	10.1	6.1
形 勤 態 務	フルタイムで働いている	48	22.9	31.3	35.4	22.9	14.6	8.3
	パートタイムで働いている	51	7.8	27.5	27.5	21.6	5.9	3.9
就 労 継 続 見 込 み	問題なく、続けていける	11	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	-
	問題はあるが、 何とか続けていける	55	9.1	27.3	40.0	23.6	10.9	5.5
	続けていくのは、 やや+かなり難しい	29	17.2	34.5	27.6	24.1	6.9	10.3

単位：%

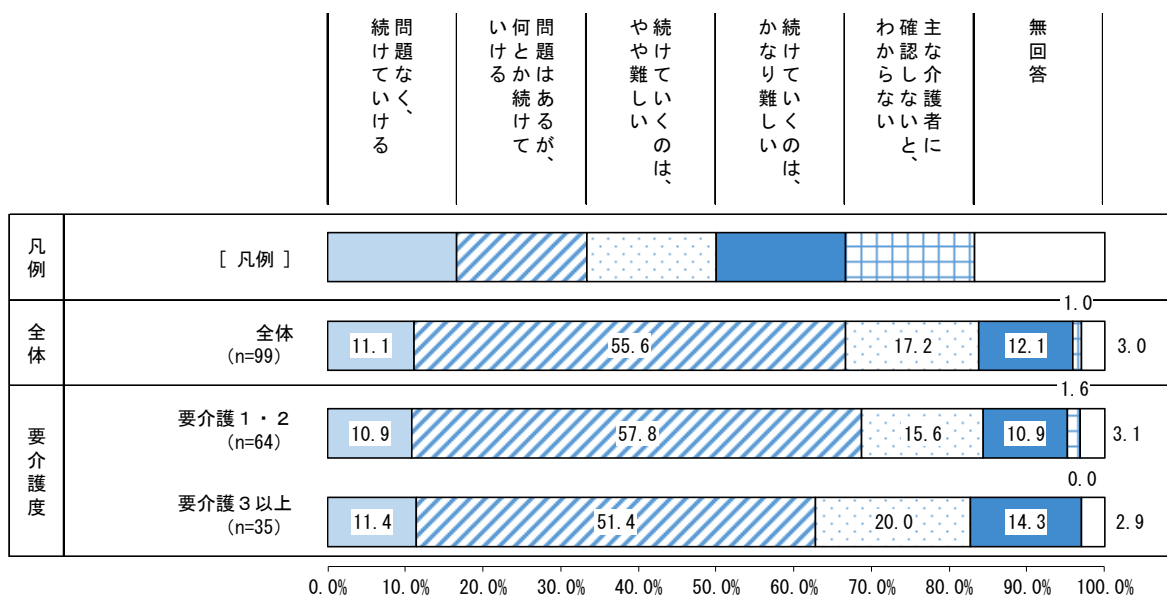
		母数 (n)	就労継続に効果のある勤め先からの支援(3LA)					無 回 答
			当 該 の 設 置 に 関 する 担 当	介 護 の 支 援 に 関 する 担 当	介 護 の 支 援 に 関 する 担 当	其 他	特 に な い	
全体		99	8.1	26.3	1.0	15.2	1.0	4.0
形 勤 態 務	フルタイムで働いている	48	10.4	20.8	2.1	6.3	-	4.2
	パートタイムで働いている	51	5.9	31.4	-	23.5	2.0	3.9
就 労 継 続 見 込 み	問題なく、続けていける	11	-	9.1	-	18.2	-	-
	問題はあるが、 何とか続けていける	55	7.3	27.3	1.8	20.0	1.8	1.8
	続けていくのは、 やや+かなり難しい	29	10.3	34.5	-	6.9	-	3.4

● B問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

**【全体】**  
 ○ 就労継続見込みについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.6%で最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が17.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が12.1%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“続けていくのはやや+かなり難しい”は、要介護1・2では26.5%、要介護3以上では34.3%となっています。

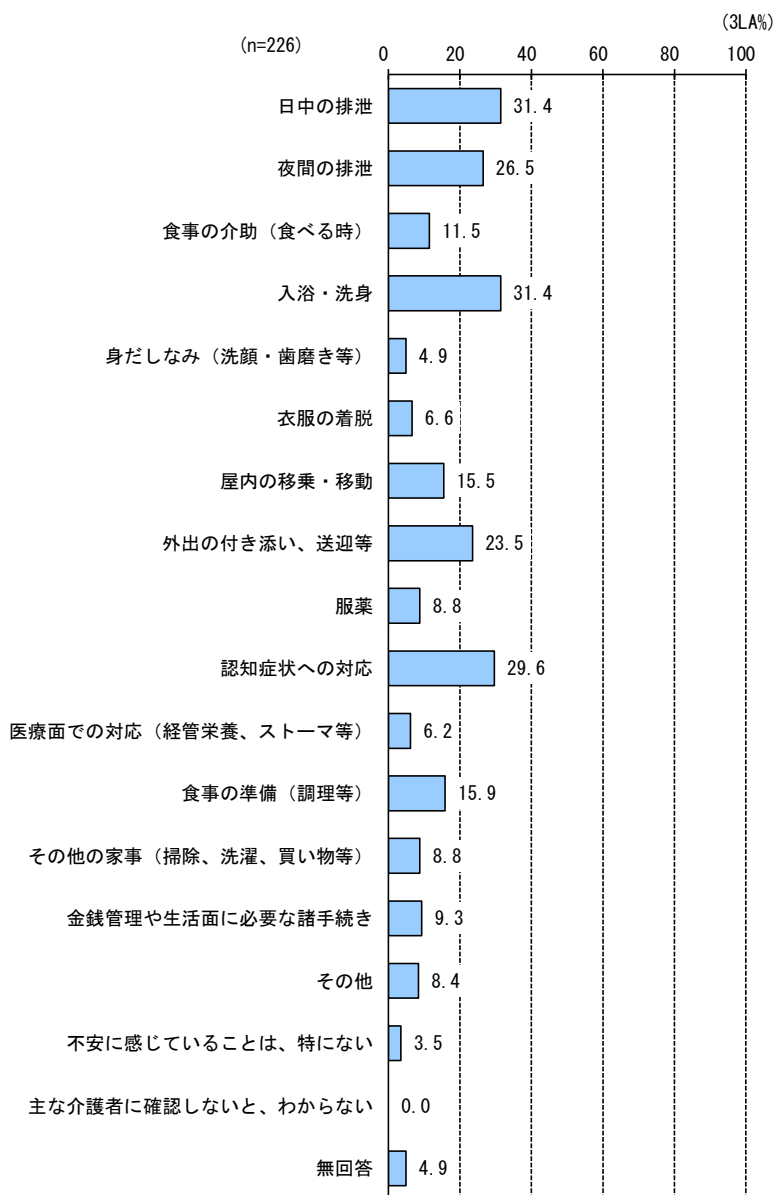
**【就労継続見込み】**



- B問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（○は主なもの3つまで）

**【全体】**  
 ○ 不安を感じる介護について、「日中の排泄」「入浴・洗身」が31.4%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が29.6%、「夜間の排泄」が26.5%となっています。

**【不安を感じる介護(3LA)】**



**【要介護度】**

- 要介護1・2では、「入浴・洗身」が35.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が28.9%、「認知症状への対応」が26.8%となっています。
- 要介護3以上では、「日中の排泄」が41.6%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が35.1%、「夜間の排泄」が31.2%となっています。

単位：%

		母数 (n)	不安を感じる介護(3LA)								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		226	31.4	26.5	11.5	31.4	4.9	6.6	15.5	23.5	8.8
要介護度	要介護1・2	149	26.2	24.2	8.7	35.6	6.0	4.7	12.1	28.9	11.4
	要介護3以上	77	△41.6	31.2	16.9	23.4	2.6	10.4	22.1	▼13.0	3.9

単位：%

		母数 (n)	不安を感じる介護(3LA)								
			認知症状への対応	トーマ等(経管栄養、医療面での対応)	食事の準備(調理等)	その他(掃除、洗濯、買い物)	金銭管理や生活面	その他	不安に感じていること	ない	主な介護者、わか確認
全体		226	29.6	6.2	15.9	8.8	9.3	8.4	3.5	-	4.9
要介護度	要介護1・2	149	26.8	5.4	17.4	10.7	12.8	8.7	2.0	-	6.7
	要介護3以上	77	35.1	7.8	13.0	5.2	2.6	7.8	6.5	-	1.3